五代江戸屋敷遺跡

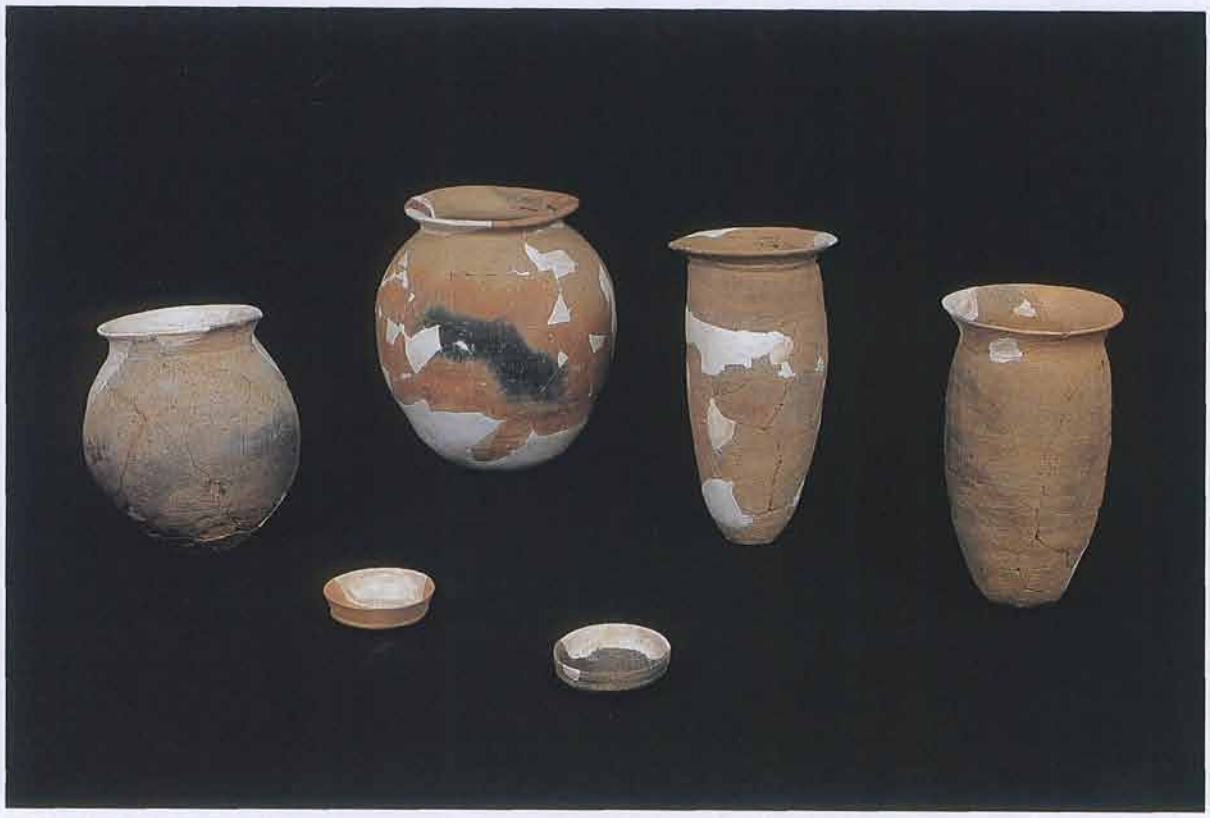
五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2000

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

H－13号住居跡出土遺物

H－28号住居跡出土遺物



H－42号住居跡出土遺物

H－56号住居跡出土遺物

序

前橋市は、北に赤城山、西に榛名山、南西に妙義山の上毛三山がそびえ、赤城山と榛名山の裾野の間を南北に利根川が流れる水と緑にあふれた地であります。

前橋市は古代より豊かな文化あふれる地であり、東日本でも優れた内容を示しています。今から2万8千年前の旧石器を始めとして、8基を数える国史跡の古墳、関東の華とうたわれた前橋城に関するもの、近代化遺産など多くの文化財が残されています。

自然環境に恵まれたこの地では、古代の人々が生活した跡が市内ほぼ全域に残されています。古代の人々が暮らした家の跡、使った石器や土器などの道具や、水田跡なども多く、毎年の埋蔵文化財発掘調査により多くの新しい発見があります。

五代南部工業団地及び住宅団地が建設されようとしている五代町周辺は赤城山南麓の自然に恵まれた地であり、周辺では縄文時代からの人々の生活の跡が残されています。北に接して芳賀東部団地遺跡があり、大規模な集落が形成されていた地区にあたります。

本年度調査の五代江戸屋敷遺跡では、事業実施に先立ち地区全域の試掘調査を行い、その後発掘調査を実施いたしました。

発掘調査により古墳時代から平安時代の住居跡、掘立柱建物跡など多くの遺構と遺物を検出し、地区の歴史解明に重要な資料を得ることができました。

発掘調査にあたりまして、ご協力いただきました市工業課、前橋工業団地造成組合、地元関係者、酷暑の中調査に従事されました皆様に感謝とお礼を申し上げます。

平成13年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　阿部　明雄

例　　言

1．本報告書は、五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う五代江戸屋敷遺跡発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市五代町地内
発掘調査期間	平成12年7月10日～平成12年12月15日
整理・報告書作成期間	平成12年12月18日～平成13年3月23日
発掘・整理担当者	齊木一敏・須藤友子

4．本書の原稿執筆・編集は齊木・須藤が行った。

5．発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。

石山日出男・今井弘子・植木政俊・大島きく江・品川成夫・須田隆治・鈴木民江・高橋公代
多田啓子・中林美智子・細野進太郎・堀込とよ江・弥郡啓吾・山口純子・吉田淑子・渡辺永造

6．発掘調査で出土した遺物は、当発掘調査団より前橋市教育委員会に保管を依頼し、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に建設省国土地理院発行の1／50,000地形図（前橋）、1／25,000地形図（前橋、大胡、渋川、鼻毛石）を使用した。

3．本発掘調査の略称は、12C21である。

4．本遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

H…住居跡　B…掘立柱建物跡　C…方形周溝墓　W…溝跡
D…土坑　P…柱穴　I…井戸跡　X…周溝状遺構

5．遺構・遺物の実測図の縮尺は、次のとおりである。

遺構　住居跡・掘立柱建物跡・土坑・柱穴・井戸跡…1／80　方形周溝墓・周溝状遺構…1／100
溝跡…1／160　竈断面図…1／40

遺物　土器・瓦…1／4　石器・石製品…1／2　鉄器・鉄製品…1／2　土玉・臼玉…1／1

6．計測値については、（　）は現存値、［　］は復元値を表す。

7．セクション注記の記号○○は締まり、粘性の順である。

8．スクリーントーン等の使用は、次のとおりである。

遺構断面図　構築面…斜線
遺物実測図　須恵器断面…黒塗り

9．周辺遺跡概要一覧表については、『芳賀東部団地遺跡　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1998』に加筆した。

目　　次

序 …… i

Ⅰ 調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ 遺跡の位置と環境
　1 遺跡の立地 …… 1
　2 歴史的環境 …… 1

Ⅲ 調査の経過
　1 調査方針 …… 4
　2 調査経過 …… 6

Ⅳ 基本層序 …… 6

Ⅴ 遺構と遺物
　1 竪穴住居跡 …… 7
　2 掘立柱建物跡 …… 16
　3 方形周溝墓 …… 16
　4 溝跡 …… 17
　5 土坑・柱穴・井戸跡 …… 17
　6 周溝状遺構 …… 17
　7 グリッド等出土遺物 …… 17

Ⅵ 考察 …… 29

図　版

口絵 1　H－13号住居跡出土遺物
2　H－28号住居跡出土遺物
3　H－42号住居跡出土遺物
4　H－56号住居跡出土遺物

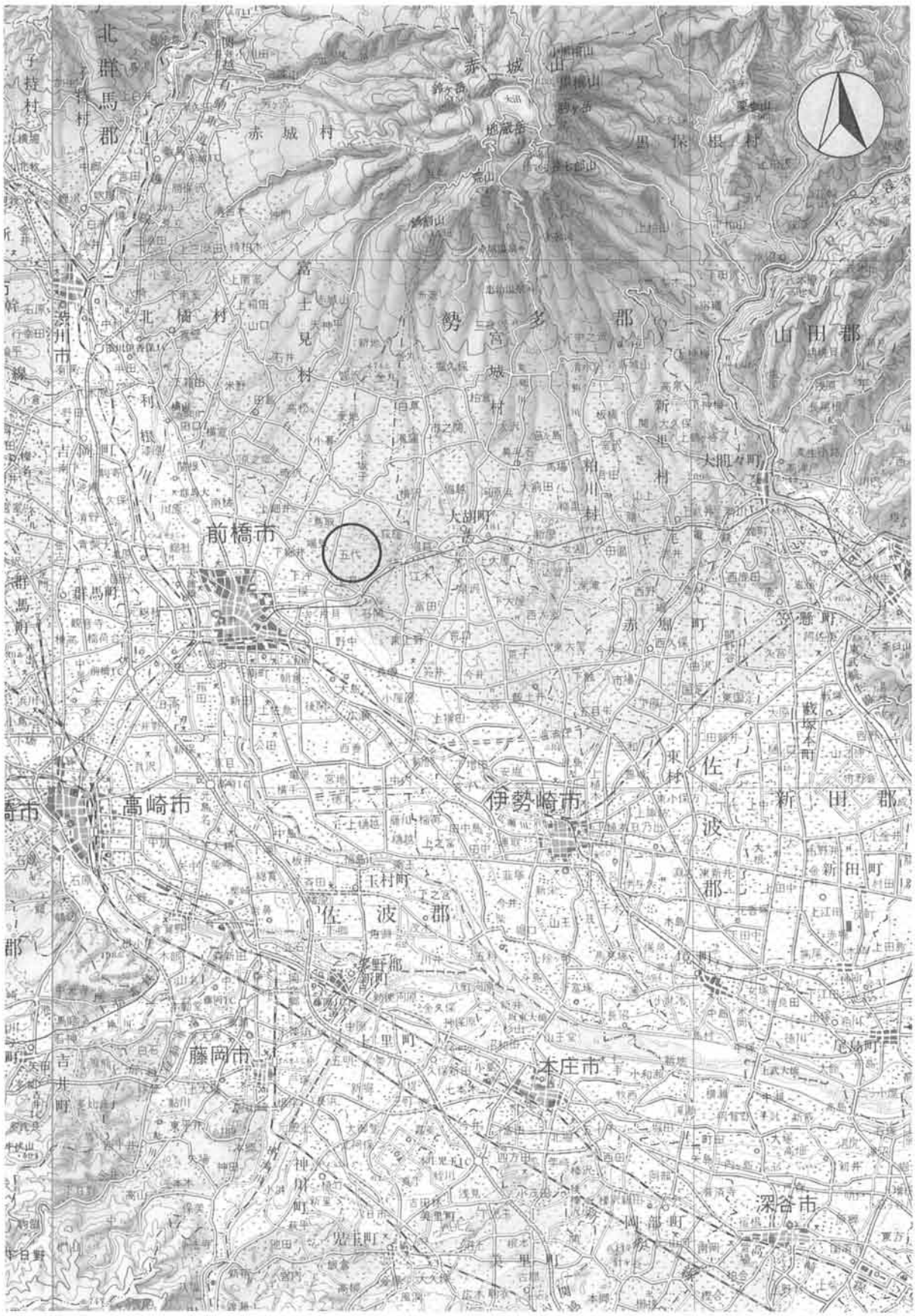
PL. 1　調査区南半分全景、H－3～6号住居跡
2　H－7～12号住居跡他
3　H－13～15号住居跡
4　調査区北半分、H－16・17・19号住居跡
5　H－20・22・24・25・26号住居跡
6　H－27～30号住居跡
7　H－31・32・34・37号住居跡
8　H－40・41・42・44・46・47号住居跡
9　H－45・51・48・52号住居跡
10　H－53・54・56・57号住居跡他
11　H－58～62号住居跡
12　H－63号住居跡、B－1号掘立柱建物跡、周溝墓他
13　D－1～4・13・14土坑他
14　H－3・6～8・11～13号住居跡出土遺物
15　H－14・19・25・27・28号住居跡出土遺物
16　H－28～32号住居跡出土遺物
17　H－32・33・35・41・42号住居跡出土遺物
18　H－42・45・47・48号住居跡出土遺物
19　H－50・56号住居跡出土遺物
20　H－57・58号住居跡出土遺物
21　H－58～61・63号住居跡、方形周溝墓他出土遺物
22　周溝状遺構、グリッド等出土遺物、主な縄文土器片

挿　図

Fig. 1　位置図
2　周辺遺跡図
3　本遺跡とグリッド設定図
4　遺跡全体図
5　H－2～4号住居跡
6　H－5～7号住居跡
7　H－8・9号住居跡、D－5号土坑
8　H－11・12号住居跡
9　H－13・14・17号住居跡
10　H－15・16・18号住居跡
11　H－19・20・22・24号住居跡
12　H－25・26号住居跡
13　H－27・28号住居跡
14　H－29・30・34号住居跡
15　H－31・36号住居跡
16　H－32号住居跡
17　H－33・40号住居跡
18　H－35・37号住居跡、D－7号土坑
19　H－41・45号住居跡
20　H－42号住居跡
21　H－44・46・48号住居跡
22　H－47・51・52号住居跡
23　H－50・54号住居跡
24　H－53・57号住居跡
25　H－56・59号住居跡
26　H－58・60号住居跡
27　H－61～63号住居跡
28　B－1号掘立柱建物、C－3号方形周溝墓
29　C－2号方形周溝墓
30　W－1号溝跡、D－1～4・6・9～11号土坑
31　D－13～19号土坑
32　ピット群1、P－14～36号柱穴
33　ピット群2
34　P－74～87号柱穴、I－1号井戸跡、周溝状遺構
35　H－3・5・6～9・13号住居跡出土遺物
36　H－11・12・14・15・17～20・23～25号住居跡出土遺物
37　H－27～31号住居跡出土遺物
38　H－32・33・35・41号住居跡出土遺物
39　H－42・45号住居跡出土遺物
40　H－47・48・50号住居跡出土遺物
41　H－53・54・56・57号住居跡出土遺物
42　H－57・58号住居跡出土遺物
43　H－59～63号住居跡、方形周溝墓他出土遺物
44　軒丸瓦、菊花紋押印の破片、古銭、主な石器
主な縄文土器の破片

表

Tab. 1　周辺遺跡概要一覧
2　住居跡一覧表
3　土坑・柱穴・井戸跡計測表
4　出土遺物観察表
5　方形周溝墓からの主な遺物
6　古墳時代後期の竪穴住居跡の形態
7　6世紀代竪穴住居跡の規模の格差



1：200,000

0 5 10 15 20 キロメートル

Fig. 1　位置図

Ⅰ　調査に至る経緯

平成12年４月11日、前橋工業団地造成組合（管理者　萩　原　弥惣治）より、五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。これを受け同教育委員会で検討した結果、面積が広大であるため、まず試掘調査を実施し、その結果を得て本調査の必要な地域を確定し、年次計画を作成し、本調査を実施するという方針になった。４月12日、前橋市教育長より前橋工業団地造成組合に調査実施の回答がなされた。また、同日、前橋市教育長より前橋市教育委員会が組織する前橋市埋蔵文化財発掘調査団に調査を実施するように通知された。これに基づき、前橋工業団地造成組合と前橋市埋蔵文化財発掘調査団が協議を行った。４月27日、両者の間で埋蔵文化財発掘調査委託契約が締結され、５月11日に現地での試掘調査を開始するに至った。試掘調査の結果、試掘調査対象面積約427,600㎡のうち約137,500㎡の本調査が必要であることが分かり、今年度はそのうちの約60,000㎡の本調査を実施することが決定し、８月23日、変更契約（委託契約料金の増額）を締結し、本調査を実施するに至った。なお、遺跡名称「五代江戸屋敷遺跡」（遺跡コード：12Ｃ21）の「江戸屋敷」は旧地籍の小字名を採用した。また、五代江戸屋敷遺跡は、平成12年度調査分のうちの約12,000㎡である。

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　遺跡の立地

五代江戸屋敷遺跡は前橋市役所から北東の方向約５kmの五代町地内の五代南部工業団地造成予定地である。五代町は、昭和29年に前橋市に吸収合併された。それまでは、昭和22年に周囲の６ヶ村と赤城山入会地と合併し、芳賀村となり勢多郡芳賀村字五代であった。旧芳賀村の地域は現在も「芳賀地区」と呼称されている。一緒に吸収合併された五代町の北に隣接する鳥取町は、前橋市の芳賀地区団地造成計画により、昭和45年から住宅・工業団地の開発が進められ、住宅が建ち並び、工場も多数立ち並んでいる。しかし、五代町は一部がこの造成計画によって開発されたが、町の大部分に田畑が残っており、酪農も盛んであり、住宅はまばらという状況である。土地の高低差があり、高いところは宅地、畑、牧草地であり、低いところは田圃になっている。

2　歴史的環境

五代江戸屋敷遺跡が位置する赤城山南斜面の台地には、旧石器時代後期から中近世に至る数多くの遺跡が存在し、埋蔵文化財の宝庫として知られている。本遺跡が所在する前橋市の北部「芳賀地区」は、先にも述べた芳賀地区団地造成計画に伴う大規模な発掘調査の他、数多くの発掘調査によってその歴史が明らかにされてきている。

本遺跡のすぐ北に位置する芳賀東部団地遺跡（調査面積約33ha）は、縄文時代から古墳時代、奈良・平安時代まで続く集落跡である。縄文前期の竪穴住居跡60軒、中期末葉と後期前半の敷石住居跡６軒が検出された。また、古墳４基、鍛冶関連遺構５基が検出された。そして、奈良・平安時代の竪穴住居跡約500軒、掘立柱建物跡206軒が検出された。

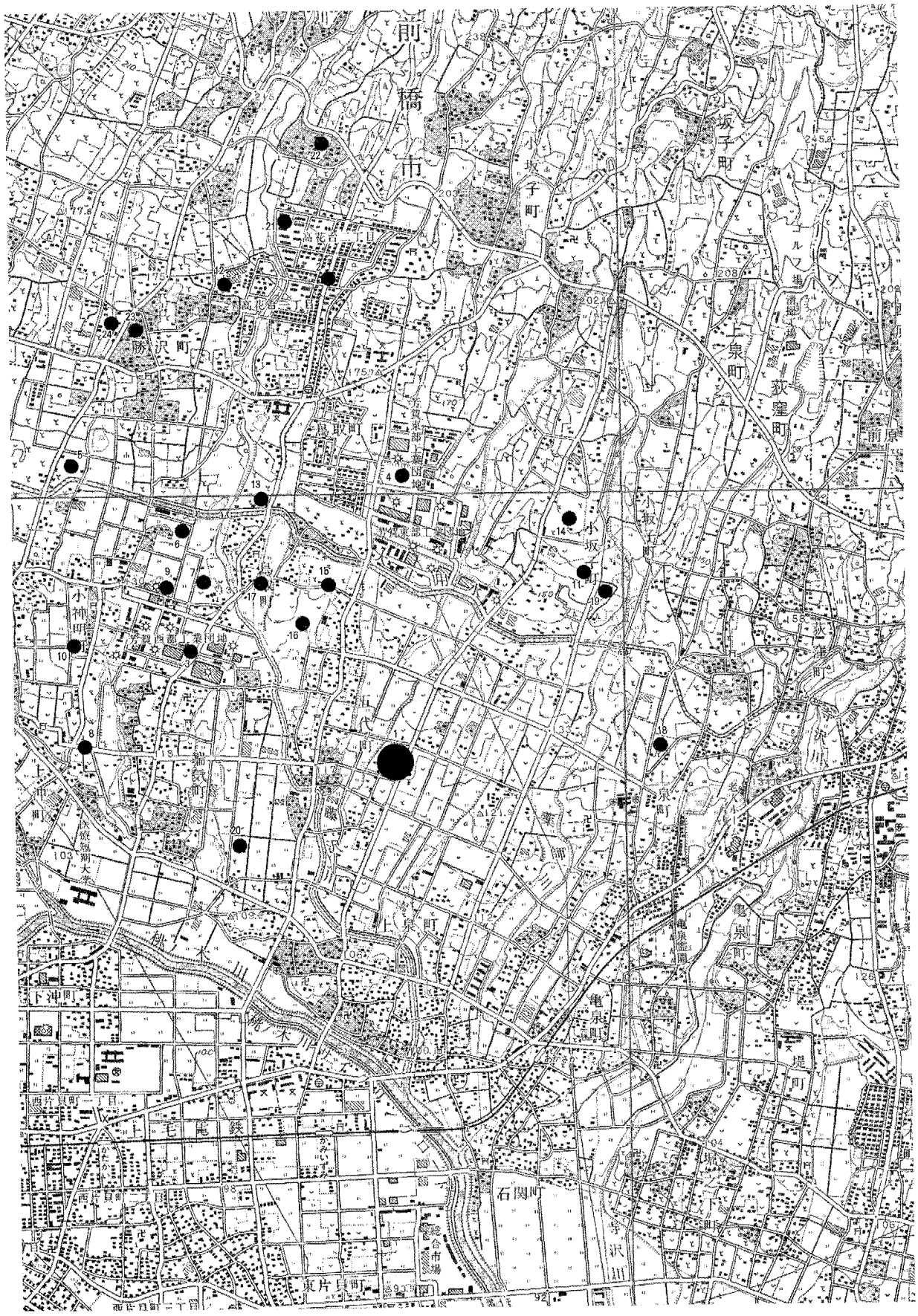

前橋市
坂子町
小坂子町
上泉町
荻窪町
勝沢町
鳥取町
小神町
上泉町
亀泉町
石関町
東片貝町
1:25,000
500m
0
500
1000
1500

Fig. 2　周辺遺跡図

Tab. 1　周辺遺跡概要一覧

番号	遺跡名	調査年度	時代：遺構の種類及び数
1	五代江戸屋敷遺跡	平成12	本遺跡
2	芳賀北部団地遺跡	昭和48・49	縄文：竪穴住居跡34（うち敷石住居4）、配石遺構17
			奈良・平安：竪穴住居跡237、堀立柱建物跡8、製鉄遺構3 溝28、井戸5、ピット20
3	芳賀西部団地遺跡	昭和50	縄文：竪穴住居跡7、ピット6、配石遺構3
			古墳：古墳32、埴輪棺1他
4	芳賀東部団地遺跡	昭和51～55	縄文：竪穴住居跡60（うち敷石住居6）、ピット140、配石遺構4
			古墳：竪穴住居跡75、古墳4
			奈良・平安：竪穴住居跡411、堀立柱建物跡約206、 鍛冶・精錬址5、その他635
5	小神明遺跡群Ⅰ	昭和57	縄文：竪穴住居跡7、ピット4、その他1
			奈良・平安：竪穴住居跡3
6	小神明遺跡群Ⅱ 九料遺跡	昭和58・60	縄文：敷石住居跡3
			古墳：竪穴住居跡40、堀立柱建物跡1
			奈良・平安：竪穴住居跡2
7	小神明遺跡群Ⅱ 西田遺跡	昭和58	縄文：竪穴住居跡3
			古墳：竪穴住居跡4、円墳4、ほたて貝式1
8	端気遺跡群Ⅰ・Ⅱ	昭和57・58	縄文：竪穴住居跡2、ピット1
			弥生：方形周溝墓2、ピット1、溝状遺構1
			古墳：竪穴住居跡16
9	倉本遺跡	昭和58	弥生：竪穴住居跡2
10	小神明遺跡群Ⅱ 大明神遺跡	昭和58	古墳：竪穴住居跡2
11	檜峯遺跡	昭和56	古墳：竪穴住居跡11
			奈良・平安：竪穴住居跡65
12	芳賀北曲輪遺跡	平成2	縄文：竪穴住居跡23（うち敷石住居4）、配石遺構1
			古墳：古墳6
13	芳賀北原遺跡	平成3	古墳：竪穴住居跡3
			奈良・平安：竪穴住居跡6
14	五代檜峯遺跡	平成9	古墳：竪穴住居2
15	鳥取東原遺跡	平成9	古墳：竪穴住居跡1
			近世：埋葬施設1
16	鳥取福蔵寺遺跡	平成9	縄文：竪穴住居跡2、落ち込み2
			古墳～平安：竪穴住居跡41（製鉄遺構1）、土坑83、堀立柱建物跡1 井戸跡2
17	鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡	平成10	旧石器：細石刃文化石器群
			縄文：竪穴住居跡6
			古墳：竪穴住居跡12
			奈良・平安：竪穴住居跡29、堀立柱遺構9、鍛冶工房跡1

◎その他の周辺の遺跡
18　新田塚古墳　　19　檜峯古墳　　20　大日塚古墳　　21桂正田稲塚古墳
22　東公田古墳　　23　オブ塚古墳　　24　オブ塚西古墳

本遺跡の西に位置する芳賀西部団地遺跡（調査面積約2.5ha）は、縄文時代前期の竪穴住居跡、埴輪棺等の他、古墳総覧記載漏れの古墳32基が集中して検出され、初期群集墳であることが分かった。また、小神明遺跡群Ⅱの西田遺跡からは円墳４基、帆立貝式１基が検出された。昭和10年、県下一斉に行われた古墳調査において芳賀地区には64基の古墳があるとされ、赤城南麓では旧荒砥村、粕川村、旧桂萱村についで古墳の多いところとされてきた。しかし、古墳総覧記載漏れの古墳を併せると、芳賀地区には実に100基もの古墳が集中して存在したことになる。

芳賀北部団地遺跡（調査面積約約6.1ha）は縄文時代前期、後期の竪穴住居跡、中期の敷石住居跡が検出された。また、奈良・平安時代では竪穴住居跡237軒が検出され、中世では勝山城址の一部が検出された。

鳥取福蔵寺遺跡では、縄文前期の住居跡が２軒、奈良・平安時代の住居跡が39軒・精錬鍛冶炉遺構が１基、中世の竪穴状遺構１基などが検出された。

鳥取福蔵寺遺跡では、特筆すべきこととして約13,000年前に堆積した浅間黄色軽石層直下の関東ローム層中より旧石器が検出された。細石刃文化石器群と認められるだけでも350点検出された。器種も細石核、細石刃、スキー状削片、彫刻刀型石器、削器、掻器、礫器など多岐に及んだ。縄文時代前・中・後期の竪穴住居跡６軒、古墳時代の竪穴住居跡12軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡29軒・掘立柱遺構９基・鍛冶工房跡１基が検出された。

檜峯遺跡からは、奈良・平安時代の竪穴住居跡65軒とともに奈良三彩小壺（前橋市指定重要文化財）が検出された。

このように芳賀地区の主な遺跡を見てくると、旧石器の終わりから縄文、古墳、奈良・平安、中近世と、古くから絶えることなく人々が生活をしてきたことが窺える。

Ⅲ　調査の経過

1　調査方針

委託調査箇所は、五代南部工業団地及び住宅団地の造成が計画されている地域（約427,600㎡）のうち、試掘調査の結果、本調査が必要とされた地域（約137,500㎡）である。グリッドについては、４ｍピッチで西から東へＸ０、Ｘ１、Ｘ２…と、北から南へＹ０、Ｙ１、Ｙ２…と付番し、グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。本遺跡（五代江戸屋敷遺跡）は、本調査が必要とされた地域のうち約12,000㎡である。

本遺跡のＸ41・Ｙ220の公共座標は次のとおりである。

第Ⅸ系	＋45320.000（Ｘ）		－64536.000（Ｙ）
緯度	36°24′22″．8287	経度	139°06′49″．3456
子午線収差角	25′37″．6	増大率	0.999951

調査方法は、表土掘削・遺構確認・杭打ち・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真撮影の手順で行った。

図面作成は、平板・簡易遣り方測量を用い、遺構平面図は原則として1／20、住居跡竈は1／10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録をしながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

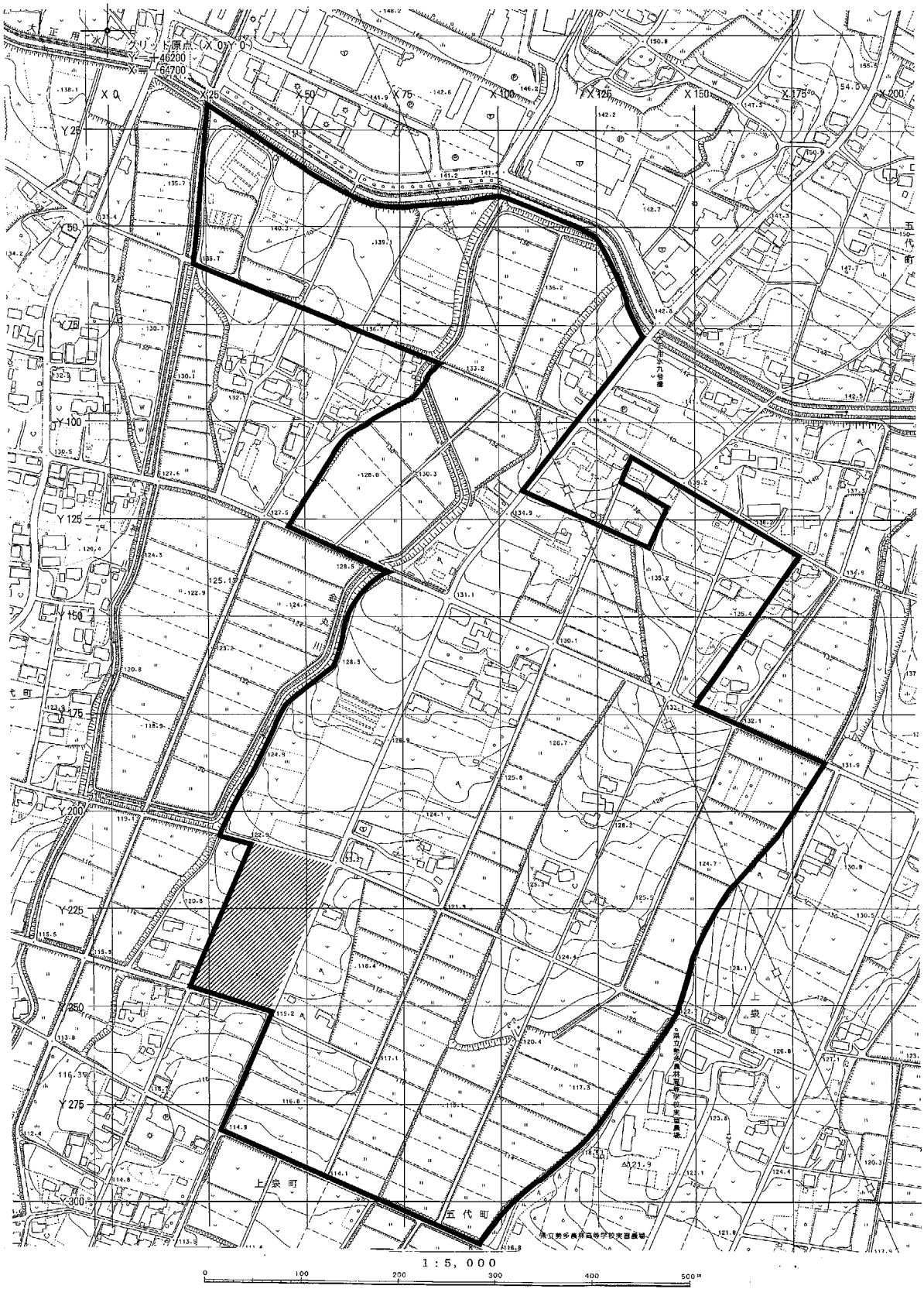


Fig.13　本遺跡とグリッド設定図

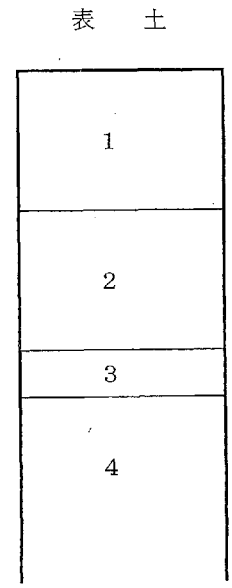
2　調査経過

本遺跡の発掘調査は、試掘調査終了後、本年度の本調査面積を確定し、７月10日より調査を開始した。調査区の切り返しで調査をすることとし、まず、調査区北半分（約6,500㎡）について、重機（バックフォー0.7㎥）２台と10ｔダンプ２台で表土掘削をした。表土掘削に一週間かかり、それと平行して、鋤簾による遺構確認を行った。現耕作土直下からローム面が検出された。その結果、住居跡と思われる遺構32軒が検出された。18日に杭打ちを行い、遺構の掘下・精査に入った。当初、遺構の残存状況が悪く調査がはかどるように思えたが、夏は暑く、また、調査区が広いことから遺構面の掃除に手間取ったことなどから苦労することもあった。９月12日には、中学生が体験学習に現場を訪れ、土器洗い、注記、住居跡の精査を経験して帰校した。遺構精査の結果、竪穴住居跡31軒、土坑６基、柱穴13基、井戸跡１基が検出された。９月30日、ハイライダーで全景写真撮影を行い、調査区北半分の調査を終了した。その後、重機（バックフォー0.7㎥）１台、10ｔダンプ２台、重機（ブルトーザー：Ｄ６）１台で埋め戻しを行った。

10月３日より調査区南半分（約5,500㎡）の調査に移った。表土掘削は重機（バックフォー0.7㎥）２台で行ったが、一週間かかった。鋤簾による遺構確認後、遺構掘下・精査に入った。壁現高が80㎝を越える竪穴住居跡を始め残存状況が良好な遺構が多く、よって、出土遺物の量も多い。また、11月の末、12月に入ると、北風が強かったり、寒い日もあり、当初予定した調査日数よりかかりそうなので、作業員の増員や作業の効率化を図り対処した。遺構精査の結果、竪穴住居跡26軒、掘立柱建物跡１軒、方形周溝墓２基、溝跡１条、土坑13基、柱穴74基、周溝状遺構１基が検出された。12月９日、ハイライダーによる全景写真撮影を行い、調査区南半分の調査を終了した。その後、調査区北半分と同じ体勢で埋め戻しにかかった。11日より一週間現場事務所において土器洗いや図面整理などを済ませ、18日より文化財保護課に戻り、遺物、図面、写真等の整理作業に取り組み、３月23日までにすべての作業を完成させる運びとなった。

Ⅳ　基　本　層　序

本遺跡地内の地層の堆積は、以下のとおりである。



1　**褐灰色細砂層**　（10ＹＲ4／1）　締まり○　粘性×　現耕作土
厚さ15㎝前後

2　**灰黄褐色細砂層**　（10ＹＲ5／2）　締まり○　粘性×　Hr-FP軽石・As-C軽石を含む。厚さ15㎝前後

3　**にぶい黄褐色細砂層**（10ＹＲ5／4）　締まり○　粘性×　As-C軽石を含む。
ローム漸移層　厚さ５㎝前後

4　**明黄褐色細砂層**　（10ＹＲ6／6）　締まり△　粘性×　ローム層

V　遺構と遺物

1　竪穴住居跡

H－1号住居跡　　欠番

H－2号住居跡（Fig.5）

位置　X35・36、Y211・212グリッド　**主軸方向**（N－12°－E）　**形状等**　方形と推定される。東西（1.70）m、南北2.90m、壁現高17.5cmを測る。　**面積**（4.16）m²　**床面**　平坦な床面。　**竈**　攪乱で東竈が壊されていると推定される。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀中頃以降と考えられる。　**出土遺物**　総数15点。

H－3号住居跡（Fig.5、PL.1）

位置　X41・42、Y211・212グリッド　**主軸方向**　N－75°－E　**形状等**　正方形。東西3.86m、南北3.76m、壁現高17cmを測る。　**面積**［14.09］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－74°－Eであり、全長［72］cm、最大幅（63）cm、焚口部幅48cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。　**出土遺物**　総数134点。そのうち土器2点、臼玉1点を図示した。

H－4号住居跡（Fig.5、PL.1）

位置　X40・41、Y214・215グリッド　**主軸方向**　N－114°－E　**形状等**　正方形。東西3.48m、南北3.60m、壁現高19.5cmを測る。　**面積**　11.62m²　**床面**　ほぼ平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方位N－115°－Eであり、全長（30）cm、最大幅（32）cm、焚口部幅（22）cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から7世紀と考えられる。　**出土遺物**　総数136点。

H－5号住居跡（Fig.6、PL.1）

位置　X38・39、Y214～216グリッド　**主軸方向**　N－103°－E　**形状等**　長方形。東西3.88m、南北5.26m、壁現高11cmを測る。　**面積**　18.78m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方位N－108°－Eであり、全長（58）cm、最大幅（86）cm、焚口部幅（80）cmを測る。**時期**　埋土や出土遺物から9世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数72点。そのうち土器1点を図示した。

H－6号住居跡（Fig.6、PL.1）

位置　X39・40、Y216・217グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**形状等**　正方形。東西4.85m、南北5.72m、壁現高15cmを測る。　**面積**　25.93m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－88°－Eであり、全長（56）cm、最大幅（82）cm、焚口部幅（54）cmを測る。　**重複**　H－7とH－8と重複しており、新旧関係はH－7・8→本遺構の順である。**時期**　埋土や出土遺物から9世紀中頃と考えられる。**出土遺物**　総数258点。そのうち土器2点を図示した。

H－7号住居跡（Fig.6、PL.2）

位置　X39・40、Y216・217グリッド　**主軸方向**　N－56°－E　**形状等**　不整長方形。東西4.54m、南北3.75m、壁現高20cmを測る。　**面積**　14.36m²　**床面**　竈周辺が高くなっていて、竈周辺が堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向がN－69°－Eであり、全長96cm、最大幅100cm、焚口部幅50cmを測る。　**重複**　H－6と重複し、新旧関係は本遺構→H－6の順である。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。**出土遺物**　総数75点。そのうち土器3点を図示した。

H－8号住居跡（Fig.7、PL.2）

位置　X37～39、Y217～219グリッド　**主軸方向**　N－86°－E　**形状等**　長方形。東西6.78m、南北8.02m、壁現高14cmを測る。　**面積**［49.91］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向がN－90°－Eであり、全長120cm、最大幅120cm、焚口部幅68cmを測る。　**重複**　H－6と重複し、新旧関係は本遺構→H－6の順である。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数286点。そのうち土器4点を図示した。

H－9号住居跡（Fig.7、PL.2）

位置　X34・35、Y2113・214グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**形状等**　正方形。東西5.08m、南北4.84m、壁現高9cmを測る。　**面積**［22.54］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向N－67°－Eであり、全長39cm、最大幅57cm、焚口部幅54cmを測る。　**重複**　D－5と重複し、新旧関係は本遺構→D－5の順である。　**時期**　埋土や出土遺物から7世紀末と考えられる。　**出土遺物**　総数95点。そのうち土器2点を図示した。

H－10号住居跡　　欠番

H－11号住居跡（Fig.8、PL.2）

位置　X43～45、Y216～218グリッド　**主軸方向**　N－58°－E　**形状等**　正方形。東西5.16m、南北4.96m、壁現高14.5cmを測る。　**面積**　22.39m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向が（N－59°－E）であり、残存状況が悪いため、計測できず。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半から7世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数182点。そのうち土器2点を図示した。

H－12号住居跡（Fig.8、PL.2）

位置　X48・49、Y212・213グリッド　**主軸方向**　N－56°－E　**形状等**　正方形。東西4.38m、南北3.94m、壁現高26.5cmを測る。　**面積**　16.18m²　**床面**　平坦な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向N－58°－Eであり、全長193cm、最大幅120cm、焚口部幅70cmを測る。煙道部も残っている。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半から7世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数58点。そのうち土器1点を図示した。

H－13号住居跡（Fig.9、PL.3）

位置　X49～51、Y214～216グリッド　**主軸方向**　N－31°－W　**形状等**　正方形。東西6.00m、南北6.00m、壁現高19cmを測る。　**面積**　33.83m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。但し、攪乱で床面が壊されているところがある。　**竈**　北壁東寄りより検出され、主軸方向がN－19°－Wであり、全長94cm、最大幅95cm、焚口部幅40cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀中頃から後半と考えられる。　**出土遺物**　総数549点。そのうち土器6点を図示した。

H－14号住居跡（Fig.9、PL.3）

位置　X40～42、Y217・218グリッド　**主軸方向**　N－92°－W　形状等　正方形。東西4.33m、南北3.94m、壁現高14.5cmを測る。　**面積**［16.24］m²　**床面**　平坦で、部分的に堅緻な床面。周溝有。　**竈**　西壁中央より検出され、主軸方向N－99°－Wであり、全長71cm、最大幅90cm、焚口部幅38cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数85点。そのうち土器2点、土玉1点、臼玉3点を図示した。

H－15号住居跡（Fig.10、PL.3）

位置　X47・48、Y216～218グリッド　**主軸方向**（N－73°－E）　**形状等**　正方形。東西3.89m、南北4.24m、

壁現高16.5cmを測る。 **面積** [15.05] ㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 東壁中央から検出され、主軸方向N－73°－Eであり、全長95cm、最大幅115cm、焚口部幅52cmを測る。石が袖の構築材として使用されている。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数413点。そのうち土器1点を図示した。

H－16号住居跡（Fig.10、PL.4）

位置 X51・52、Y218～220グリッド **主軸方向** N－68°－E **形状等** 正方形。東西4.50m、南北4.86m、壁現高15cmを測る。 **面積** [20.08] ㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 東壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－68°－Eであり、全長72cm、最大幅80cm、焚口部幅37cmを測る。粘土が構築材として使用されている。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数8点。

H－17号住居跡（Fig.9、PL.4）

位置 X51・52、Y212・213グリッド **主軸方向** N－110°－E **形状等** 方形と推定される。東西3.40m、南北（2.42）m、壁現高8cmを測る。 **面積** [7.71] ㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。但し、攪乱が部分的に壊されている。 **竈** 東壁南寄りと推測され、主軸方向がN－108°－Eであり、全長79cm、最大幅74cm、焚口部幅45cmを測る。袖石が構築材として使用されている。 **時期** 埋土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数53点。そのうち土器1点、鉄製品1点を図示した。

H－18号住居跡（Fig.10）

位置 X51～53、Y215・216グリッド **主軸方向** [N－118°－E] **形状等** 方形と推定される。東西[4.36]m、南北[4.55]mを測る。 **面積** [17.90] ㎡ **床面** 攪乱されている部分が多く、平坦で堅緻な床面がわずかに残る程度である。 **竈** 掘り形がわずかに残る程度であり、計測できず。 **時期** 埋土や出土遺物から8世紀末と考えられる。 **出土遺物** 総数39点。そのうち土器2点を図示した。

H－19号住居跡（Fig.11、PL.4）

位置 X53・54、Y214・215グリッド **主軸方向** N－68°－E **形状等** 長方形。東西3.56m、南北2.82m、壁現高20.5cmを測る。 **面積** 9.30㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 東壁中央より検出され、主軸方向N－68°－Eであり、全長60cm、最大幅72cm、焚口部幅38cmを測る。粘土と袖石を構築材として使用している。 **時期** 埋土や出土遺物から7世紀前半と考えられる。 **出土遺物** 総数156点。そのうち土器1点を図示した。

H－20号住居跡（Fig.11、PL.5）

位置 X42・43、Y220・221グリッド **主軸方向** N－90°－E **形状等** 正方形。東西3.30m、南北3.24m、壁現高5cmを測る。 **面積** [9.55] ㎡ **床面** 竈周辺に平坦で堅緻な面があり、それ以外は床面が剥がれた状態で検出された。周溝有。 **竈** 東壁南寄り検出され、主軸方向がN－92°－Eであり、全長78cm、最大幅79、焚口部幅20cmを測る。粘土と土器芯を構築材として使用している。 **時期** 埋土や出土遺物から7世紀前半と考えられる。 **出土遺物** 総数117点。そのうち土器1点を図示した。

H－21号住居跡

位置 X47・48、Y221・222グリッド **主軸方向** [N－67°－E] **形状等** 方形と推定する。東西[3.60]m、南北[3.72]mを測る。 **面積** [12.42] ㎡ **床面** 床面が剥がれた状態で検出。堀り形のみの確認。 **竈** 東壁中央より検出される。掘り形のみの検出により計測できず。 **時期** 出土遺物から6世紀ごろと考えられる。 **出土遺物** 総数3点。

H－22号住居跡（Fig.11、PL.5）

位置　X51、Y223グリッド　**主軸方向**（N－4°－W）　**形状等**　正方形と推定される。東西（2.08）m、南北（2.92）m、壁現高6cmを測る。　**面積**（3.62）m²　**床面**　平坦な床面。　**竈**　調査区外にあると推定される。**時期**　埋土や出土遺物から6世紀末と考えられる。　**出土遺物**　総数5点。

H－23号住居跡

位置　X40～42、Y223・224グリッド　**主軸方向**［N－72°－E］　**形状等**　正方形と推定される。東西［5.82］m、南北［5.50］mを測る。　**面積**［22.08］cm　**床面**　床面が剥がれた状態で検出。掘り形のみの確認。　**竈**　東壁中央より検出される。掘り形のみの検出により計測できず。　**時期**　出土遺物から6世紀末から7世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数400点。そのうち土器2点を図示した。

H－24号住居跡（Fig.11、PL.5）

位置　X34・35、Y221・222グリッド　**主軸方向**　N－76°－E　**形状等**　正方形と推定される。東西3.82m、南北3.55m、壁現高16.5cmを測る。　**面積**［13.67］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央から検出され、主軸方向N－74°－Eで、全長85cm、最大幅90cm、焚口部幅32cmを測る。粘土を構築材として使用している。**時期**　埋土や出土遺物から6世紀末から7世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数50点。そのうち土器1点を図示した。

H－25号住居跡（Fig.12、PL.5）

位置　X36～38、Y225・226グリッド　**主軸方向**　N－58°－E　**形状等**　正方形と推定される。東西4.80m、南北4.62m、壁現高21cmを測る。　**面積**［20.82］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向N－68°－Eで、全長103cm、最大幅93cm、焚口部幅32cmを測る。粘土、土器芯、天井部平石を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀末から7世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数297点。そのうち土器2点を図示した。

H－26号住居跡（Fig.12、PL.5）

位置　X36、Y222グリッド　**主軸方向**　N－93°－E　**形状等**　正方形。東西3.40m、南北3.58m、壁現高10cmを測る。　**面積**　11.66m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－98°－Eであり、全長70cm、最大幅57cm、焚口部幅38cmを測る。粘土を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から7世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数25点。

H－27号住居跡（Fig.13、PL.6）

位置　X34・35、Y222・223グリッド　**主軸方向**　N－94°－E　**形状等**　正方形。東西4.58m、南北4.37m、壁現高16.5cmを測る。　**面積**　18.49m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向がN－94°－Eであり、全長89cm、最大幅92cm、焚口部幅12cmを測る。粘土、土器芯を構築材として使用している。**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数262点。そのうち土器3点を図示した。

H－28号住居跡（Fig.13、PL.6）

位置　X35・36、Y225～227グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**形状等**　正方形。東西6.50m、南北6.49m、壁現高25cmを測る。　**面積**［39.69］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－83°－Eであり、全長81cm、最大幅90cm、焚口部幅25cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀と考えられる。　**出土遺物**　総数1,018点。そのうち土器10点を図示した。

H－29号住居跡（Fig.14、PL.6）

位置　X36・37、Y230・231グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**形状等**　正方形。東西2.58m、南北3.23m、壁現高21cmを測る。　**面積**　8.23m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－89°－Eであり、全長59cm、最大幅69cm、焚口部幅48cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から8世紀末から9世紀初頭と考えられる。　**出土遺物**　総数63点。そのうち土器1点を図示した。

H－30号住居跡（Fig.14、PL.6）

位置　X36・37、Y229・230グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**形状等**　正方形。東西3.44m、南北3.19m、壁現高17cmを測る。　**面積**［10.12］m²　**床面**　ほぼ平坦で、竈周辺に堅緻な面が検出できる床面。　**竈**　東壁中央南寄りに検出され、主軸方向がN－92°－Eであり、全長65cm、最大幅92cm、焚口部幅32cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数77点。そのうち土器3点を図示した。

H－31号住居跡（Fig.15、PL.7）

位置　X44・45、Y234・235グリッド　**主軸方向**　N－81°－E　**形状等**　正方形。東西5.04m、南北4.72m、壁現高35cmを測る。　**面積**　22.13m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－90°－Eであり、全長194cm、最大幅120cm、焚口部幅46cmを測る。粘土を構築材として使用しており、煙道が残っている。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数85点。そのうち土器3点を図示した。

H－32号住居跡（Fig.16、PL.7）

位置　X40～43、Y231～233グリッド　**主軸方向**　N－62°－E　**形状等**　正方形。東西7.92m、南北8.06m、壁現高57cmを測る。　**面積**　61.41m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－61°－Eであり、全長（95）cm、最大幅（102）cm、焚口部幅32cmを測る。粘土、土器芯が構築材として使用されている。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数1,171点。そのうち土器9点を図示した。

H－33号住居跡（Fig.17）

位置　X30～32、Y228・229グリッド　**主軸方向**　N－30°－W　形状　正方形。東西5.68m、南北5.90m、壁現高48cmを測る。　**面積**　30.90m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　北壁東寄りより検出され、主軸方向N－25°－Wであり、全長88cm、最大幅114cm、焚口部幅46cmを測る。粘土を構築材として使用している。付け替え前の竈が東壁中央より検出された。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数458点。そのうち土器4点を図示した。

H－34号住居跡（Fig.14、PL.7）

位置　X33・34、Y230グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　**形状等**　正方形。東西3.12m、南北3.00m、壁現高13.5cmを測る。　**面積**　8.83m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－102°－Eであり、全長76cm、最大幅82cm、焚口部幅30cmを測る。粘土を構築材として使用している。**時期**　埋土や出土遺物から9世紀かと考えられる。　**出土遺物**　総数43点。

H－35号住居跡（Fig.18）

位置　X38・39、Y232・233グリッド　**主軸方向**　N－72°－E　**形状等**　正方形。東西4.62m、南北4.22m、壁現高21cmを測る。　**面積**［18.45］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向N－79°－Eであり、全長116cm、最大幅88cm、焚口部幅44cmを測る。粘土を構築材として使用している。

時期　埋土や出土遺物から6世紀末と考えられる。　**出土遺物**　総数183点。そのうち土器3点、臼玉1点を図示した。

H－36号住居跡（Fig.15）

位置　X40・41、Y236・237グリッド　**主軸方向**　N－101°－E　**形状等**　正方形。東西2.94m、南北3.60m、壁現高19.5cmを測る。　**面積**［9.77］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－96°－Eであり、全長90cm、最大幅74cm、焚口部幅40cmを測る。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀末と考えられる。　**出土遺物**　総数67点。

H－37号住居跡（Fig.18、PL.7）

位置　X40・41、Y238・239グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　形状等　ゆがんだ正方形。東西3.90m、南北4.44m、壁現高35.5cmを測る。　**面積**［15.12］m²　**床面**　平坦で、部分的に堅緻な床面。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－99°－Eであり、全長120cm、最大幅140cm、焚口部幅62cmを測る。粘土が構築材として使用されている。　**時期**　埋土と出土遺物から8世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数322点。

H－38号住居跡　　欠番

H－39号住居跡　　欠番

H－40号住居跡（Fig.17、PL.8）

位置　X37・38、Y238・239グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　**形状等**　正方形。東西3.20m、南北3.48m、壁現高30cmを測る。　**面積**［10.36］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－112°－Eであり、全長108cm、最大幅94cm、焚口部幅44cmを測る。粘土が構築材として使用されている。　**時期**　埋土や出土遺物から9世紀前半と考える。　**出土遺物**　総数180点。

H－41号住居跡（Fig.19、PL.8）

位置　X35・36、Y239・240グリッド　**主軸方向**　N－96°－E　**形状等**　ゆがんだ正方形。東西4.44m、南北4.34m、壁現高48.5cmを測る。　**面積**［17.25］m²　**床面**　平坦な床面。周溝有。　**竈**　東壁南寄りより検出され、主軸方向N－105°－Eであり、全長96cm、最大幅102cm、焚口部幅38cmを測る。粘土と袖石を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から8世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数239点。そのうち土器2点を図示した。

H－42号住居跡（Fig.20、PL.8）

位置　X25～27、Y233～235グリッド　**主軸方向**　N－67°－E　**形状等**　正方形。東西7.56m、南北7.30m、壁現高61cmを測る。　**面積**［49.72］m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央北寄りより検出され、主軸方向はN－81°－Eであり、全長114m、最大幅90cm、焚口部幅32cmを測る。粘土、土器芯を構築材として使用している。付け替え前の竈を東壁中央南寄りより検出する。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀前半と考えられる。　**出土遺物**　総数890点。そのうち土器6点を図示した。

H－43号住居跡　　欠番

H－44号住居跡（Fig.21、PL.8）

位置　X23、Y238・239グリッド　**主軸方向**　N－24°－E　**形状等**　不整方形と推定できる。東西（2.54）m、

南北（3.60）m、壁現高９㎝を測る。　**面積**（8.29）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　検出されず。　**時期**　不明　**出土遺物**　総数32点。

H－45号住居跡（Fig.19、PL.９）

位置　X29・30、Y238・239グリッド　**主軸方向**　N－84°－E　**形状等**　正方形。東西4.58m、南北4.40m、壁現高68㎝を測る。　**面積**［19.05］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向がN－76°－Eであり、全長196㎝、最大幅90㎝、焚口部幅44㎝を測る。粘土を構築材として使用している。煙道も残存している。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀前半と考えられる。　**出土遺物**　総数504点。そのうち土器５点を図示した。

H－46号住居跡（Fig.21、PL.８）

位置　X30・31、Y239～240グリッド　**主軸方向**　N－２°－E　**形状等**　長方形。東西2.98m、南北4.20m、壁現高24㎝を測る。　**面積**　11.28㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　炉址が床面中央部より検出され、長軸40㎝、短軸32㎝を測る。　**時期**　住居跡の平面形態から４世紀と考えられる。　**出土遺物**　総数52点。そのうち流れ込みと思われる古銭を図示した。

H－47号住居跡（Fig.22、PL.８）

位置　X31～33、Y240・241グリッド　**主軸方向**　N－76°－E　**形状等**　正方形。東西5.46m、南北5.48m、壁現高80.5㎝を測る。　**面積**［27.02］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　東壁中央部から検出され、主軸方向がN－76°－Eであり、全長116㎝、最大幅112㎝、焚口部幅68㎝を測る。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数215点。そのうち土器４点を図示した。

H－48号住居跡（Fig.21、PL.９）

位置　X22・23、Y240・241グリッド　**主軸方向**　N－93°－E　**形状等**　正方形。東西4.18m、南北3.70m、壁現高41㎝を測る。　**面積**［13.89］㎡　**床面**　平坦で、竈周辺が堅緻な床面。周溝有。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－85°－Eであり、全長136㎝、最大幅90㎝、焚口部幅22㎝を測る。袖石が構築材として使用されている。　**時期**　埋土や出土遺物から　７世紀前半？　と考えられる。　**出土遺物**　総数223点。そのうち土器６点を図示した。

H－49号住居跡　　欠番

H－50号住居跡（Fig.23）

位置　X29～31、Y240～242グリッド　**主軸方向**　N－75°－E　**形状等**　正方形。東西5.64m、南北5.86m、壁現高69㎝を測る。　**面積**［29.61］㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　西壁中央南寄りより検出されるが、攪乱により壊されており、わずかに両袖の粘土が残存していた状態。東壁中央南寄りに付け替え前の古い煙道が残存していた。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数359点。そのうち土器８点を図示した。

H－51号住居跡（Fig.22、PL.９）

位置　X37・38、Y243・244グリッド　**主軸方向**　N－24°－W　**形状等**　正方形。東西［2.58］m、南北［3.02］m、壁現高19㎝を測る。　**面積**［7.10］㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　竈、炉ともに検出されず。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀と考えられる。　**出土遺物**　総数11点。

H－52号住居跡（Fig.22、PL.9）

位置　X33～35、Y244・245グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**形状等**　正方形と推定される。東西［3.42］m、南北［3.48］m、壁現高（1）cmを測る。　**面積**［11.32］m²　**床面**　床面が一部検出されるといった残存状況であるが、残っていた床面は平坦で堅緻である。　**竈**　東壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－89°－Eであり、全長104cm、最大幅100cm、焚口部幅42cmを測る。粘土を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数153点。

H－53号住居跡（Fig.24、PL.10）

位置　X39～41、Y244・245グリッド　**主軸方向**　N－80°－E　**形状等**　ゆがんだ正方形。東西7.50m、南北6.48m、壁現高29cmを測る。　**面積**［41.93］m²　**床面**　攪乱で残存状況が悪いが、残っている床面は平坦で堅緻。　**竈**　一つは東壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－73°－Eであり、全長（90）cm、最大幅（66）cm、焚口部幅28cmを測る。もう一つは東壁南寄りより検出され、主軸方向はN－81°－Eであり、全長（84）cm、最大幅（96）cm、焚口部幅（50）cmを測る。ともに粘土が構築材として使用されている。竈の袖から攪乱されており、新旧関係、ともに存在していたのか判断できず。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数148点。そのうち土器2点を図示した。

H－54号住居跡（Fig.23、PL.10）

位置　X39～41、Y246・247グリッド　**主軸方向**　N－67°－E　**形状等**　正方形。東西［5.22］m、南北［5.16］m、壁現高17cmを測る。　**面積**［24.61］m²　**床面**　大部分か攪乱で壊されており、一部分平坦で堅緻な床面が残存している状況。　**竈**　東壁中央南寄りと推定される。掘り形の一部がかろうじて残存している状況で計測不可能。　**時期**　埋土や出土遺物から7世紀かと考えられる。　**出土遺物**　総数44点。そのうち土器1点を図示した。

H－55号住居跡　　欠番

H－56号住居跡（Fig.25、PL.10）

位置　X27・28、Y242～244グリッド　**主軸方向**　N－119°－W　**形状等**　正方形。東西4.86m、南北4.70m、壁現高49cmを測る。　**面積**　21.25m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　西壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－109°－Wであり、全長92cm、最大幅90cm、焚口部幅40cmを測る。粘土と袖石を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。　**出土遺物**　総数319点。そのうち土器12点を図示した。

H－57号住居跡（Fig.24、PL.10）

位置　X25・26、Y245・246グリッド　**主軸方向**　N－103°－E　**形状**　正方形。東西4.22m、南北4.12m、壁現高45cmを測る。　**面積**［15.64］m²　**床面**　平坦で、一部堅緻な床面。　**竈**　東壁中央より検出され、主軸方向がN－98°－Eであり、全長（158）cm、最大幅120cm、焚口部幅28cmを測る。粘土と土器芯と袖石を構築材として使用している。　**時期**　埋土や出土遺物から6世紀末と考えられる。　**出土遺物**　総数203点。そのうち土器6点を図示した。

H－58号住居跡（Fig.26、PL.11）

位置　X32・33、Y246・247グリッド　**主軸方向**　N－97°－W　**形状等**　正方形。東西4.74m、南北4.56m、壁現高72cmを測る。　**面積**　19.93m²　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝有。　**竈**　西壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－96°－Wであり、全長136cm、最大幅104cm、焚口部幅38cmを測る。粘土と袖石を構築材として使用

している。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数228点。そのうち土器9点を図示した。

H－59号住居跡（Fig.25、PL.11）

位置 X33・34、Y248グリッド **主軸方向** N－89°－E **形状等** 方形と推定される。東西（4.54）m、南北（2.90）m、壁現高20cmを測る。 **面積**（9.23）m² **床面** 平坦で堅緻な床面。**竈** 東壁より検出され、主軸方向がN－95°－Eであり、全長82cm、最大幅104cm、焚口部幅50cmを測る。粘土を構築材として使用している。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀中頃と考えられる。 **出土遺物** 総数29点。そのうち土器4点を図示した。

H－60号住居跡（Fig.26、PL.11）

位置 X33・34、Y232・233グリッド **主軸方向** N－83°－E **形状等** 正方形。東西3.56m、南北4.18m、壁現高24.5cmを測る。 **面積**［12.48］m² **床面** 平坦な床面。 **竈** 東壁中央より検出され、主軸方向がN－64°－Eであり、全長［68］cm、最大幅92cm、焚口部幅［36］cmを測る。粘土を構築材として使用している。 **時期** 埋土や出土遺物から7世紀初頭と考えられる。 **出土遺物** 総数176点。そのうち土器5点、紡錘車1点を図示した。

H－61号住居跡（Fig.27、PL.11）

位置 X34・35、Y241・242グリッド **主軸方向** N－84°－E **形状等** 正方形。東西［4.20］m、南北4.76m、壁現高34.5cmを測る。 **面積**［18.08］m² **床面** 攪乱で壊されているが、残っている床面はほぼ平坦で堅緻。 **竈** 東壁中央南寄りより検出され、主軸方向N－89°－Eであり、全長74cm、最大幅124cm、焚口部幅78cmを測る。粘土を構築材として使用している。 **時期** 埋土と出土遺物から10世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数211点。そのうち土器3点、軒丸瓦1点を図示した。

H－62号住居跡（Fig.27、PL.11）

位置 X35・36、Y244・245グリッド **主軸方向** N－73°－E **形状等** 長方形。東西［3.80］m、南北［3.00］m、壁現高27.5cmを測る。 **面積**［10.53］m² **床面** 攪乱で壊されていない床面は平坦で堅緻。 **竈** 東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－90°－Eであり、全長70cm、最大幅85cm、焚口部幅68cmを測る。 **重複** W－29と重複し、新旧関係は本遺構→W－29の順である。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数16点。そのうち土器1点を図示した。

H－63号住居跡（Fig.27、PL.12）

位置 X28、Y240・241グリッド **主軸方向** N－171°－E **形状等** ゆがんだ長方形。東西2.10m、南北2.90m、壁現高25.5cmを測る。 **面積** 5.29m² **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 竈も炉も検出されず。 **時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。 **出土遺物** 総数41点。そのうち土器3点を図示した。

2 掘立柱建物跡

B－1号掘立柱建物（Fig.28、PL.12）

位置 X31～33、Y233～234グリッド **形状** 東西4間（8.64m）×南北3間（4.72m）の長方形で、長軸方向はN－83°－E、推定面積40.16m²である。柱間寸法は東西1.64＋2.68＋2.64＋1.68m、南北1.60＋1.56＋1.56mである。 **柱穴** 平面は円形を呈し、円筒形をしている。径は22～52cm、深さ73.5～38cmである。 **重複** H－60とD－9・10と重複し、新旧関係はH－60→本遺構、本遺構→D－9・10の順。 **時期** 柱穴の平面形態などから9・10世紀かと考えられる。 **出土遺物** 本遺構に関連する遺物の出土はなかった。

3　方形周溝墓

C－1号方形周溝墓　欠番

C－2号方形周溝墓（Fig.29、PL.12）

位置　X26～29、Y227～232グリッド　**形状**　ほぼ方形を呈する。　**規模**　台部；長軸（12.06）×短軸（12.00）m。全体；長軸（19.12）×短軸（15.96）m。　**方位**（N－18°－W）　**周溝**　断面は台部からほぼ垂直に落ち緩やかにあがっていく部分と緩やかなU字形の部分とがある。上幅1.14～5.08m、下幅0.54～2.38m、深さ0.18～0.58mを測る。周溝の残存状態は悪くない。　**時期**　埋土や出土遺物から4世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数195点。そのうち、土器2点を図示した。

C－3号方形周溝墓（Fig.28、PL.12）

位置　X24～26、Y233～236グリッド　**形状**　正方形を呈する。　**規模**　台部；長軸（7.09）×短軸（7.00）m。全体；長軸（10.98）×短軸［9.98］m。　**方位**（N－24°－W）　**周溝**　断面は、台部からほぼ垂直に落ち緩やかにあがっていく部分と逆台形の部分とがある。上幅1.86～1.48m、下幅1.24～0.45m、深さ0.44～0.99mを測る。周溝の残存状態は悪くない。　**時期**　埋土や出土遺物から4世紀中頃と考えられる。　**出土遺物**　総数47点。そのうち、土器1点を図示した。

4　溝　　跡

W－1号溝跡（Fig.30）

位置　X27～36、Y237～239グリッド　**方位**　東よりN－83°－Wの方向で西へ31.36m進み、そこから南へN－19°－W方向で2.48m進む。　**形状等**　断面はU字形を呈し、上幅92～52cm、深さ6.5～32cm、長さ（33.84）mを測る。　**時期**　埋土と出土遺物からAs-B降下以前の平安時代の溝と思われる。　**出土遺物**　総数14点。

5　土坑・柱穴・井戸跡

Tab.3　土坑・柱穴・井戸跡計測表を参照のこと。

6　周溝状遺構

X－1号周溝状遺構（Fig.34、13）

位置　X32～34、Y232～234グリッド　**形状**　隅丸正方形を呈する。　**規模**　台部；長軸5.72×短軸4.59m。全体；長軸6.90×短軸6.38m。　**方位**（N－26°－E）　**周溝**　緩やかU字形を呈する。上幅1.06～0.88m、下幅0.26～0.50m、深さ11.5～29.5mを測る。周溝の残存状態は悪くない。　**時期**　埋土や出土遺物から、7世紀初頭以降の遺構と考えられる。よって、時期を考えると、方形周溝墓ではないと判断した。　**出土遺物**　総数42点。そのうち、土器1点、臼玉1点を図示した。

7　グリッド等出土遺物

小破片を含め総数128点の遺物を出土した。そのうち、古銭2点、中世1点、軒丸瓦1点、石器5点を図示した。

Tab. 2　住居跡一覧表

遺構名	規模（m）			面積	主軸方向	竈	周	出土遺物		
	東西	南北	壁現高	(m²)		位置・素材等	溝	土師器	須恵器	その他
H－1	欠　番									
H－2	(1.70)	2.90	17.5	(4.16)	N－ 12°－E	検出されず。	無	坏 丸底壺		
H－3	3.86	3.76	17	[14.09]	N－ 75°－E	東壁南寄り・粘土	無	坏	坏	白玉
H－4	3.48	3.60	19.5	11.62	N－114°－E	東壁南寄り・粘土	有	甕		
H－5	3.88	5.26	11	18.78	N－103°－E	東壁南寄り・粘土	有		椀	
H－6	4.85	5.72	15	25.93	N－ 88°－E	東壁南寄り・粘土	有		坏 椀	
H－7	4.54	3.75	20	14.36	N－ 56°－E	東壁中央・粘土	無	甕 杯		
H－8	6.78	8.02	14	[49.91]	N－ 86°－E	東壁中央・粘土	有	甕 坏		
H－9	5.08	4.84	9	[22.54]	N－ 82°－E	東壁中央・粘土	無	甕 坏		
H－10	欠　番									
H－11	5.16	4.96	14.5	22.39	N－ 58°－E	東壁南寄り・残存状況悪い	有	坏		
H－12	4.38	3.94	26.5	16.18	N－ 56°－E	東壁中央・粘土・煙道有	無	坏		
H－13	6.00	6.00	19	33.83	N－ 31°－W	北壁東寄り・支脚に高坏脚部・粘土・袖石・古い東竈有	有	甕 壺 高坏 坏	高坏	
H－14	4.33	3.94	14.5	[16.24]	N－ 92°－W	西壁中央・粘土	有	甕 坏		土玉 白玉
H－15	3.89	4.24	16.5	[15.05]	(N－ 73°－E)	東壁中央・粘土・袖石	無	壺		
H－16	4.50	4.86	15	[20.08]	N－ 68°－E	東壁中央南寄り・粘土	無			
H－17	3.40	(2.42)	8	[7.71]	N－110°－E	東壁南寄り・粘土・袖石	無		坏	刀子
H－18	[4.36]	[4.55]	－	[17.90]	[N－118°－E]	東壁中央	－	坏		
H－19	3.56	2.82	20.5	9.3	N－ 68°－E	東壁中央・粘土・袖石	無	甕		
H－20	3.30	3.24	5	[9.55]	N－ 90°－E	東壁南寄り・土器芯	有	甕		
H－21	[3.60]	[3.72]	－	[12.42]	[N－ 67°－E]	東壁中央	－			
H－22	(2.08)	(2.92)	6	(3.62)	(N－ 4°－W)	検出されず。	無			
H－23	[5.82]	[5.50]	－	[22.08]	N－ 72°－E	東壁中央	－	甕 坏		
H－24	3.82	3.55	16.5	[13.67]	N－ 76°－E	東壁中央・粘土	無	坏		
H－25	4.80	4.62	21	[20.82]	N－ 58°－E	東壁中央・粘土・土器芯・天井部平石	無	甕		
H－26	3.40	3.58	10	11.66	N－ 93°－E	東壁南寄り・粘土	無	甕		
H－27	4.58	4.37	16.5	18.49	N－ 94°－E	東壁中央・粘土・土器芯	無	甕 坏	蓋	
H－28	6.50	6.49	25	[39.69]	N－ 82°－E	東壁中央南寄り・粘土・土器芯	無	甕 壺 甑 高坏 器台		
H－29	2.58	3.23	21	8.23	N－ 90°－E	東壁中央南寄り・粘土	無	坏		
H－30	3.44	3.19	17	[10.12]	N－ 90°－E	東壁中央南寄り・粘土	無	鉢 坏		
H－31	5.04	4.72	35	22.13	N－81°－E	東壁南寄り・粘土・煙道有	無	高坏 坏		
H－32	7.92	8.06	57	61.41	N－62°－E	東壁中央南寄り・土器芯・残存状況悪い	無	甕 台付甕 壺		

遺構名	規模（m）			面積	主軸方向	竈	周溝	出土遺物		
	東西	南北	壁現高	(m²)		位置・素材等		土師器	須恵器	その他
H－33	5.68	5.90	48	30.90	N－30°－W	北壁東寄り・粘土	有	甕 器台 坏		
H－34	3.12	3.00	13.5	8.83	N－98°－E	東壁南寄り・粘土	有			
H－35	4.62	4.22	21	[18.45]	N－72°－E	東壁中央・粘土	無	甕 坏		白玉
H－36	2.94	3.60	19.5	[9.77]	N－101°－E	東壁中央南寄り・粘土	無			
H－37	3.90	4.44	35.5	[15.12]	N－98°－E	東壁南寄り・粘土	無	坏		
H－38	欠番									
H－39	欠番									
H－40	3.20	3.48	30	[10.36]	N－98°－E	東壁中央南寄り・粘土	無			
H－41	4.44	4.34	48.5	[17.25]	N－96°－E	東壁南寄り・粘土・袖石	有	坏	杯	
H－42	7.56	7.30	61	[49.72]	N－67°－E	東壁中央北寄り・粘土・土器芯・古い東竈有	無 有	甕 坏		
H－43	欠番									
H－44	(2.54)	(3.60)	9	(8.29)	N－24°－E	検出されず。	無			
H－45	4.58	4.40	68	[19.05]	N－84°－E	東壁中央・粘土・煙道有	無	壺 鉢 坏	高坏	
H－46	2.98	4.20	24	11.28	N－2°－E	炉址	無			
H－47	5.46	5.48	80.5	[27.02]	N－76°－E	東壁中央・粘土・袖石	無	台付甕 坏		
H－48	4.18	3.70	41	[13.89]	N－93°－E	東壁中央南寄り・粘土・袖石	有	甕 坏		
H－49	欠番									
H－50	5.64	5.86	69	[29.61]	N－75°－E	西壁中央南寄り・古い煙道東壁有	有	甕 壺 坏 ミニチュア手びねり土器		
H－51	[2.58]	[3.02]	19	[7.10]	N－24°－W	検出されず。	無			
H－52	[3.42]	[3.48]	(1)	[11.32]	N－83°－E	東壁中央南寄り・粘土	－			
H－53	7.50	6.48	29	[41.93]	N－72°－E N－80°－E	東壁中央南寄り、新旧分からず。 南寄り	無	坏		
H－54	[5.22]	[5.16]	17	[24.61]	N－67°－E	東壁中央南寄り	無	小型甕		
H－55	欠番									
H－56	4.86	4.70	49	21.25	N－119°－W	西壁中央南寄り・粘土・袖石	有	甕 台付甕 壺 高坏 坏		
H－57	4.22	4.12	45	[15.64]	N－103°－E	東壁中央・粘土・土器芯・袖石	無	甕 高坏 坏		
H－58	4.74	4.56	72	19.93	N－97°－W	西壁中央南寄り・粘土・袖石	有	甕 甑 坏		
H－59	(4.54)	(2.90)	20	(9.23)	N－89°－E	東壁・粘土	無	高坏	高坏	石製紡錘車
H－60	3.56	4.18	24.5	[12.489]	N－83°－E	東壁中央・粘土	無	壺 壺 坏		石製紡錘車
H－61	[4.20]	4.76	34.5	[18.08]	N－84°－E	東壁中央南寄り・粘土	無	甕	椀	
H－62	[3.80]	[3.00]	27.5	[10.53]	N－73°－E	東壁南寄り	無	坏		
H－63	2.10	2.90	25.5	5.29	N－9°－W	検出されず。	無	坏		

Tab. 3　土坑・柱穴・井戸跡計測表

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
D－1	X50、Y217・218	110	106	26	円　形	風倒木跡か？
D－2	X49、Y217	240	130	17	楕円形	風倒木跡か？
D－3	X49、Y219	100	95	29	円　形	土師器126片。
D－4	X37・38、Y209・210	359	349	28	円　形	土師器5片、縄文1片。縄文時代中期。
D－5	X34・35、Y213	234	210	2.5	正方形	
D－6	X44、Y221	165	153	(186.5)	円　形	新しい時期の遺構であると思われる。
D－7	X38、Y233	246	160	25.5	楕円形	土師器9片、縄文1片。
D－8	X28、Y229・230	120	108	17	円　形	土師器4片、鉄1片。
D－9	X31・32、Y234	225	110	10	長方形	土師器3片。
D－10	X31・32、Y234・235	231	94	11.5	長方形	
D－11	X25・26、Y236	[351]	[225]	38	長方形	土師器7片、縄文3片。
D－12	X35、Y237	97	63	8	長方形	馬の歯及び骨出土。
D－13	X33・34、Y241・242	343	267	119	正方形	土師器39、須恵器2。形状と土層より中世の地下式土坑。
D－14	X33・34、Y246	332	[271]	84.5	正方形	土師器10片。灯明皿1点を図示。形状と土層より中世の地下式土坑。
D－15	X31・32、Y247	125	120	7	円　形	
D－16	X30・31、Y246・247	145	136	10	円　形	土師器4片、須恵器1片。
D－17	X29・30、Y246・247	174	157	23	円　形	土師器4片、石1。
D－18	X24・25、Y245	147	127	(57)	円　形	
D－19	X26・27、Y239	204	144	27	正方形	土師器14片、縄文1片。
P－1	X35、Y213	23	22	20.5	円　形	
P－2	X34、Y214	18	18	24.5	円　形	
P－3	X34、Y214	18	17	10.5	円　形	土師器2片。
P－4	X34、Y214	21	20	28.5	円　形	
P－5	X34、Y214	27	23	19.5	円　形	
P－6	X34、Y214	36	22	15	楕円形	
P－7	X34、Y214	17	16	10.5	円　形	
P－8	X34、Y214	20	19	21	円　形	
P－9	X34、Y214	19	17	26	正方形	
P－10	X34・35、Y214	23	23	33.5	円　形	
P－11	X35、Y214	16	13	72.5	正方形	
P－12	X34・35、Y214	21	9	21	正方形	
P－13	X34、Y214	25	21	14.5	円　形	
P－14	X39、Y234	45	40	46	円　形	
P－15	X39、Y234	63	61	15	円　形	
P－16	X39、Y234	39	35	10.5	円　形	

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
P－17	X39、Y235	48	44	43	円　形	土師器1片。
P－18	X39、Y235	36	35	9.5	円　形	
P－19	X38、Y234	44	27	20.5	楕円形	
P－20	X38、Y234	55	50	55	円　形	
P－21	X38、Y234	[38]	37	17.5	円　形	
P－22	X38、Y234	61	59	9	円　形	
P－23	X38、Y234	60	57	64	円　形	
P－24	X38、Y234・235	46	45	37.5	円　形	土師器2片。
P－25	X38、Y235	54	47	26.5	円　形	
P－26	X38・39、Y235	64	60	33.5	円　形	
P－27	X38、Y234	49	46	32.5	円　形	
P－28	X37・38、Y233・234	61	58	52.5	円　形	
P－29	X37、Y234	44	44	41.5	円　形	
P－30	X37、Y234	52	40	18.5	楕円形	
P－31	X37・38、Y234	47	33	6.5	楕円形	
P－32	X38、Y235	55	54	19	円　形	
P－33	X38、Y235	35	33	16.5	円　形	
P－34	X38、Y235	74	(32)	6	不整形	
P－35	X38、Y233	34	28	11	円　形	
P－36	X37、Y234	60	50	7.5	円　形	
P－37	X33、Y234	52	46	73.5	円　形	K－1のP－8。
P－38	X33、Y234	48	46	58	円　形	K－1のP－9。
P－39	X33、Y233	48	42	49	円　形	K－1のP－10。
P－40	X33、Y233	24	22	38	円　形	K－1のP－11。
P－41	X33、Y233	32	28	16.5	円　形	
P－42	X33、Y233	40	38	58.5	円　形	K－1のP－12。
P－43	X33、Y233・234	27	26	21	正方形	
P－44	X33、Y234	51	45	52	円　形	K－1のP－7。
P－45	X32、Y234	48	45	47.5	円　形	
P－46	X32、Y234	30	24	20	正方形	土師器1片、石1。
P－47	X32、Y234	44	30	33	楕円形	
P－48	X32、Y234	38	22	23.5	楕円形	
P－49	X32、Y233	31	28	13	円　形	
P－50	X32、Y233	28	22	11.5	円　形	
P－51	X32、Y233	38	34	64	円　形	K－1のP－13。
P－52	X32、Y233・234	26	22	23.5	円　形	
P－53	X32、Y233	36	34	20	円　形	
P－54	X32、Y234	50	50	42	円　形	K－1のP－6。

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
P－55	X31、Y234	46	38	43	円　形	K－1のP－5。
P－56	X31、Y234	34	29	24	円　形	
P－57	X31、Y234	24	22	16	円　形	石1。
P－58	X31、Y234	42	14	18.5	不整形	
P－59	X31・32、Y233	30	26	39	円　形	土師器1片。
P－60	X31・32、Y233	40	34	17	円　形	
P－61	X31、Y234	[47]	43	49	円　形	K－1のP－4。
P－62	X31、Y234	40	36	27	円　形	
P－63	X31、Y234	64	36	19	不整形	
P－64	X31、Y234	40	36	43	円　形	K－1のP－3。
P－65	X31、Y234	37	35	18	円　形	
P－66	X31、Y233・234	38	32	56	円　形	K－1のP－2。
P－67	X31、Y234	29	23	37	円　形	
P－68	X31、Y233	39	35	36.5	円　形	
P－69	X31、Y233	40	39	52	円　形	K－1のP－1。
P－70	X31、Y233	29	28	8	円　形	
P－71	X31、Y233	38	37	47	円　形	K－1のP－14。
P－72	X32、Y234	[42]	33	32	円　形	
P－73	X32、Y234	[40]	28	35	円　形	
P－74	X36、Y238・239	65	64	30	円　形	
P－75	X36、Y239	68	66	27	円　形	
P－76	X36、Y241	42	40	34	円　形	
P－77	X36、Y242	52	50	27	円　形	
P－78	X35・36、Y241	30	27	17.5	円　形	
P－79	X35・36、Y241・242	72	39	43	楕円形	
P－80	X34、Y238	46	44	32	円　形	
P－81	X34、Y238	37	35	38	円　形	
P－82	X33、Y239	33	32	23.5	円　形	
P－83	X32、Y239	44	40	37	円　形	
P－84	X33、Y239	25	23	19.5	円　形	
P－85	X33、Y239	21	21	10	円　形	
P－86	X33、Y240	36	30	17	円　形	
P－87	X32、Y241	50	46	46.5	円　形	
I－1	X38、Y218・219	100	90	(154.5)	円　形	土師器25片、須恵器2片。

Tab. 4　出土遺物観察表

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	H－3－1 床直	坏 土師器	① [13.0] ② 3.2	①中粒②良好 ③にぶい褐色④3/4	口縁部：外傾、横撫で。指圧痕有。底部：浅い丸底で中央部平底、外面篦削り。内面撫で。	
2	H－3－2 床直	坏 須恵器	① 12.6 ② 3.6	①中粒②良好 ③灰色④ほぼ完形	轆轤整形。体部：外傾で口縁部に至る。轆轤撫で。底部：篦起こし。内面轆轤痕有。	
3	H－3－3 床直	臼　玉	①直径 1.2　②最大厚 0.8 ③重さ 2.0　④石材　滑石		側面は平らな作り。	丁寧な作り
4	H－5－1 埋土	椀 須恵器	① [13.6] ② (3.7)	①白色粒を含む②良好③褐灰色④1/5	轆轤整形。体部：外傾で剣先形の口縁部に至る。轆轤撫で。底部：欠損。	丁寧な作り
5	H－6－1 床直	坏 須恵器	① [11.4] ② 3.5	①砂粒②良好 ③灰白色④1/4	轆轤整形。体部：外傾で口縁部に至る。轆轤撫で。底部：平底、回転糸切り、周辺部調整。	
6	H－6－2 床直	椀 須恵器	① (11.5) ② 4.0	①中粒②良好 ③灰オリーブ色④2/3	轆轤整形。体部：外傾で剣先形の口縁部に至る。轆轤撫で。底部：回転糸切り無調整。付高台。内面轆轤痕有。	
7	H－7－1 竈内、床直	長胴甕 土師器	① [19.6] ② (23.6)	①中粒②良好 ③赤橙色④1/4	口縁部：短く外反、横撫で。頸部の明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみ有、外面縦篦削り。内面撫で。底部：欠損。	
8	H－7－2 床直	坏 土師器	① 11.6 ② 4.4	①細粒②良好 ③明赤褐色④完形	口縁部：直立、端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
9	H－7－3 竈内、床直	坏 土師器	① 13.8 ② 4.8	①砂粒混入②良好 ③黒褐色④ほぼ完形	口縁部：外傾、端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	黒色処理
10	H－8－1 埋土	長胴甕 土師器	① [19.6] ② (7.3)	①中粒②良好 ③明赤褐色④1/8	口縁部：外傾、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面上位縦篦削り、中・下位欠損。底部：欠損。	
11	H－8－2 床直	坏 土師器	① (13.4) ② 4.5	①白色砂粒混入②良好③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。外面中位に凸の調整痕有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	外開き2段
12	H－8－3 床直	坏 土師器	① [1.4] ② 4.7	①細粒②良好 ③灰白色④1/4	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
13	H－8－4 埋土	坏 土師器	① [14.0] ② 4.4	①白色細粒混入②良好③暗褐色④1/2	口縁部：直立から端部内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底で中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	
14	H－9－1 床直	壺 土師器	① [17.4] ② (7.5)	①白色黒色砂粒混入②良好③橙色④1/8	口縁部：外反、端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。胴部：外面上位横篦削り。中・下位欠損。内面撫で。輪積み痕有。底部：欠損。	
15	H－9－2 埋土	坏 土師器	① [11.4] ② 3.2	①細粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：外傾から端部外反。横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底で中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	
16	H－11－1 床直	坏 土師器	① 12.0 ② 4.1	①細砂混入②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
17	H－11－2 床直	坏 土師器	① (14.0) ② 4.4	①白色砂粒混入②やや軟質③褐色④1/2	口縁部：外傾、外面中位に凸の調整痕が巡る横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
18	H－12－1 床直	坏 土師器	① (12.6) ② 4.5	①中粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	底部煤付着
19	H－13－1 床直	長胴甕 土師器	① 18.0 ② 36.6	①白色砂粒混入②良③橙色④ほぼ完形	口縁部：外反、横撫で。頸部にくびれ有。胴部：上位器最大径、外面縦、下位斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：平底。	
20	H－13－2 床直	長胴甕 土師器	① 22.6 ② 39.0	①中粒②良好 ③にぶい褐色④4/5	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持つ、外面篦削り。内面撫で。底部：平底。	
21	H－13－3 床直	壺 土師器	① (12.8) ② 11.8	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/2	口縁部：内傾からやや直立、横撫で。胴部：外面斜め篦磨き。内面撫で、篦撫で痕有。底部：浅い丸底と推測、ほぼ欠損。	
22	H－13－4 床直	高　坏 土師器	① (15.5) ② (18.0)	①白色砂粒混入②良好③橙色④1/2	坏部：欠損。脚部：篦磨き。裾部篦撫で。内面横篦撫で、坏部との接合部分に篦押さえ痕有。	脚部内面煤付着
23	H－13－5 竈内、床直	高　坏 須恵器	① (14.3) ② (20.7)	①中粒②良好 ③灰色④3/4	轆轤整形。坏部：緩やかに彎曲する底部からほぼ直立して体部、口縁部に至る。体部と底部の境に沈線が巡る轆轤撫で。脚部：変形。3方向に一段透かし有。	
24	H－13－6 床直	坏 土師器	① [13.6] ② 3.6	①細粒②良好 ③黄灰色④1/5	口縁部：外傾、外面中位に凸の調整痕が巡る横撫で。底部：平底気味、外面篦削り。内面撫で。	黒色処理
25	H－14－1 竈内、床直	長胴甕 土師器	① [16.8] ② (24.3)	①細粒②良好 ③橙色④1/4	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位器最大径、外面縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：欠損。	
26	H－14－2 床直	坏 土師器	① 13.3 ② 3.8	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、横撫で。端部やや肥厚する。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
27	H－14－3 床直	土　玉	①最大径1.5 ①最大厚1.8	①細粒②良好 ③明黄褐色④完形	表面を指で撫でており、指紋有。	
28	H－14－4 床直	臼　玉	①直径 1.3　②最大厚 0.7 ③重さ 2.9　④石材　滑石		側面が平らな作り。	雑な作り
29	H－14－5 床直	臼　玉	①直径 1.4　②最大厚 1.0 ③重さ 2.9　④石材　滑石		側面が平らな作り。	
30	H－14－6 床直	臼　玉	①直径 1.3　②最大厚 1.1 ③重さ 1.6　④石材　滑石		側面が平らな作り。	雑な作り

番号	遺構番号／層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
31	H－15－1 床直	壺 土師器	① [15.6] ② (10.8)	①中粒②良好 ③にぶい橙色④1/8	口縁部：直立から外傾、横撫で。胴部：外面上位横・斜め篦削り。中位・下位欠損。底部：欠損	
32	H－17－1 埋土	坏 須恵器	① [12.0] ② 4.0	①細粒②良好 ③灰白色④1/4強	轆轤整形。体部：外傾からやや内彎して口縁部に至る。轆轤撫で。底部：回転糸切り無調整。	深い形態
33	H－17－2 埋土	刀　子 鉄製品	①最大長 5.9　②最大幅 1.8 ③最大厚 0.6　④重さ 17.2		刀子の先のみの残存。	
34	H－18－1 埋土	坏 土師器	① [14.6] ② 3.7	①中粒②良好③にぶい橙色④1/4強	口縁部：外傾から直立気味、横撫で。底部：丸底で中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。放射状と螺旋状の篦磨き。	暗文有
35	H－18－2 埋土	坏 土師器	① [12.0] ② 2.9	①中粒②良好③にぶい赤褐色④1/4強	口縁部：短く外傾、横撫で。底部：丸底で中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	底部煤付着
36	H－19－1 床直	長胴甕 土師器	① (23.0) ② (33.6)	①中粒②良好 ③にぶい褐色④2/3	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持ち、外面縦・横篦削り。内面撫で、輪積み痕有。底部：欠損。	
37	H－20－1 床直	長胴甕 土師器	① [22.2] ② (5.2)	①中粒②良好 ③橙色④1/4	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面上位斜め篦削り。中・下位欠損。内面撫で。底部：欠損。	
38	H－23－1 竈内、埋土	長胴甕 土師器	① [23.0] ② (11.1)	①細粒②良好 ③明黄褐色④1/3弱	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面縦篦削り。中・下位欠損。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：欠損。	
39	H－23－2 埋土	坏 土師器	① [11.8] ② 4.0	①中粒②良好 ③灰黄褐色④1/4	口縁部：外傾から端部外反、横撫で。底部：平底気味の浅い丸底、篦削り。	
40	H－24－1 埋土	坏 土師器	① [12.6] ② (3.9)	①細粒②良好 ③橙色④1/5	口縁部：二段気味の外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：ほぼ欠損、浅い丸底と推定、外面篦削り。内面撫で。	
41	H－25－1 竈内、床直	長胴甕 土師器	① (19.3) ② (14.4)	①細粒②良好 ③明赤褐色④4/5	口縁部：短く外反、横撫で。頸部の明確なくびれ無。胴部：ふくらみが無く細身。上・中位縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。下位欠損。底部：欠損。	
42	H－25－2 竈内、床直	長胴甕 土師器	① 21.0 ② (28.8)	①中粒②良好 ③明赤褐色④4/5	口縁部：外反、横撫で。頸部にくびれ有。胴部：中位にややふくらみを持ち、上・中位縦篦削り、下位横篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：欠損。	
43	H－27－1 竈内、埋土	甕 土師器	① 16.2 ② (22.7)	①中粒②良好 ③明褐灰色④3/4	口縁部：短く、直立気味に外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面上・中位斜め篦削り、下位横篦削り。内面斜め篦撫で。底部：欠損。	厚い器肉がっしりした作り
44	H－27－2 埋土	坏 土師器	① [12.4] ② (4.0)	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④1/3	口縁部：外傾、端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。交換点に稜有。外開き二段気味。底部：浅い丸底、篦削り。内面撫で。	
45	H－27－3 床直	蓋 須恵器	① (11.2) ② 3.7	①細粒②良好 ③灰黄色④2/3	轆轤整形。口縁部：直立気味の外傾、端部内側に一筋の調整痕が巡る轆轤撫で。交換点に弱い稜有。天井部：丸底で中央部平底気味、篦押さえ。変形。	
46	H－28－1 埋土	長胴甕 土師器	① 22.6 ② 6.0	①中粒②良好 ③にぶい赤橙色④4/5	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持つ。外面上・中位斜め、下位縦篦削り。内面撫で。底部：平底、篦削り。	
47	H－28－2 竈内、床直	長胴甕 土師器	① 20.6 ② (21.3)	①中粒②良好 ③橙色④1/2	口縁部：外反、横撫で。頸部に輪積み痕有。明確なくびれ無。胴部：外面上位縦篦削り。下位欠損。内面撫で。底部：欠損。	
48	H－28－3 床直	長胴甕 土師器	① (20.2) ② 36.4	①中粒②良好 ③明黄褐色④1/3	口縁部：外反、端部返し有。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面縦篦削り。内面撫で。底部：平底、篦削り。	
49	H－28－4 床直	甑 土師器	① 18.5 ② 7.7	①中粒②良好 ③淡黄色④完形	口縁部：横撫で。体部：緩やかな彎曲から外傾で口縁部に至る。外面縦篦撫で。内面横撫で、穿孔付近篦調整有。底部：篦削り。	鉢型 煤付着
50	H－28－5 床直	高　坏 土師器	① 12.5 ② 7.7	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	坏部：やや外傾、端部短く内彎する口縁部。交換点に弱い稜有。底から脚部にかけて縦篦削り。脚部：横撫で、指圧痕有。	簡易な台
51	H－28－6 床直	高　坏 土師器	① － ② 13.6	①中粒②良好 ③黄橙色④3/4	坏部：欠損。脚部：外傾、外面縦篦磨き。内面篦撫で。裾部外反、横撫で。	
52	H－28－7 床直	器　台 土師器	① 13.8 ② 5.9	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	上部：体部から直線的に外傾。口縁部横撫で。底から脚部にかけて縦篦削り。指圧痕有。脚部：短く外反、横撫で。	
53	H－28－8 床直	直口壺 土師器	① [9.4] ② 10.3	①細粒②良好 ③褐色④4/5	口縁部：直立気味に立ち上がり、横撫で。体部：外面上半横篦磨き、下半篦磨き。内面横撫で、部分的に横篦磨き、底部篦調整。	
54	H－28－9 床直	坏 土師器	① 12.8 ② 4.7	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
55	H－28－10 埋土	坏 土師器	① [11.7] ② 5.2	①細粒②良好 ③黒色④3/4	口縁部：短く内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
56	H－29－1 埋土	坏 土師器	① (12.7) ② 2.9	①細粒②良好③明赤褐色④ほぼ完形	外面に「山井」の墨書有。口縁部：やや外傾、横撫で。底部：浅い平底気味の丸底、外面篦削り。内面撫で。	墨書土器
57	H－30－1 埋土	鉢 土師器	① [17.6] ② 6.3	①中粒②良好 ③明赤褐色④1/2	口縁部：外反、横撫で。交換点に稜有。底部：深い丸底、外面篦磨き。内面撫で、篦磨き。	坏形
58	H－30－2 埋土	坏 土師器	① 12.9 ③ 5.3	①中粒②良好 ③黄橙色④完形	口縁部：外傾、横撫で。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫	
59	H－30－3 埋土	坏 土師器	① [14.0] ② 3.8	①細粒②良好 ③灰褐色④1/3	口縁部：外傾、横撫で。底部：浅い平底気味の丸底、外面篦削り。指圧痕有。底部上位内彎して口縁部に続く。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
60	H－31－1 床直	高　坏 土師器	①　－ ②（12.8）	①中粒②良好 ③にぶい褐色④1/2	坏部：欠損。脚部：縦篦削り後、外面篦磨き。内面篦撫で。裾部横撫で。端部外面に沈線有。	
61	H－31－2 埋土	坏 土師器	①［13.8］ ②（ 4.6）	①中粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/5	口縁部：外反、横撫で。交換点に稜有。底部：ほぼ欠損、丸底と推定、篦削り。	
62	H－31－3 埋土	坏 土師器	①［12.4］ ②（ 4.0）	①細粒②良好 ③明赤褐色④1/3	口縁部：短く内傾、横撫で。交換点に稜有。底部：平底気味の丸底、篦削り。内面撫で。	
63	H－32－1 埋土	長胴甕 土師器	①（18.3） ②（31.5）	①中粒②良好 ③灰白色④4/5	口縁部：短く外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位器最大径、外面上位縦、中・下位斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：ほぼ欠損、平底と推定。	口縁部、胴部煤付着
64	H－32－2 竈内、床直	長胴甕 土師器	①（18.4） ②（14.5）	①細・中粒②良好 ③明黄褐色④2/3	口縁部：短く外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位にややふくらみを持ち、外面上位縦篦削り、内面撫で、斜め篦撫で痕有。中・下位欠損。底部：欠損。	所々に煤付着
65	H－32－3 床直	長胴甕 土師器	①（21.0） ②　38.9	①中粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：短く外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位にややふくらみを持ち、外面上・中位縦、下位斜め篦削り。内面撫で。底部：丸底。	
66	H－32－4 床直	直口壺 土師器	①［11.4］ ②　16.3	①細粒②良好 ③橙色④2/3	口縁部：内傾から外反、横撫で。変形。体部：外面上半縦、下半横篦削り。内面撫で。	底部煤付着
67	H－32－5 床直	台付甕 土師器	①（14.0） ②（19.3）	①中粒②良好 ③橙色④4/5	甕部：口縁部外傾、横撫で。体部横・斜め篦削り。底部から脚部にかけて縦篦削り。脚部内面：篦撫で。つなぎ目篦調整。裾部欠損。	
68	H－32－6 床直	坏 土師器	①（13.0） ②　4.0	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、篦削り。	
69	H－32－7 床直	坏 土師器	①［13.0］ ②　4.6	①細粒②良好 ③赤灰色④1/2	口縁部：外傾、外面中位に凸の調整痕が巡る横撫で。端部内側に一筋の調整痕が巡る。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、弧状篦痕有。	黒色処理
70	H－32－8 床直	坏 土師器	①［13.0］ ②　4.2	①細粒②良好 ③赤灰色④1/2	口縁部：外傾、外面中位に弱い凸が巡る横撫で。端部内側に一筋の調整痕が巡る。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
71	H－32－9 床直	坏 土師器	①（11.4） ②　4.7	①中粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：短くほぼ直立、横撫で。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
72	H－33－1 D－1	大　甕 土師器	①（21.0） ②（34.8）	①細粒②良好 ③明赤褐色④3/4	口縁部：外反、横撫で。指押さえ痕有。胴部：斜め篦削り後、上・中位篦撫で、下位篦磨き。内面：縦・横撫で。底部：平底、外面篦削り。	
73	H－33－2 床直	器　台 土師器	①（12.3） ②　5.4	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	上部：口縁部端部内側に一筋の調整痕が巡る横撫で。底部から脚部にかけて縦篦削り、一部篦押さえ痕有。台部：横撫で。内面篦削り。	
74	H－33－3 D－1	坏 土師器	①（13.0） ②　4.8	①細粒②良好 ③明褐色④ほぼ完形	口縁部：外傾、外面中央部に凸が巡る横撫で。交換点に二重の稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	内黒処理
75	H－33－4 床直	坏 土師器	①［12.7］ ②　4.5	①細粒②良好 ③黄橙色④1/2	口縁部：外反、横撫で。底部：浅い丸底、篦磨き。内面篦磨き。	内黒処理
76	H－35－1 床直	長胴甕 土師器	①（20.0） ②（13.2）	①中粒②良好 ③にぶい赤橙色④1/8	口縁部：外反、横撫で。部分的に胴部からの縦篦削り痕有。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位の一部残存、外面縦篦削り、内面横篦撫で。	
77	H－35－2 埋土	坏 土師器	①（11.1） ②　3.8	①中粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾、横撫で。底部：丸底、外面篦削り。	口縁部、底部煤付着
78	H－35－3 床直	坏 土師器	①［11.4］ ②　4.0	①中粒②良好③にぶい橙色④1/4強	口縁部：外反、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。	
79	H－35－4 埋土	臼　玉	①直径 1.5　②最大厚 0.7 ③重さ 1.8　③石材　滑石		側面は平らな作り。	雑な作り
80	H－41－1 埋土	坏 土師器	①［12.4］ ②（ 3.2）	①細粒②良好 ③赤褐色④1/4	口縁部：外傾から端部直立気味、横撫で。底部：平底気味、外面上位指圧痕有、下位篦削り。	
81	H－41－2 床直	坏 須恵器	①（12.0） ②　3.8	①中粒②良好 ③灰黄色④7/8	轆轤整形。口縁部：外傾、轆轤撫で。底部：回転糸切り、篦調整。わずかに上げ底。	変形
82	H－42－1 竈内、床直	長胴甕 土師器	①（20.5） ②　38.2	①中粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：外反、頸部に深い溝状の撫でが巡る横撫で、明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持ち、外面斜め篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：平底。	
83	H－42－2 竈内、床直	長胴甕 土師器	①（20.5） ②　31.2	①中粒②良好 ③橙色④7/8	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持ち、外面縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：平底。	
84	H－42－3 埋土	甕 土師器	①（22.2） ②　30.4	①粗粒②良好 ③浅黄橙色④4/5	口縁部：外傾から外反、横撫で。頸部に明確なくびれ有。胴部：中位器最大径、外面上位縦篦削り、中・下位篦削り、篦磨き少々。内面撫で、篦撫で痕有。底部：平底。	胴部煤付着
85	H－42－4 埋土	壺 土師器	①（23.8） ②（34.7）	①中粒②良好 ③にぶい橙色④4/5	口縁部：外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り後、全体に篦磨き。内面撫で、篦撫で痕有。底部：ほぼ欠損、小さい平底と推定。	部分的に煤付着
86	H－42－5 埋土	坏 土師器	①（12.6） ②　4.7	①中粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
87	H－42－6 埋土	坏 土師器	①（12.6） ②　4.2	①中粒②不良 ③にぶい褐色④4/5	口縁部：短く直立気味、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、わずかに篦磨き痕有。	黒色処理

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
88	H－45－1 床直	壺 土師器	① [12.8] ② (19.4)	①中粒②不良 ③にぶい赤褐色④2/3	口縁部：外反、ほとんど欠損。胴部：外面上・中位縦篦削り、下位横・斜め篦削り。内面：撫で。底部：平底。	
89	H－45－2 床直	壺 土師器	① － ② (13.4)	①細粒②良好 ③橙色④2/3	口縁部：端部欠損、内傾から外反と推定する。体部：上位に最もふくらみを持ち、横篦削り。中・下位縦・斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：突出底、ほぼ欠損。	
90	H－45－3 床直	鉢 土師器	① [20.2] ② 10.8	①細粒②良好 ③にぶい褐色④1/2	口縁部：外傾、横撫で。外面に輪積みの跡有。交換点に弱い稜有。体部：深い丸底、上位横、中・下位斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。	内黒処理
91	H－45－4 床直	高　坏 須恵器	① 11.2 ② (5.5)	①細粒②良好 ③灰褐色④1/2	轆轤整形。坏部：短く内傾、轆轤撫で。体部：刻みがあり、 える。轆轤撫で。脚部：ほぼ欠損、3方向に透かしの跡有。	
92	H－45－5 床直	坏 土師器	① (11.4) ② (4.7)	①細粒②良好 ③淡黄色④1/2	口縁部：直立して立ち上がり端部やや外傾、横撫で。底部：丸底、篦削り。	底部煤付着
93	H－47－1 埋土	台付甕 土師器	① 13.7 ② 19.5	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④3/5	甕部：短く外反、横撫での口縁部。上位器最大径を持ち、外面斜め篦削り、内面撫で。台部：外面縦篦削りから裾部横撫で。内面横篦撫で、甕部との接合点に篦押さえ痕有。	
94	H－47－2 床直	坏 土師器	① (12.5) ② 5.3	①細粒②良好 ③浅黄橙色④4/5	口縁部：やや外傾、横撫で。底部：丸底、外面篦削り、一部煤付着。内面篦磨き、篦押さえ痕有。	内黒処理
95	H－47－3 床直	坏 土師器	① (12.2) ② 3.4	①細粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：外傾、撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	
96	H－47－4 埋土	坏 土師器	① (12.2) ② 4.2	①細粒②良好 ③橙色④1/2	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	
97	H－48－1 床直	長胴甕 土師器	① (20.5) ② 36.8	①粗粒②良好 ③にぶい赤色④4/5	口縁部：短く外反、頸部外面に一本の溝状の撫での調整痕が巡る横撫で。胴部上部まで撫でが続く。頸部に明確なくびれ無。胴部：ふくらみが弱く直線的、外面上・中位縦篦削り、下位斜め篦削り。内面撫で、上半に篦撫で痕有。底部：平底、篦削り。	
98	H－48－2 床直	長胴甕 土師器	① (19.0) ② 35.1	①中粒②良好 ③にぶい橙色④5/6	口縁部：短く外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：細身で直線的、外面縦篦削り。内面撫で、横篦削り痕有。輪積み痕有。底部：小さい平底。	
99	H－48－3 床直	甕 土師器	① － ② (24.1)	①中粒②良好 ③赤褐色④4/5	口縁部：一部残存。短く外反と推定、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位胴部最大径、外面全体に縦篦磨き、上半に輪積み痕有。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：篦削り。	胴部煤付着
100	H－48－4 床直	甕 土師器	① (19.0) ② 31.6	①中粒②良好③にぶい褐色④1/2弱	口縁部：外反気味、横撫で。胴部：中位器最大径、外面斜め篦削り。内面撫で、篦撫で。底部：平底、篦削り痕有。	
101	H－48－5 床直	坏 土師器	① (11.7) ② 4.2	①中粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：やや内傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	底部煤付
102	H－48－6 床直	坏 土師器	① [10.6] ② 4.3	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/3	口縁部：外傾、横撫で。底部：丸底、外面篦削り、中央部に煤付着。内面撫で。	
103	H－50－1 埋土	壺 土師器	① (22.0) ② (9.4)	①細粒②良好 ③橙色④1/8	口縁部：直立して外反、横撫で。胴部：頸部と上位に刷毛目有。内面撫で、刷毛目有。中・下位欠損。	
104	H－50－2 埋土	壺 土師器	① [11.2] ② (12.5)	①細粒②良好 ③橙色④1/2弱	口縁部：短く外反、横撫で。体部：中位に最もふくらみを持ち、斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：欠損	
105	H－50－3 埋土	大型坏 土師器	① (15.0) ② (4.3)	①細粒②良好 ③灰褐色④1/2弱	口縁部：内傾から直立、横撫で。底部：丸底で中央部平底気味、篦削り。内面撫で。	黒色処理
106	H－50－4 埋土	坏 土師器	① [12.6] ② 4.2	①細粒②良好 ③にぶい褐色④1/2	口縁部：短くやや外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。輪積みの跡が残る。内面撫で。	黒色処理
107	H－50－5 床直	坏 土師器	① (13.2) ② 4.9	①細粒②良好 ③にぶい橙色④3/4	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。削り痕残る。	
108	H－50－6 埋土	坏 土師器	① (13.2) ② 4.9	①細粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：外傾から端部外反、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
109	H－50－7 埋土	坏 土師器	① 13.6 ② 3.0	①細粒②良好 ③黒褐色④完形	口縁部：短く外傾、横撫で。指圧痕有。底部：平底気味、外面篦削り。内面撫で。	
110	H－50－8 埋土	ﾐﾆﾁｭｱ手び ねり土器	① 8.9 ② 4.7	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：外傾、横撫で、刷毛目有。底部：丸底、外面篦削り、内面上位刷毛目有、中・下位撫で。	
111	H－53－1 床直	坏 土師器	① [11.4] ② (3.7)	①細粒②良好③にぶい黄褐色④1/3弱	口縁部：短くやや内傾から端部外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	
112	H－53－2 D－1	坏 土師器	① [13.0] ② (4.2)	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/4	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、放射状篦磨き有。	
113	H－54－1 埋土	小型甕 土師器	① [17.0] ② 14.8	①中粒②良好 ③淡赤橙色④1/4	口縁部：外反、横撫で。指圧痕有。胴部：上位胴部最大径、外面篦削り。内面撫で。	胴部に煤付着
114	H－56－1 埋土	長胴甕 土師器	① (20.2) ② (19.5)	①粗粒②良好 ③にぶい橙色④1/4	口縁部：短く外反、横撫で。胴部：ふくらみが弱く直線的、外面上半縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。中・下位欠損。	
115	H－56－2 埋土	壺 土師器	① 18.8 ② (9.0)	①粗粒②良好 ③橙色④1/5	口縁部：外反、横撫で。頸部にはっきりとした篦削り跡有。胴部：ほぼ欠損。外面上半縦篦削り。内面撫で。	
116	H－56－3 埋土	台付甕 土師器	① 12.8 ② 18.4	①粗粒②良好③にぶい橙色④ほぼ完形	甕部：胴部中位器最大径、外面縦篦削り。短く外傾、横撫での口縁部。台部：断面が高さの短い台形、裾部が広がる。外面甕部との接合部分から縦篦削り、指圧痕有。裾部は横撫で。内面篦撫で。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
117	H－56－4 埋土	直口壺 土師器	①（13.4） ②　15.3	①細粒②良好 ③浅黄橙色④1/2	器肉厚くがっしりした作り。口縁部：直立、横撫で。体部：中位に器最大径、外面斜め篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。	体部に煤付着
118	H－56－5 埋土	小　壺 土師器	①（7.8） ②　8.2	①細粒②良好 ③淡赤橙色④4/5	口縁部：内傾、横撫で。体部：上位器最大径、丸底、外面篦削り。内面撫で。	
119	H－56－6 埋土	高　坏 土師器	①（16.5） ②（15.0）	①中粒②良好 ③橙色④3/5	坏部：底部から緩やかに外反気味に開き外面横撫での体部と口縁部、底部と脚部の接合部分は篦削り。内面撫で。脚部：断面は縦長の台形で裾部欠損、外面縦篦削り。内面横篦撫で。	
120	H－56－7 埋土	高　坏 土師器	①　－ ②（12.7）	①中粒②良好 ③橙色④1/2	坏部：欠損。脚部：断面が縦長の台形。外面縦篦削り後、篦磨き。内面横篦撫で。裾部横撫で。	
121	H－56－8 埋土	坏 土師器	①　12.4 ②　4.3	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	黒色処理
122	H－56－9 埋土	坏 土師器	①（12.3） ②　4.2	①細粒②良好 ③灰褐色④4/5	口縁部：短く直立からやや外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	黒色処理
123	H－56－10 埋土	坏 土師器	①（11.2） ②　4.9	①細粒②良好 ③橙色④1/2	口縁部：内傾から直立、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	底部に煤付着
124	H－56－11 埋土	坏 土師器	①　12.9 ②　4.7	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外反、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
125	H－56－12 床直	坏 土師器	①（13.2） ②　3.7	①細粒②良好 ③灰褐色④7/8	口縁部：強く外反、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：平底気味、外面篦削り、内面撫で。	
126	H－57－1 竈内、埋土	長胴甕 土師器	①（19.7） ②　38.7	①中粒②良好 ③にぶい橙色④3/4	口縁部：短く外反、横撫で。指圧痕有。胴部：ふくらみが無く直線的、外面斜め篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有、輪積み痕有。底部：平底、篦削り。	
127	H－57－2 埋土	壺 土師器	①［19.8］ ②（28.7）	①細粒②良好③にぶい赤褐色④3/5	口縁部：頸部やや直立から外反、横撫で。頸部指圧痕有。胴部：上位器最大径、外面縦篦削り、上位に一部横篦削りが巡る。内面撫で、輪積み痕有。底部：欠損。	厚い器肉がっしした作り
128	H－57－3 埋土	壺 土師器	①　16.0 ②　28.4	①細粒②良好③にぶい橙色④ほぼ完形	口縁部：頸部直立気味から外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り後撫で、一部篦磨き。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：平底。	厚い器肉がっしした作り
129	H－57－4 埋土	壺 土師器	①（17.4） ②（23.0）	①中粒②不良 ③橙色④1/2	口縁部：やや内傾し外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面横篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有、輪積み痕有。底部欠損。	
130	H－57－5 埋土	高　坏 土師器	①［13.4］ ②　6.1	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/2	坏部：やや外傾、横撫での口縁部。交換点に稜有。底部外面篦削り後部分的に篦磨き。内面篦磨き。脚部との接合部分に撫で、輪積み痕有。脚部：ほぼ欠損。	内黒処理
131	H－57－6 埋土	坏 土師器	①　11.5 ②　3.5	①細粒②良好 ③にぶい橙色④完形	口縁部：外傾、横撫で。底部：平底、外面篦削り、内面撫で。底部から口縁部に立ち上がるところの撫での下に指押さえと思われるへこみが何カ所か有。	
132	H－58－1 埋土	長胴甕 土師器	①　21.5 ②　40.6	①中粒②不良 ③にぶい橙色④2/3	口縁部：短く外反、外面中位に沈線が巡る横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位胴部最大径、外面上半縦・下半斜め篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。輪積み痕有。底部：小さい平底。	
133	H－58－2 床直	長胴甕 土師器	①（20.8） ②　38.4	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：短く外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：ふくらみが弱く直線的、外面縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部：平底。	
134	H－58－3 埋土	甑 土師器	①　17.6 ②　13.7	①細粒②良好 ③にぶい橙色④完形	口縁部：器最大径、外傾、横撫で。体部：外面縦篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有。底部中央にきれいに調整された穿孔有。	鉢型
135	H－58－4 埋土	坏 土師器	①［12.3］ ②　7.8	①細粒②不良 ③浅黄橙色④7/8	口縁部：長く直立から端部外反、横撫で。変形。底部：深い丸底、外面篦削り、一部煤付着有。内面撫で、篦撫で痕有。	二段に見える口縁
136	H－58－5 床直	坏 土師器	①［11.8］ ②　4.3	①細粒②良好③暗赤褐色④ほぼ完形	口縁部：短くやや内傾、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	
137	H－58－6 床直	坏 土師器	①［13.2］ ②　4.2	①細粒②良好 ③にぶい橙色④4/5	口縁部：短くやや外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	
138	H－58－7 床直	坏 土師器	①［12.8］ ②　4.7	①中粒②不良 ③にぶい褐色④1/2	口縁部：短く直立から横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
139	H－58－8 埋土	坏 土師器	①［12.6］ ②　3.9	①細粒②良好③にぶい橙色④1/2弱	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	
140	H－58－9 竈内、埋土	坏 土師器	①　12.2 ②　4.1	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：外傾から端部外反、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
141	H－59－1 竈内、床直	高　坏 土師器	①　15.2 ②　18.1	①細粒②良好 ③橙色④1/2	坏部：底部から緩やかに外傾し口縁部に至る。外面上・中位横撫で、下位から脚部にかけて縦篦削り。内面撫で。脚部：長い直線的な脚部から裾部が長く伸びる。内面篦撫で、接合部分篦押さえ痕有。裾部横撫で。	
142	H－59－2 床直	高　坏 須恵器	①（14.0） ②（6.1）	①細粒②良好 ③灰色④1/2	轆轤整形。坏部：体部から口縁部外傾、轆轤撫で。底部切り離し後、櫛状工具による掻目調整。脚部との整合部分に撫で跡有。脚部：ほぼ欠損。3方向に透かし有と推定される。	
143	H－59－3 埋土	坏 土師器	①　12.8 ②　4.6	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/3	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底で中央部平底気味、外面篦削り。内面撫で。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
144	H－59－4 床直	紡錘車 石製品	①上径　2.3　②下径 4.1 ③最大厚 1.9　④孔径 0.6		断面台形状。上・下径ともに平坦面、側面に加工痕有。 石質は結晶片岩。	
145	H－60－1 床直	壺 土師器	①（10.6） ②　15.8	①細粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：直立から外傾、横撫で。体部・底部：中位器最大径、外面横篦撫で。内面撫で。丸底。	底部に煤付着
146	H－60－2 床直	小　壺 土師器	①　8.2 ②　7.8	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：やや外傾、直立気味、横位撫で。ゆがみ有。体部・底部：中位器最大径、外面横篦削り。内面撫で。丸底。	
147	H－60－3 床直	坏 土師器	①　11.9 ②　3.6	①細粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：外傾、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	
148	H－60－4 床直	坏 土師器	①（11.1） ②　3.3	①細粒②良好 ③橙色④4/5	口縁部：やや外傾、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	
149	H－60－5 床直	坏 土師器	①（10.9） ②　3.1	①細粒②良好 ③橙色④3/5	口縁部：直立気味、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り、内面撫で。	
150	H－60－6 床直	紡錘車 石製品	①上径　3.2 ②下径 4.0 ③最大厚 1.9 ④孔径 0.5		断面台形状。下径面は平坦、上径面はやや凸状、放射状の使用痕有。 側面は滑らかでよく研磨されている。石質は結晶片岩。	
151	H－61－1 埋土	壺 土師器	①［20.2］ ②（13.7）	①細粒②良好 ③橙色④1/10	口縁部：直立から外反、横撫で。頸部に指圧痕有。胴部：上位一部残存、外面篦削り、内面撫で。	薄い器肉
152	H－61－2 床直	椀 須恵器	①（14.6） ②　5.6	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④7/8	轆轤整形。体部：内彎して立ち上がり、口縁部で肥大し外反。轆轤撫で。底部：回転糸切り無調整、付高台（三角高台）。体部との接合部に撫で跡有。	
153	H－61－3 埋土	椀 須恵器	①［15.6］ ②　6.1	①細粒②良好 ③灰白色④1/3	轆轤整形。体部：内彎して立ち上がり、口縁部で小さく外反。轆轤撫で。底部：回転糸切り無調整、付高台。体部との接合部に撫で跡有。	
154	H－62－1 埋土	坏 土師器	①［14.6］ ②（4.8）	①細粒②良好 ③黒褐色④1/5	口縁部：外傾、外面中位に凸の調整痕が巡る横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で、交換点に指圧痕有。	大型
155	H－63－1 床直	坏 土師器	①　10.4 ②　3.2	①細粒②良好 ③赤褐色④ほぼ完形	器肉が厚く重い。口縁部：短く直立、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
156	H－63－2 埋土	坏 土師器	①［11.6］ ②（5.0）	①細粒②良好 ③暗赤灰色④1/3	口縁部：内傾、横撫で。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
157	H－63－3 埋土	坏 土師器	①（12.0） ②　4.6	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④2/3	口縁部：直立から端部やや外反、横撫で。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	底部煤付着
158	C－2－1 埋土	台付甕 土師器	①　－ ②（7.2）	①細粒②良好 ③黒褐色④2/3	甕部：ほぼ欠損。底部のみ残存。刷毛目調整。脚部：刷毛目調整。	
159	C－2－2 床直	器　台 土師器	①　8.4 ②（6.1）	①細粒②不良 ③橙色④2/3	坏部：浅い丸底形、外面口縁部横撫で、体部篦磨き。内面篦磨き、中央部剥離。脚部：下半欠損。上半外面篦磨き、内面篦撫で。円窓3カ所有。	
160	C－3－1 埋土	ミニチュア土器 土師器	①　11.0 ②（10.0）	①細粒②良好 ③にぶい橙色④7/8	口縁部：外傾、横撫で。体部：外面刷毛目整形後、篦削り。内面横刷毛目調整。底部：ほぼ欠損。平底と推定する。	
161	D－7－1 埋土	菊花紋押 印の破片	①　－ ②　－	①細粒②良好 ③明赤褐色④　－	内面に菊の紋様有。中世以降	中世以降
162	D－14－1 埋土	カワラケ 須恵器	①　7.0 ②　2.0	①細粒②良好 ③黒褐色④完形	体部：外傾して口縁部にあたる。底部：回転糸切り無調整。灯明皿として使用していたと考える。	煤付着
163	X－1－1 床直	坏 土師器	①（11.6） ②（5.2）	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④1/5	口縁部：直立、横撫で。交換点に稜有。底部：深い丸底、外面篦削り、内面撫で。	
164	X－1－2 床直	臼　玉 石製品	①直径 1.6　②最大厚 0.7 ③重さ 2.6　④石材 滑石		他の臼玉に比べると大型、側面は平らな作り。	雑な作り
165	X39Y249	菊花紋押 印の破片	①　－ ②　－	①細粒②良好 ③にぶい橙色④　－	内面に菊の紋様有。	中世以降
166	H－61埋土	軒丸瓦	①直径 14.6　②最大厚 2.8		瓦文様は巴紋。	中世以降
167	H－46埋土	古　銭	①銭名 紹聖元宝　②年代 北宋 紹聖元年 ③鋳造年号（西暦）1094　④素材 銅		住居跡埋土として取り上げたが、住居跡とは関係ないと考える。	
168	X41Y225	古　銭	①銭名 永楽通宝　②年代 天正15年頃 ③鋳造年号（西暦）1587　④素材 銅			
169	X42Y239	古　銭	①銭名 元豊通宝　②年代 北宋 元豊元年 ③鋳造年号（西暦）1078　④素材 銅			
170	H－28埋土	削器の破片	①最大長（6.2）②最大幅（3.2）③最大厚（1.0）④重さ15.4　⑤石質 黒色頁岩			
171	H－42埋土	削器	①最大長　8.8　②最大幅　4.2　③最大厚　2.0　④重さ75.0　⑤石質 頁岩			
172	H－42埋土	打斧の破片	①最大長（5.3）②最大幅（4.0）③最大厚（1.3）④重さ26.4　⑤石質 黒色頁岩			熱による変化有
173	H－60埋土	石槍の破片	①最大長（4.5）②最大幅（1.6）③最大厚（0.9）④重さ 6.1　⑤石質 黒色頁岩			
174	X27Y237	打斧の破片	①最大長（8.2）②最大幅（4.0）③最大厚（1.6）④重さ53.5　⑤石質 頁岩			

注）①層位は、「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「埋土」：床面より10cm以上の層位からの検出の2段階に分けた。竈内の検出については「竈内」と記載した。

②口径、器高の単位はcmであり、重さの単位はgである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。

③胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm以下）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名等を記載した。

④焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。

⑤色調は土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Ⅵ 考　　察

現耕作土より約35cmほど下から明黄褐色のローム面が現れる。この部分は土地改良で手が加わっている部分である。一旦表土を剥ぎローム層部分で整地している。従って、遺構は整地下の削り残し部分で確認される。土層や出土遺物から、本遺跡は古墳時代前期から中世の集落跡遺跡であると考えられる。調査の結果、竪穴住居跡56軒、掘立柱建物跡１基、方形周溝墓２基、溝跡１条、土坑19基、柱穴87基、井戸跡１基、周溝状遺構１基が検出された。ここでは主に古墳時代前期、古墳時代後期、奈良・平安時代の３つの時期に分け、考察していきたいと考える。

古墳時代前期

本遺跡は、縄文時代の前期・中期の土器片が数点出土しているものの、縄文時代の遺構は土坑１基(Ｄ－４)だけであった。しかし、本調査の前に行われた五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う試掘調査において、本調査区の道を挟んで北側の調査箇所で縄文時代の遺構と遺物が検出されていることや道路を挟んで東側の五代木福Ⅰ遺跡から縄文時代前期の住居跡が検出されていることから、本調査区の周辺には縄文時代の人々が生活していたことが窺える。今後の調査が待たれるところである。

その後、古代の人々の生活痕が一旦途絶え、再び現れてくるのが古墳時代前期になってからである。遺構としては方形周溝墓２基、竪穴住居跡１軒である。方形周溝墓の周溝より出土した遺物（Tab.５）やAS-C軽石純層ではなくAS-C軽石混土層で埋まった周溝の土層から判断すると、４世紀中頃の遺構と考えられる。また、Ｈ－46は遺物を伴なわず残存状況も悪いが、周溝墓と同時期の住居跡と判断した。その理由は、炉跡を伴う唯一の住居跡であり、平面形状が小さい長方形であること。また、本遺跡から約１km程離れた芳賀東部団地遺跡の石田川期の住居跡のデータによると、この時期の竪穴住居跡は方位別に３つに分類され、南北方向の軸を(1)磁北より５°前後以内で西に振るグループ、(2)東に15°前後振るグループ、(3)東に30°前後振るグループの３つに分類されている。Ｈ－46は(1)のグループの条件と合致することからである。

Tab.５　方形周溝墓からの主な出土遺物

遺構名	主　な　出　土　遺　物
Ｃ－２	石田川期台付甕の台部。(Fig.43) 一部欠損した小型器台。(Fig.43) 高坏の破片。樽系の平底甕の破片。坩の破片。複口縁壺の破片。
Ｃ－３	すべて破片であるため全体を知ることができる資料はない。小さい突出した平底から球形胴に連なる小型壺。深手の丸底椀。赤色塗彩の坩。大きい底から大きく胴部が開く平底甕。篦磨きされた高坏脚。櫛目状工具で表面を整えた赤色の甕。

県史によれば、方形周溝墓には２つの形態があり、方形に巡った周溝の隅を掘り残す形態と一辺の中央のみを掘り残す形態がある。Ｃ－２・３ともに遺構の約50％の検出であり、全体像を確定するまでにはいかないが前者の形態であることは推測することができる。この形態は、弥生時代前期に畿内地方で発生した墓制であり、関東地方には弥生時代中期には伝播していると考えられている。これ以降、古墳時代前期まで掘削形態を変化させながら造られ続けた。よって、前者の形態の方形周溝墓を伴う古墳時代前期の本集落は、弥生時代以来の墓の形態を伝統的に踏襲した集落跡と考えられる。しかし、周辺遺跡や本調査前の確認調査でも弥生時代の生活痕は認められず、古墳時代前期になり石田川式土器を使用する人たちが弥生時代の伝統も携え、この地に集落を形成していったと考えられる。

古墳時代前期の集落配置は想像の域を脱しないが、Ｃ－２・３から北西の方向に墓域がのび、Ｈ－46から南に

集落が広がっていくと考える。この点については、今後の調査により明確になることを期待したい。

古墳時代後期

近くでは、芳賀東部団地遺跡、端気遺跡群などから古墳時代中期の遺構が検出されているが、本遺跡は中期をとばして後期へと進んでいく。この地区の空白の中期の解明については今後の調査に期待したい。

石田川期の住居跡が廃絶した後、古墳時代後期から再びこの台地上に集落が形成されていく。しかも古墳時代前期・奈良平安時代と比較すると住居跡が多くなる。鉄製工具の普及、大陸文化の受容等を背景に生産力を高めるための周辺地域の水田の開発が行われた結果であろう。

遺構としては、6世紀代と考える竪穴住居跡29軒、6世紀から7世紀にかかる竪穴住居跡5軒、7世紀代と考える竪穴住居跡8軒と周溝状遺構1基である。平地式住居跡は検出されなかった。まず、6世紀から7世紀と考える竪穴住居跡と7世紀代と考える竪穴住居跡の軒数は少ないが、竪穴住居跡の形態について比較してみた。(Tab.6) 特徴的なのは、規模において6世紀代は竪穴住居跡ごとの差が大きいということだろう。規模の格差はなにを意味しているのだろうか。県史によれば、階層差を表しているという。残存状況の似ている大小の6世紀代の住居跡を抽出して比較してみた。(Tab.7) その結果、規模の大きい住居跡の方が遺物総数も須恵器の数も多く、器種も豊富であることが分かる。芳賀東部団地遺跡などでは、大型住居跡から掘立柱建物に発展する過程を遺構的にとらえた事例もあるので、竪穴住居跡の規模の大小はある程度階層差を示すものとしてとらえることができよう。

そして、7世紀代に入り、6世紀代と比較すると竪穴住居跡の数が少ないが、その規模に格差がなくなることが分かる。7世紀に入ると中国との政治との関連で日本の政治の構造に大きな変化が表れる。特に、後半における中央集権化のための大化改新による土地・人民の掌握は集落構造においても大きな変化を与えることになった。その顕著な事例が、竪穴住居跡の規模の小型化・均一化の傾向である。国の財政基盤を確たるものにするために、徴税の単位として戸主数を増やすには家族を小規模化し、より多くの税収の道を開く必要があったのであろう。その一方では、有力者が掘立柱建物に住むという状況も竪穴住居の小型化・均一化に影響しているのであろう。

Tab.6　古墳時代後期の竪穴住居跡の形態

世　紀	形　状	規模（㎡）	竈(軒)	全軒数
6世紀代	ほぼ正方形	7.10～61.41	東：19　西：4　北：2	29
6～7世紀	ほぼ正方形	16.18～22.39	東：5	5
7世紀代	ほぼ正方形	9.30～24.61	東：8	8

※数値については現存値は含めないが、推定値は含める。6世紀の西・北竈6軒のうち3軒に付替前の古い東竈有。

Tab.7　6世紀代の竪穴住居跡の規模の格差

グループ	抽出住居跡	壁現高	遺物総数	須恵器	土器の器種	備　考
規模が大きいグループ	H－8	14.0cm	269片	10片	長胴甕、壺、高坏、坏	
	H－28	25.0cm	1,018片	5片	長胴甕、甑、高坏、器台、直口壺、坏	
規模が小さいグループ	H－14	14.5cm	81片	0片	長胴甕、壺、坏	土玉、臼玉
	H－30	17.0cm	77片	2片	鉢、坏	

土器について考察してみると、県史によれば5世紀も終わりになると土器に大きな画期が訪れるという。(1)畿内王権の影響で土師器の形態・作りとも全国的に同じような斉一性の強いものに統一される。(2)大陸の直接的・間接的影響下に成立したとされる須恵器の出現がある。(3)用途に合わせた器に次第に機能分化した。本遺跡について考えてみると、(1)、(2)、(3)ともに当てはまることが分かる。(Tab.4)

奈良・平安時代

奈良時代以降、本遺跡の集落跡は希薄になる。遺構をみてみると、８世紀代と考える竪穴住居跡４軒、８世紀から９世紀と考える竪穴住居跡１軒、９世紀と考える竪穴住居跡６軒、10世紀代と考える住居跡１軒、掘立柱建物跡１基、溝１条、柱穴87基、井戸跡１基である。

Ｂ－１は、切り合いから時期を限定することができず、柱穴の平面形状が小さく丸いことや他との兼ね合いなどから９世紀代ではないかと判断した。この時期、掘立柱建物跡としてまとまったのはＢ－１だけであるが、その周辺には柱穴がたくさん検出されており、Ｂ－１周辺に掘立柱建物跡群があり、ここを中心に竪穴住居跡が広がり、集落を形成していたのではないかと推測する。この時期、本集落が希薄になるのは水田開発の技術も高くなり、今まで開発できなかったような低湿地を開発し水田を広げていったために住居跡もそこに近い低いところへと移動していったことも考えられる。道路を挟んで東側の五代木福Ｉ遺跡でも古墳時代後期の竪穴住居跡約35軒と比較しこの時期は約20軒と集落が希薄になっていくようである。

出土遺物では、Ｈ－29から出土した墨書土器が特筆されるであろう。Ｈ－29は遺物や土層から８世紀末から９世紀初頭の竪穴住居跡と判断した。体部外面に「山井」と書かれていた。芳賀東部団地遺跡Ⅱによると、８世紀前半に墨書土器が出現することは、この時期が律令国家の完成期前後であり、その関係をうかがわせるものであり、８世紀前半には文字を必要とする社会に入ったことを意味すると述べられている。

その後のこの地であるが、本遺跡では中世と考える地下式土坑２基だけの検出であるが、表土から中世の古銭、天目茶碗の破片などが検出されることから、絶えることなく現在まで人々の生活は絶えることなく続いたと考える。

参考文献

前橋市教育委員会	芳賀東部団地遺跡Ⅰ	－古墳～平安時代その１－	１９８４
前橋市教育委員会	芳賀東部団地遺跡Ⅱ	－古墳～平安時代その２－	１９８８
前橋市教育委員会	芳賀東部団地遺跡Ⅲ	－縄文・中近世編－	１９９０
前橋市教育委員会	芳賀西部団地遺跡		１９９１
前橋市教育委員会	芳賀北部団地遺跡Ⅰ	－古墳・奈良・平安時代編－	１９９４
前橋市埋蔵文化財発掘調査団	鳥取福蔵寺遺跡		１９９７
前橋市埋蔵文化財発掘調査団	鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡		１９９８
前橋市埋蔵文化財発掘調査団	芳賀東部団地遺跡		１９９８
群馬県史編さん委員会	群馬県史　通史編１	原始古代１	１９９０
群馬県史編さん委員会	群馬県史　通史編２	原始古代２	１９９１
平川　南	墨書土器の研究　吉川弘文館		２０００

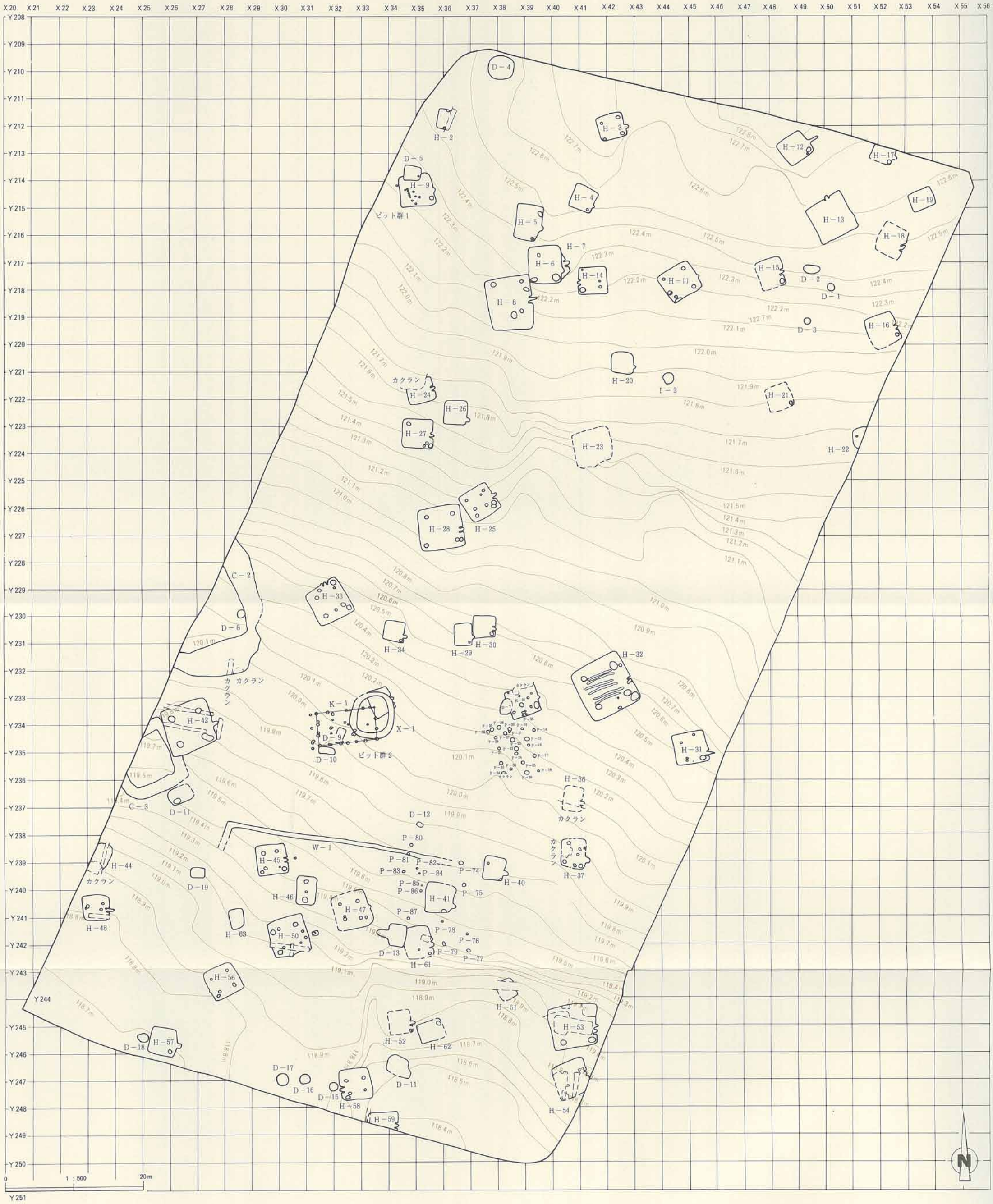
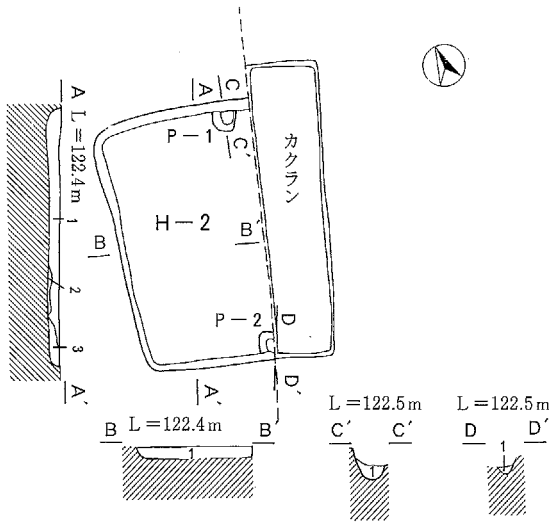

X20 X21 X22 X23 X24 X25 X26 X27 X28 X29 X30 X31 X32 X33 X34 X35 X36 X37 X38 X39 X40 X41 X42 X43 X44 X45 X46 X47 X48 X49 X50 X51 X52 X53 X54 X55 X56
Y208 Y209 Y210 Y211 Y212 Y213 Y214 Y215 Y216 Y217 Y218 Y219 Y220 Y221 Y222 Y223 Y224 Y225 Y226 Y227 Y228 Y229 Y230 Y231 Y232 Y233 Y234 Y235 Y236 Y237 Y238 Y239 Y240 Y241 Y242 Y243 Y244 Y245 Y246 Y247 Y248 Y249 Y250 Y251
D－4
H－2
D－5
H－9
ピット群1
H－3
H－12
H－17
H－4
H－5
H－13
H－19
H－18
H－7
H－6
H－14
H－11
H－15
D－2
D－1
H－8
D－3
H－16
H－20
I－2
H－21
カクラン
H－24
H－26
H－27
H－23
H－22
H－28
H－25
C－2
H－33
D－8
H－34
H－29
H－30
H－32
カクラン
カクラン
H－42
K－1
X－1
D－9
D－10
ピット群2
H－31
H－36
カクラン
C－3
D－11
D－12
W－1
P－80
P－81
P－82
P－83
P－84
P－74
H－40
カクラン
H－37
H－44
カクラン
D－19
H－45
P－85
P－86
P－75
H－46
H－41
H－47
P－87
H－48
H－63
H－50
P－78
P－76
D－13
P－79
P－77
H－61
H－56
H－51
H－53
H－52
H－62
D－18
H－57
D－17
D－16
D－15
H－58
D－11
H－54
H－59
0 1：500 20m
N

Fig. 4　遺跡全体図



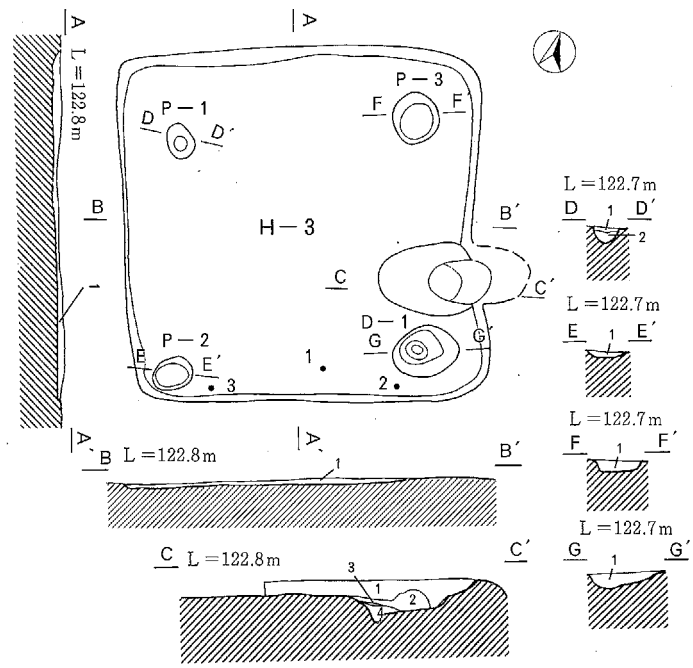
H－2号住居跡　ベルトセクション
1　褐色粗砂層　○×　砂・黄橙色土ブロック含む。
2　暗緑灰粗砂層　△×　炭化物含む。
3　黄橙色細砂層　○○　粘質土に近い。

H－2号住居跡　P－1号柱穴セクション
1　黒色細砂層　○×　黄橙色土ブロック含む。

H－2号住居跡　P－2号柱穴セクション
1　褐色細砂層　○×　堅くしまっている。

H－2号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	正方形	12	[10]	20	
P－2	正方形	[10]	[8]	10	



H－3号住居跡　ベルトセクション
1　褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック含む。

H－3号住居跡　竈セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△△　焼土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
2　褐色細砂層　×○　灰含む。
3　橙色細砂層　△×　焼土
4　暗褐色細砂層　×○

H－3号住居跡　P－1号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○○
1　黄橙色細砂層　○○　黒褐色土含む。

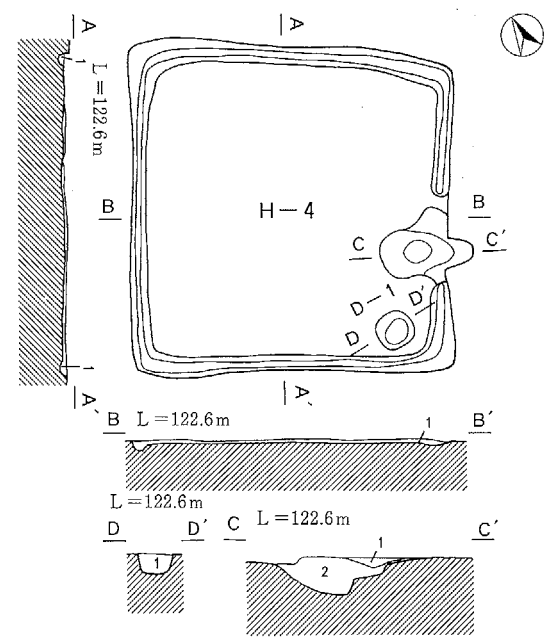
H－3号住居跡　P－2号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○○

H－3号住居跡　P－3号柱穴セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　○○　黄橙色土ブロック含む。

H－3号住居跡　D－1号土坑セクション
1　黒褐色細砂層　○○　焼土粒含む。

H－3号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	40	29	22.5	
P－2	円　形	42	32	8	
P－3	円　形	50	50	15	
D－1	楕円形	70	50	27	貯蔵穴



H－4号住居跡　ベルトセクション
1　褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック含む。

H－4号住居跡　竈セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック含む。
2　灰黄褐色細砂層　○×　焼土少量含む。

H－4号住居跡　D－1号土坑セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。

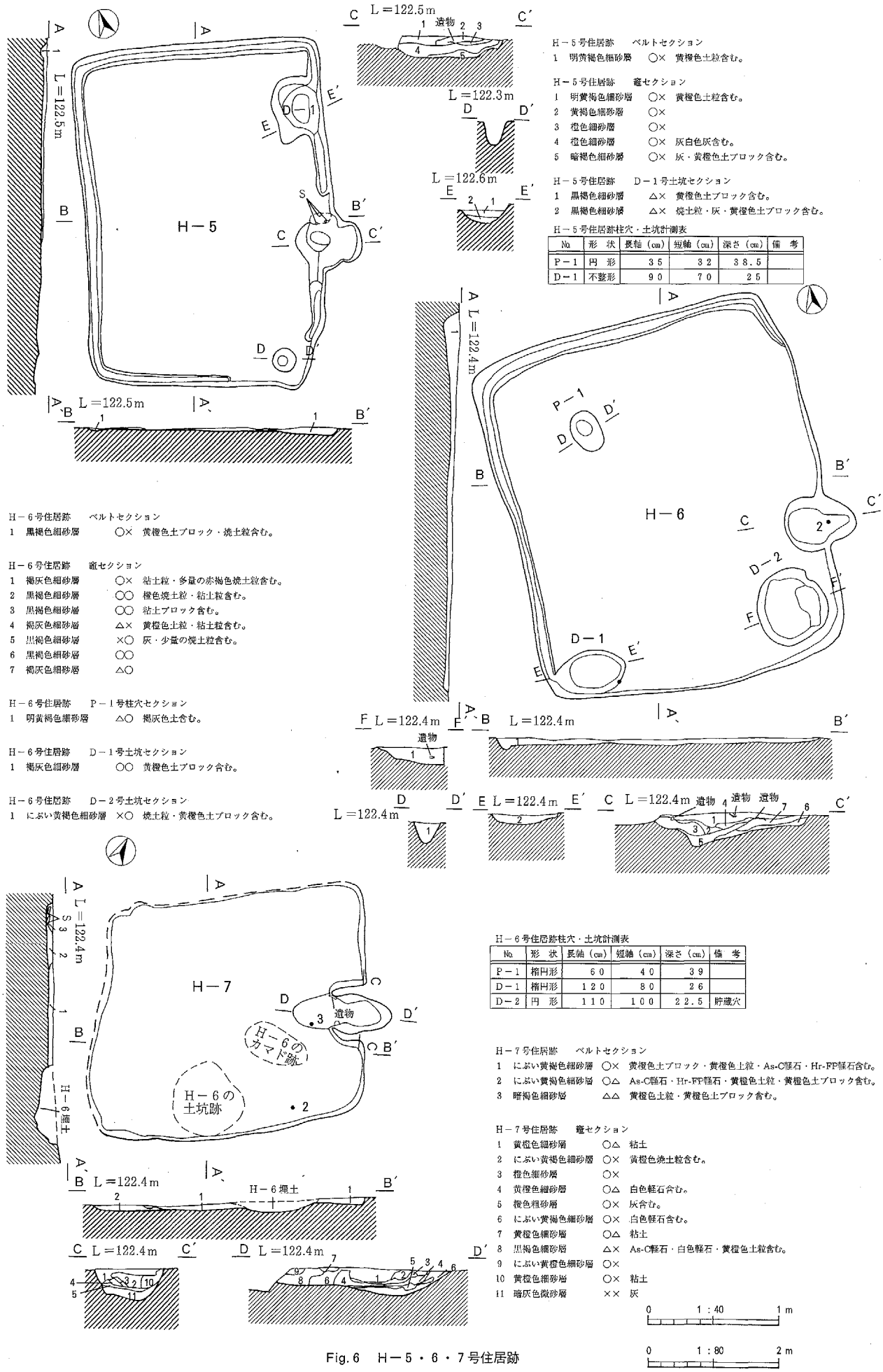
H－4号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	円　形	40	40	20	貯蔵穴

0　1：40　1 m

0　1：80　2 m

Fig. 5　H－2～4号住居跡



H－5号住居跡　ベルトセクション
1　明黄褐色細砂層　○×　黄橙色土粒含む。

H－5号住居跡　竈セクション
1　明黄褐色細砂層　○×　黄橙色土粒含む。
2　黄褐色細砂層　○×
3　橙色細砂層　○×
4　橙色細砂層　○×　灰白色灰含む。
5　暗褐色細砂層　○×　灰・黄橙色土ブロック含む。

H－5号住居跡　D－1号土坑セクション
1　黒褐色細砂層　△×　黄橙色土ブロック含む。
2　黒褐色細砂層　△×　焼土粒・灰・黄橙色土ブロック含む。

H－5号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	35	32	38.5	
D－1	不整形	90	70	25	

H－6号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック・焼土粒含む。

H－6号住居跡　竈セクション
1　褐灰色細砂層　○×　粘土粒・多量の赤褐色焼土粒含む。
2　黒褐色細砂層　○○　橙色焼土粒・粘土粒含む。
3　黒褐色細砂層　○○　粘土ブロック含む。
4　褐灰色細砂層　△×　黄橙色土粒・粘土粒含む。
5　黒褐色細砂層　×○　灰・少量の焼土粒含む。
6　黒褐色細砂層　○○
7　褐灰色細砂層　△○

H－6号住居跡　P－1号柱穴セクション
1　明黄褐色細砂層　△○　褐灰色土含む。

H－6号住居跡　D－1号土坑セクション
1　褐灰色細砂層　○○　黄橙色土ブロック含む。

H－6号住居跡　D－2号土坑セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　×○　焼土粒・黄橙色土ブロック含む。

H－6号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	楕円形	60	40	39	
D－1	楕円形	120	80	26	
D－2	円　形	110	100	22.5	貯蔵穴

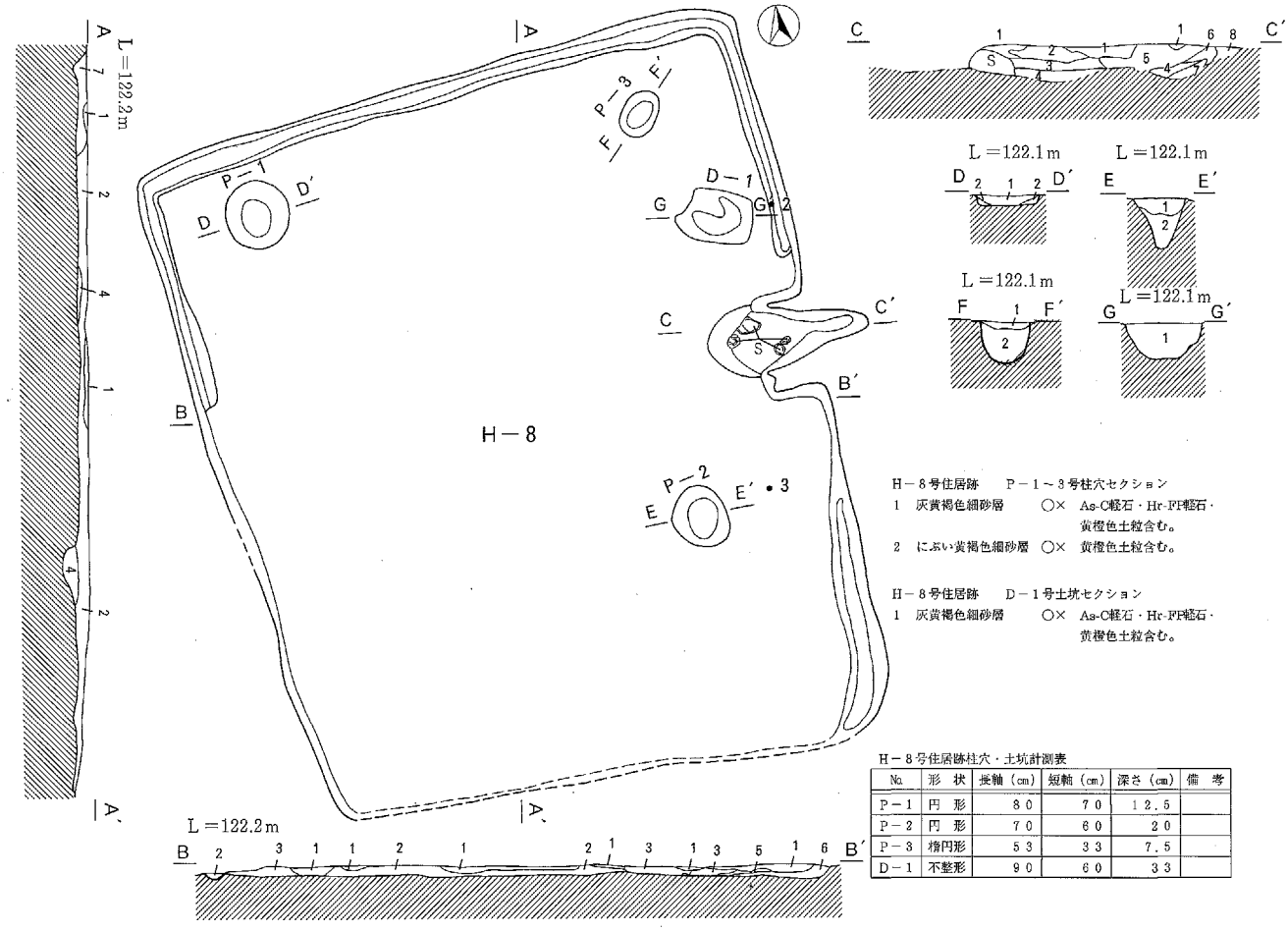
H－7号住居跡　ベルトセクション
1　にぶい黄褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック・黄橙色土粒・As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　○△　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒・黄橙色土ブロック含む。
3　暗褐色細砂層　△△　黄橙色土粒・黄橙色土ブロック含む。

H－7号住居跡　竈セクション
1　黄橙色細砂層　○△　粘土
2　にぶい黄褐色細砂層　○×　黄橙色焼土粒含む。
3　橙色細砂層　○×
4　黄橙色細砂層　○△　白色軽石含む。
5　橙色粗砂層　○×　灰含む。
6　にぶい黄褐色細砂層　○×　白色軽石含む。
7　黄橙色細砂層　○△　粘土
8　黒褐色細砂層　△×　As-C軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
9　にぶい黄橙色細砂層　○×
10　黄橙色細砂層　○×　粘土
11　暗灰色微砂層　××　灰

0　1：40　1 m

0　1：80　2 m

Fig. 6　H－5・6・7号住居跡



H－8号住居跡　P－1～3号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　○×　黄橙色土粒含む。

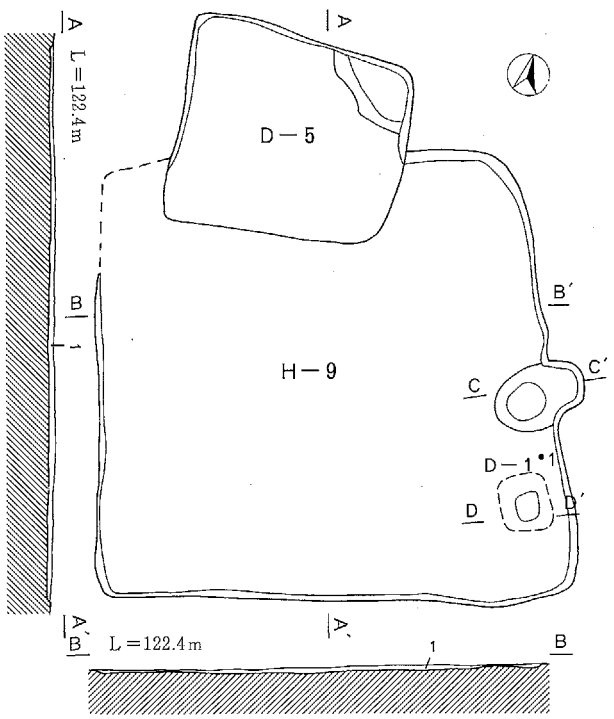
H－8号住居跡　D－1号土坑セクション
1　灰黄褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。

H－8号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	80	70	12.5	
P－2	円　形	70	60	20	
P－3	楕円形	53	33	7.5	
D－1	不整形	90	60	33	

H－8号住居跡　ベルトセクション
1　現耕作土
2　黒褐色細砂層　○△　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
3　暗灰褐色細砂層　○△　黄橙色土粒・焼土粒含む。1層と2層の混じり。
4　にぶい黄褐色細砂砂層　○△　焼土粒含む。
5　にぶい黄褐色細砂砂層　○△　多量の灰含む。
6　明黄褐色細砂層　○△　焼土粒・多量の黄橙色土粒・多量の灰含む。
7　暗褐色細砂層　○△　As-C軽石・Hr-FP軽石 含む。

H－8号住居跡　竈セクション
1　現耕作土
2　にぶい黄橙色細砂層　○×　多量の焼土ブロック含む。
3　灰白色細砂層　○×　灰・多量の焼土ブロック含む。
4　灰白色細砂層　○×　3層より多量の灰・多量の焼土ブロック含む。
5　黄褐色細砂層　○×　多量の焼土ブロック含む。
6　黄褐色細砂層　○○　焼土
7　橙色細砂層　○×　焼土ブロック
8　橙色細砂層　○×　焼土



H－9号住居跡・D－5号土坑　ベルトセクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黄橙色土粒含む。
2　黒褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黄橙色土粒含む。（D－5号土坑埋土）

H－9号住居跡　竈セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　焼土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック・黄橙色どブロック含む。
3　灰黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック含む。
4　黒褐色細砂層　△○　少量の焼土粒含む。
5　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土粒含む。

H－9号住居跡　D－1号土坑セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○
2　暗褐色細砂層　黄橙色土ブロック含む。
3　黄褐色細砂層　△○

H－9号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	正方形	60	53	82	貯蔵穴

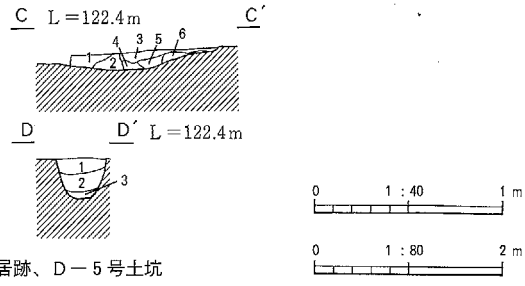
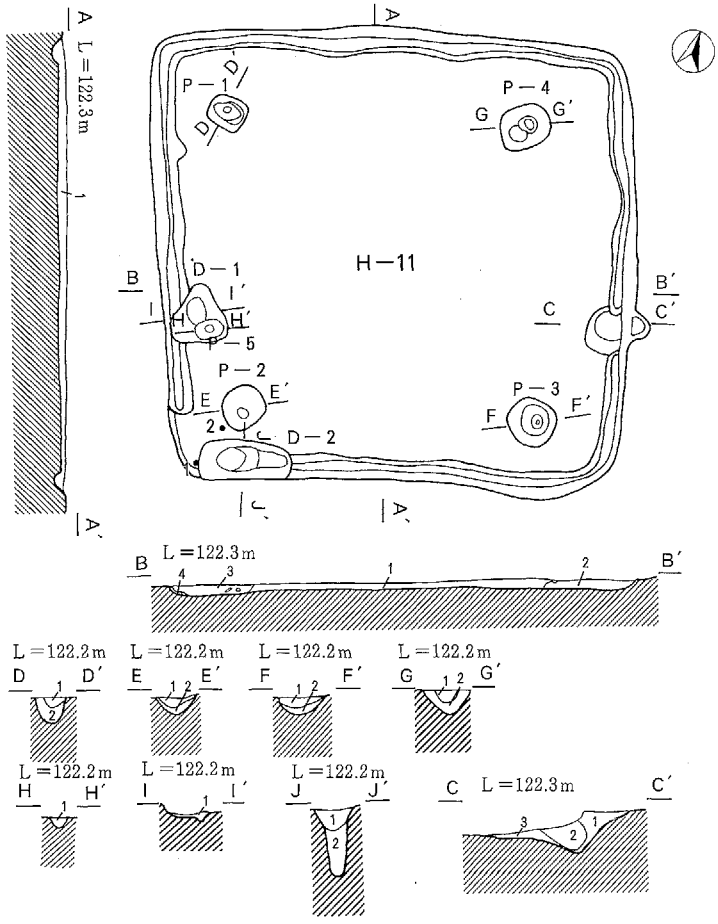


Fig. 7　H－8・9号住居跡、D－5号土坑



H－11号住居跡　ベルトセクション

1　灰黄褐色細砂層　○△　As-C軽石・多量の黄橙色土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂砂層　○×　As-C軽石・多量の黄橙色土粒・焼土粒含む。
3　褐灰色微砂層　○○　粘質土
4　明黄褐色細砂層　△△　褐灰色土含む。

H－11号住居跡　竈セクション

1　灰黄褐色細砂層　○△　黄橙色土粒・焼土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△△　黄橙色土粒・少量の焼土粒・灰含む。
3　灰黄褐細砂層　○△　黄橙色土粒含む。

H－11号住居跡　P－1～4号柱穴セクション

1　灰黄褐色細砂層　×△　黄橙色土粒含む。
2　明黄褐色細砂層　×△　1層との混じり。

H－11号住居跡　P－5号柱穴セクション

1　灰黄褐色細砂層　×△　黄橙色土粒含む。

H－11号住居跡　D－1号土坑セクション

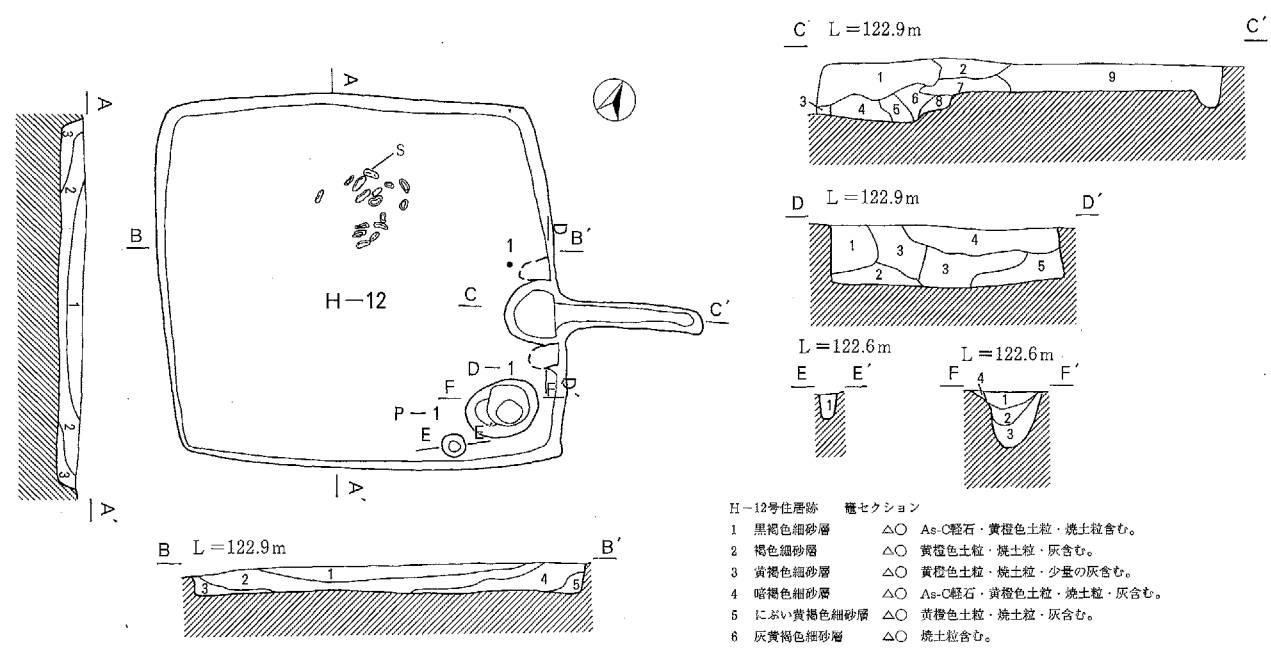
1　にぶい黄褐色細砂層　○×　焼土・灰含む。

H－11号住居跡　D－2号土坑セクション

1　褐灰色細砂層　△×　黄橙色土粒・炭化物含む。
2　褐灰色細砂層　×△　黄橙色土粒含む。

H－11号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	正方形	40	30	37.5	
P－2	円　形	50	48	28	
P－3	円　形	50	50	33	
P－4	正方形	52	48	51.5	
P－5	円　形	30	20	16	
D－1	不整形	70	60	6.5	
D－2	長方形	100	40	21	



H－12号住居跡　ベルトセクション

1　灰黄褐色細砂層　△○　As-C軽石含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック・黄橙色どブロック含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
4　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土ブロック・灰含む。
5　黄褐色細砂層　△○　灰含む。

H－12号住居跡　P－1号柱穴セクション

1　暗褐色細砂層　△○　白色軽石・粘土・黄橙色土粒含む。

H－12号住居跡　D－1号土坑セクション

1　黒褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　黄褐色細砂層　△○
4　灰黄褐色細砂層　△○

H－12号住居跡　竈セクション

1　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒・焼土粒含む。
2　褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・焼土粒・灰含む。
3　黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・焼土粒・少量の灰含む。
4　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒・焼土粒・灰含む。
5　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・焼土粒・灰含む。
6　灰黄褐色細砂層　△○　焼土粒含む。
7　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック含む。
8　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量の焼土粒含む。
9　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土粒・黄橙色土粒含む。
10　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・焼土粒・灰含む。
11　褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・焼土粒含む。
12　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・焼土粒・灰含む。

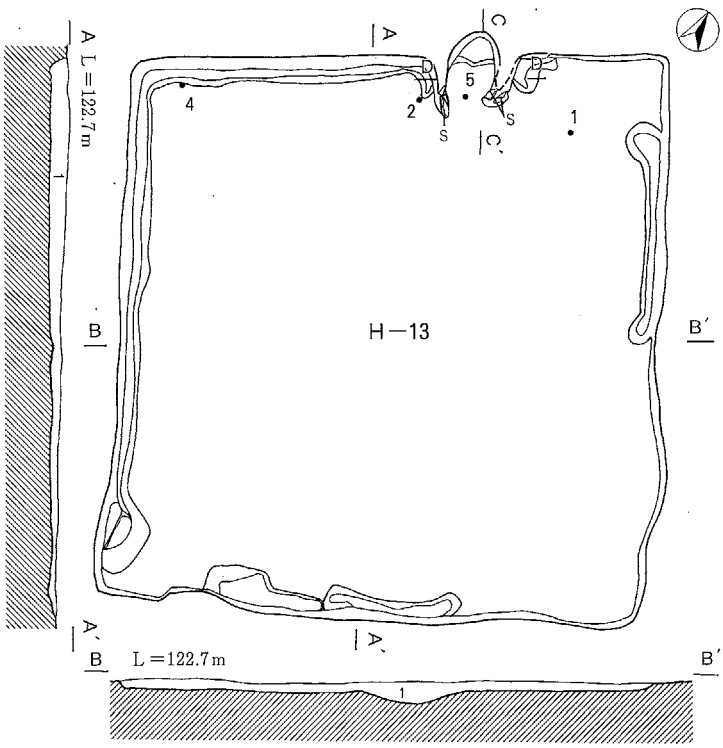
H－12号住居跡柱穴・土坑計測表

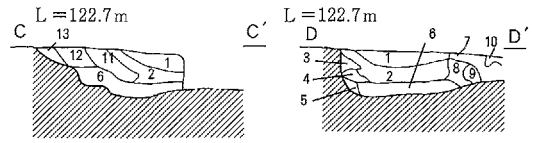
No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	20	20	27	
D－2	円　形	80	60	57.5	貯蔵穴

0　1：40　1m

0　1：80　2m

Fig. 8　H－11・12号住居跡



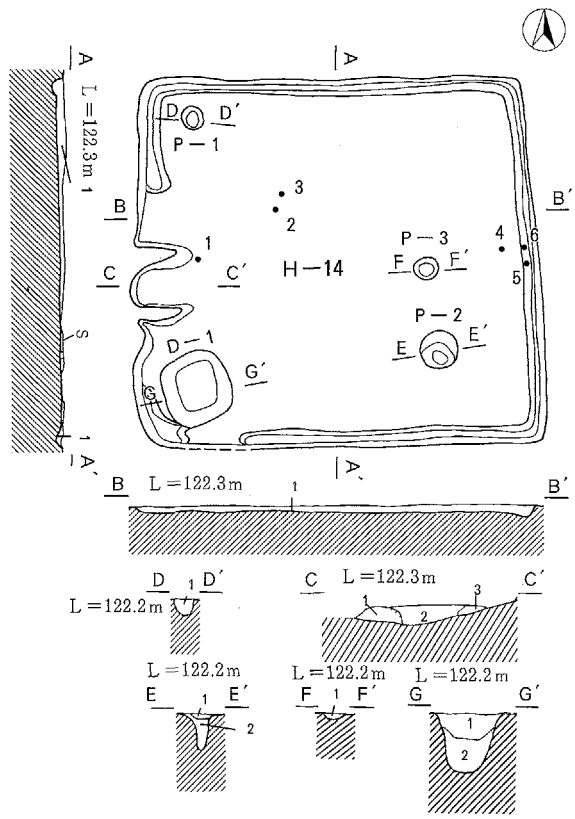


H－13号住居跡　ベルトセクション

1　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・As-C軽石含む。

H－13号住居跡　竈セクション・

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土粒・焼土粒含む。
2　灰褐色細砂層　△○　焼土粒・灰含む。
3　赤褐色細砂層　○×　焼土
4　暗褐色細砂層　△○　焼土粒・灰含む。
5　黄褐色細砂層　△△
6　黒褐色細砂層　△○　焼土粒・灰含む。
7　黒褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土粒・焼土粒含む。
8　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量の焼土・少量の黄橙色土粒含む。
9　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・焼土含む。
10　褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
11　黒褐色細砂層　○○　焼土粒含む。
12　灰褐色細砂層　○×　焼土粒含む。
13　灰褐色細砂層　○×　少量の黄橙色土粒含む。



H－14号住居跡　ベルトセクション

1　褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黒褐色土ブロック含む。

H－14号住居跡　竈セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土粒・灰含む。
2　褐色細砂層　△○　焼土粒・灰・黄橙色土粒含む。
3　褐色細砂層　△○　少量の焼土粒・黄橙色土ブロック含む。

H－14号住居跡　P－1号柱穴セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土粒含む。

H－14号住居跡　P－2号柱穴セクション

1　褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
2　黄褐色細砂層　△○　少量の黄橙色土ブロック含む。

H－14号住居跡　P－3号柱穴セクション

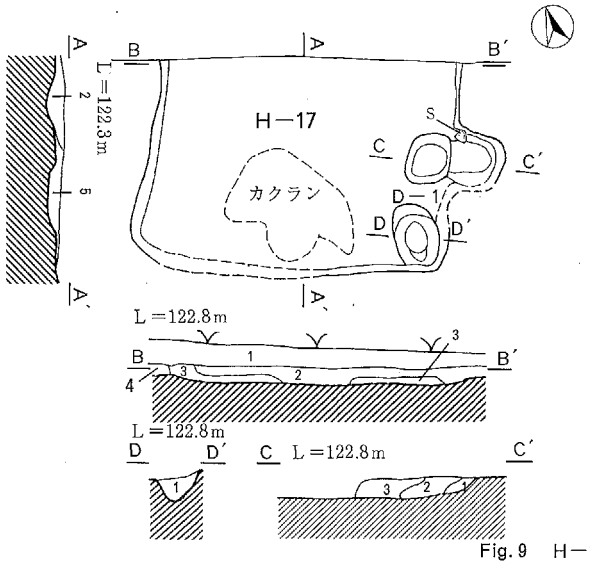
1　黒褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。

H－14号住居跡　D－1号土坑セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
2　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。

H－14号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	22	22	20.5	
P－2	円　形	40	40	35	
P－3	円　形	23	22	7.5	
D－1	正方形	75	60	63	貯蔵穴



H－17号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　にぶい黄褐色細砂層　○×　カクラン（1層と3層の混じり）・ビニール等含む。
3　黒褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
4　黄橙色細砂層　○×　ローム層
5　にぶい黄褐色細砂層　○×　白色軽石・焼土粒・黄橙色土ブロック含む。

H－17号住居跡　竈セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　○△　焼土粒含む。
2　褐色細砂層　××　黄橙色土ブロック含む。
3　暗褐色細砂層　△×　少量の焼土粒含む。

H－17号住居跡　D－1号土坑セクション

1　褐色細砂層　△×　白色軽石・黄橙色土粒含む。

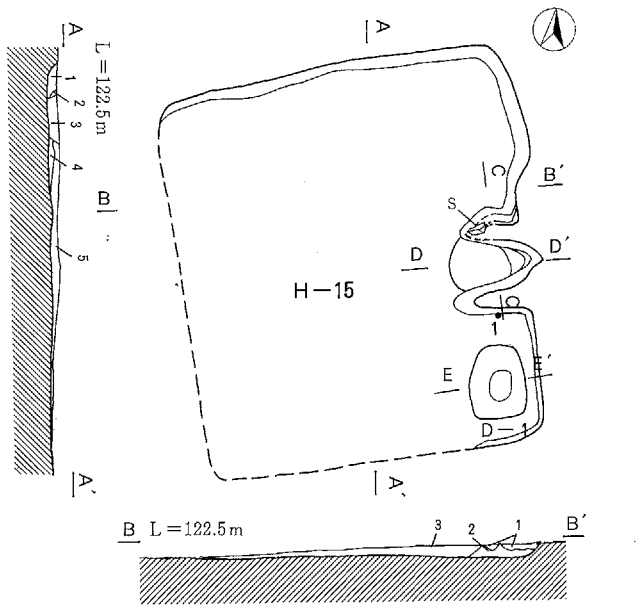
H－17号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	楕円形	60	50	16.5	貯蔵穴

0　1：40　1m

0　1：80　2m

Fig. 9　H－13・14・17号住居跡



H－15号住居跡　ベルトセクション

1　明黄褐色細砂層　△○
2　黒褐色細砂層　△○　白色軽石含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
4　褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
5　黒褐細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土粒・黄橙色土粒含む。
6　暗褐色細砂層　△○　少量の黄橙色土粒含む。
7　褐色細砂層　△○　白色軽石含む。

H－15号住居跡　竈セクション

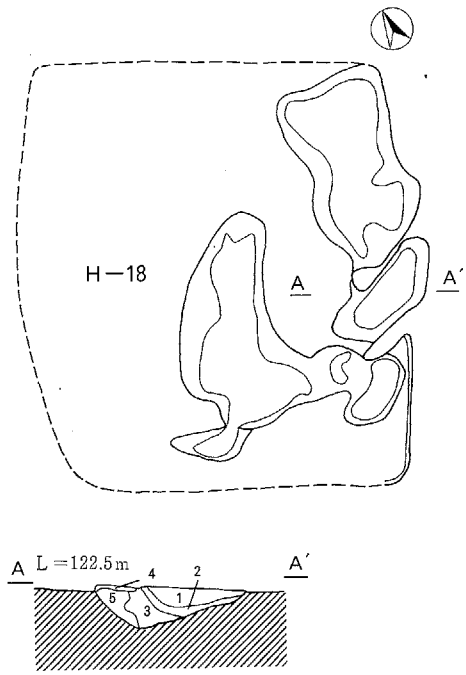
1　褐色細砂層　○○　焼土・黄橙色土粒・少量のAs-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2　褐色細砂層　○○　焼土・粘土ブロック・As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3　褐色細砂層　○○　焼土・As-C軽石・Hr-FP軽石・多量の粘土含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　○○　焼土・粘土粒含む。
5　褐灰色細砂層　○×　灰含む。
6　褐色細砂層　○○　焼土粒・多量のAs-C軽石・Hr-FP軽石含む。
7　にぶい黄褐色細砂層　○○　焼土粒・白色軽石含む。
8　黄褐色細砂層　○×　灰・焼土含む。
9　鈍い黄褐色細砂層　○○　白色軽石含む。
10　明赤褐色細砂層　○×　焼土
11　明黄褐色細砂層　○×　粘土多し。
12　にぶい赤褐色細砂黄　○×　焼土ブロック・灰含む。

H－15号住居跡　D－1号土坑セクション

1　灰黄褐色細砂層　○△　Hr-FP軽石・焼土粒・黄橙色土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　Hr-FP軽石・焼土粒・黄橙色土粒含む。（1層より多量）
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　Hr-FP軽石・白色粘土ブロック・焼土粒含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　△○

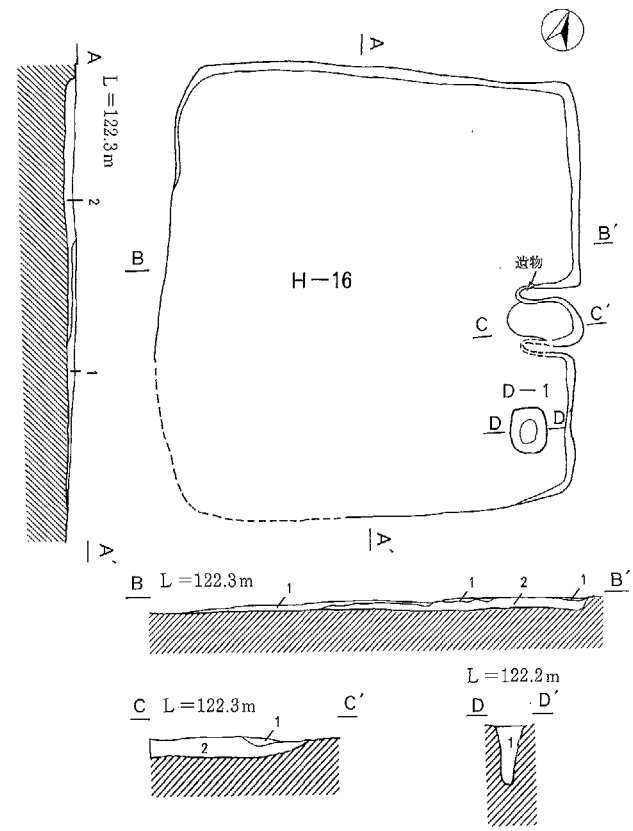
H－15号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	正方形	73	60	72.5	貯蔵穴



H－18号住居跡　竈セクション

1　黒褐色細砂層　○○　黄橙色土粒含む。
2　黒褐色細砂層　○○　焼土含む。
3　褐灰色細砂層　○○　1層より少量の黄橙色土粒含む。
4　黒褐色細砂層　○○　2層より少量の焼土含む。
5　黄橙色細砂雄　○○　ロームに黒色土が混じる。



H－16号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　暗褐色細砂層　○×　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。

H－16号住居跡　竈セクション

1　現耕作土
2　にぶい黄褐色細砂層　○○　粘土ブロック・焼土ブロック・黄橙色土ブロック含む。

H－16号住居跡　D－1号土坑セクション

1　灰黄褐色細砂層　△△　黄橙色土ブロック含む。

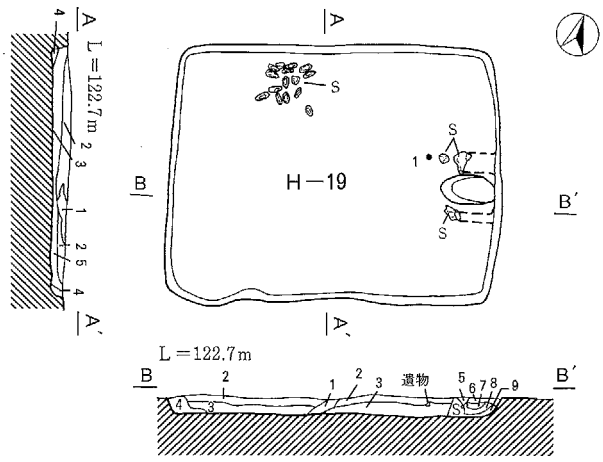
H－16号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	正方形	50	40	73	貯蔵穴

0　1：40　1m

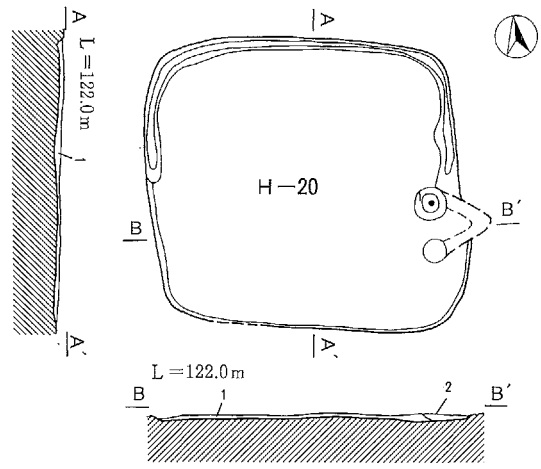
0　1：80　2m

Fig.10　H－15・16・18号住居跡



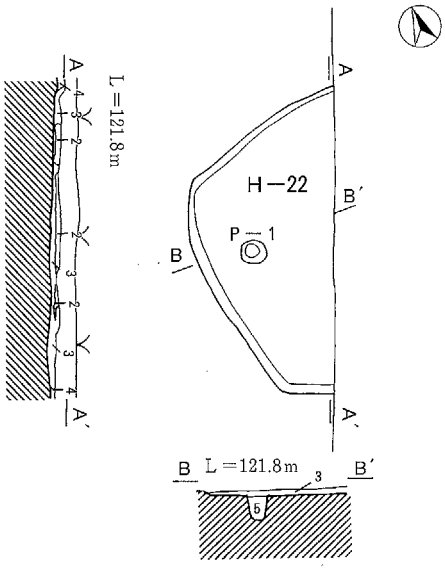
H－19号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　暗褐色細砂層　○×　少量の白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3　黒褐色細砂層　○×　As-C軽石・HrFP軽石・白色軽石・1層より多くの黄橙色土ブロック含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　○△　ローム層混じる。
5　暗褐色細砂層　○×　少量の白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
6　黄橙色細砂層　△×　ローム層と2層の混じり。2層のブロック含む。
7　にぶい黄褐色細砂層　○×　粘土ブロック・焼土粒含む。
8　暗褐色細砂層　○○　粘土ブロック・焼土粒含む。
9　黒褐色細砂層　○△



H－20号住居跡　ベルトセクション

1　にぶい黄褐色細砂層　××　現耕作土が混じる。
2　にぶい黄褐色細砂層　××　焼土粒含む。

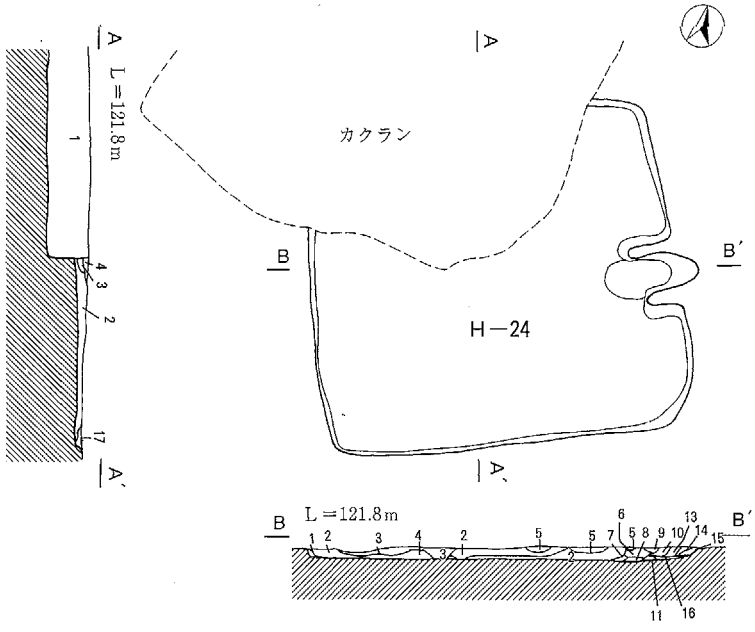


H－22号住居跡　ベルトセクション

1　現耕作土
2　黒褐色細砂層　○×　Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　○×　黄橙色土ブロック含む。
4　黄橙色細砂層　○△　白色軽石含む。
5　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石含む。（P－1の埋土）

H－22号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	30	20	27.5	



H－24号住居跡　ベルトセクション

1　黄褐色細砂層　△○　カクラン
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3　黒褐色細砂層　△○　白い軽石・黄橙色土粒含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
5　暗褐色細砂層　△○　少量の白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
6　灰黄褐細砂層　○○　焼土ブロック含む。
7　灰黄褐細砂層　○○
8　灰黄褐褐色細砂層　△○
9　黒褐色細砂層　△○
10　暗赤褐色細砂層　○△　焼土ブロック含む。
11　にぶい赤褐色細砂層　○△　粘土ブロック含む。
12　にぶい赤褐色細砂層　△△
13　黒褐色細砂層　△△　焼土ブロック含む。
14　黒褐色細砂層　△△　13層より大きな焼土ブロック含む。
15　黒褐色細砂層　△△　灰・黄橙色土粒含む。
16　暗褐色細砂層　△○
17　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

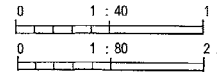
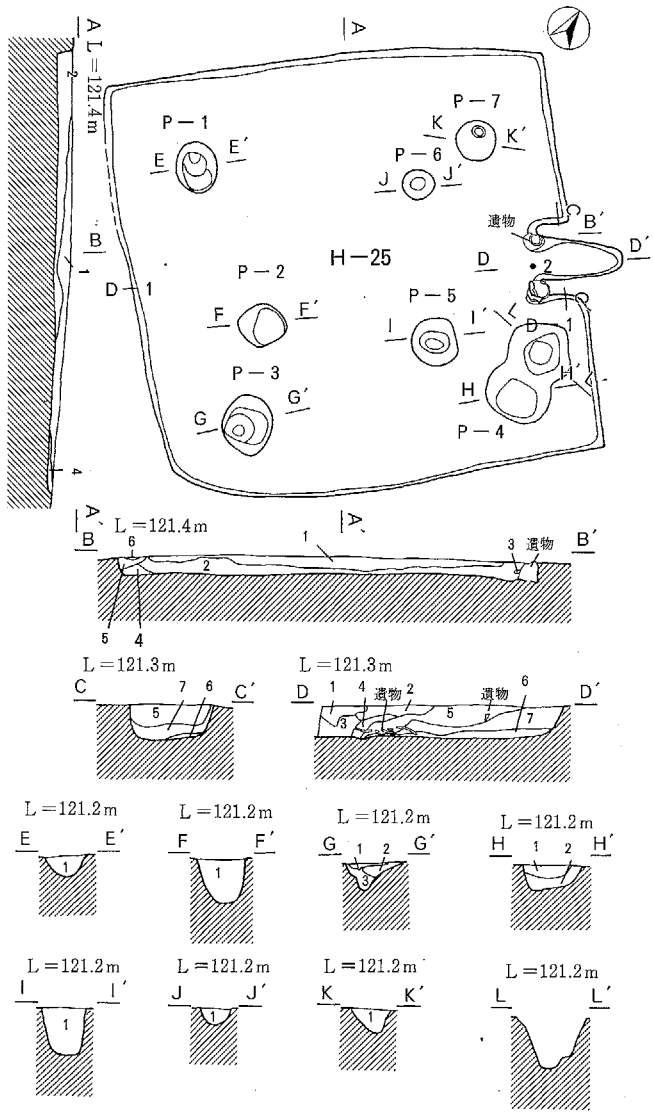


Fig.11　H－19・20・22・24号住居跡



H－25号住居跡　ベルトセクション

1	現耕作土層		
2	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。下部に灰層有。
3	褐灰色シルト層	○○	
4	灰黄褐色細砂層	△○	
5	暗褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	○×	黄橙色土粒含む。

H－25号住居跡　竈セクション

1	灰黄褐色細砂層	○×	黄橙色土ブロック含む。
2	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石・黄橙色土粒・白色粘土粒含む。
3	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
4	灰黄褐色細砂粗	○△	As-C軽石・黄橙色土粒・白色粘土粒含む。
5	にぶい黄橙色シルト層	○○	粘土のくずれたもの含む。
6	暗青灰色微砂層	×△	灰
7	橙色粗砂層	△△	焼土ブロック・焼土粉含む。

H－25号住居跡　P－1号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	×○	黄橙色土ブロック含む。

H－25号住居跡　P－2号柱穴セクション

1	灰黄褐色細砂層	○○	黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。

H－25号住居跡　P－3号柱穴セクション

1	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	△○	白色軽石含む。
3	黒褐色細砂層	△○	白色軽石含む。

H－25号住居跡　P－4号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石含む。
2	褐灰色細砂層	△○	

H－25号住居跡　P－5号柱穴セクション

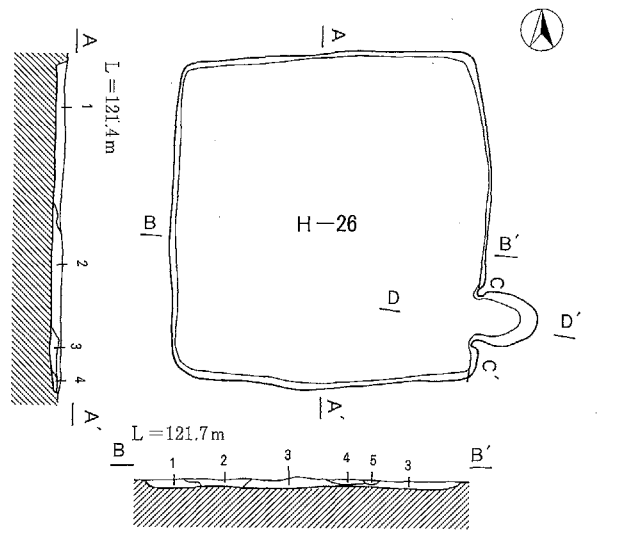
1	褐灰色細砂層	×○	黄橙色土粒・黒色土粒含む。

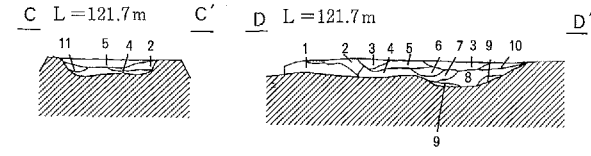
H－25号住居跡　P－6、7号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	×○	黄橙色土ブロック含む。

H－11号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	50	40	24	
P－2	円　形	50	45	48.5	
P－3	円　形	60	55	31	
P－4	円　形	70	[60]	32	
P－5	円　形	50	50	53	
P－6	円　形	40	30	30.5	
P－7	円　形	40	40	44	
D－1	正方形	70	[60]	45	貯蔵穴





H－26号住居跡　ベルトセクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
3	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
4	暗褐色細砂層	△○	
5	にぶい黄褐色細砂層	△○	少量のAs-C軽石・黄橙色土ブロック含む。

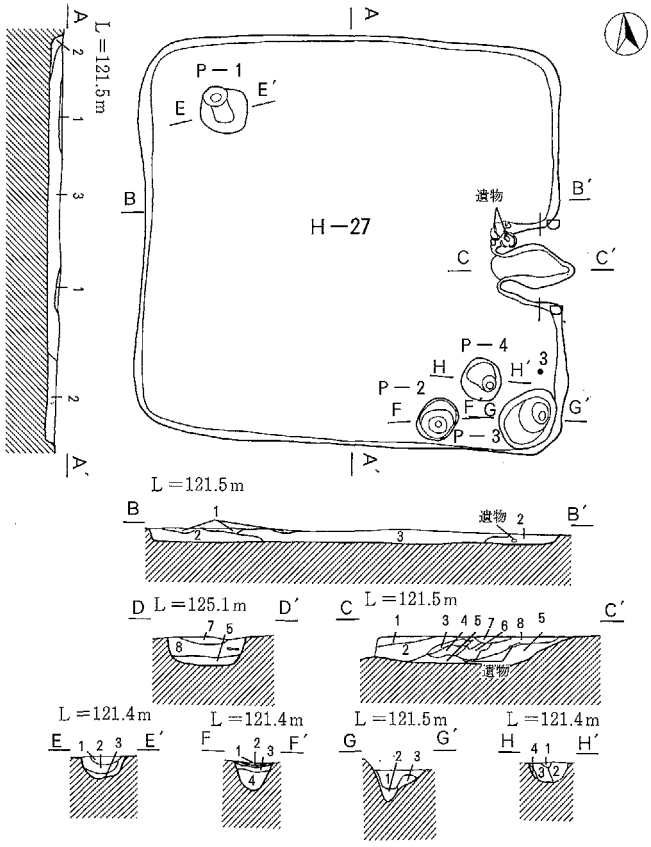
H－26号住居跡　竈セクション

1	灰黄褐色細砂層	△○	
2	灰黄褐細砂層	△○	焼土ブロック含む。
3	黒褐色細砂層	△○	焼土粒・黄橙色土粒含む。
4	暗褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
5	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
6	明赤褐色細砂層	○×	焼土
7	にぶい黄褐色細砂層	○○	焼土粒含む。
8	褐灰色細砂層配	△○	焼土含む。
9	にぶい赤褐色細砂層	○△	
10	黒褐色細砂層	△○	多量の焼土含む。
11	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。

0　1：40　1 m

0　1：80　2 m

Fig.12　H－25・26号住居跡



H－27号住居跡　ベルトセクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
2　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
3　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒・黒色灰含む。

H－27号住居跡　竈セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック・焼土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量の焼土・少量の灰・黄橙色土ブロック含む。
3　褐灰色細砂層　△○　焼土ブロック含む。
4　灰黄褐色細砂層　△○　少量の焼土含む。
5　暗褐色細砂層　△○　焼土ブロック含む。
6　にぶい赤褐色細砂層　△○　灰含む。焼土
7　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
8　にぶい赤褐色細砂層　△○　焼土ブロック・焼土粒含む。

H－27号住居跡　P－1号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　△○　少量のAs-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
3　褐色細砂層　△○

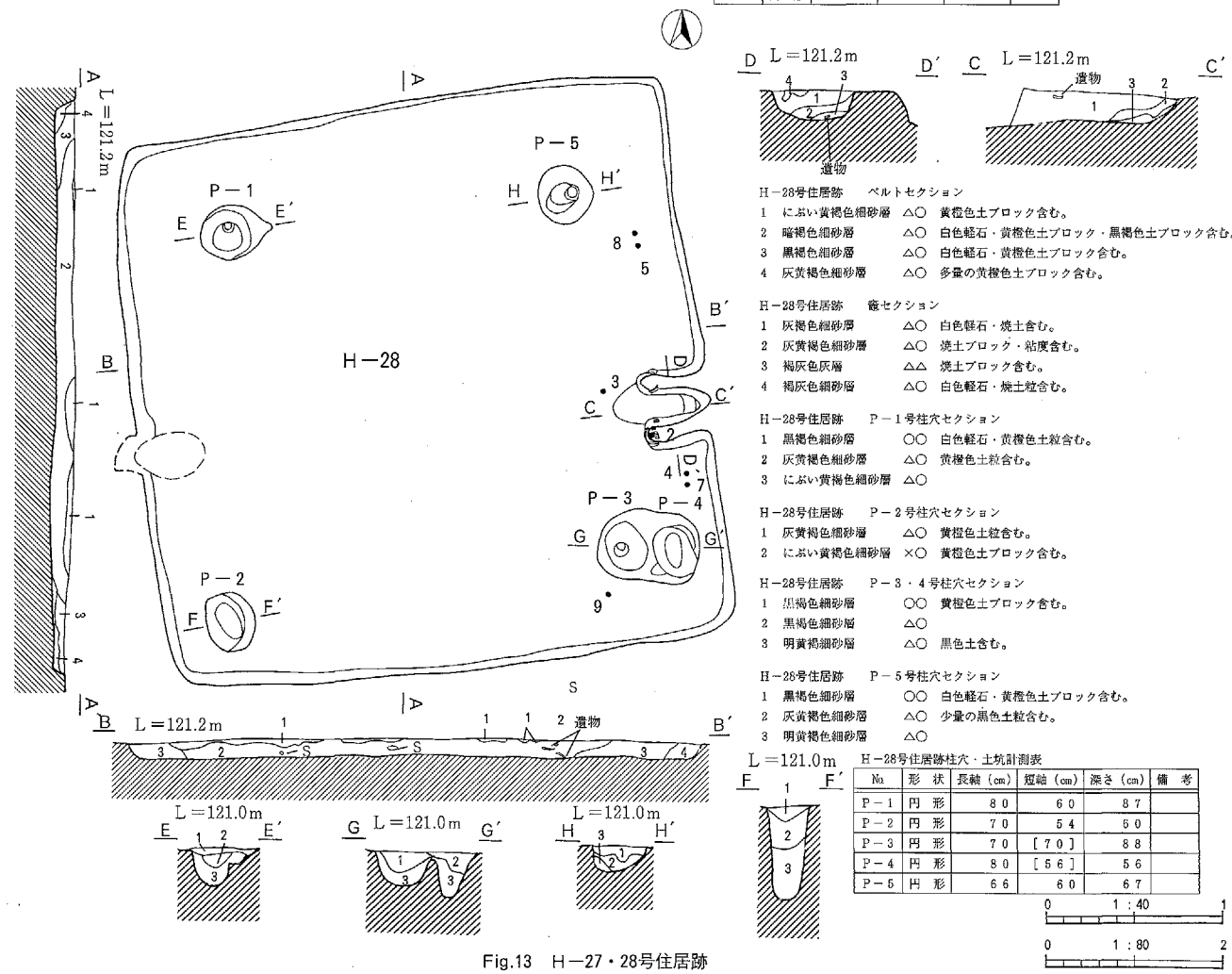
H－27号住居跡　P－2号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○
2　明黄褐色細砂層　○○
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。

H－27号住居跡　P－3号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　暗褐色細砂層　△○
3　明黄褐色細砂層　△○

H－27号住居跡　P－4号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック・黄橙色土粒含む。
4　褐色細砂層　△○

H－27号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	50	48	56	
P－2	円　形	46	40	43	
P－3	楕円形	70	56	75.5	
P－4	円　形	44	40	60.5	



H－28号住居跡　ベルトセクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
2　暗褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック・黒褐色土ブロック含む。
3　黒褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
4　灰黄褐色細砂層　△○　多量の黄橙色土ブロック含む。

H－28号住居跡　竈セクション
1　灰褐色細砂層　△○　白色軽石・焼土含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック・粘度含む。
3　褐灰色灰層　△△　焼土ブロック含む。
4　褐灰色細砂層　△○　白色軽石・焼土粒含む。

H－28号住居跡　P－1号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○○　白色軽石・黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　△○

H－28号住居跡　P－2号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。

H－28号住居跡　P－3・4号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○○　黄橙色土ブロック含む。
2　黒褐色細砂層　△○
3　明黄褐細砂層　△○　黒色土含む。

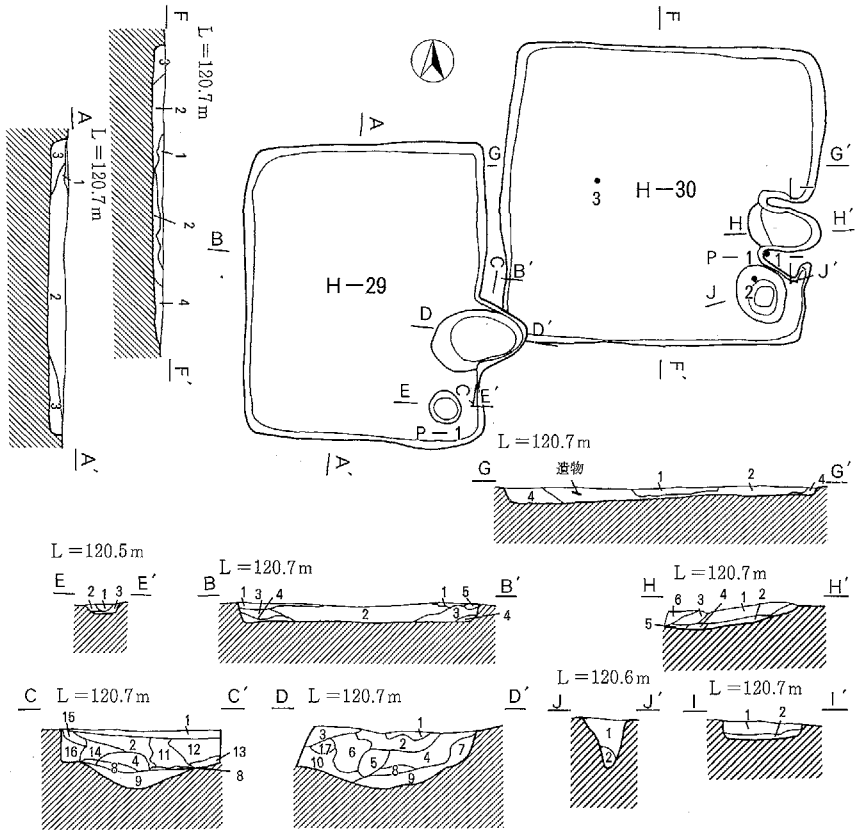
H－28号住居跡　P－5号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　少量の黒色土粒含む。
3　明黄褐色細砂層　△○

H－28号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	80	60	87	
P－2	円　形	70	54	50	
P－3	円　形	70	[70]	88	
P－4	円　形	80	[56]	56	
P－5	円　形	66	60	67	

0　1：40　1m
0　1：80　2m

Fig.13　H－27・28号住居跡



H－29号住居跡　ベルトセクション

1	褐灰色細砂層	○×	現耕作土
2	暗褐色細砂層	○×	Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3	黒褐色細砂層	○○	明黄褐色土ブロック含む。
4	暗褐色細砂層	○○	明黄褐色土ブロック含む。
5	黄橙色細砂層	○×	上からのっている。

H－29号住居跡　竈セクション

1	褐灰色細砂層	○×	現耕作土
2	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・明黄褐色土ブロック含む。
3	褐灰色細砂層	○×	As-C軽石・白色軽石・明黄褐色土ブロック含む。
4	角褐色細砂層	○○	焼土粒・明黄褐色土粒含む。
5	黄橙色細砂層	○○	黒褐色土・焼土粒含む。
6	褐灰色細砂層	○○	白色軽石・多量の黄橙色土粒含む。
7	黒褐色細砂層	○○	赤褐色焼土粒含む。
8	にぶい黄褐色細砂層	○○	赤褐色ブロック・灰含む。
9	暗青灰色微砂層	○×	灰
10	黒褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
11	褐灰色細砂層	○○	白色軽石・焼土粒・多量の黄橙色土粒含む。
12	明黄褐色シルト層	○○	白色軽石含む。
13	褐灰色細砂層	△○	白色軽石・多量の黄橙色土粒含む。
14	黒褐色細砂層	○○	白色軽石・黄橙色土粒含む。
15	灰黄褐色細砂層	○○	少量の白色軽石含む。
16	明黄褐色シルト層	○○	
17	明黄褐色シルト層	○○	

H－29号住居跡　P－1号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	○○	
2	褐灰色細砂層	△○	
3	地山。黄橙色ローム。		

H－30号住居跡　ベルトセクション

1	黒色細砂層	○○	焼土粒含む。
2	黒褐色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。
4	黒色細砂層	○△	多量のHr-FP軽石含む。

H－30号住居跡　竈セクション

1	明赤褐色細砂層	○△	橙色土ブロック含む。
2	青黒色微砂層	△△	灰
3	灰黄褐色細砂層	○○	白色粘土粒・焼土粒含む。
4	灰黄褐色細砂層	○○	3層より多くの白色粘土粒・焼土粒含む。
5	黒褐色細砂層	○○	
6	黒褐色細砂層	○○	白色粘土粒含む。

H－30号住居跡　P－1号柱穴セクション

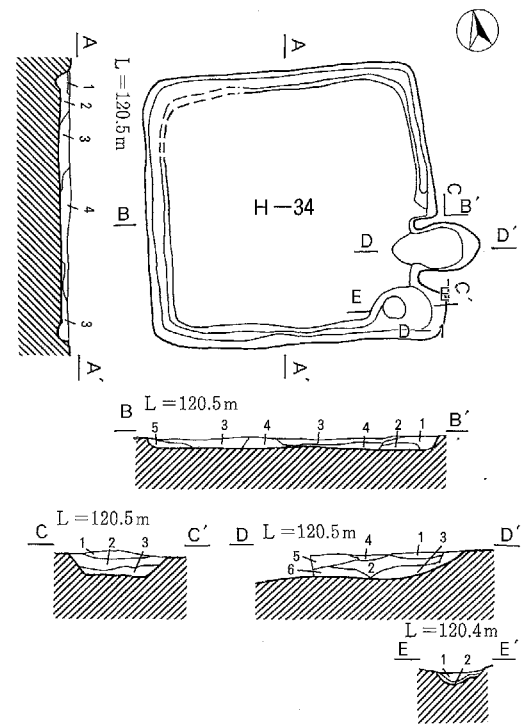
1	暗褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	

H－29号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	36	30	12	

H－30号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	76	50	49.5	



H－34号住居跡　ベルトセクション

1	にぶい赤褐色細砂層	△○	白色軽石・焼土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	白色軽石・少量の黄橙色土粒含む。
4	灰黄褐色細砂層	△○	白色軽石・焼土粒黄橙色土ブロック含む。
5	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。

H－34号住居跡　竈セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	○○	
2	褐色細砂層	○△	多量の焼土粒含む。
3	褐色微砂層	○△	灰層
4	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	○△	多量のAs-C軽石含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	○○	灰・黄橙色土ブロック含む。

H－34号住居跡　D－1号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
2	明黄褐細砂層	△○	

H－34号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
D－1	不整形	64	44	16.5	

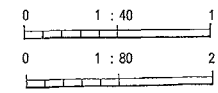
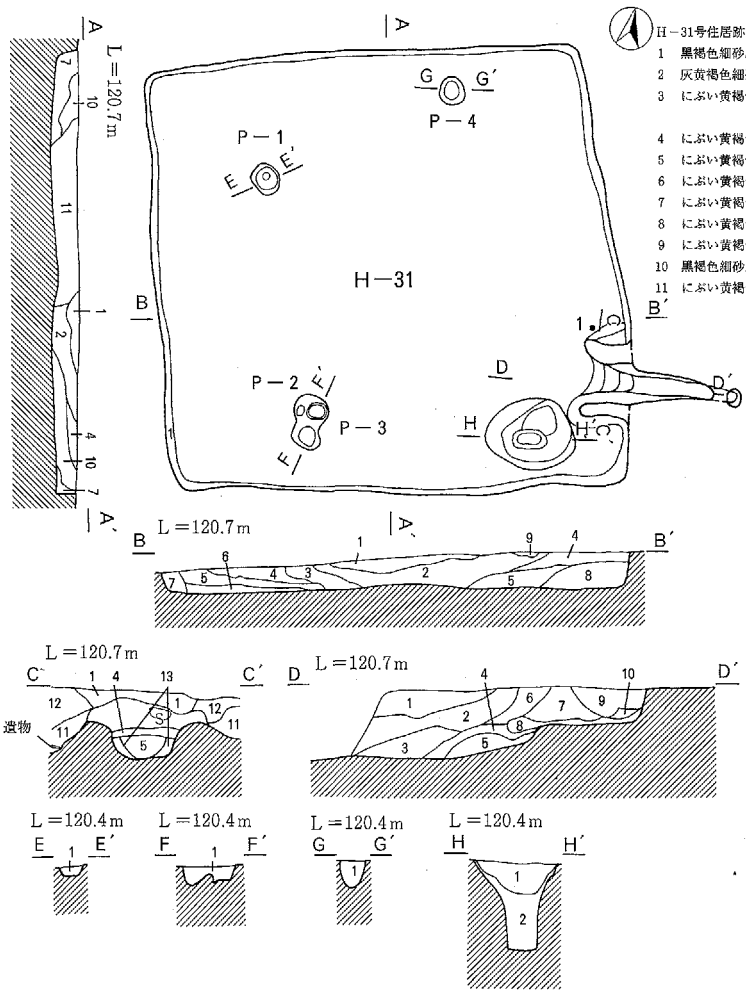


Fig.14　H－29・30・34号住居跡



H－31号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・白色軽石・多量の黄橙色土粒含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
4	にぶい黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・Hr-FP軽石・白色軽石・3層より多くの黄橙
5	にぶい黄褐色細砂層	×○	多量のAs-C軽石・黄橙色土粒含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	△○	
8	にぶい黄褐色細砂層	△○	少量の黄橙色土ブロック含む。
9	にぶい黄褐色細砂層	○△	現耕作土
10	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	△△	多量の黄橙色土ブロック含む。カクラン

H－31号住居跡　竈セクション

1	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土ブロック・少量の焼土粒含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・白色粘土ブロック含む。
4	白灰色細砂層	○○	上からくずれた粘土。
5	にぶい黄褐色細砂層	△○	灰・白色粘土・焼土粒含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	×○	少量の焼土含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	×○	6層より多くの少量の焼土含む。
8	にぶい黄褐色細砂層	○○	粘土質に近い。焼土・灰含む。
9	にぶい黄褐色細砂層	△×	As-C軽石含む。
10	緑黒色細砂層	××	灰含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	△○	少量の黄橙色土ブロック含む。
12	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
13	にぶい黄褐色細砂層	×○	白色粘土粒・焼土粒含む。

H－31号住居跡　P－1号柱穴セクション

1	灰黄褐色細砂層	×○	

H－31号住居跡　P－2・3・4号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	×○	黄橙色土ブロック含む。

H－31号住居跡　P－4号柱穴セクション

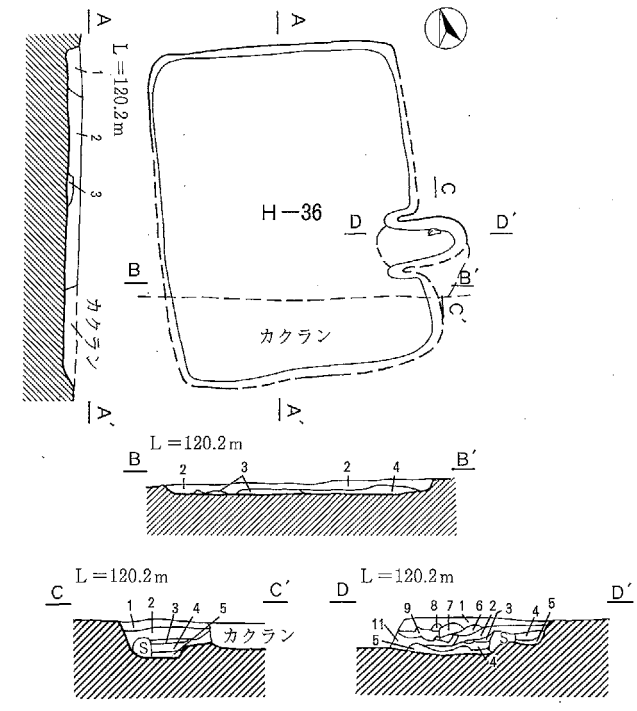
1	黒褐色細砂層	×○	黄橙色土ブロック含む。

H－31号住居跡　D－1号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	1層より多くの黄橙色土ブロック含む。

H－31号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	34	28	68	
P－2	円　形	36	[34]	21	
P－3	円　形	30	[24]	18	
P－4	円　形	30	26	30	
D－1	円　形	90	80	92	貯蔵穴



H－36号住居跡　ベルトセクション

1	暗褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土粒・黒色土粒含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3	黒褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
4	暗褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。

H－36号住居跡　竈セクション

1	灰黄褐色細砂層	○×	白色軽石・黄橙色土粒含む。
2	黒褐色細砂層	○△	白色軽石・黄橙色土粒・少量の焼土粒含む。
3	黒褐色細砂層	○△	多量の焼土粒含む。
4	黒褐色細砂層	○△	少量の焼土粒含む。
5	緑黒色微砂層	○○	灰層
6	黒褐色細砂層	○×	
7	黄橙色粘土層	○△	白色軽石・少量の焼土粒含む。1層との混じり。
8	黄橙色粘土層	○△	白色軽石・少量の焼土粒含む。7層より多く1層と混じる。
9	黄橙色粘土層	○△	少量の白色軽石含む。
10	黄橙色粘土層	○△	少量の1層を含む。
11	褐灰色細砂層	○○	白色軽石・少量の焼土粒・黄橙色土粒含む。

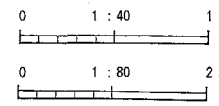
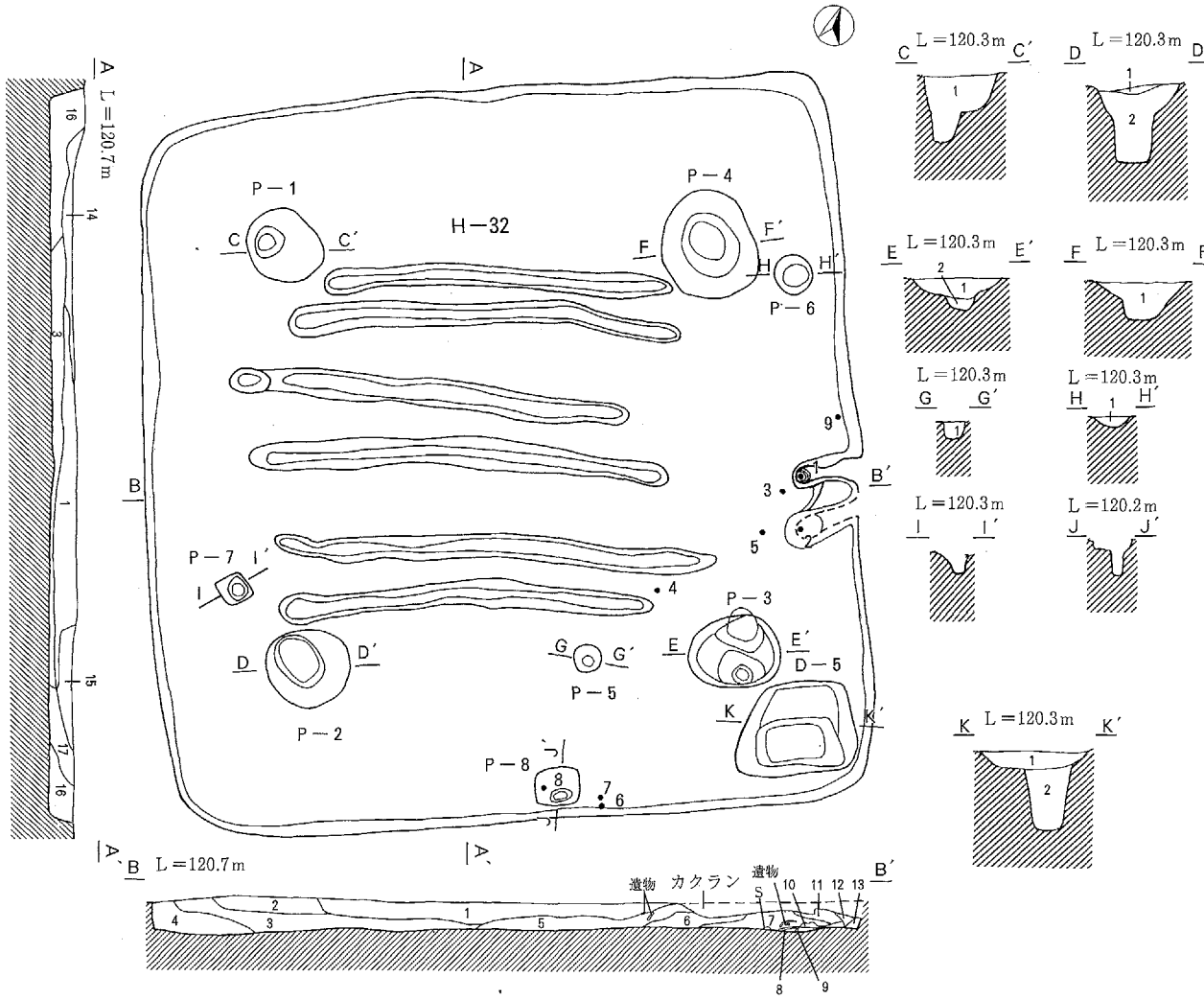


Fig.15　H－31・36号住居跡



H－32号住居跡　ベルトセクション

1　にぶい黄褐色細砂層　○×　多量のAs-C軽石・多量の白色軽石・少量の焼土粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　○×　As-C軽石・1層より少量の白色軽石含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　△×　少量の白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
4　灰黄褐色細砂層　○○　白色軽石・黄橙色土粒・焼土粒下部に含む。
5　にぶい黄褐色細砂層　○×　1層より多くの焼土粒・1層より少量の白色軽石含む。
6　にぶい黄褐色細砂層　○×　焼土粒含む。
7　にぶい黄褐色細砂層　○△　As-C軽石・多量の焼土粒含む。
8　暗青褐色微砂層　△○　灰
9　明赤褐色細砂層　○△　竈の底の焼けた焼土。
10　灰黄褐色細砂層　×○　焼土粒・灰含む。
11　褐灰色細砂層　△○　焼土粒含む。
12　黒褐色細砂層　△△　少量の焼土粒含む。
13　黒褐色細砂層　×○
14　黒褐色細砂層　×○
15　暗褐色細砂層　○×
16　にぶい黄褐色微砂層　○○　少量の白色軽石含む。
17　暗褐色細砂層　○△　As-C軽石含む。

H－32号住居跡　P－1号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　○×　軽石含む。

H－32号住居跡　P－2号柱穴セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△×
2　黒褐色細砂層　××

H－32号住居跡　P－3号柱穴セクション

1　灰黄褐色細砂層　△○
2　灰黄褐色細砂層　○△

H－32号住居跡　P－4号柱穴セクション

1　灰黄褐色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。

H－32号住居跡　P－5号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　××　黄橙色土粒含む。

H－32号住居跡　P－6号柱穴セクション

1　褐灰色細砂層　△○　As-C軽石含む。

H－32号住居跡　D－1号土坑セクション

1　褐灰色細砂層　×△　黒褐色ブロック含む。
2　褐灰色細砂層　×△

H－32号住居跡柱穴・土坑計測表

No	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	80	80	87	
P－2	円　形	90	86	121	
P－3	楕円形	102	78	104	
P－4	円　形	120	104	40.5	
P－5	円　形	30	32	34	
P－6	円　形	44	42	9.5	
P－7	正方形	34	32	24	
P－8	正方形	49	42	37	
D－4	不整形	120	100	103	

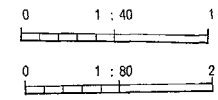
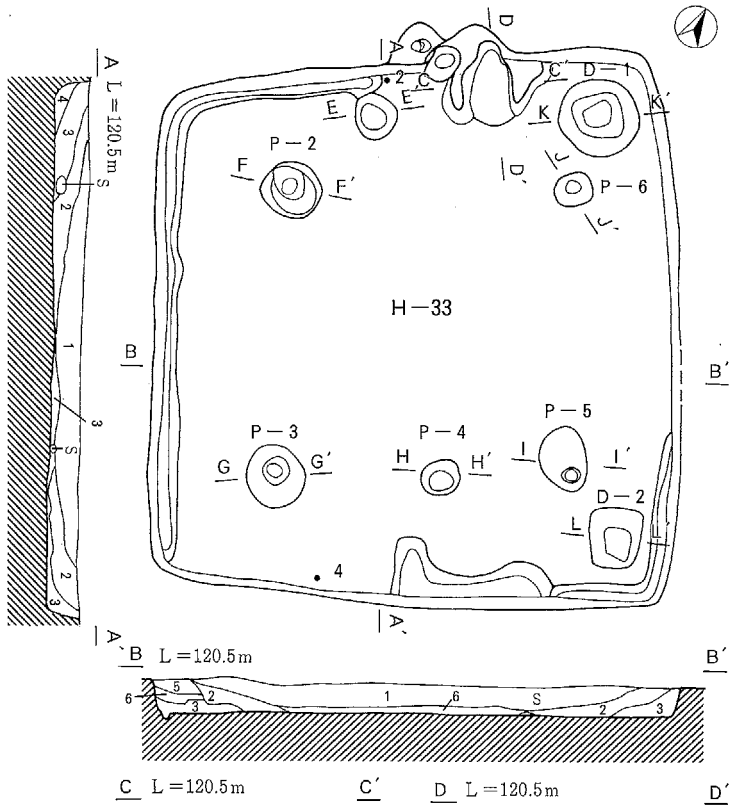


Fig.16　H－32号住居跡



H－33号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐色細砂層　△○　白色軽石含む。
2　暗褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
4　明黄褐色細砂層　△○
5　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
6　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。

H－33号住居跡　竈セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　○○　微砂・焼土粒含む。
2　黒色微砂層　△△　灰層

H－33号住居跡　P－1・3号柱穴セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・黒色土ブロック含む。

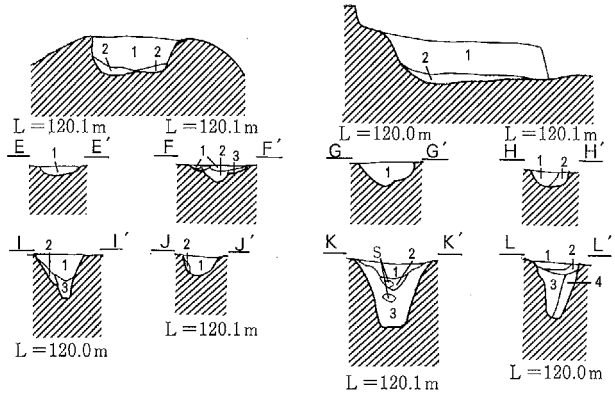
H－33号住居跡　P－2号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　△○
2　にぶい黄褐色細砂層　△○
3　黄褐色細砂層　△○

H－33号住居跡　P－4・6号柱穴セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・黒色土ブロック含む。
2　明黄褐色細砂層　○○　黒色土含む。

H－33号住居跡　P－5号柱穴セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・黒色土ブロック含む。
2　明黄褐色細砂層　○○　黒色土含む。
3　黄褐色細砂層　△○

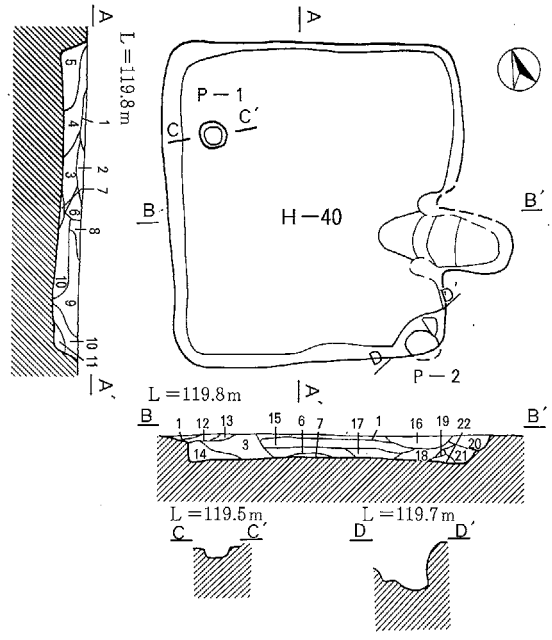
H－33号住居跡　D－1号土坑セクション
1　黒褐色細砂層　△○
2　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　暗褐色細砂層　△○

H－33号住居跡　D－2号土坑セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒・黒色土ブロック含む。
2　黄褐色細砂層　△○
3　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
4　暗褐色細砂層　△○　焼土含む。



H－33号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	48	46	13	
P－2	円　形	64	60	22	
P－3	円　形	64	64	24.5	
P－4	円　形	40	36	17	
P－5	楕円形	70	52	43.5	
P－6	円　形	40	34	24	
D－1	円　形	84	82	71	
D－2	正方形	62	54	45	古い竈の貯蔵穴



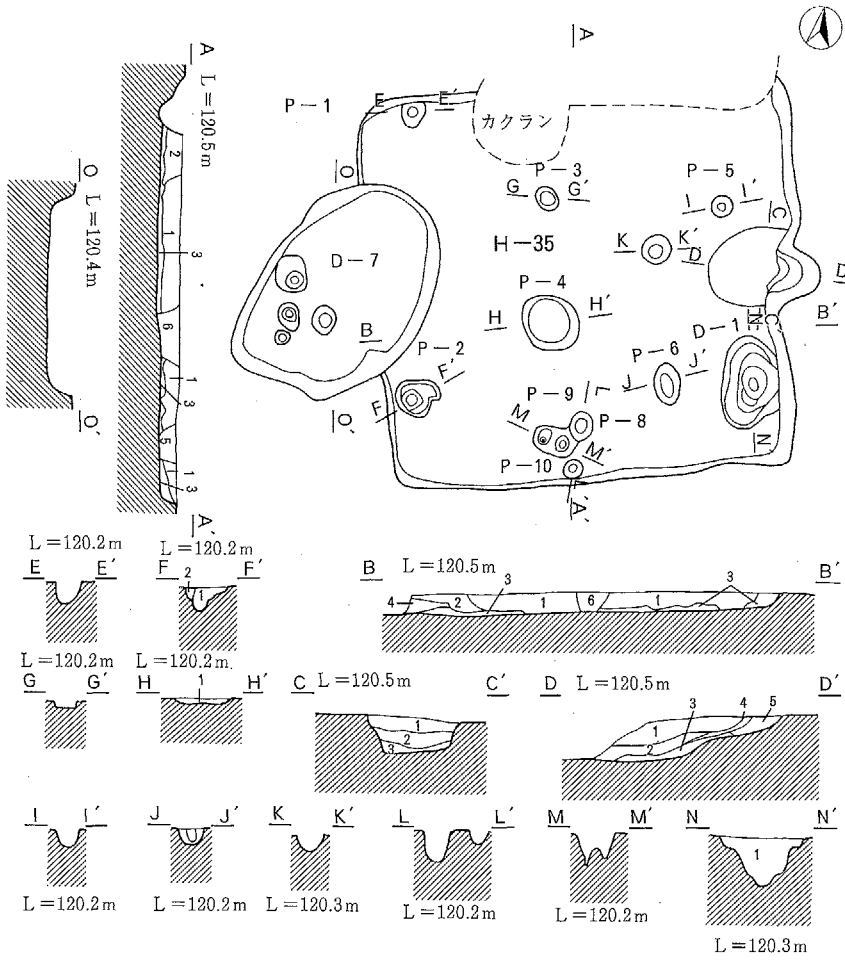
H－40号住居跡　ベルトセクション
1　灰黄褐色細砂層　△△
2　暗褐色細砂層　△○　少量の白色軽石含む。
3　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
4　にぶい黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・少量の黄橙色土粒含む。
5　灰黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
6　灰黄褐色細砂層　△△
7　にぶい黄褐色細砂層　△○
8　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
9　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック・黒色砂質土含む。
10　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石・焼土・黄橙色土ブロック含む。
11　にぶい黄褐色細砂層　△○　黒色砂質土含む。
12　明黄褐色細砂層　△○
13　暗褐色細砂層　△○　Hr-FP軽石含む。
14　黒褐色細砂層　△○　少量の白色軽石含む。
15　にぶい黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・少量の黄橙色土ブロック含む。
16　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量の黄橙色土ブロックふくむ。
17　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
18　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
19　暗褐色細砂層　△○　少量の黄橙色土ブロック含む。
20　灰黄褐色細砂層　△△　少量の黄橙色土ブロック含む。
21　黒褐色細砂層　△○　焼土ブロック・多量の黄橙色土ブロック含む。
22　明黄褐色細砂層　△○　焼土ブロック含む。

H－40号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	38	38	14	
P－2	不整形	74	40	53	

0　1：40　1 m
0　1：80　2 m

Fig.17　H－33・40号住居跡



H－35号住居跡　ベルトセクション

1　黒褐色土細砂層　△○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　○△　白い軽石・黄橙色土粒含む。
3　黄橙色細砂層　○○　粘土
4　明黄褐色細砂層　○×　多量の白い軽石含む。
5　黒褐色細砂層　○○　黄橙色土粒含む。　抗穴と思われる。
6　褐灰色細砂層　○○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。

H－35号住居跡　竈セクション

1　黄褐色細砂層　○○　白い軽石・粘質性・焼土粒含む。
2　黄褐色細砂層　○○　粘質性。　1層より少量の白色軽石、焼土粒含む。
3　黄褐色細砂層　○○　黄橙色土ブロック・灰含む。
4　橙色細砂層　○○　焼土
5　黄褐色細砂層　○○　焼土含む。

H－35号住居跡　P－2号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　○○
2　灰黄褐色細砂層　×○　黄橙色土粒含む。
3　地山

H－35号住居跡　P－4・8～10号柱穴セクション

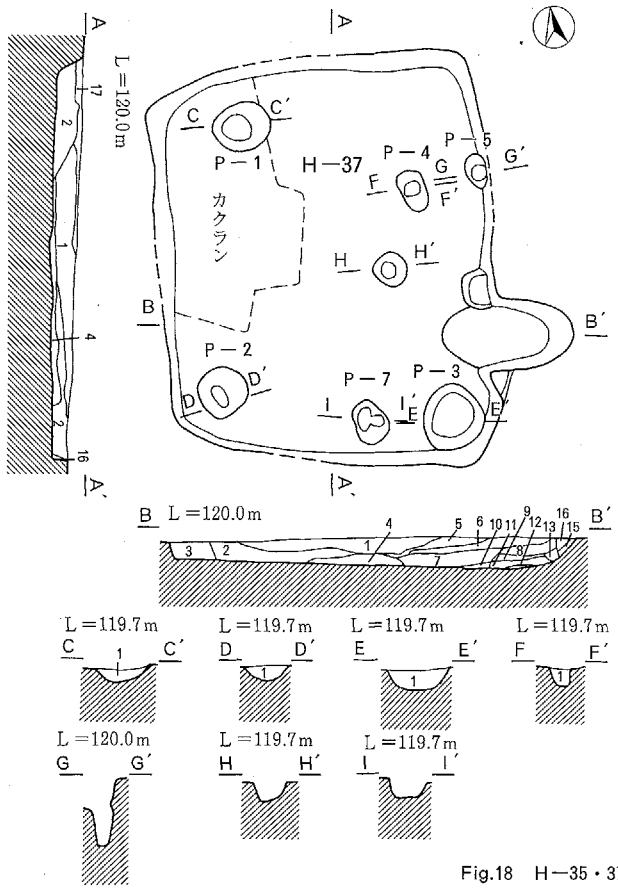
1　黒褐色細砂層　○○

H－35号住居跡　P－6号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　○○
2　灰黄褐色細砂層　×○　黄橙色土粒含む。

H－35号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	28	26	24.5	
P－2	不整形	48	40	29	
P－3	円　形	26	24	8	
P－4	円　形	60	60	8.5	
P－5	円　形	24	24	18.5	
P－6	楕円形	44	38	17	
P－7	円　形	32	30	20	
P－8	楕円形	34	24	33	
P－9	長方形	46	28	34.5	
P－10	円　形	22	22	12.5	
D－1	楕円形	100	60	102	貯蔵穴



H－37号住居跡　ベルトセクション

1　暗褐色細砂層　○×　多量のHr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　極暗褐色細砂層　○×　多量のHr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
3　黒褐色細砂層　○×　上層部にHr-FP軽石含む。
4　暗赤褐色細砂層　○×　少量の焼土・黄橙色土ブロック含む。
5　暗褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・焼土・黄橙色土ブロック含む。
6　褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・少量の焼土・黄橙色土ブロック含む。
7　暗褐色細砂層　○×　少量のAs-C軽石・焼土粒・下部に灰含む。
8　暗褐色細砂層　○×　As-C軽石・Hr-FP軽石・東部に焼土含む。
9　暗赤褐色細砂層　○×　焼土含む。
10　暗褐色細砂層　○×　7層より少量の焼土含む。
11　明赤褐色粘質土層　○△　少量のAs-C軽石・焼土含む。
12　極暗赤褐粘質土層　○△　炭含む。
13　暗赤褐色微砂層　○×　少量のAs-C軽石・焼土含む
14　暗赤褐色微砂層　○×　多量の焼土含む。
15　極明赤褐色細砂層　○×　少量のHr-FP軽石・焼土含む。
16　黄褐色細砂層　○△
17　褐色細砂層　×○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。

H－37号住居跡　P－1・2セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。

H－37号住居跡　P－3号柱穴セクション

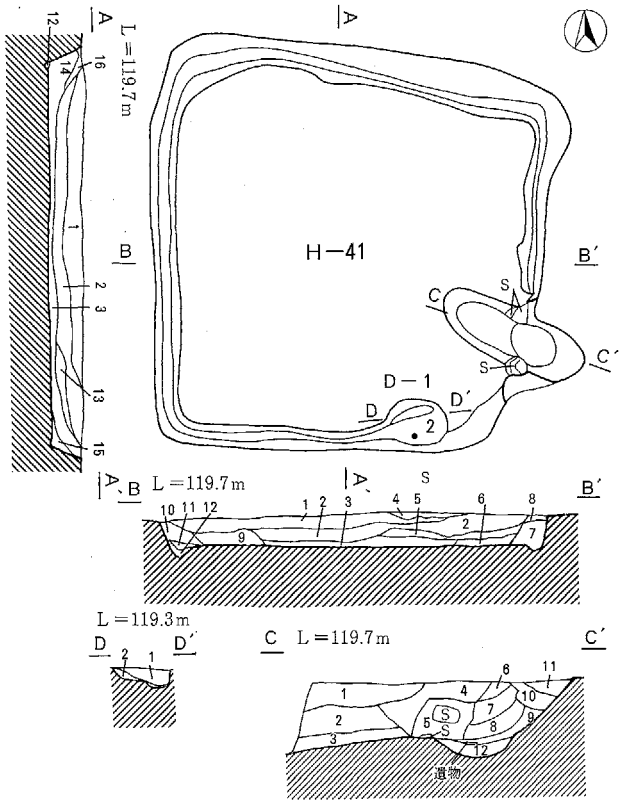
1　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。

H－37号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	62	52	21.5	
P－2	円　形	56	52	24	
P－3	円　形	70	66	21.5	
P－4	長方形	42	28	25.5	
P－5	楕円形	40	22	45	
P－6	円　形	38	38	21	
P－7	不整形	46	34	17	

0　1：40　1m
0　1：80　2m

Fig.18　H－35・37号住居跡、D－7号土坑



H－41号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
4	灰黄褐色粗砂層	○○	現耕作土
5	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・焼土粒含む。
6	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
8	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
9	灰黄褐細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
10	灰黄褐細砂層	△○	9層より少量のAs-C軽石・黄橙色土粒含む。
11	黒色細砂層	△○	As-C軽石含む。
12	にぶい黄褐色細砂層	△○	
13	にぶい黄褐色細砂層	○○	
14	黒色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
15	灰黄褐色細砂層	×○	黄橙色土粒含む。
16	にぶい黄褐色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。

H－41号住居跡　竈セクション

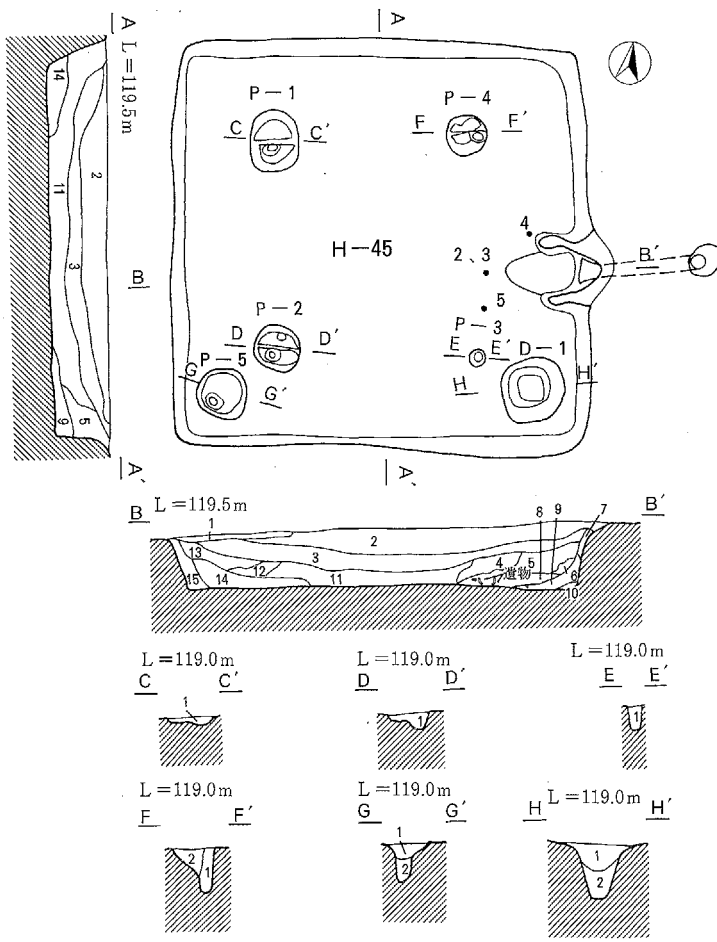
1	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
2	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	黒褐色細砂層	△△	灰含む。
4	灰黄褐色細砂層	○△	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
5	黒褐色細砂層	○○	焼土粒含む。
6	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石含む。
7	黒褐色細砂層	○○	焼土粒含む。
8	黒褐色細砂層	○○	7層より多くの焼土粒含む。
9	暗褐色細砂層	×○	灰層。焼土粒含む。
10	黄橙色細砂層	○×	くずれたもの。
11	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・焼土粒含む。
12	暗褐色微砂層	×○	灰層

H－41号住居跡　D－1号土坑セクション

1	黒色細砂層	△○	As-C軽石含む。
2	にぶい黄橙色細砂層	△○	

H－41号住居跡柱穴・土坑計測表

No	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	円　形	62	50	23	



H－45号住居跡　ベルトセクション

1	褐灰色粗砂層	××	As-B軽石含む。
2	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	暗褐色細砂層	△○	2層より多くのAs-C軽石、Hr-FP軽石含む。
4	暗褐色細砂層	△○	11層より多くの黄橙色土ブロック、黒色土ブロック、As-C軽石含む
5	暗褐色細砂層	△○	4層より少量の黄橙色土粒、黒色土粒・少量の褐灰色粘土含む。
6	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒・少量の焼土粒含む。
7	明黄褐色細砂層	△○	暗褐色土ブロック含む。
8	褐灰色細砂層	△○	5層より少量の焼土粒含む。
9	褐灰色細砂層	△○	多量の焼土・少量の灰含む。
10	褐灰色細砂層	△○	多量の焼土・多量のの灰含む。
11	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒・黒色土ブロック含む。
12	明黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・黒色土粒含む。
13	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
14	灰黄褐細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
15	褐灰色細砂層	×○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。

H－45号住居跡　P－1号柱穴セクション

1	灰黄褐色細砂層	○○	

H－45号住居跡　P－2号柱穴セクション

1	明黄褐色細砂層	○○	黒色土含む。

H－45号住居跡　P－3号柱穴セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。

H－45号住居跡　P－4号柱穴セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	

H－45号住居跡　P－5号柱穴セクション

1	明黄褐色細砂層	○○	黒色土含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	

H－45号住居跡　D－1号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	

H－45号住居跡柱穴・土坑計測表

No	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	68	54	14	
P－2	円　形	48	48	34.5	
P－3	円　形	18	16	24.5	
P－4	円　形	46	44	50	
P－5	円　形	52	52	27	
P－6	円　形	70	68	57	

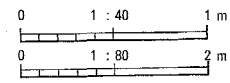
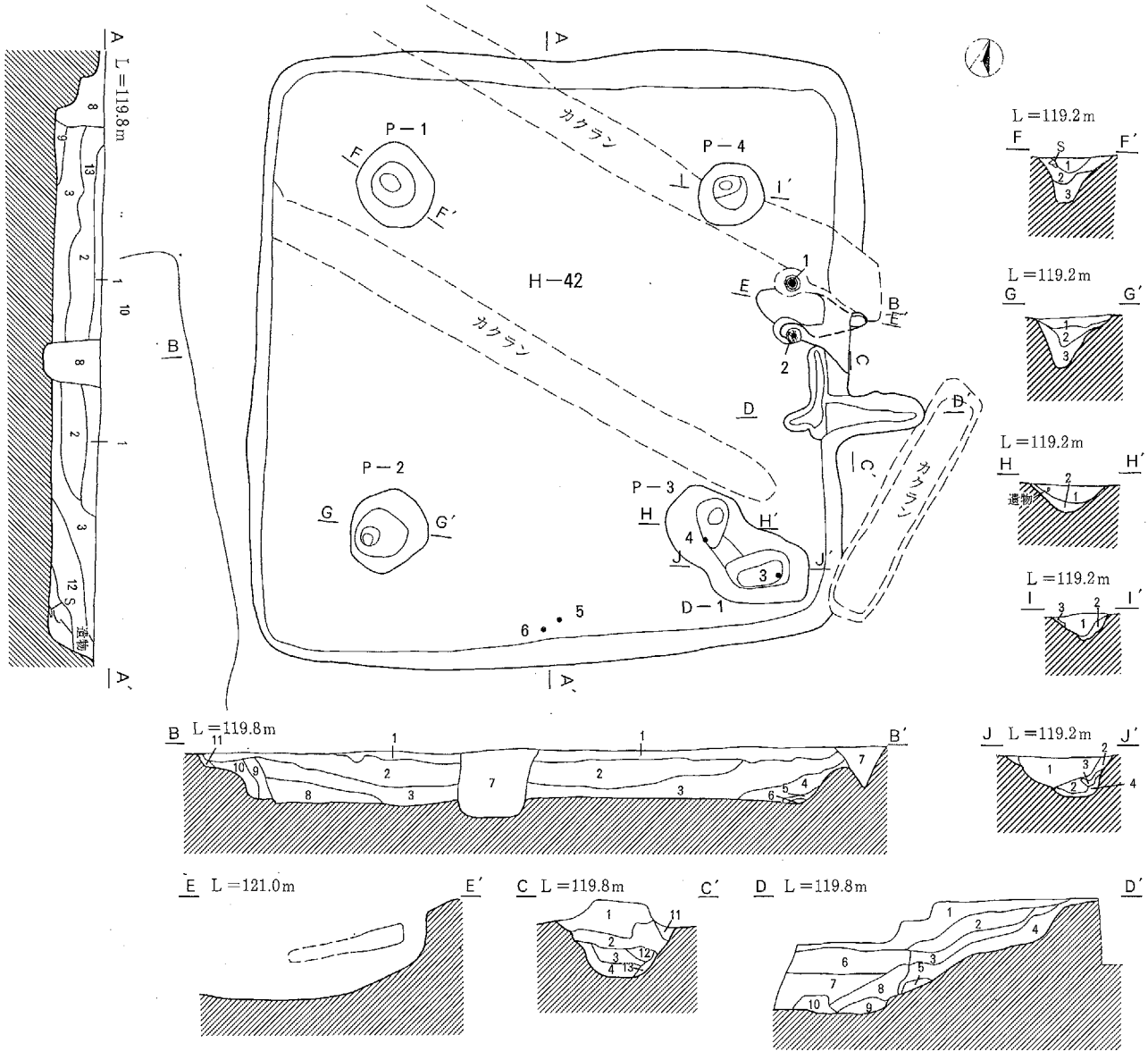


Fig.19　H－41・45号住居跡



H－42号住居跡　ベルトセクション

1　黒褐色細砂層　△○　多量のHr-FP軽石s-C軽石・多量のHr-FP軽石含む。
2　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・少量の黄橙色土粒含む。
3　灰黄褐細砂層　△○　白色軽石含む。
4　灰褐色細砂層　△○　焼土粒・粘土粒含む。
5　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土含む。
6　褐灰色微砂層　△△　灰
7　暗褐色細砂層　△○　白色軽石・As-B軽石・黄橙色土ブロック含む。カクラン
8　暗褐色細砂層　△○　少量のAs-C軽石・少量のHr-FP軽石含む。
9　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量のHr-FP軽石含む。
10　黄褐色細砂層　○○
11　にぶい黄褐色細砂層　△○
12　暗褐色細砂層　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。

H－42号住居跡　古い竈セクション

1　黒褐色細砂層　○○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土粒含む。
3　灰黄褐細砂層　○○　2層より多くの焼土粒含む。
4　橙色細砂層　○○　灰含む。
5　明黄褐色細砂層　△○　灰含む。地山
6　にぶい黄褐色土粒・少量の焼土粒含む。
7　にぶい黄褐色細砂層　△○　少量の黄橙色土粒・少量の焼土粒含む。
8　黄橙色細砂層　×○　灰色粘土・少量の焼土粒含む。
9　にぶい黄褐色細砂層　×○　少量の灰色粘土・少量の焼土粒含む。
10　灰黄褐細砂層　△○　粘土
12　にぶい黄褐色細砂層　△○　多量の焼土粒含む。
13　にぶい黄褐色細砂層　△○

H－42号住居跡　P－1号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　△○　Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
3　明黄褐色細砂層　△○

H－42号住居跡　P－2号柱穴セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　白色軽石含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　△○　黒色土粒・黄橙色土粒含む。
3　灰黄褐色細砂層　△○

H－42号住居跡　P－3号柱穴セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○
2　明黄褐色細砂層　△○

H－42号住居跡　P－4号柱穴セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○
2　明黄褐色細砂層　△○
3　明黄褐色細砂層　△○

H－42号住居跡　D－1号土坑セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　焼土粒・黒色土粒含む。
2　暗褐色細砂層　△○　黒色土含む。
3　明赤褐色細砂層　△△
4　暗褐色細砂層　△○　明赤褐色土ブロック含む。

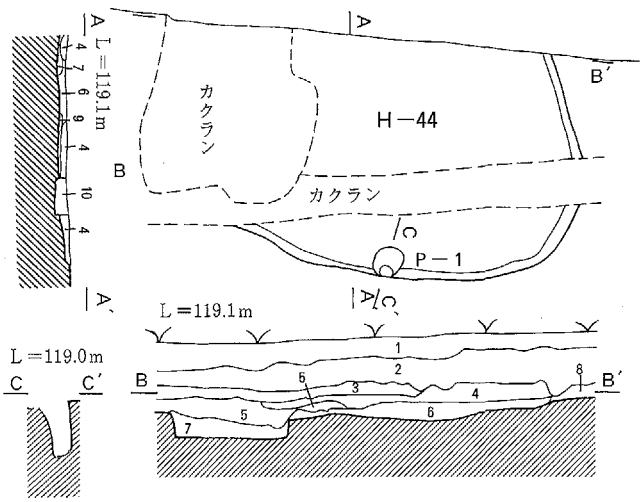
H－42号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	94	90	73.5	
P－2	円　形	100	92	74.5	
P－3	円　形	90	[88]	65.5	
P－4	円　形	80	76	71.5	
D－1	不整形	[126]	88	69.5	貯蔵穴

0　1：40　1m

0　1：80　2m

Fig.20　H－42号住居跡

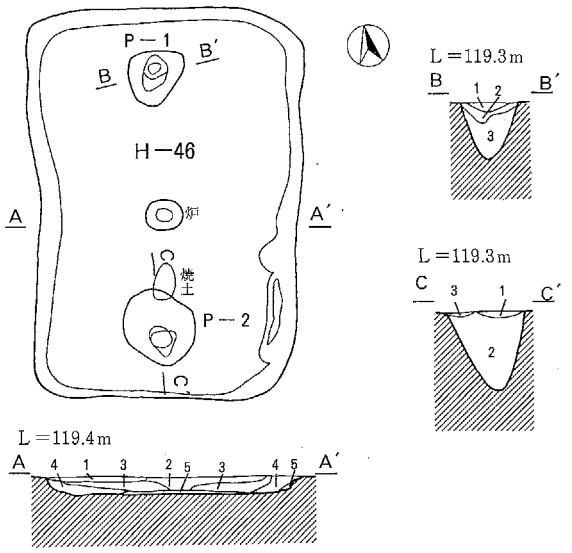


H－44号住居跡　ベルトセクション

1	にぶい黄褐色細砂層	○△	Hr-FP軽石含む。
2	褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土粒含む。
3	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。
4	黒褐色細砂層	△△	白色軽石含む。
5	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
6	黒褐色細砂層	△△	白色軽石・下部に黄橙色土ブロック含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
8	黄褐色細砂層	△○	
9	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
10	暗褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む

H－44号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	32	32	50	



H－46号住居跡　ベルトセクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	
2	灰黄褐色細砂層	△○	Hr-FP軽石含む。
3	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
4	にぶい黄褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
5	明黄褐色細砂層	△○	

H－46号住居跡　P－1号柱穴セクション

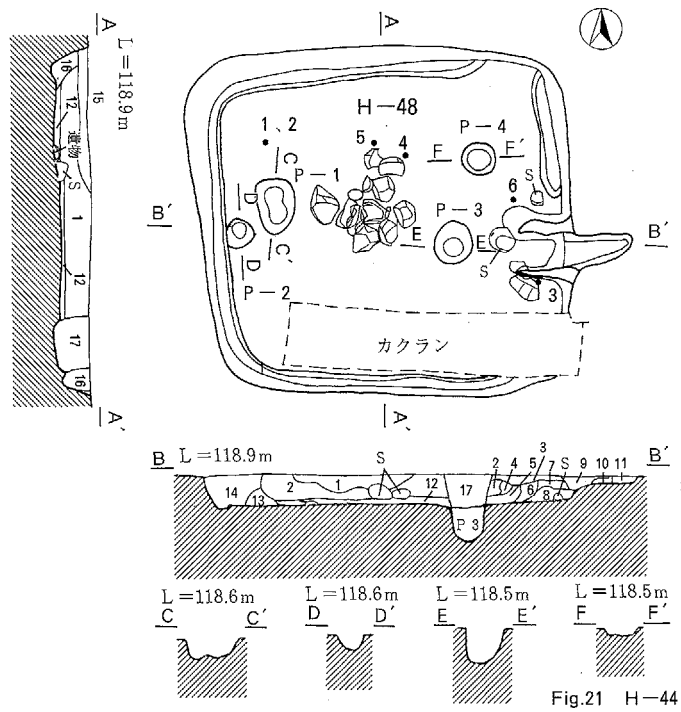
1	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	暗褐色細砂層	△○	少量の黄橙色土ブロック含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	

H－46号住居跡　P－2号柱穴セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	
2	暗褐色細砂層	△○	黄橙色土粒・黒色土粒含む。
3	明黄褐色細砂層	△○	

H－46号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	不整形	66	62	61.5	
P－2	正方形	80	68	81	



H－48号住居跡　ベルトセクション

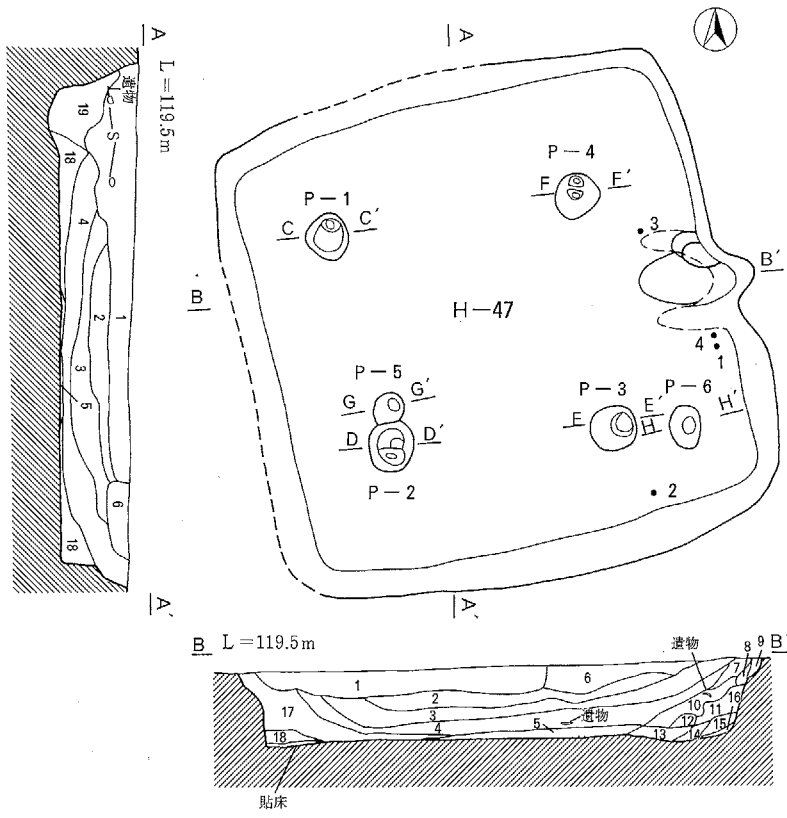
1	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
2	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石含む。
3	褐灰色細砂層	△△	As-C軽石含む。
4	褐灰色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
5	灰黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・下部に黄橙色土粒含む。
6	灰黄褐色細砂層	△○	少量の焼土粒・黄橙色土粒含む。
7	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・焼土粒・黒色土粒含む。
8	にぶい黄褐色細砂層	×○	粘質土・下部に灰含む。
9	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・焼土含む。
10	黒色土細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	△△	
12	褐灰色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
13	黒褐色細砂層	△△	黄橙色土粒含む。
14	にぶい黄褐色細砂層	×△	黄橙色土ブロック含む。カクラン
15	にぶい黄褐色細砂層	○△	黄橙色土ブロック含む。カクラン
16	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石含む。
17	にぶい黄褐色細砂層	○△	黄橙色土ブロック含む。カクラン

H－48号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	楕円形	60	48	20	
P－2	円　形	30	28	18	
P－3	円　形	46	40	37	
P－4	円　形	36	34	12	

0　1：80　2m

Fig.21　H－44・46・48号住居跡



H－47号住居跡　ベルトセクション

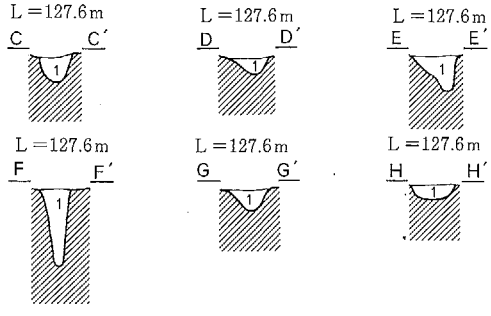
1	黒褐色粗砂層	○△	多量の黄橙色土ブロック含む。カクラン
2	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	暗褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
4	暗褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・白色軽石含む。
5	褐灰色細砂層	○○	粘質土。
6	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
7	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
8	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
9	褐灰色細砂層	△×	白色軽石含む。
10	褐灰色細砂層	○○	粘土質に近い。
11	灰黄褐色細砂層	△○	焼土ブロック含む。
12	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
13	褐灰色細砂層	△○	焼土粒含む。
14	褐灰色細砂層	△○	13層より多くの焼土粒含む。
15	褐灰色細砂層	△○	多量の焼土粒含む。
16	暗青灰色微砂層	×○	灰
17	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
18	明黄褐細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
19	にぶい黄褐色細砂層	○○	カクラン

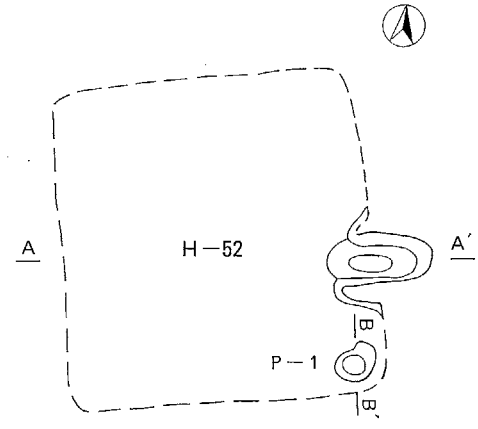
H－47号住居跡　P－1～6号柱穴セクション

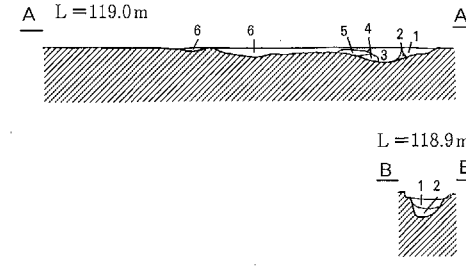
1	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。

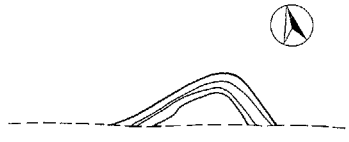
H－47号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	50	46	24.5	
P－2	円　形	[53]	48	25	
P－3	円　形	50	46	37	
P－4	円　形	48	46	36.5	
P－5	円　形	34	32	29	
P－6	楕円形	46	34	83	

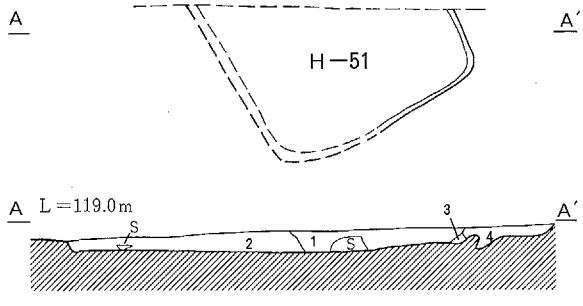








カクラン



H－51号住居跡　ベルトセクション

1	灰黄褐色細砂層	△○	少量の黄橙色土ブロック含む。
2	黒褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	
4	黒褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土粒含む。

H－52号住居跡　ベルトセクション

1	灰黄褐色細砂層	△×	焼土粒含む。
2	明黄褐色細砂層	×△	地山の混じり。
3	灰黄褐色細砂層	△×	下部に灰含む。
4	黒褐色細砂層	○×	灰含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	○×	白色粘土含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	△×	

H－52号住居跡　P－1号柱穴セクション

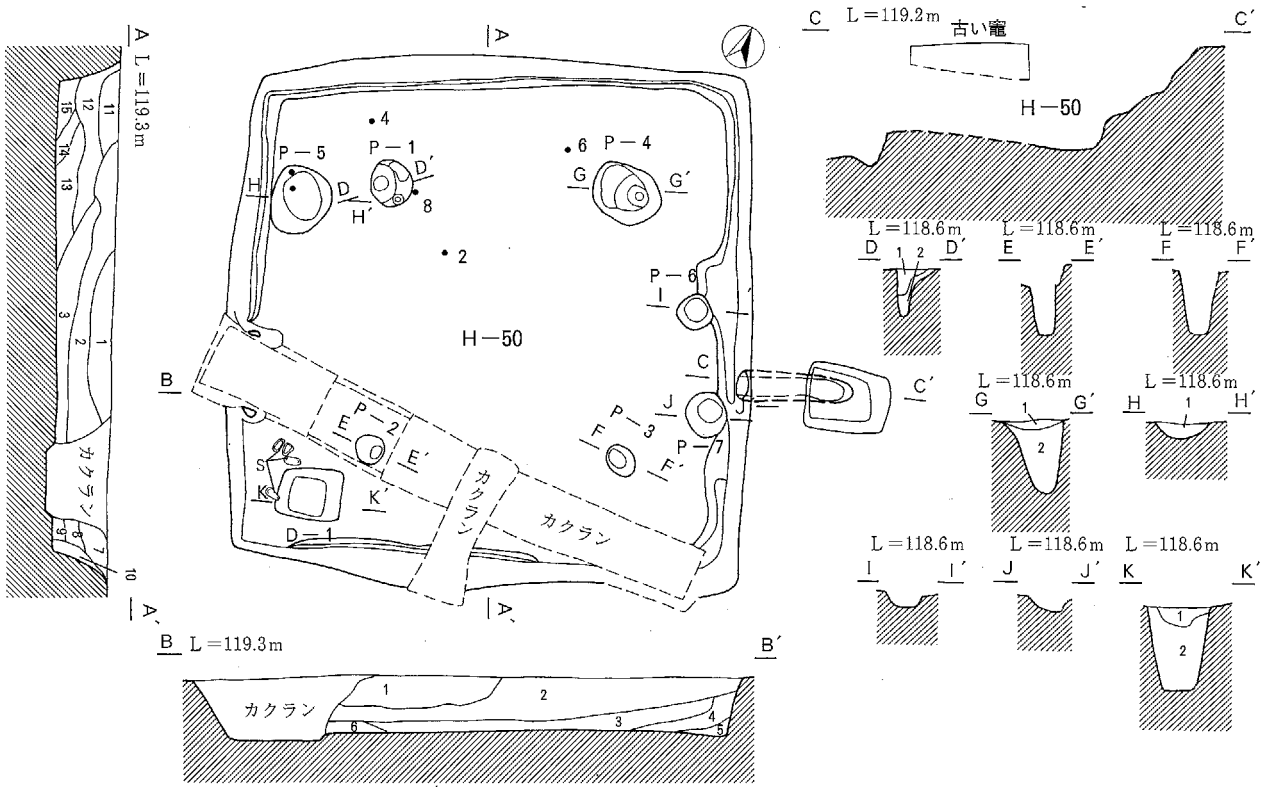
1	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	○×	

H－52号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	楕円形	50	34	26.5	

Fig.22　H－47・51・52号住居跡

0　1：80　2m



H－50号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
4	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
5	黒褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック・黒色土ブロック含む。
6	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック・焼土粒含む。
7	灰黄褐色細砂層	△△	As-C軽石・Hr-FP軽石・黒色土ブロック含む。
8	灰黄褐色細砂層	△△	As-C軽石・Hr-FP軽石（ほとんどなし）含む。
9	灰黄褐色細砂層	△△	黄橙色土ブロック含む。
10	にぶい黄褐色細砂層	△○	
11	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
12	褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
13	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石・焼土粒含む。
14	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
15	にぶい黄褐色細砂層	△○	

H－50号住居跡　P－1・4号柱穴セクション

1	黒褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	○○	

H－50号住居跡　P－5号柱穴セクション

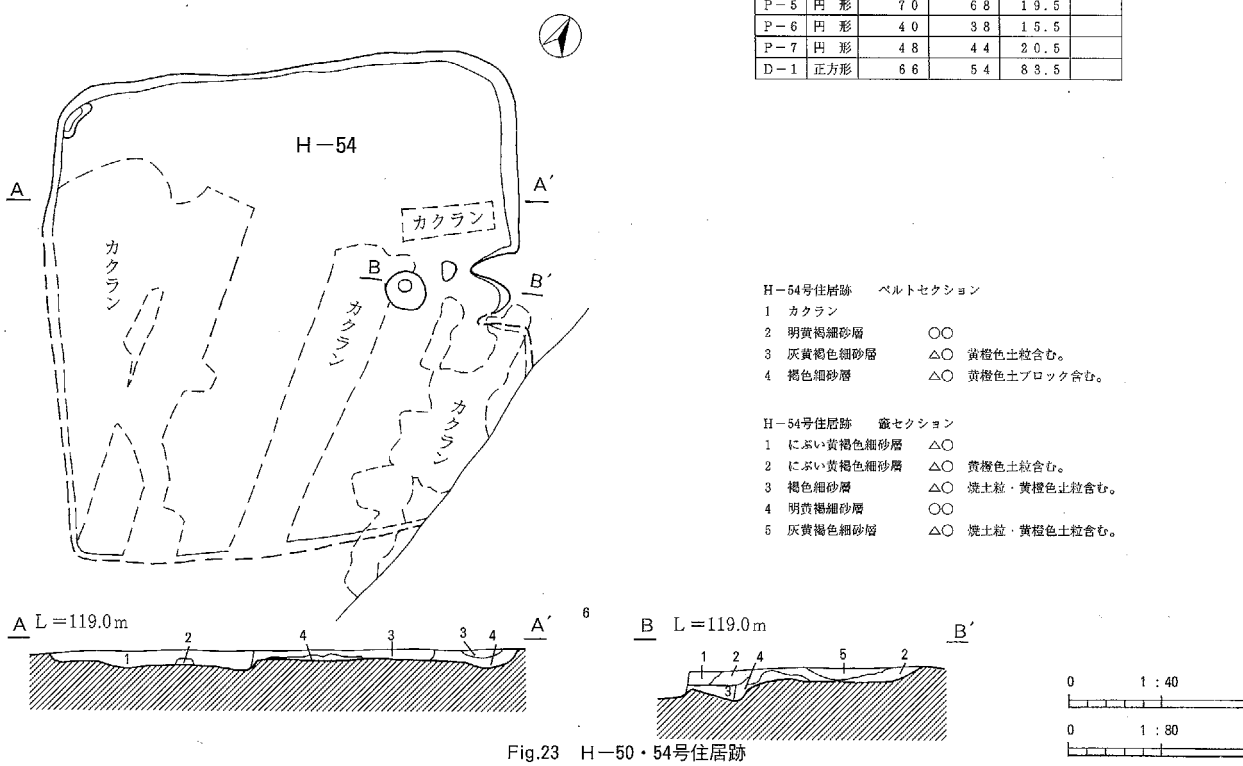
1	黒褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。

H－50号住居跡　D－1号柱穴セクション

1	灰黄褐色細砂層	×○	
2	灰黄褐色細砂層	×○	

H－50号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	50	46	64.5	
P－2	円　形	30	30	66.5	
P－3	楕円形	34	28	68.5	
P－4	円　形	74	60	77	
P－5	円　形	70	68	19.5	
P－6	円　形	40	38	15.5	
P－7	円　形	48	44	20.5	
D－1	正方形	66	54	83.5	



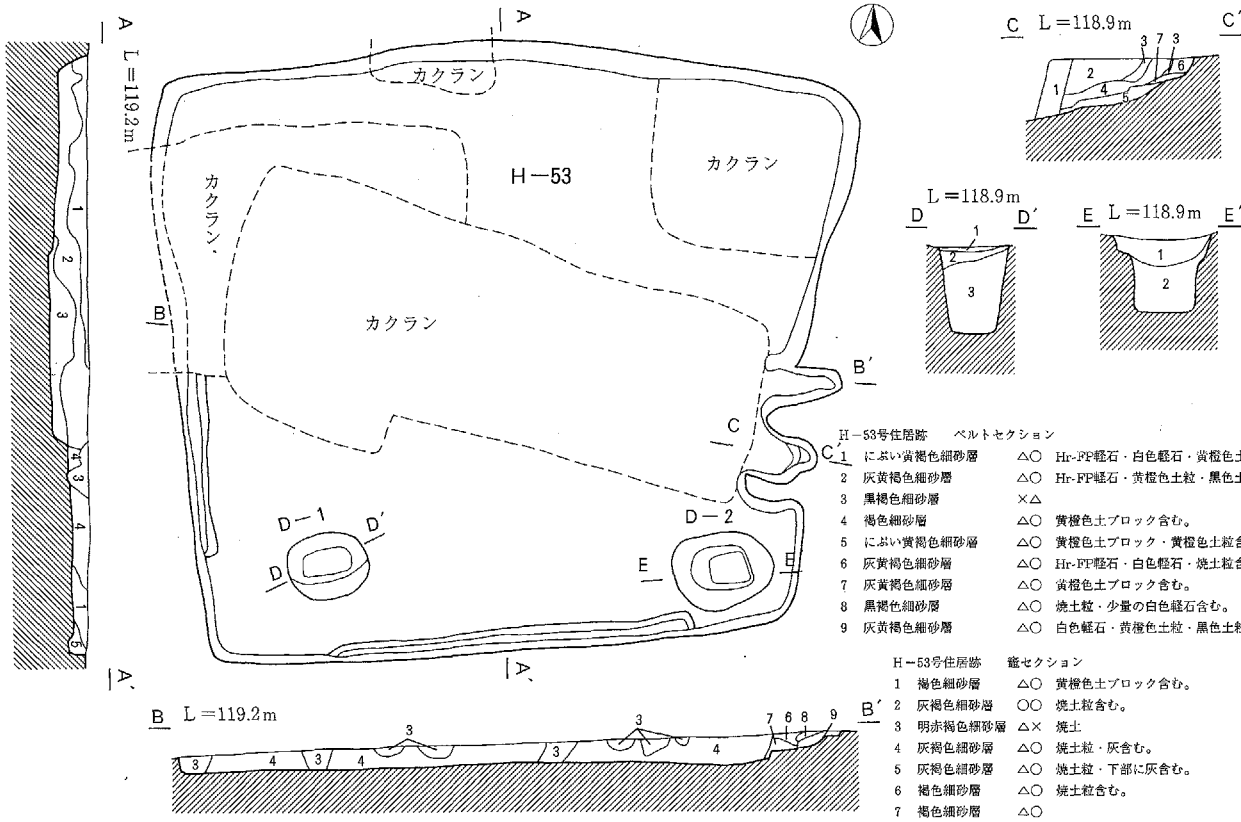
H－54号住居跡　ベルトセクション

1	カクラン		
2	明黄褐細砂層	○○	
3	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
4	褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。

H－54号住居跡　竈セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
3	褐色細砂層	△○	焼土粒・黄橙色土粒含む。
4	明黄褐細砂層	○○	
5	灰黄褐色細砂層	△○	焼土粒・黄橙色土粒含む。

Fig.23　H－50・54号住居跡



H−53号住居跡　ベルトセクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	Hr-FP軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	Hr-FP軽石・黄橙色土粒・黒色土粒含む。
3	黒褐色細砂層	×△	
4	褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック・黄橙色土粒含む。
6	灰黄褐色細砂層	△○	Hr-FP軽石・白色軽石・焼土粒含む。
7	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
8	黒褐色細砂層	△○	焼土粒・少量の白色軽石含む。
9	灰黄褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土粒・黒色土粒含む。

H−53号住居跡　竈セクション

1	褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
2	灰褐色細砂層	○○	焼土粒含む。
3	明赤褐色細砂層	△×	焼土
4	灰褐色細砂層	△○	焼土粒・灰含む。
5	灰褐色細砂層	△○	焼土粒・下部に灰含む。
6	褐色細砂層	△○	焼土粒含む。
7	褐色細砂層	△○	

H−53号住居跡　D−1号土坑セクション

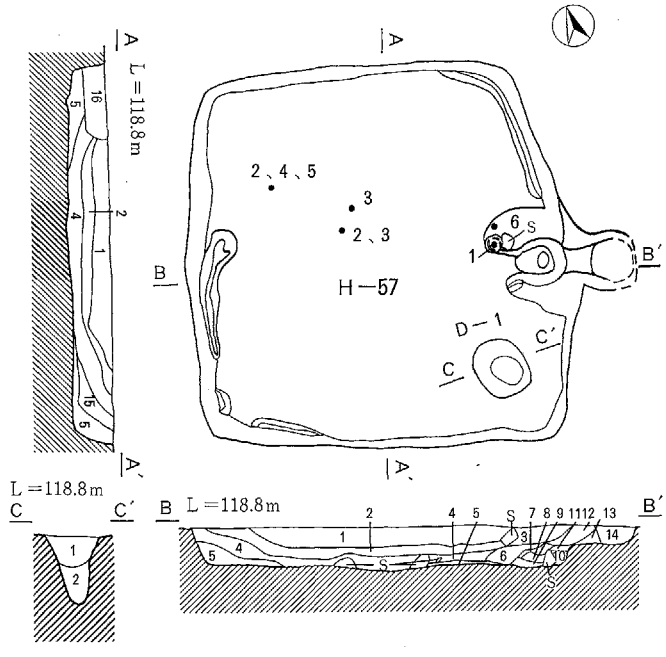
1	にぶい黄褐色細砂層	△○	
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。
3	黒褐色細砂層	○○	

H−53号住居跡　D−2号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	少量の黄橙色土粒含む

H−53号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D−1	楕円形	86	70	83	
D−2	楕円形	106	82	82	貯蔵穴



H−57号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○×	多量のAs-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	○×	多量のAs-C軽石（1層より小粒）
3	にぶい黄褐色細砂層	○△	多量のAs-C軽石含む。
4	黒色土細砂層	○○	As-C軽石含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	○○	粘質土
6	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
7	褐灰色細砂層	○△	黄橙色土粒含む。
8	明黄褐細砂層	△○	焼土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
9	にぶい黄褐色細砂層	△○	焼土粒・灰含む。
10	にぶい黄褐色細砂層	△○	
11	褐灰色細砂層	○△	焼土・黄橙色土粒含む。
12	灰黄褐色細砂層	△○	微量の軽石含む。
13	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。
14	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。カクラン
15	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
16	褐灰色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。砂層。カクラン

H−57号住居跡　D−1号土坑セクション

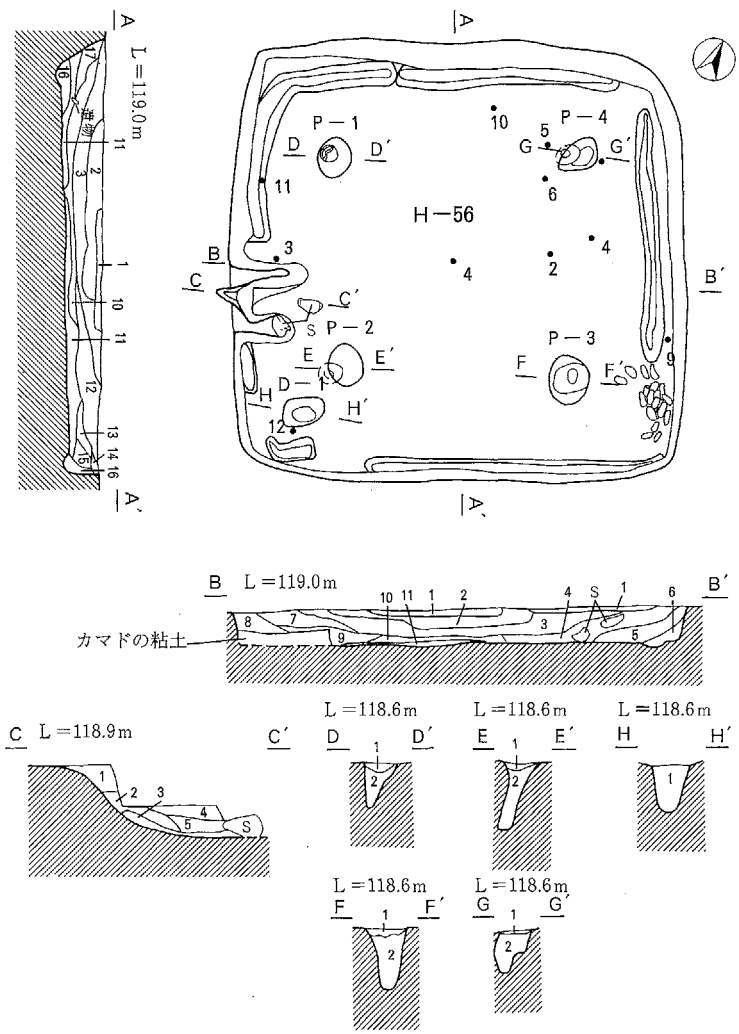
1	灰黄褐色細砂層	×○	
2	黒褐色細砂層	×○	黄橙色土ブロック含む。

H−57号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D−1	円　形	62	54	72.5	

Fig.24　H−53・57号住居跡

0　1：40　1m
0　1：80　2m



H－56号住居跡　ベルトセクション

1	褐灰色粗砂層	○×	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。カクラン
2	灰黄褐色細砂層	○△	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石（2層より大粒）・Hr-FP軽石・2層より多くの黄黄橙色土ブロック含む。
4	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・微量の黄橙色土粒含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	△△	黄橙色土粒含む。
7	灰黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・微量の黄橙色土粒含む。
8	褐灰色細砂層	○○	As-C軽石・白色軽石含む。粘質土に近い。
9	褐灰色細砂層	○○	As-C軽石・白色軽石含む。粘質土に近い。
10	褐灰色細砂層	○○	黒色土・黄橙色土粒含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	○○	
12	にぶい黄褐色細砂層	△△	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
13	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石・白色軽石含む。
14	灰黄褐色細砂層	○×	As-C軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
15	黒褐色細砂層	○△	13層より少量の軽石含む。
16	灰黄褐色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。
17	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。

H－56号住居跡　竈セクション

1	褐灰色細砂層	○△	白色軽石含む。
2	褐灰色細砂層	○○	多量の焼土粒含む。
3	褐灰色細砂層	○○	灰含む。
4	褐灰色細砂層	○○	As-C軽石・白色軽石含む。粘質土
5	褐灰色細砂層	○○	焼土粒・黄橙色土粒含む。粘質土

H－56号住居跡　P－1～4号柱穴セクション

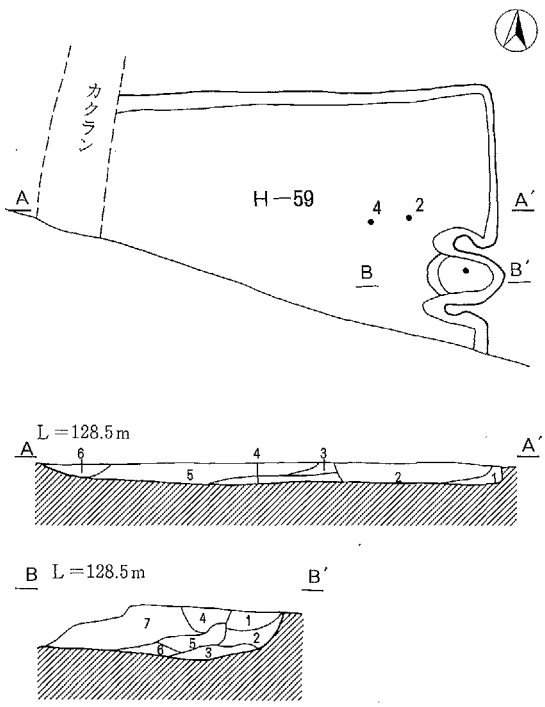
1	にぶい黄褐色細砂層	△○
2	にぶい黄褐色細砂層	×○

H－56号住居跡　D－1号土坑セクション

1	黒褐色細砂層	△△

H－56号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	42	36	68	
P－2	円　形	46	36	34	
P－3	円　形	52	44	66	
P－4	不整形	50	32	24	
D－1	楕円形	42	30	54	



H－59号住居跡　ベルトセクション

1	暗褐色細砂層	○×	As-C軽石含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
3	明黄褐色細砂層	○△	As-C軽石・多量の黄橙色土粒含む。
4	灰黄褐色細砂層	○×	黄橙色土粒含む。
5	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	△×	薄状カクラン

H－59号住居跡　竈セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	××	焼土ブロック・白色粘土含む。
2	黒褐色細砂層	××	灰・多量の焼土ブロック含む。
3	黒褐色細砂層	××	灰・焼土ブロック含む。
4	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土ブロック含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	○×	焼土ブロック・白色粘土含む。
6	黒褐色細砂層	××	灰含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。

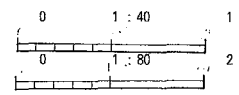
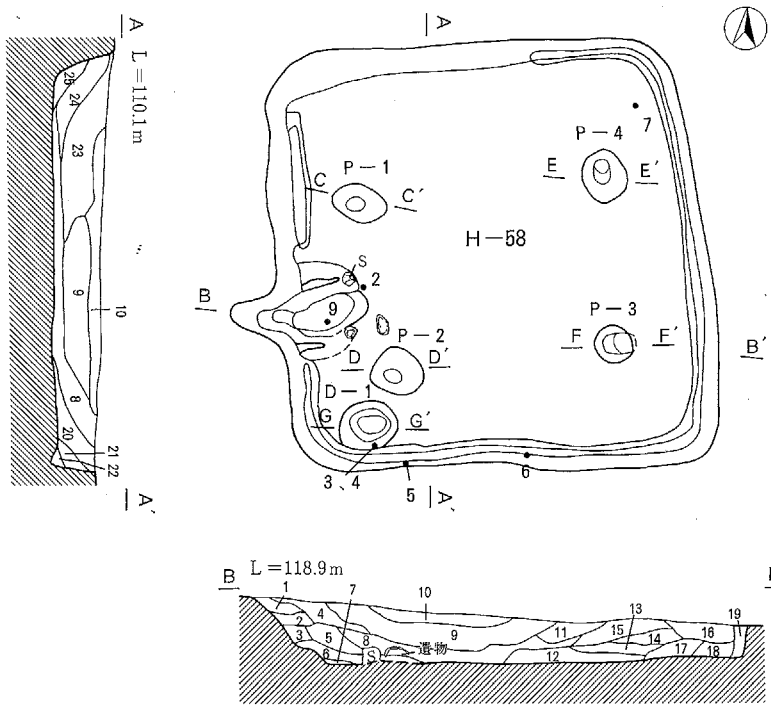


Fig.25　H－56・59号住居跡



H−58号住居跡　ベルトセクション

1　にぶい黄橙色細砂層　○○　As-C軽石・焼土粒含む。
2　にぶい黄橙色細砂層　×○　As-C軽石・1層より多くの焼土粒含む。
3　にぶい黄橙色細砂層　△○　下部に焼土粒含む。
4　にぶい黄橙色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
5　灰黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・下部に焼土粒含む。
6　灰黄褐色細砂層　△○　多量の焼土粒・下部に粘土含む。
7　にぶい黄橙色細砂層　×○　焼土粒・灰含む。
8　にぶい黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
9　にぶい黄褐色細砂層　××　As-C軽石含む。
10　黒褐色細砂層　△×　多量のAs-C軽石含む。
11　黒褐色細砂層　○○　As-C軽石含む。
12　にぶい黄褐色細砂層　△○　微量のAs-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
13　にぶい黄橙色細砂層　△○　As-C軽石・黒色土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
14　灰黄褐色細砂層　△×　As-C軽石・黒色土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
15　灰黄褐色細砂層　○×　多量のAs-C軽石・黒色土ブロック・黄橙色土ブロック含む。
16　にぶい黄褐色細砂層　××　滯状カクラン
17　暗褐色細砂層　△×　As-C軽石含む。
18　黒褐色細砂層　△×　As-C軽石含む。
19　黄橙色細砂層　○×　にぶい黄橙色土含む。カクラン
20　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石含む。
21　にぶい黄橙色細砂層　×○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
22　にぶい黄橙色細砂層　×○　As-C軽石・21層より多くの黄橙色土粒含む。
23　黒褐色細砂層　△○　多量のAs-C軽石含む。
24　黒褐色細砂層　△○　多量のAs-C軽石・黄橙色土粒含む。
25　にぶい黄橙色細砂層　×○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。

H−58号住居跡　P−1セクション

1　明黄褐色細砂層　△○　多量の灰黄褐色土粒含む。

H−58号住居跡　P−2・4号柱穴セクション

1　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　×○　黄橙色土粒含む。

H−58号住居跡　P−3号柱穴セクション

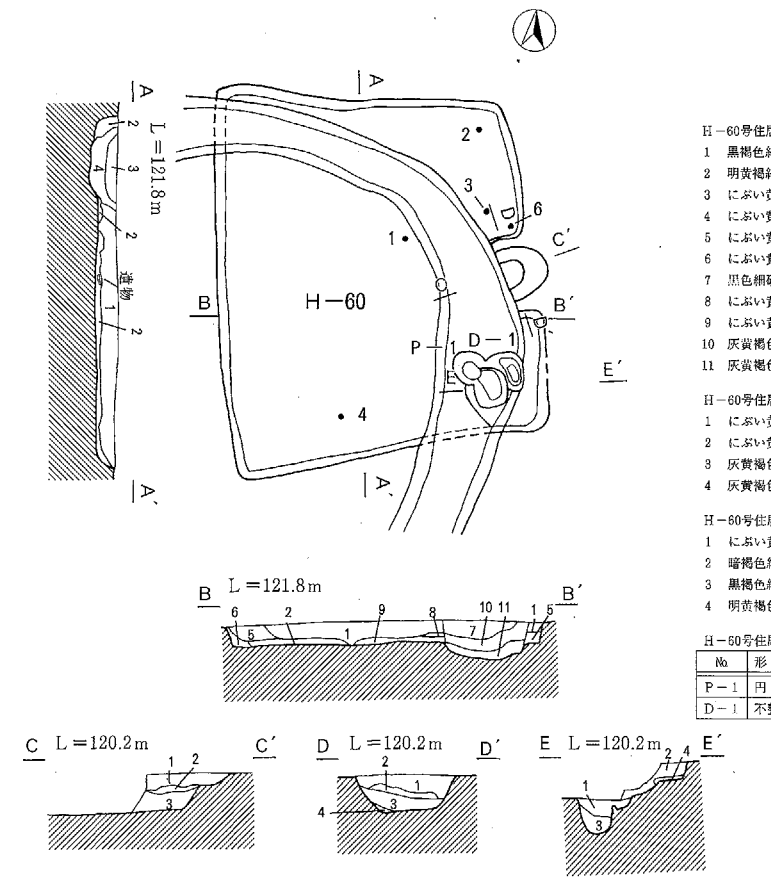
1　褐灰色細砂層　○○
2　明黄褐色細砂層　△○　多量の灰黄褐色土粒含む。

H−58号住居跡　D−1号土坑セクション

1　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石・黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　×○　黄橙色土粒含む。

H−58号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P−1	楕円形	61	39	95	
P−2	円　形	63	49	67	
P−3	円　形	41	40	66	
P−4	円　形	51	48	69	
D−1	円　形	61	51	63	貯蔵穴



H−60号住居跡　ベルトセクション

1　黒褐色細砂層　△○　As-C軽石・白色軽石含む。
2　明黄褐細砂層　△○　1層とロームの混じり。
3　にぶい黄褐色細砂層　△○　4層より多量のAs-C軽石、白色軽石含む。（周溝状遺構埋土）
4　にぶい黄褐色細砂層　△○　3層より少量・小粒のAs-C軽石、白色軽石・黄橙色土ブロックを含む。（周溝状遺構埋土）
5　にぶい黄橙色細砂層　△○　As-C軽石・白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
6　にぶい黄橙色細砂層　△○　白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
7　黒色細砂層　○○　As-C軽石・白色軽石含む。（周溝状遺構埋土）
8　にぶい黄褐色細砂層　△△　黄橙色土ブロック含む。
9　にぶい黄褐色細砂層　△△　白色軽石・8層より多くの黄橙色土ブロック含む。
10　灰黄褐色細砂層　△○　As-C軽石・白色軽石含む。（周溝状遺構埋土）
11　灰黄褐色細砂層　△○　多量の黄橙色土ブロック含む。（周溝状遺構埋土）

H−60号住居跡　竈セクション

1　にぶい黄橙色細砂層　△○
2　にぶい黄橙色細砂層　△○　焼土含む。
3　灰黄褐色細砂層　×○　灰含む。
4　灰黄褐色細砂層　×○　3層より多くの灰含む。

H−60号住居跡　D−1号土坑セクション

1　にぶい黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　暗褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　黒褐色細砂層　△○
4　明黄褐色細砂層　△○

H−60号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P−1	円　形	34	34	55	
D−1	不整形	70	52	39	

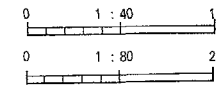
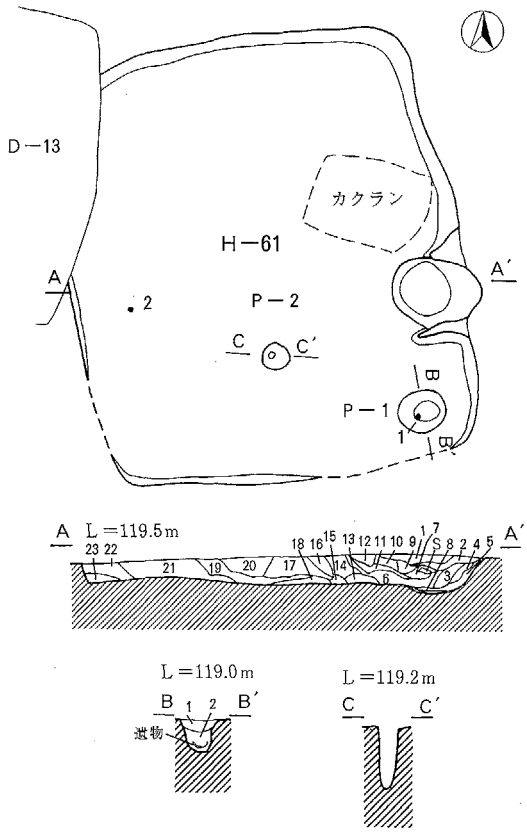


Fig.26　H−58・60号住居跡



H－61号住居跡　ベルトセクション

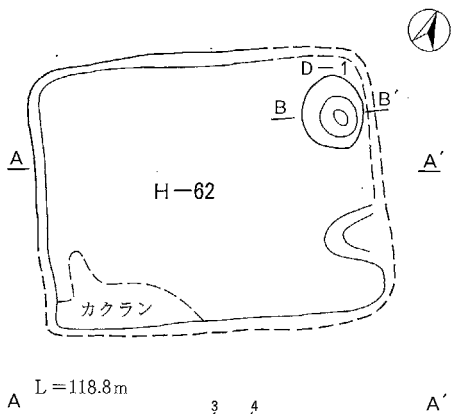
1	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・白色軽石含む。
2	黒褐色細砂層	○△	黄橙色土粒含む。
3	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・白色軽石・焼土粒含む。
4	灰黄褐色細砂層	△×	上部に焼土粒含む。
5	橙色細砂層	○×	焼土ブロック・下部に灰含む。
6	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・焼土粒・黄橙色土粒含む。
7	灰黄褐色細砂層	○×	黄橙色土ブロック含む。
8	にぶい黄褐色細砂層	△○	焼土粒含む。
9	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石・白色軽石含む。
10	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・白色軽石・黄橙色土粒含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	○○	全体に焼土が散る。
12	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・白色軽石含む。
13	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・黒色土粒・黄橙色土粒含む。
14	黒褐色細砂層	○△	As-C軽石・白色軽石含む。
15	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
16	にぶい黄橙色細砂層	○×	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
17	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
18	にぶい黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
19	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
20	灰黄褐色細砂層	○×	As-C軽石含む。
21	黒褐色細砂層	○○	黄橙色土粒含む。
22	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
23	にぶい黄橙色細砂層	○△	黄橙色土ブロック含む。

H－61号住居跡　P－1セクション

1	暗褐色細砂層	○○
2	黒褐色細砂層	×○

H－61号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	52	46	31	
D－1	不整形	30	29	62	



H－62号住居跡　ベルトセクション

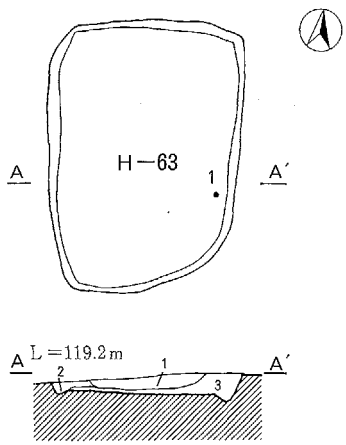
1	にぶい黄橙色細砂層	△○	As-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	△○	As-C軽石含む。
3	にぶい黄橙色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
4	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・多量の黄橙色土粒含む。
5	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。カクラン

H－62号住居跡　D－1セクション

1	暗褐色細砂層	△○	少量の白色軽石・黄橙色土粒含む。
2	灰黄褐色細砂層	△○	

H－62号住居跡柱穴・土坑計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
D－1	円　形	74	68	42	

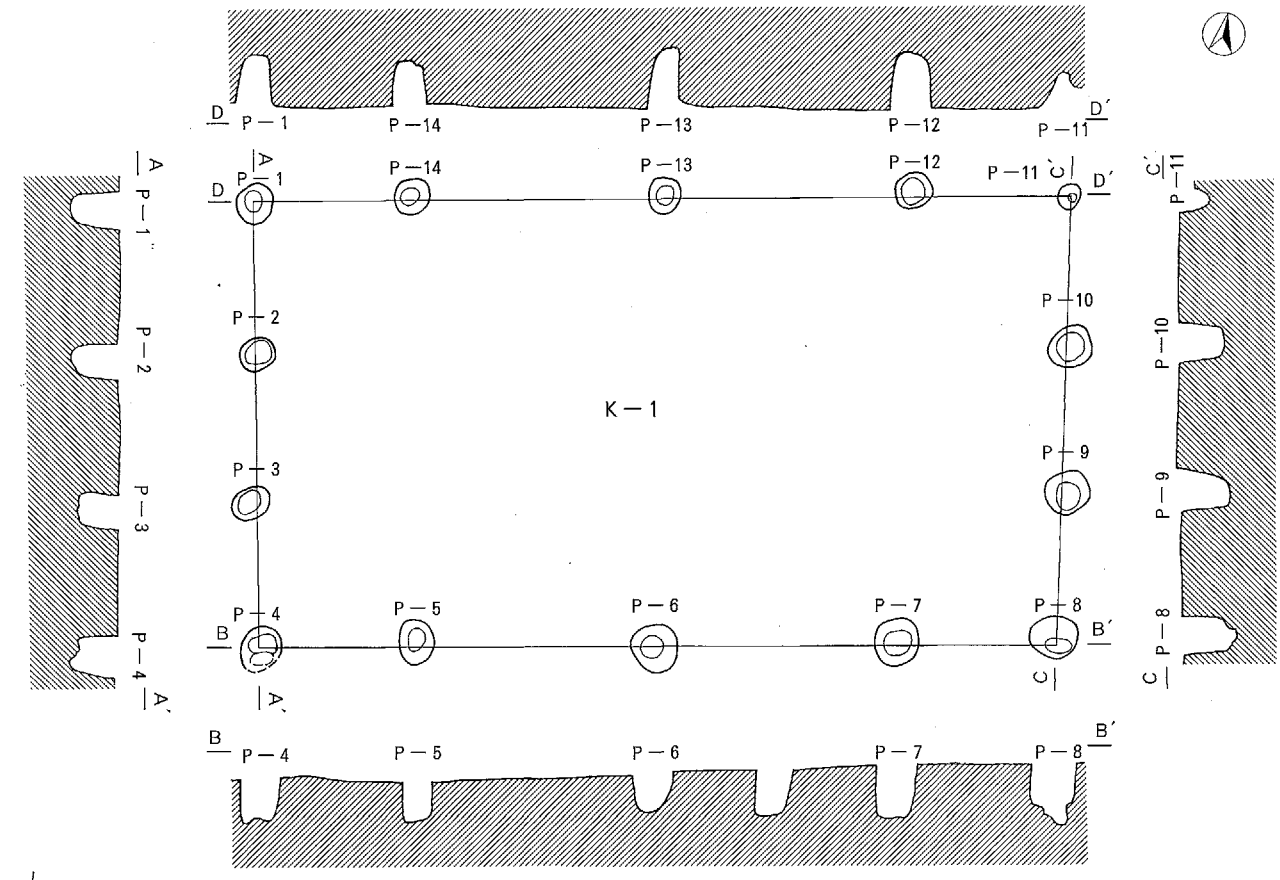


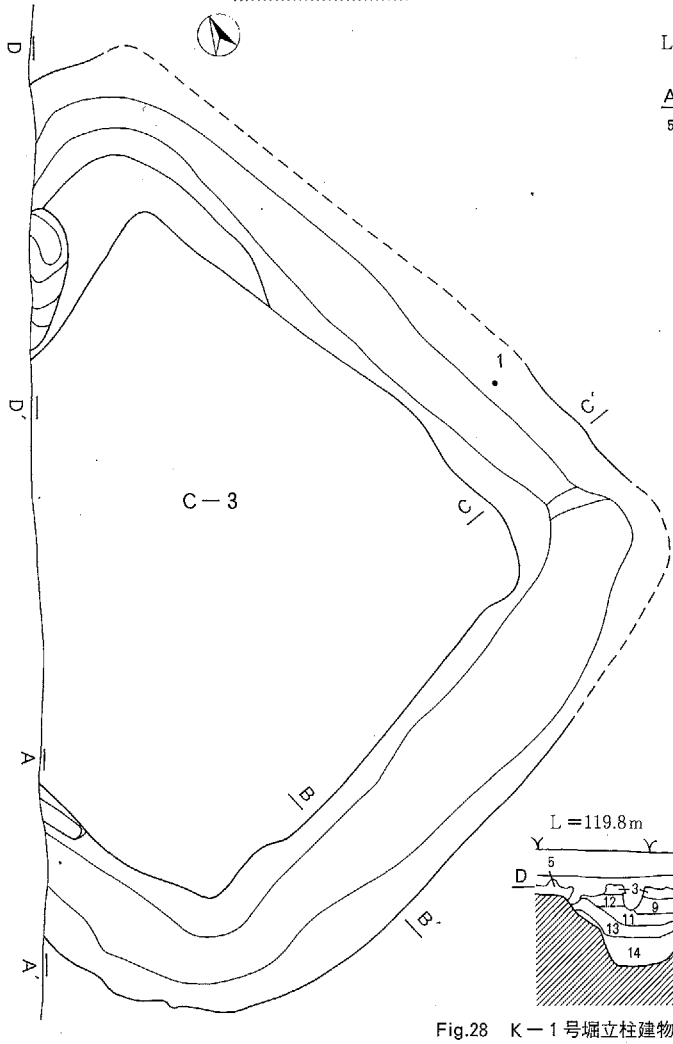
H－63号住居跡　ベルトセクション

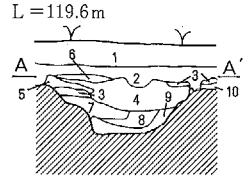
1	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2	にぶい黄褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。
3	褐色細砂層	○○	

Fig.27　H－61・62・63号住居跡

0　1：80　2m

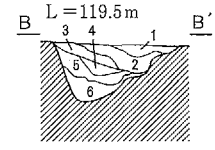






C－3号方形周溝墓セクション　Aセクション

1	にぶい黄褐色粗砂層	○×	白色軽石含む。現耕作土。
2	にぶい黄褐色粗砂層	○×	白色軽石含む。
3	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
4	にぶい黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
5	黄橙色細砂層	○○	
6	灰黄褐色粗砂層	××	細かい砂層。
7	黄橙色粗砂層	×△	細かい砂層。
8	灰黄褐色細砂層	△△	細かい砂層。As-C軽石含む。
9	灰黄褐色粗砂層	△○	少量のAs-C軽石含む。
10	明黄褐色細砂層	△○	黒とロームの漸移層。

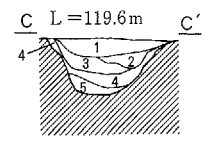


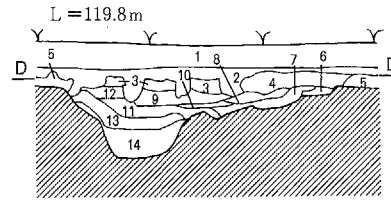
C－3号方形周溝墓セクション　Bセクション

1	にぶい黄褐色粗砂層	○×	
2	にぶい黄褐色粗砂層	△○	As-C軽石含む。
3	にぶい黄褐色粗砂層	△○	As-C軽石含む。
4	にぶい黄褐色細砂層	△○	多量のAs-C軽石含む。
5	灰黄褐色細砂層	×○	多量のAs-C軽石含む。
6	灰黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・黄橙色土粒含む。

C－3号方形周溝墓セクション　Cセクション

1	黒褐色細砂層	△△	多量のAs-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	△△	1層より少量のAs-C軽石含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒・砂含む。
4	灰黄褐色細砂層	×○	砂含む。
5	黒褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。



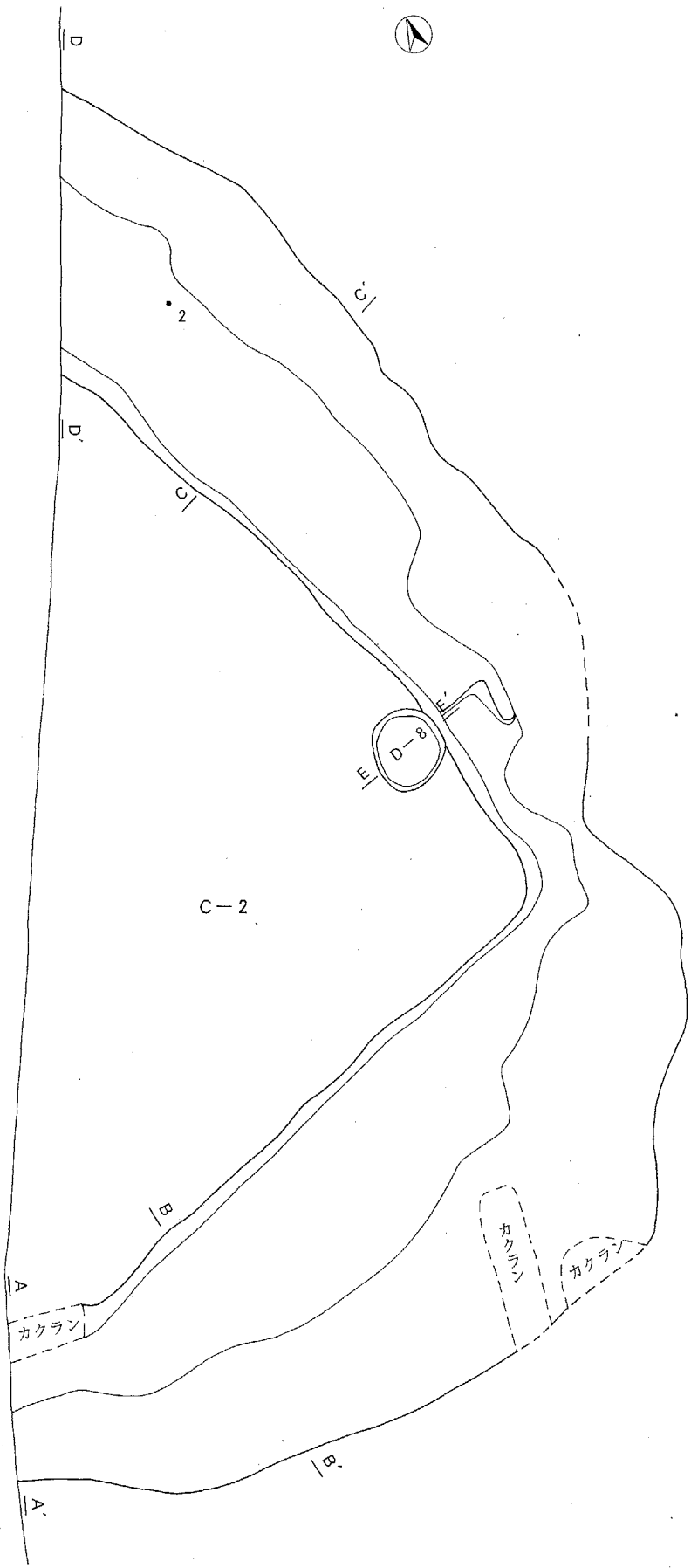


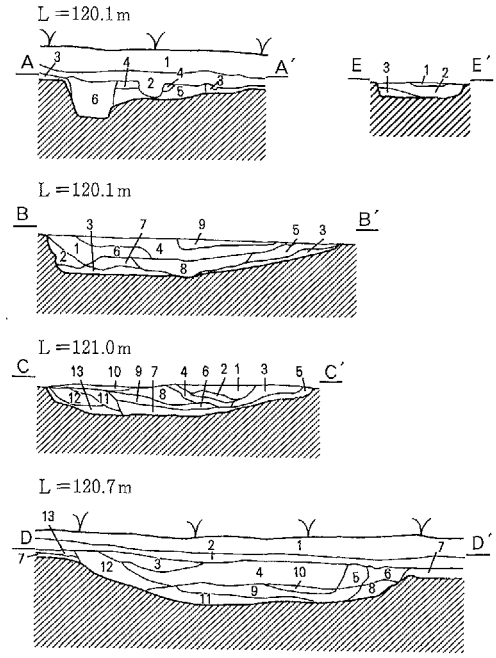
C－3号方形周溝墓セクション　Dセクション

1	にぶい黄褐色粗砂層	○×	白色軽石含む。現耕作土。
2	にぶい黄褐色粗砂層	○×	白色軽石含む。
3	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む
4	明黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
5	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。
6	灰黄褐色細砂層	△○	
7	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石含む。
8	黄橙色細砂層	○○	
9	にぶい黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
10	褐灰色細砂層	△○	砂含む。
11	黒褐色粗砂層	△×	As-C軽石・多量の砂含む。
12	にぶい黄褐色細砂層	×○	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
13	にぶい黄褐色粗砂層	△△	多量の砂含む。
14	褐灰色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。

0　1：100　2.5m

Fig.28　K－1号堀立柱建物跡、C－3号方形周溝基





C－2号方形周溝墓セクション　Aセクション

1	褐灰色粗砂層	○×	現耕作土
2	灰黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石・黒色土ブロック含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	××	
4	にぶい黄褐色粗砂層	×△	As-C軽石含む。
5	にぶい黄褐色粗砂層	××	As-C軽石含む。
6	灰黄褐色粗砂層	○×	カクラン

C－2号方形周溝墓セクション　Bセクション

1	灰黄褐色粗砂層	△×	As-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	△×	1層より粒の小さいAs-C軽石含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	○×	黄橙色土ブロック含む。
4	にぶい黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石含む。
5	にぶい黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石含む。
6	にぶい黄褐色粗砂層	○×	4層より粒がが小さいAs-C軽石含む。
7	暗褐色粗砂層	△×	多量のAs-C軽石・黄橙色土粒含む。
8	暗褐色細砂層	△×	7層より粒が小さく少量のAs-C軽石含む。
9	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。

C－2号方形周溝墓セクション　Cセクション

1	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
2	黒褐色細砂層	○○	1層より粒の小さいAs-C軽石含む。
3	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
4	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
5	にぶい黄褐色細砂層	○○	細かい白色軽石・下部に黄橙色土ブロック含む。
6	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石含む。
7	にぶい黄褐色細砂層	○○	細かい白色軽石・下部に黄橙色土ブロック含む。
8	暗褐色細砂層	○○	多量のAs-C軽石含む。
9	暗褐色細砂層	○○	8層より小さいAs-C軽石含む。
10	黒褐色細砂層	○×	
11	にぶい黄褐色細砂層	○△	As-C軽石含む。
12	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石・黄橙色土粒含む。
13	にぶい黄褐色細砂層	○×	12層より少量のAs-C軽石含む。

C－2号方形周溝墓セクション　Dセクション

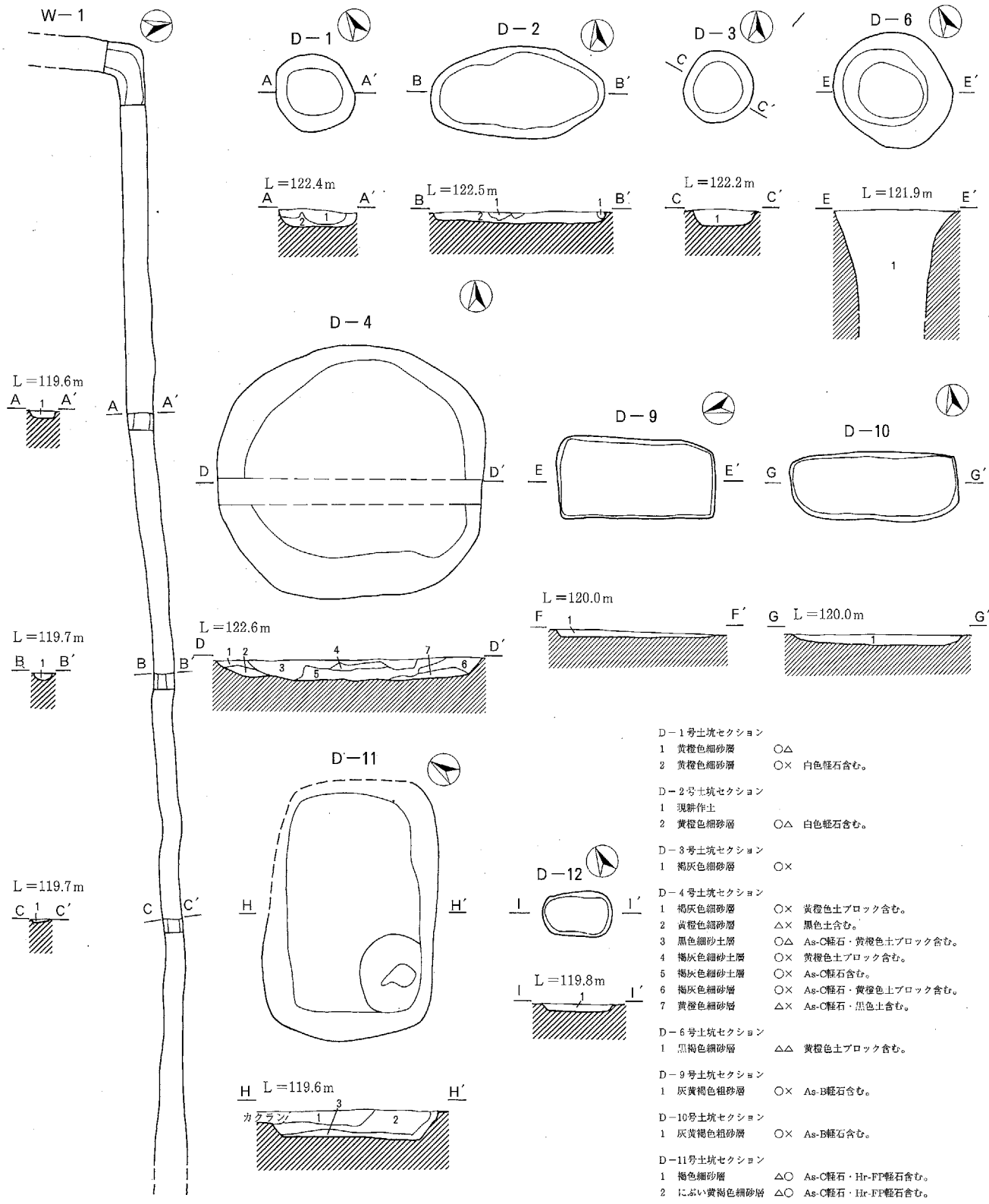
1	黒褐色粗砂層	○×	現耕作土
2	灰黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3	灰黄褐色粗砂層	△×	
4	褐灰色粗砂層	△×	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
5	灰黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
6	にぶい黄褐色粗砂層	○×	As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
7	明黄褐色細砂層	△×	
8	黒褐色粗砂層	△×	As-C軽石含む。
9	黒褐色粗砂層	○×	As-C軽石含む。
10	黒褐色粗砂層	○×	多量のAs-C軽石含む。
11	にぶい黄褐色細砂層	△○	
12	黒褐色細砂層	△△	As-C軽石含む。
13	にぶい黄褐色細砂層	○×	As-C軽石含む。

D－8号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	○○	白色軽石含む。
2	灰黄褐色細砂層	○○	As-C軽石・Hr-FP軽石・少量の黄橙色土粒含む。
3	黒褐色細砂層	○○	As-C軽石・白色軽石含む。

0　1：100　2.5m

Fig.29　C－2号方形周溝基、D－8号土坑



W－1号溝跡セクション　　A～Cセクション
1　黒褐色細砂層　　△△　As-C軽石・Hr-FP軽石・下部に黄橙色土粒含む。

D－1号土坑セクション
1　黄橙色細砂層　　○△
2　黄橙色細砂層　　○×　白色軽石含む。

D－2号土坑セクション
1　現耕作土
2　黄橙色細砂層　　○△　白色軽石含む。

D－3号土坑セクション
1　褐灰色細砂層　　○×

D－4号土坑セクション
1　褐灰色細砂層　　○×　黄橙色土ブロック含む。
2　黄橙色細砂層　　△×　黒色土含む。
3　黒色細砂土層　　○△　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
4　褐灰色細砂土層　　○×　黄橙色土ブロック含む。
5　褐灰色細砂土層　　○×　As-C軽石含む。
6　褐灰色細砂層　　○×　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。
7　黄橙色細砂層　　△×　As-C軽石・黒色土含む。

D－6号土坑セクション
1　黒褐色細砂層　　△△　黄橙色土ブロック含む。

D－9号土坑セクション
1　灰黄褐色粗砂層　　○×　As-B軽石含む。

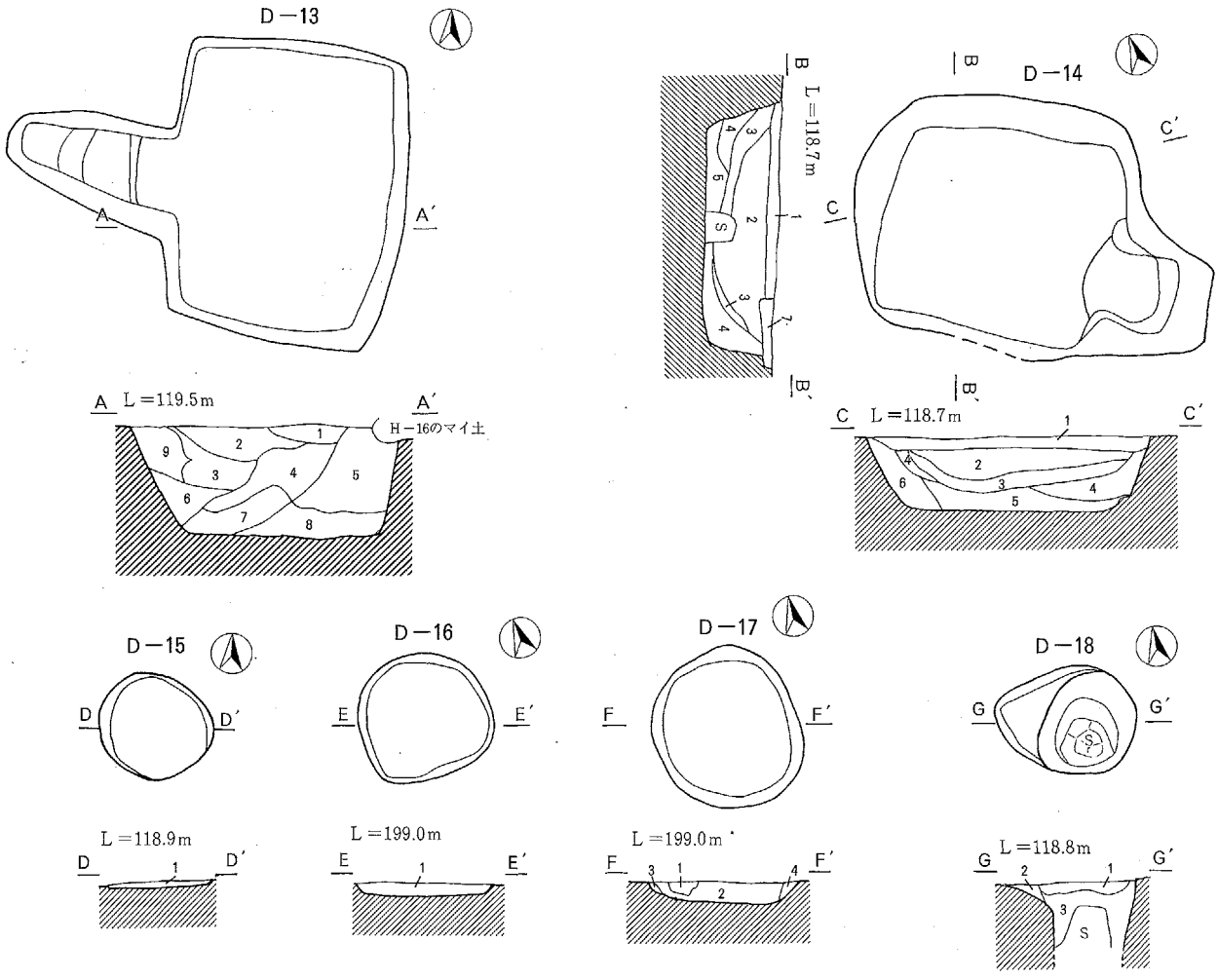
D－10号土坑セクション
1　灰黄褐色粗砂層　　○×　As-B軽石含む。

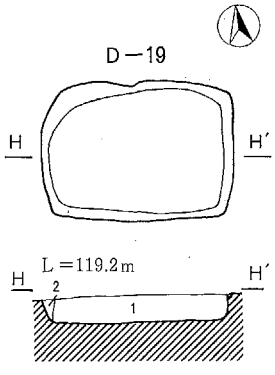
D－11号土坑セクション
1　褐色細砂層　　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　　△○　As-C軽石・Hr-FP軽石含む。
3　灰黄褐色細砂層　　△○

D－12号土坑セクション
1　灰黄褐色細砂層　　○×　As-B軽石含む。（馬の歯及び骨出土）

0　1：80　2 m
0　1：160　4 m

Fig.30　W－1号溝跡、D－1～4・6・9～11号土坑





D－13号土坑セクション

1	灰黄褐色粗砂層	○×	砂含む。
2	明黄褐色細砂層	○○	
3	灰黄褐色粗砂層	○×	多量の砂・黄橙色土粒含む。
4	灰黄褐色粗砂層	○×	多量の砂含む。
5	黒褐色粗砂層	○×	多量の砂含む。
6	黄橙色細砂層	△×	
7	にぶい黄褐色細砂層	××	粘質土
8	にぶい黄褐色細砂層	△○	
9	黄橙色細砂層	○○	

D－14号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△○	Hr-FP軽石・黄橙色土粒含む。
2	暗褐色細砂層	△○	少量のHr-FP軽石含む。
3	黒褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土ブロック含む。
4	黄褐色細砂層	△○	黒色土ブロック含む。
5	黒褐色細砂層	△○	下部に黄橙色土粒含む。
6	褐色細砂層	△○	
7	灰黄褐色細砂層	△○	黄橙色土粒含む。

D－15号土坑セクション

1	黒褐色粗砂層	×△	

D－16号土坑セクション

1	暗褐色細砂層	△△	黄橙色土ブロック含む。

D－17号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△×	黄橙色土粒含む。
2	暗褐色細砂層	△△	黄橙色土ブロック含む。
3	褐色細砂層	△○	
4	カクラン		

D－18号土坑セクション

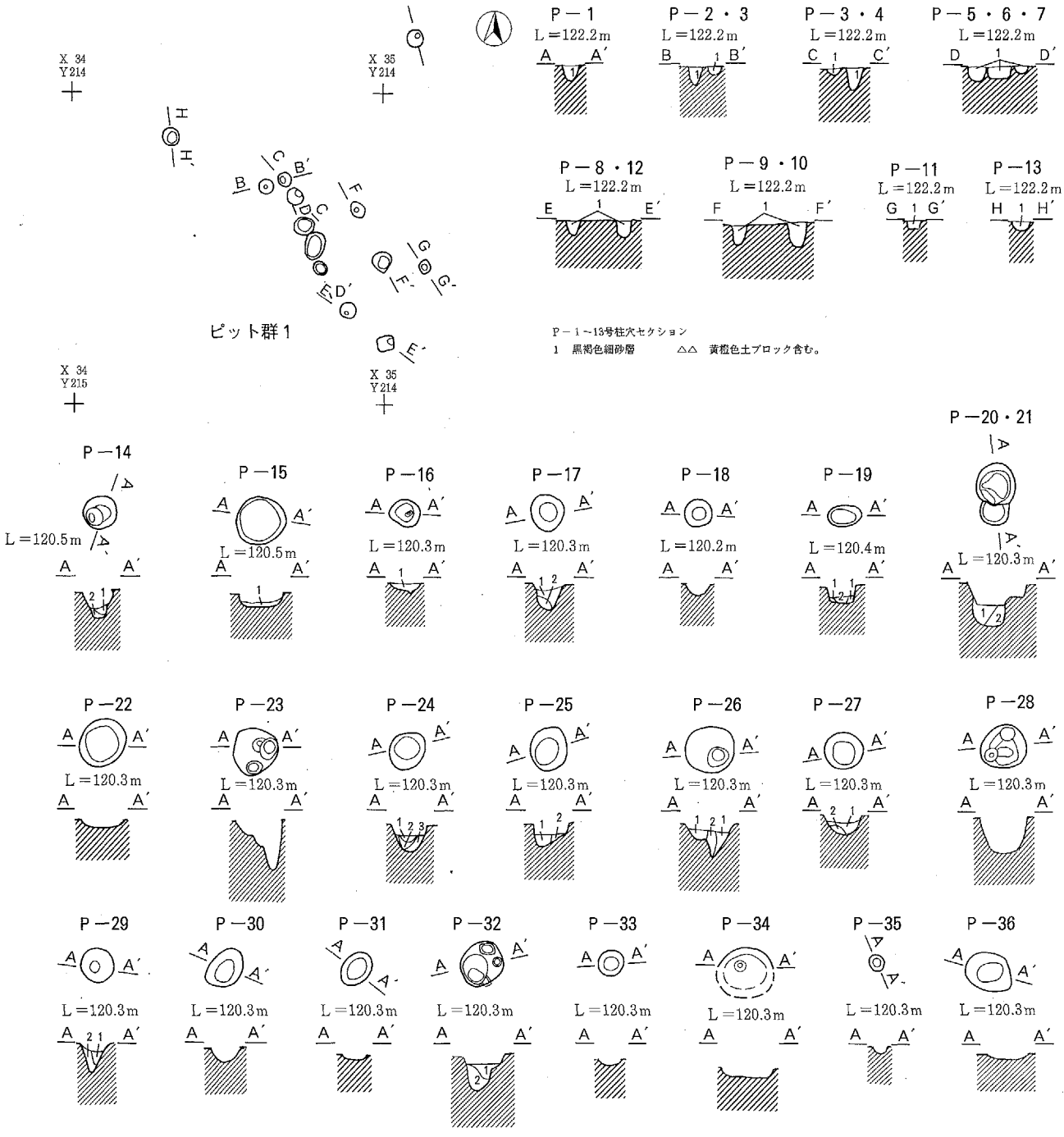
1	暗褐色細砂層	△○	As-C軽石・白色軽石含む。
2	暗褐色細砂層	△○	白色軽石・黄橙色土粒含む。
3	にぶい黄褐色細砂層	△○	黄橙色土ブロック含む。

D－19号土坑セクション

1	にぶい黄褐色細砂層	△△	黄橙色土ブロック含む。
2	黄褐色細砂層	△△	上部に黄橙色土ブロック含む。

Fig.31　D－13　～　19号土坑

0　1：80　2 m



P－1～13号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　△△　黄橙色土ブロック含む。

P－14号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

P－15・16号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

P－17号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

P－19号柱穴セクション
1　明黄褐色細砂層　△○
2　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック・黄橙色土粒含む。

D－20・21号土坑セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　△△　黄橙色土ブロック含む。
2　黄褐色細砂層　△△　上部に黄橙色土ブロック含む。

P－24号柱穴セクション
1　暗褐色細砂層　△○　白色礫石・黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　明黄褐色細砂層　△○

P－25号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック・黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

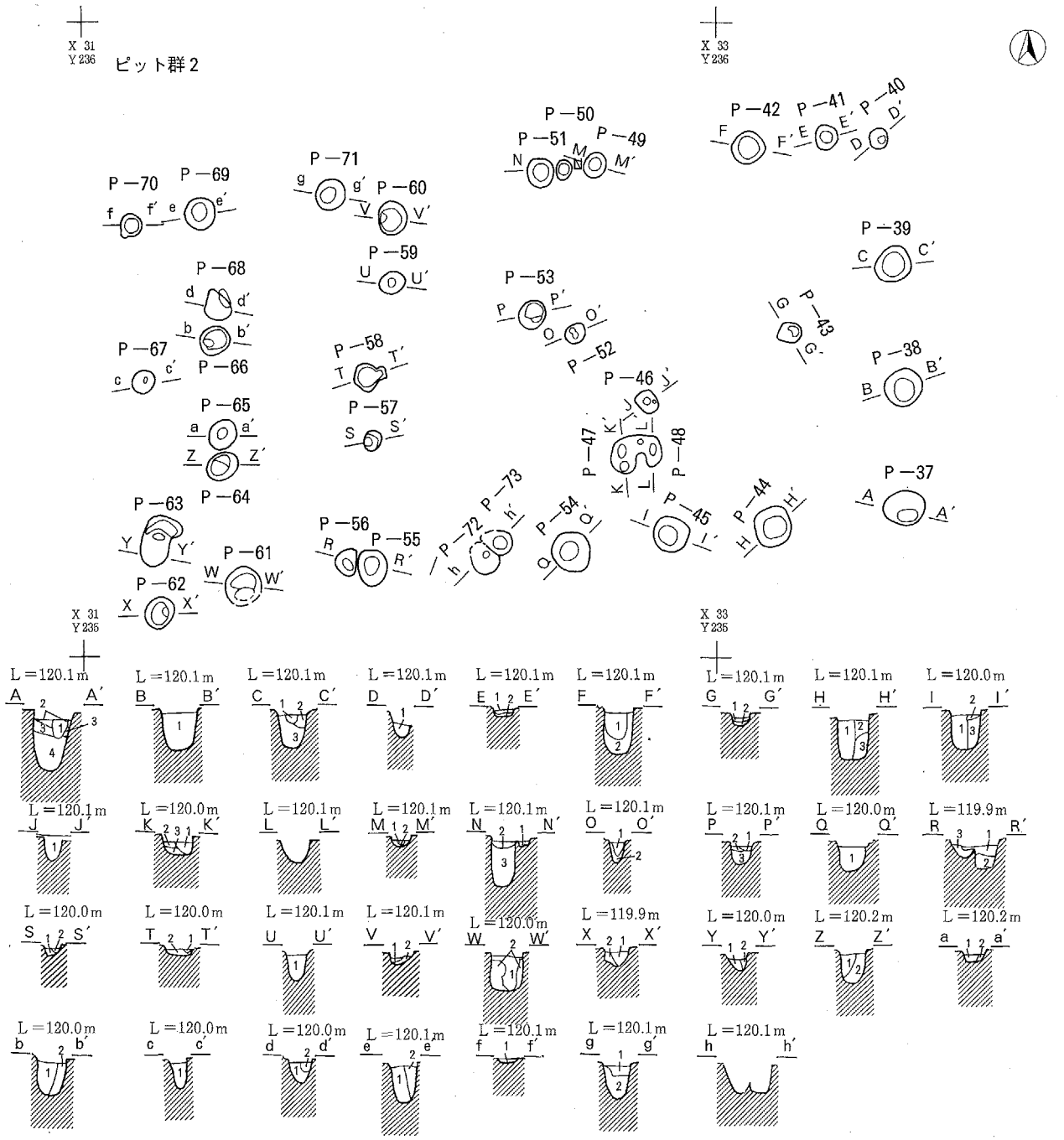
P－26号柱穴セクション
1　明黄褐色細砂層　△○
2　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック・黄橙色土粒含む。

P－27号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　黒褐色細砂層　△○

P－29・32号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　灰黄褐色細砂層　△○

0　1：80　2 m

Fig.32　ピット群1、P－14～36号柱穴



P－37号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　褐灰色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　×○　2層より多くの黄橙色土ブロック含む。
4　黄橙色細砂層　×○　黒色土ブロック含む。

P－38号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロック、まだらに含む。

P－39号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　褐灰色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。
3　浅黄褐色細砂層　△○

P－40号柱穴セクション
1　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロック含む。

P－41・53号柱穴セクション
1　褐灰色細砂層　×○
2　浅黄褐色細砂層　△○
3　黄橙色細砂層　×○

P－42号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　軽石・黄橙色土ブロック（縞模様）含む。
2　黒褐色細砂層　○×　軽石・黄橙色土ブロック（乱雑）含む。

P－43号柱穴セクション
1　褐灰色粗砂層　×○　As-B軽石含む。
2　明黄褐色細砂層　○○　1層が部分的に入り込む。

P－44号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　×○　少量のAs-C軽石含む。
3　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。

P－45号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　×○　少量のAs-C軽石含む。
3　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。

P－46号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。

P－47号柱穴セクション
1　褐灰色細砂層　△○　軽石・黄橙色土ブロック含む。
2　褐灰色細砂層　△○　軽石含む。
3　黄橙色細砂層　×○　少量の黒色土含む。

P－49・60・62・65号柱穴セクション
1　褐灰色細砂層　×○　As-B軽石含む。
2　浅黄褐色細砂層　△○

P－50・51号柱穴セクション
1　浅黄褐色細砂層　△○
2　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
3　にぶい黄褐色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。

0　1：80　2m

Fig.33　ピット群2

P－52号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。

P－54号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。

P－55・56号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。
3　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

P－57号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。
2　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。

P－58号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　褐灰色細砂層　×○　黒色土ブロック・黄橙色土ブロックまだらに含む。

P－59号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。

P－61号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○
2　明黄褐色細砂層　○○　黒色土ブロック含む。

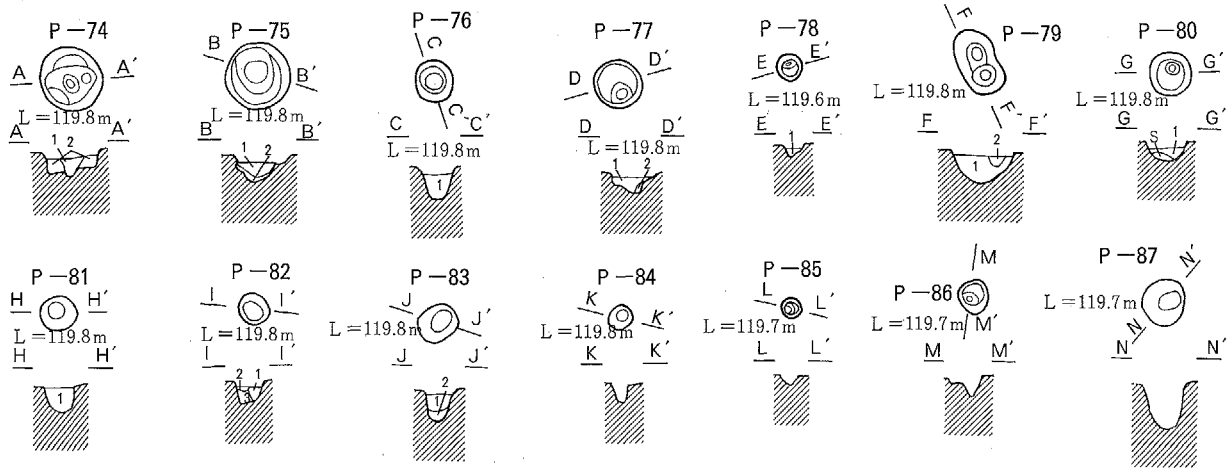
P－63号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む。

P－64・66・69号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石含む。
2　黒褐色細砂層　×○　As-C軽石・黄橙色土ブロック含む

P－67号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土粒含む。

P－68号柱穴セクション
1　褐灰色細砂層　×○　粘質土に近い。
2　褐灰色細砂層　×○　黄橙色土ブロック含む。

P－71号柱穴セクション
1　灰黄褐色細砂層　△○　黄橙色土ブロック含む。
2　黄橙色細砂層　△○



P－74号柱穴セクション
1　にぶい黄褐色細砂層　○△
2　明黄褐色細砂層　○△

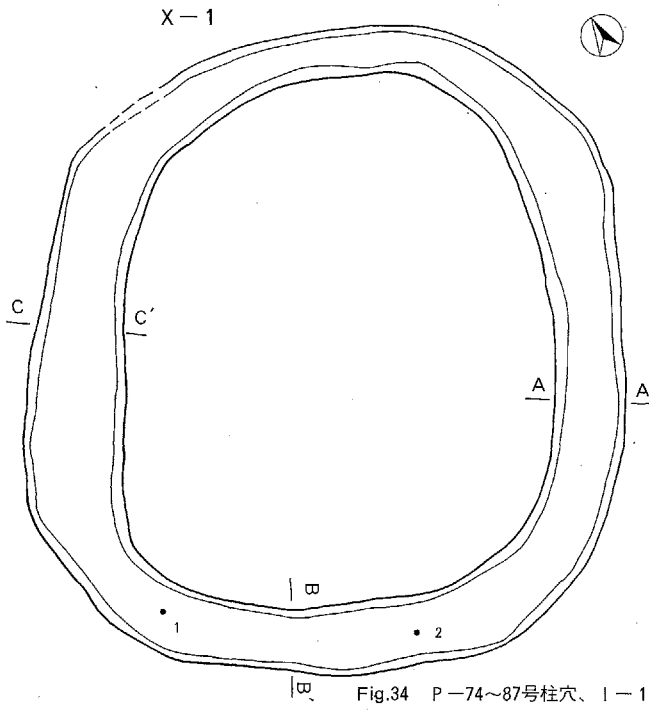
P－75・77・83号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　ローム粒含む。
2　黒褐色細砂層　○×　ロームブロック含む。

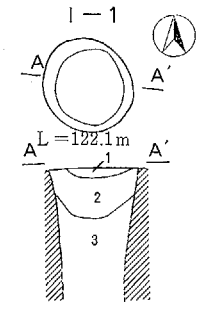
P－76・78・80号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　ローム粒含む。

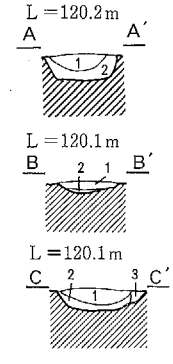
P－79・83号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　ローム粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　○○　ロームブロック含む。

P－81号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　多量のローム粒含む。

P－82号柱穴セクション
1　黒褐色細砂層　○×　ローム粒含む。
2　にぶい黄褐色細砂層　○△
3　明黄褐色細砂層　○△







I－1号井戸跡セクション
1　灰黄褐色粗砂層　○×　黄橙色土粒含む。
2　黒褐色粗砂層　○×　1層より多くの黄橙色土粒含む。
3　黒褐色細砂層　○×　2層より多くの黄橙色土粒含む。

X－1号周溝状遺構セクション
1　黒褐色細砂層　○○　As-C軽石・白色軽石含む。
2　灰褐色細砂層　○○　黄橙色土ブロック含む。
3　黒褐色細砂層　○○　As-C軽石・白色軽石含む。

0　1：80　2m

Fig.34　P－74～87号柱穴、I－1号井戸跡、X－1号周溝状遺構

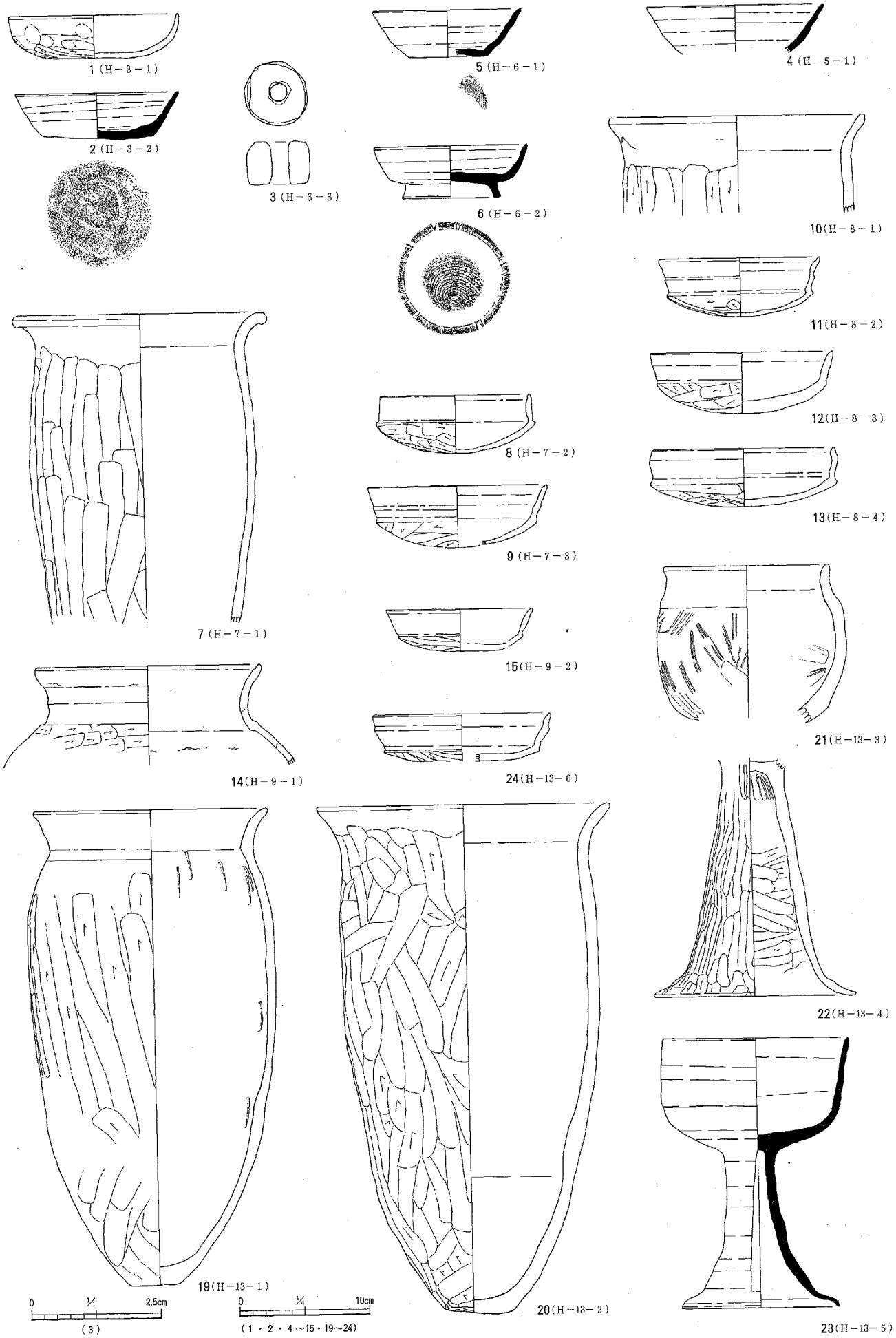


Fig.35　H－3・5～9・13号住居跡出土遺物

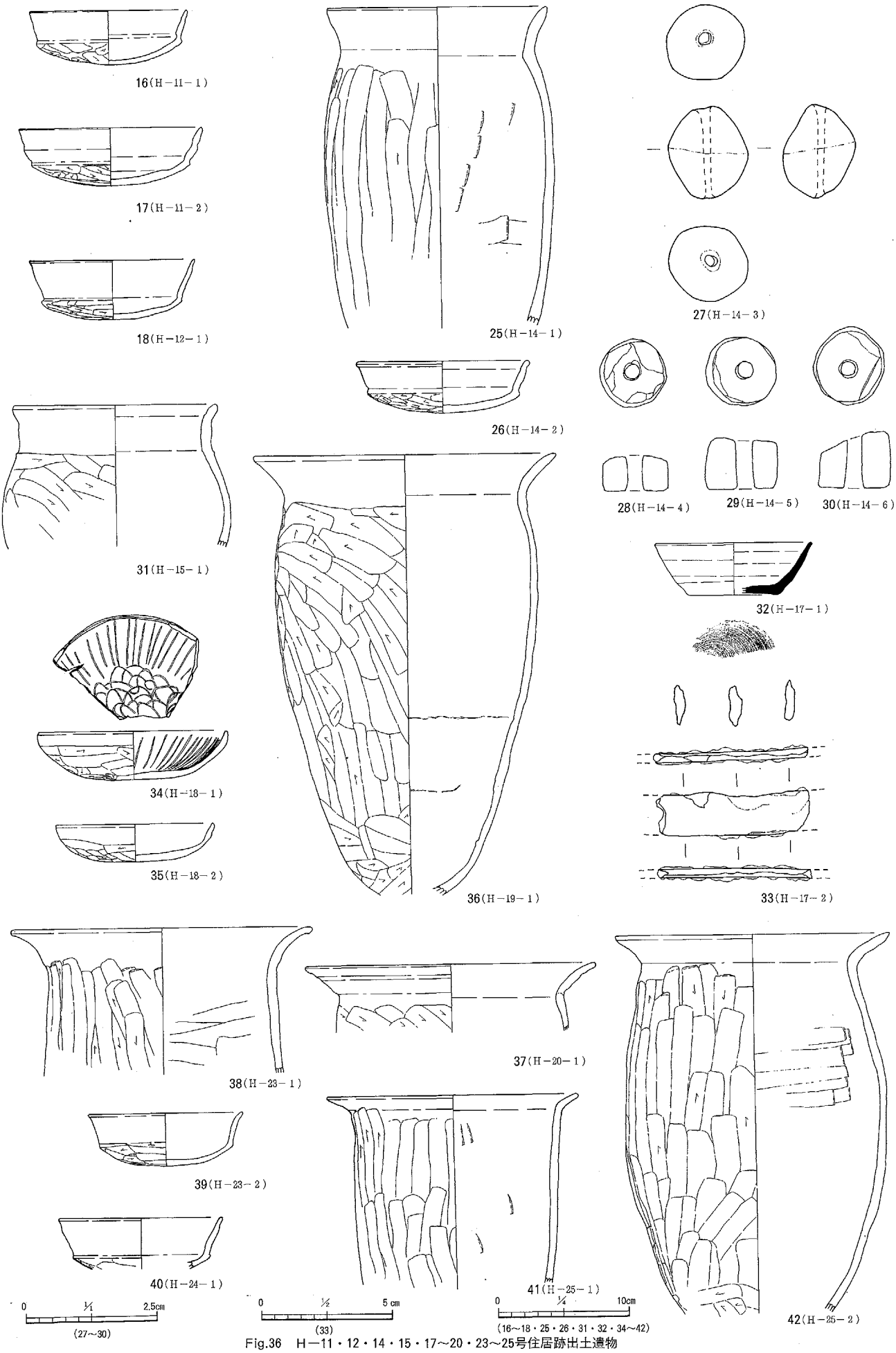


Fig.36　H—11・12・14・15・17～20・23～25号住居跡出土遺物

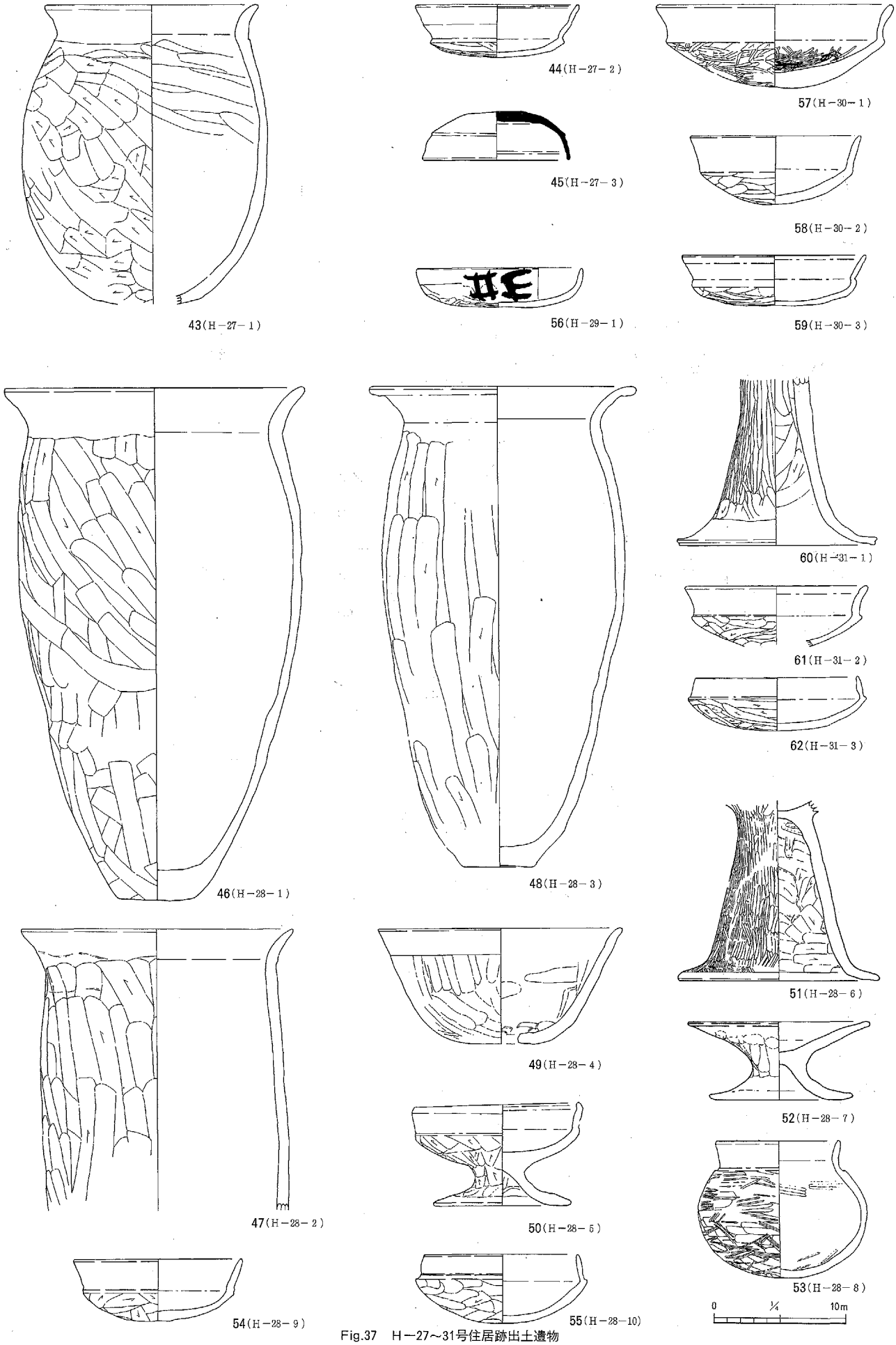


Fig.37　H－27～31号住居跡出土遺物

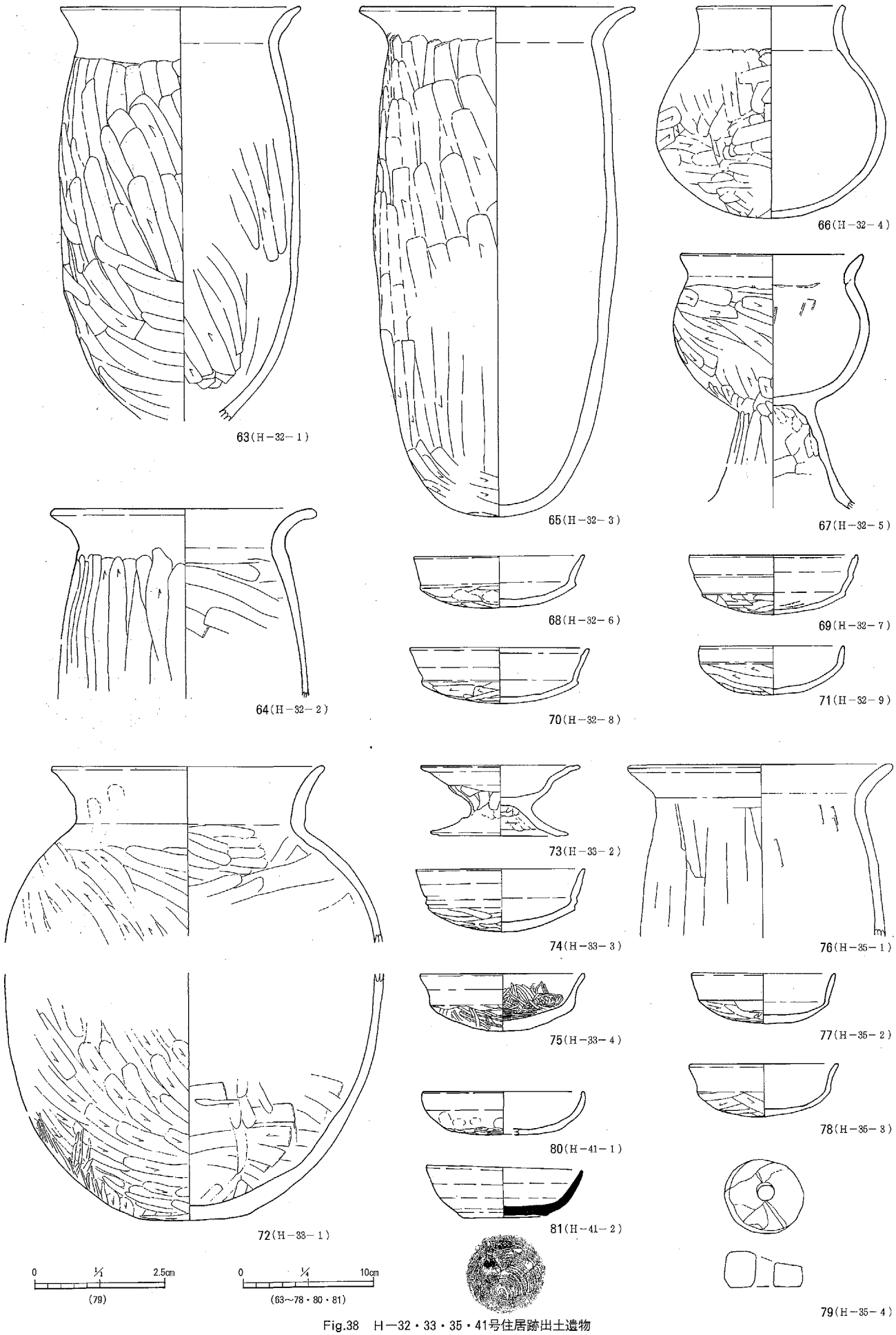
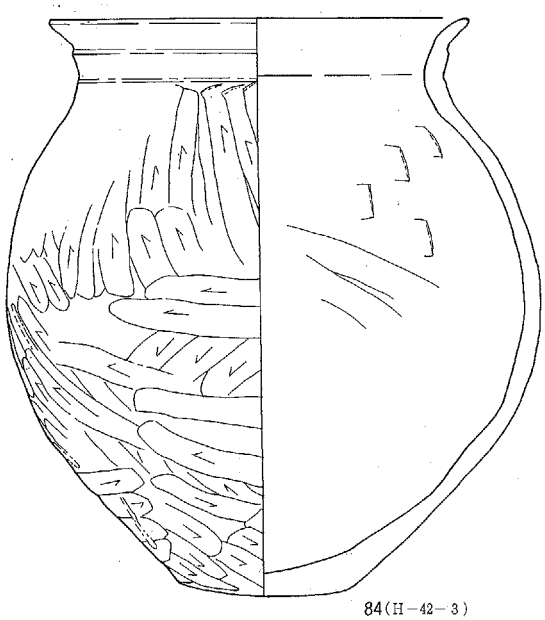
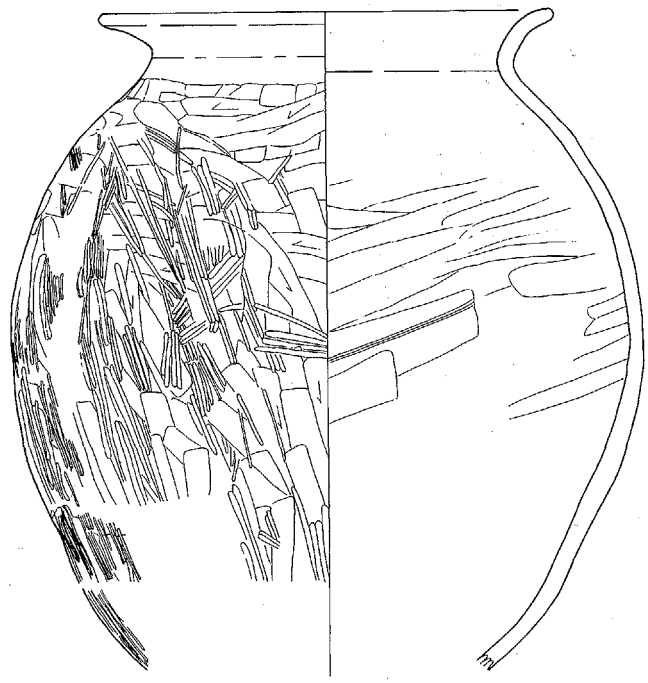


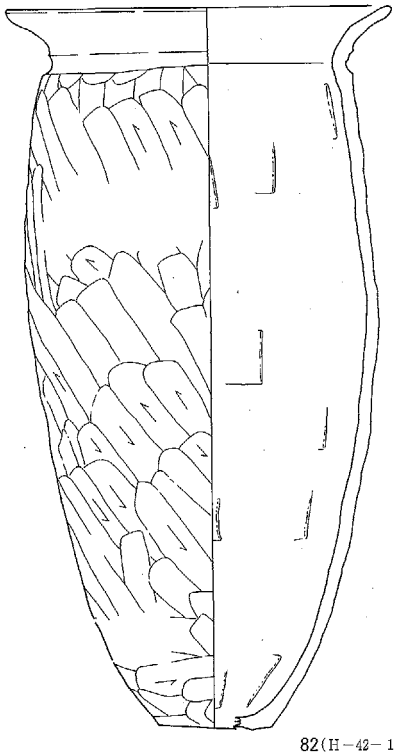
Fig.38　H－32・33・35・41号住居跡出土遺物



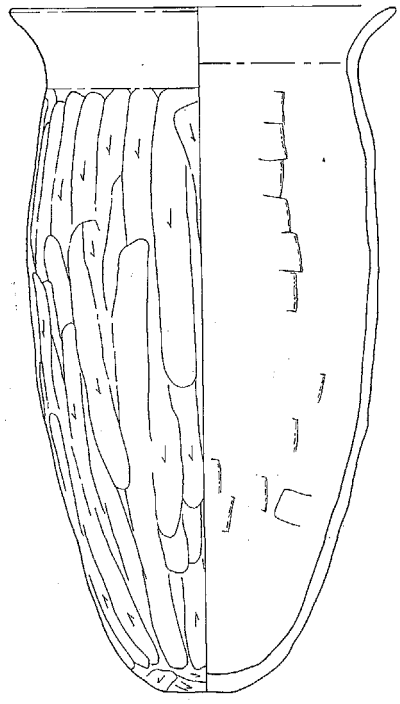
84(H－42－3)



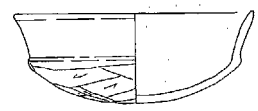
85(H－42－4)



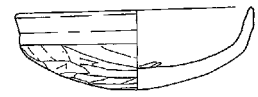
82(H－42－1)



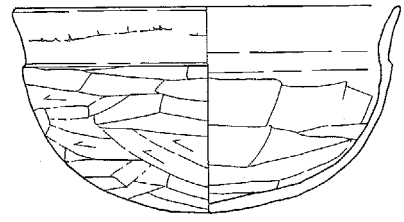
83(H－42－2)



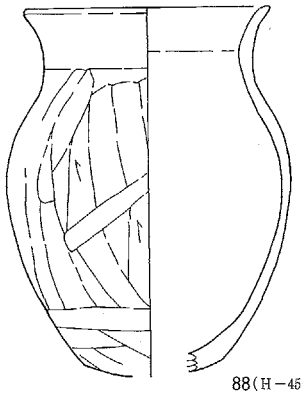
86(H－42－5)



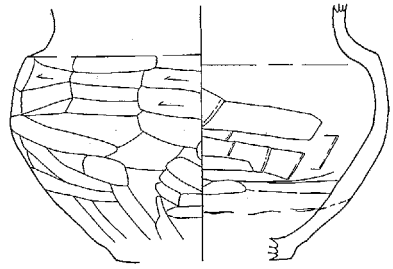
87(H－42－6)



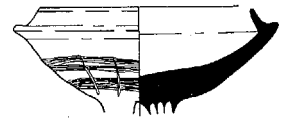
90(H－45－3)



88(H－45－1)



89(H－45－2)



91(H－45－4)

92(H－45－5)

0　¼　10cm

Fig.39　H－42・45号住居跡出土遺物

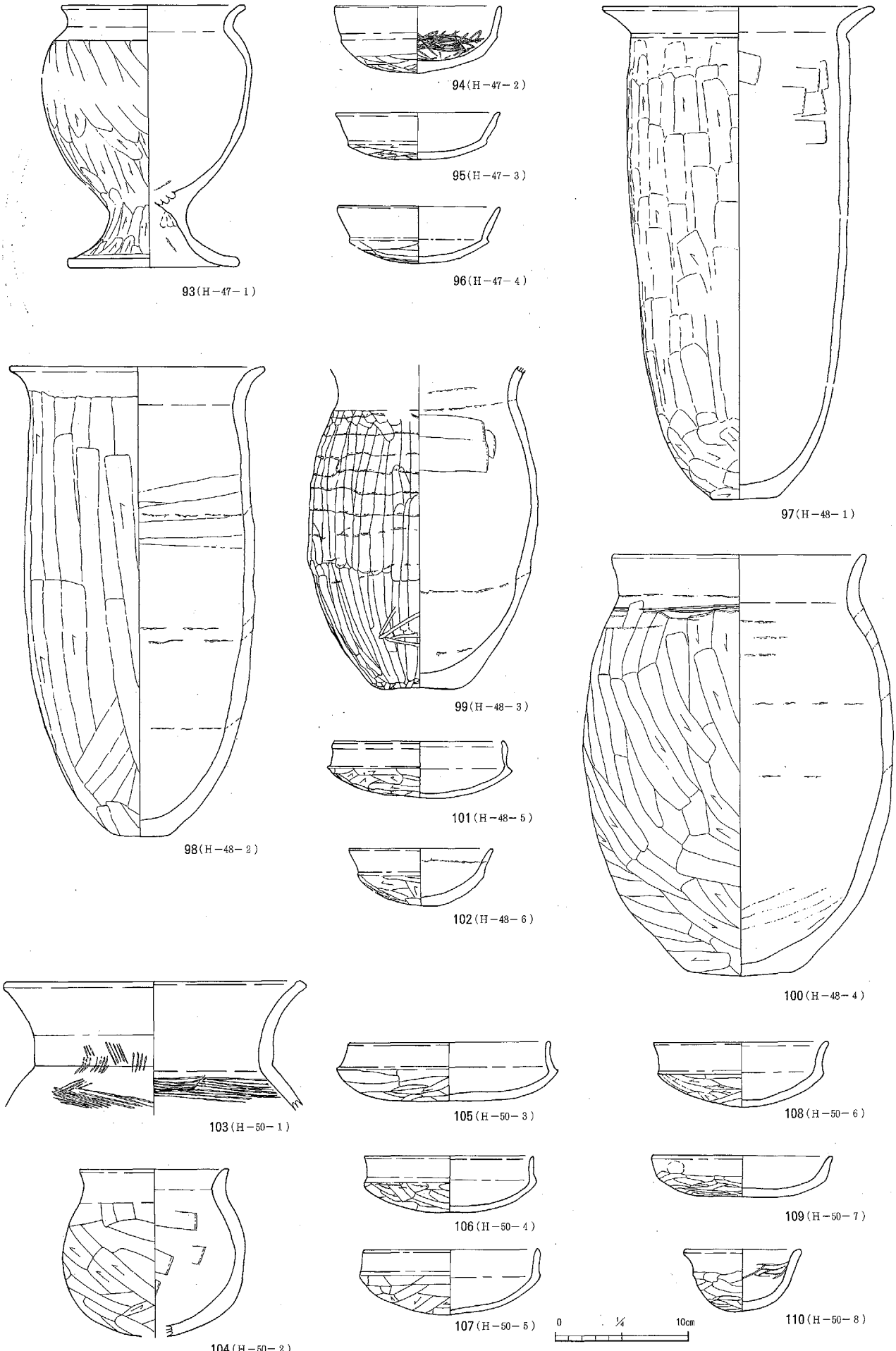


Fig.40　H－47・48・50号住居跡出土遺物

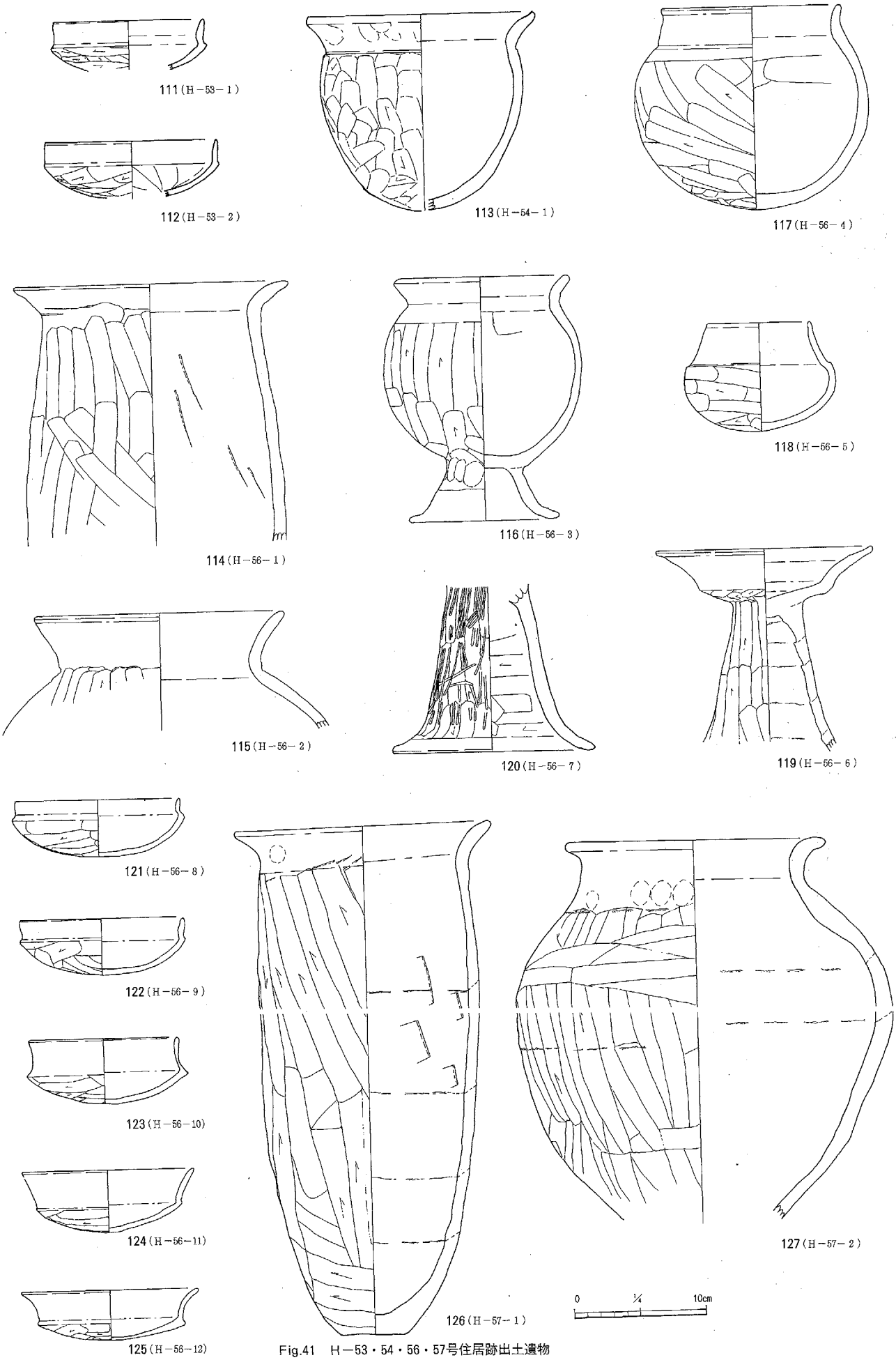


Fig.41　H－53・54・56・57号住居跡出土遺物

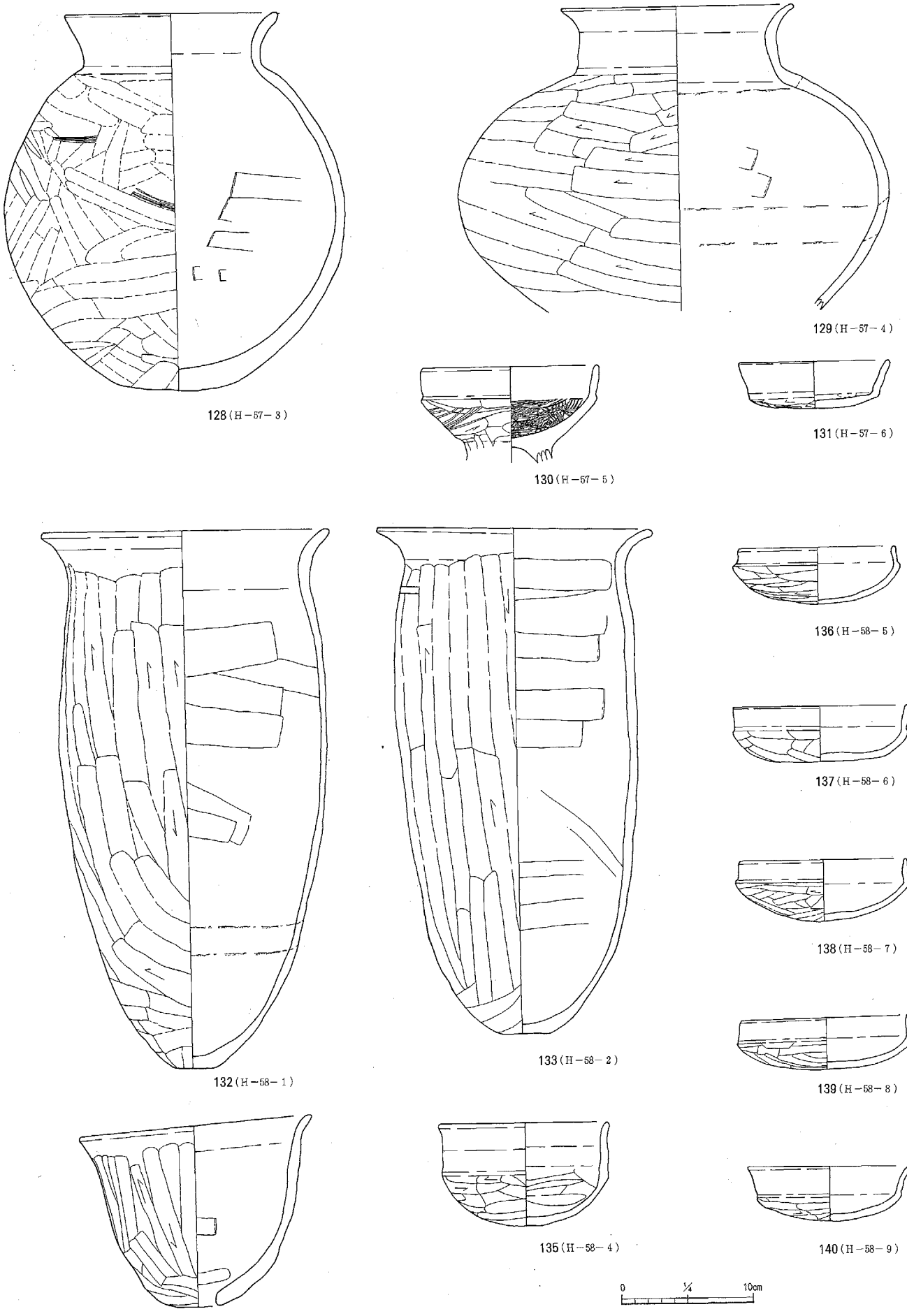


Fig.42　H－57・58号住居跡出土遺物

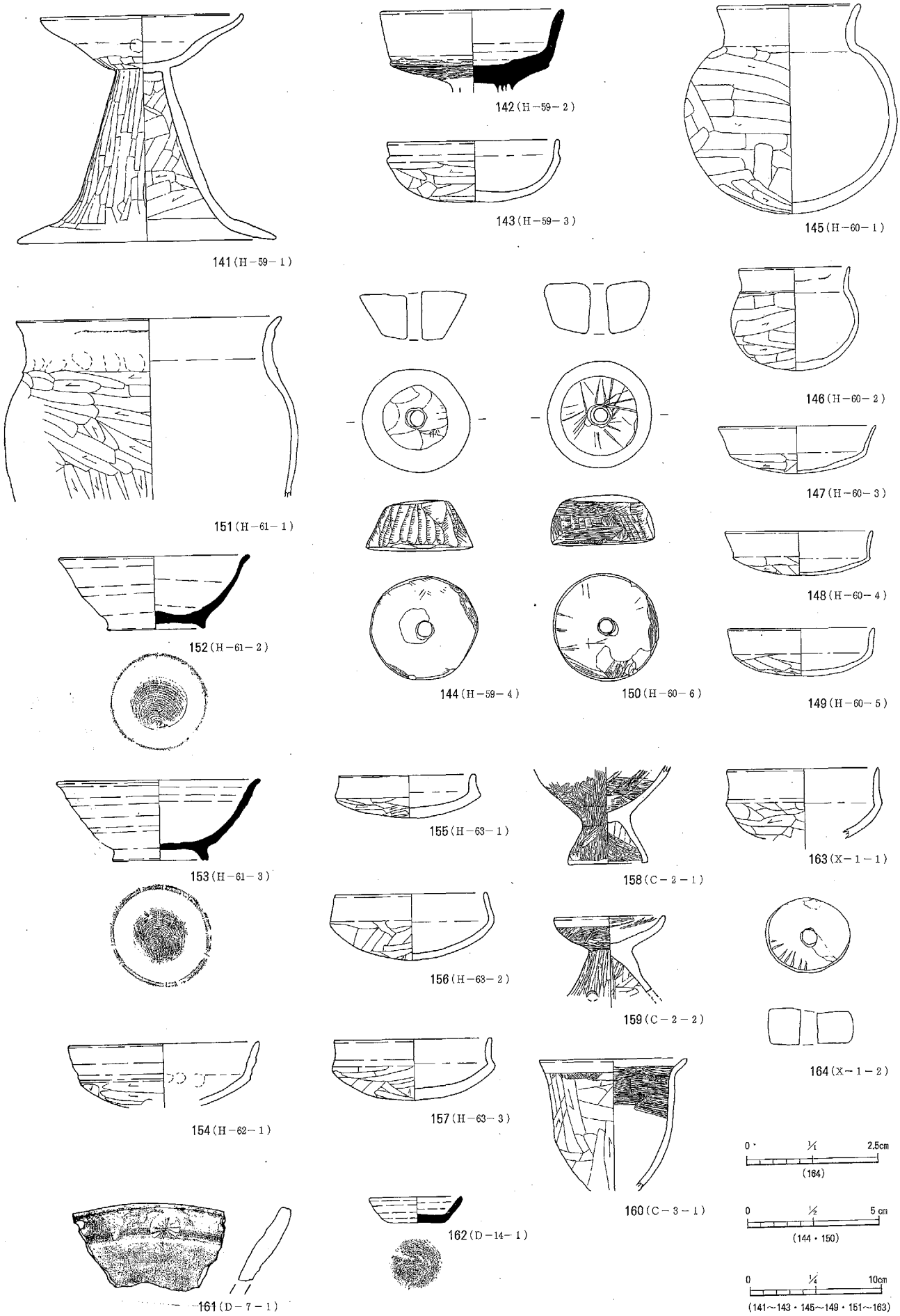


Fig.43　H－59～63号住居跡、C－2・3号方形周溝墓、X－1号周溝状遺構、D－14号土坑出土遺物

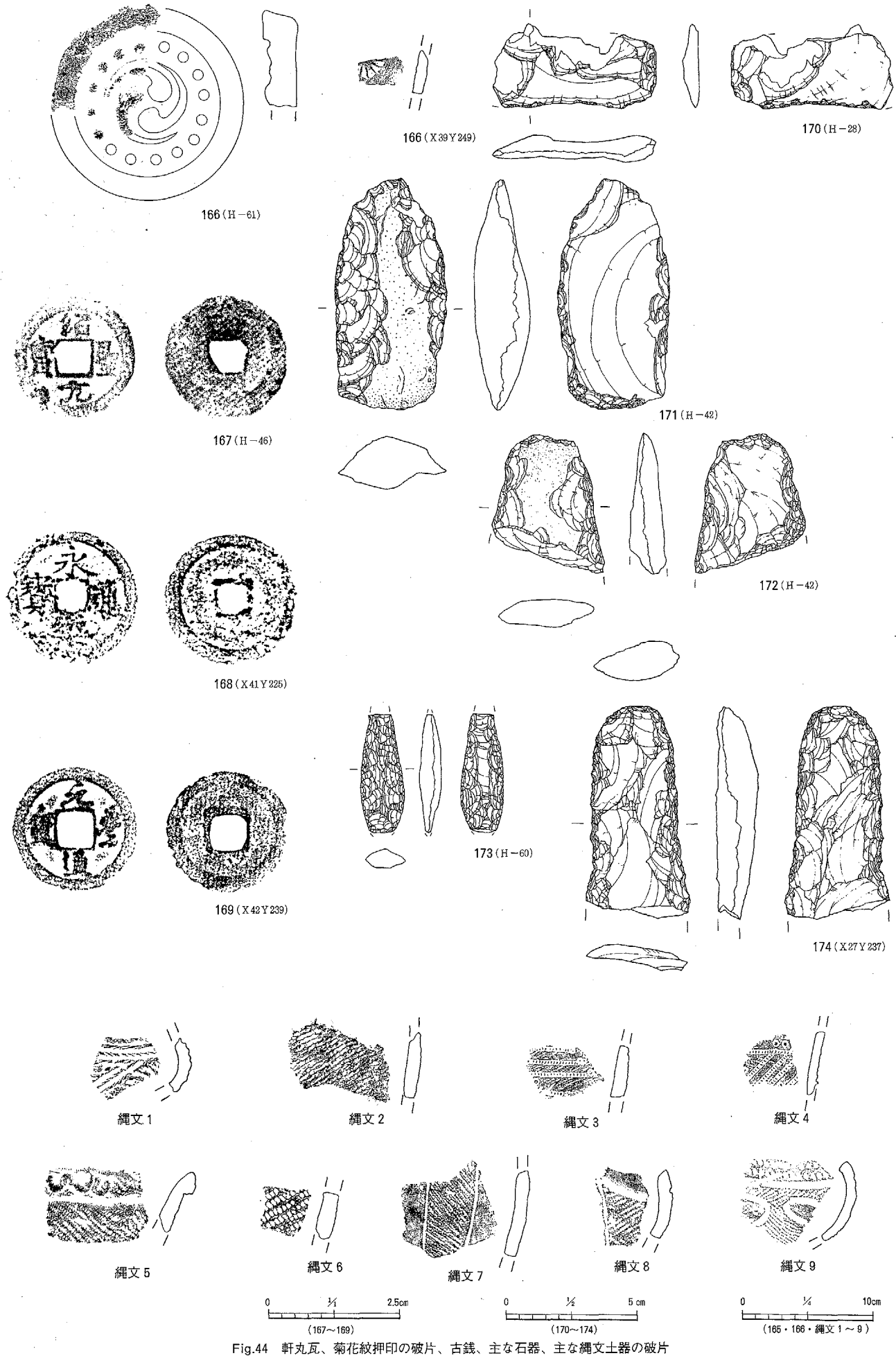
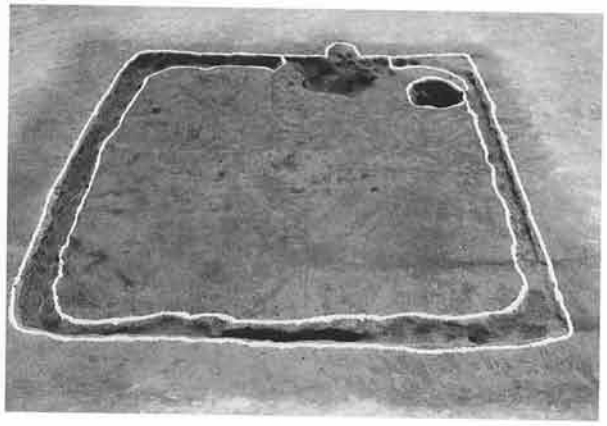


Fig.44　軒丸瓦、菊花紋押印の破片、古銭、主な石器、主な縄文土器の破片

調査区南半分全景（北から）

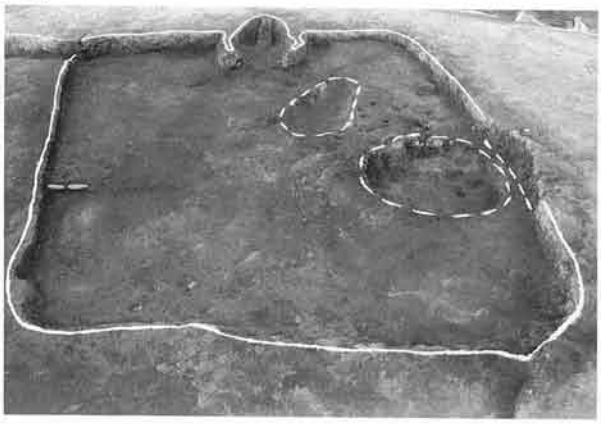
H－3号住居跡全景（西から）



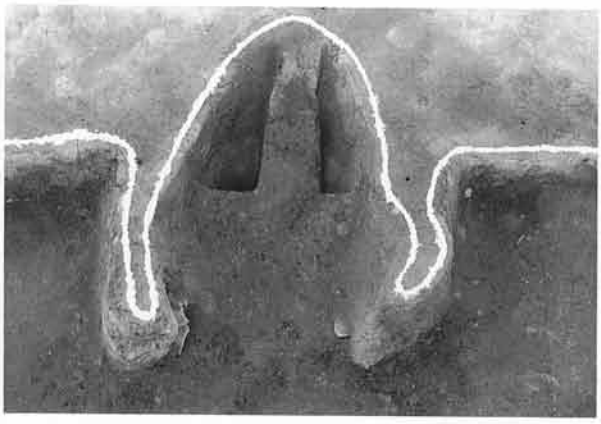
H－4号住居跡全景（西から）

H－5号住居跡全景（北から）

H－6号住居跡全景（北から）



H－7号住居跡全景（西から）

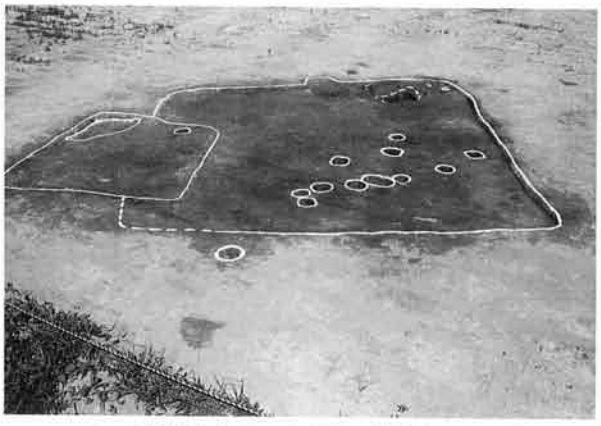


H－7号住居跡竈全景（西から）

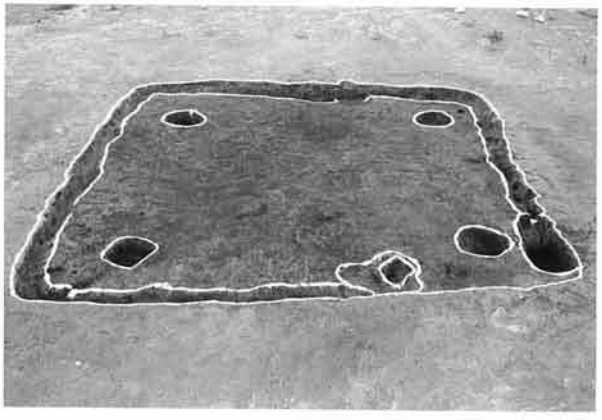
H－6・7号住居跡の重複全景（西から）

調査区北半分（南西から）

H－8号住居跡竈全景全景（西から）

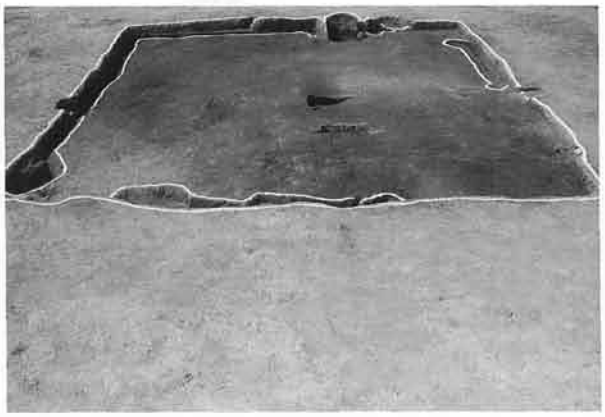


H－9号住居跡とD－5号土坑の重複全景（西から）



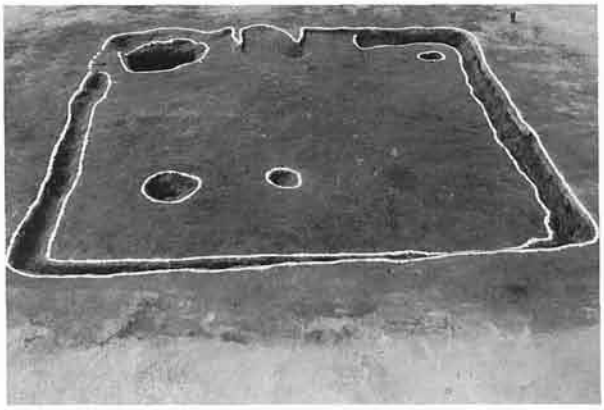
H－11号住居跡全景（西から）

H－12号住居跡全景（西から）



H－13号住居跡全景（南から）

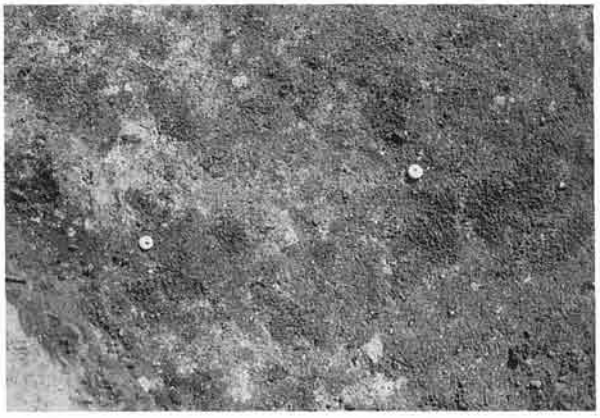
H－13号住居跡竈全景（南から）



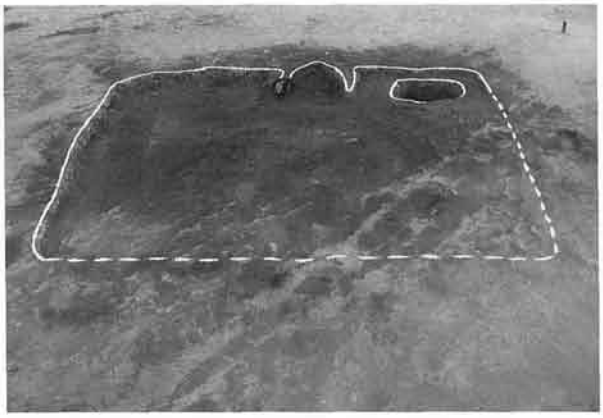
H－14号住居跡全景（東から）

H－14号住居跡竈全景（東から）

H－14号住居跡出土遺物①（北から）



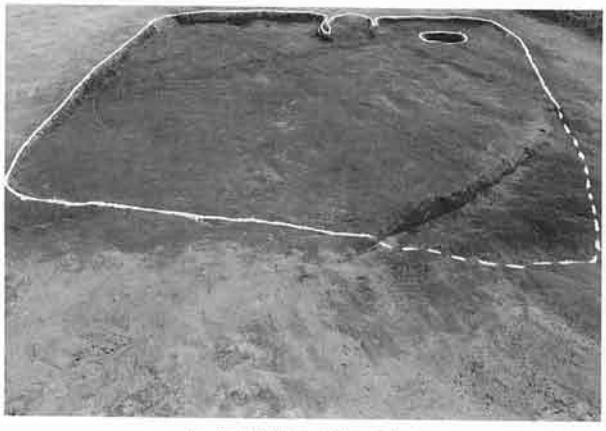
H－14号住居跡出土遺物②（北から）



H－15号住居跡全景（西から）

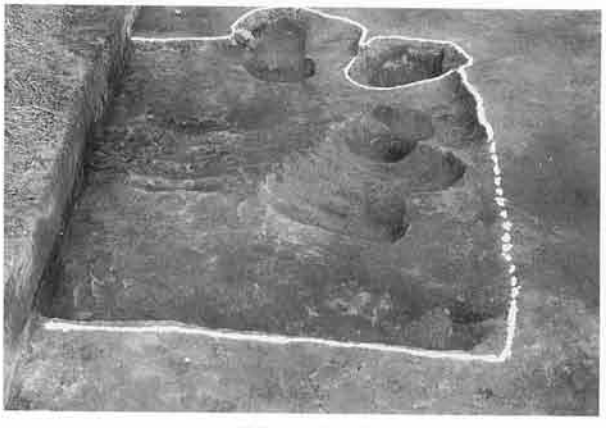
H－15号住居跡竈全景（西から）

調 査 区 北 半 分 （北 東 か ら）



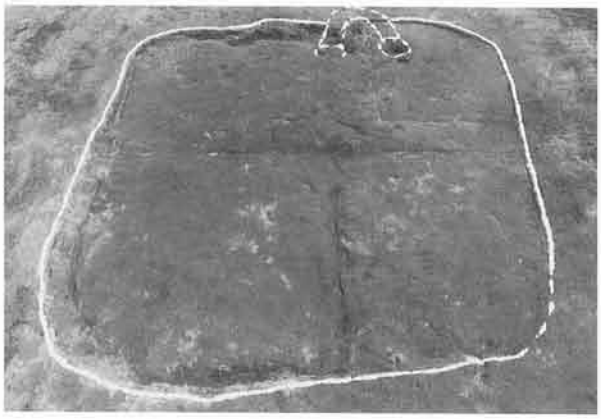
H－16号住居跡全景（西から）

H－16号住居跡竈全景（西から）

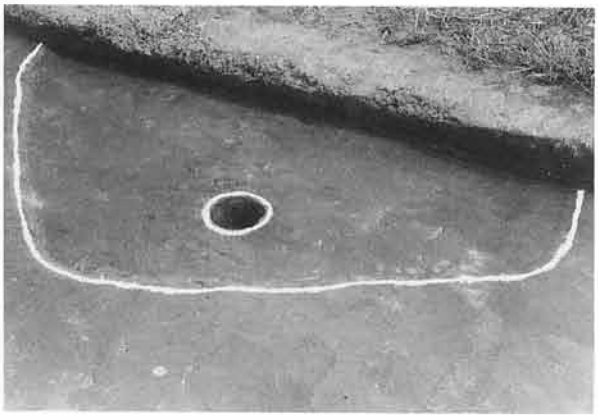


H－17号住居跡全景（西から）

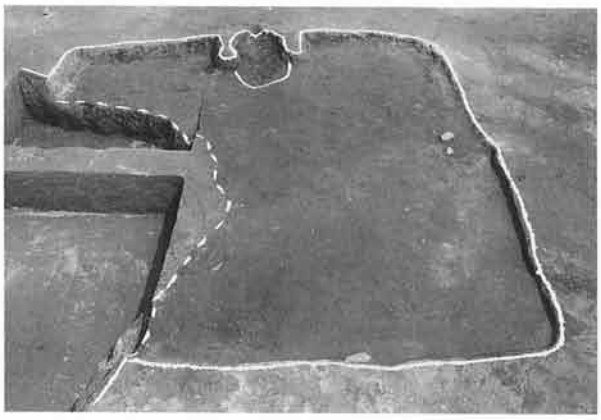
H－19号住居跡全景（西から）



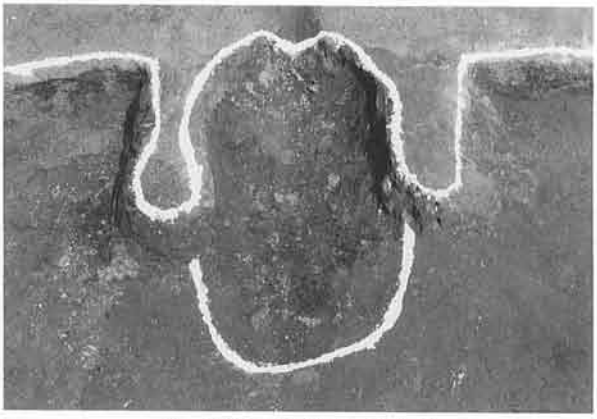
H－20号住居跡全景（西から）



H－22号住居跡全景（西から）



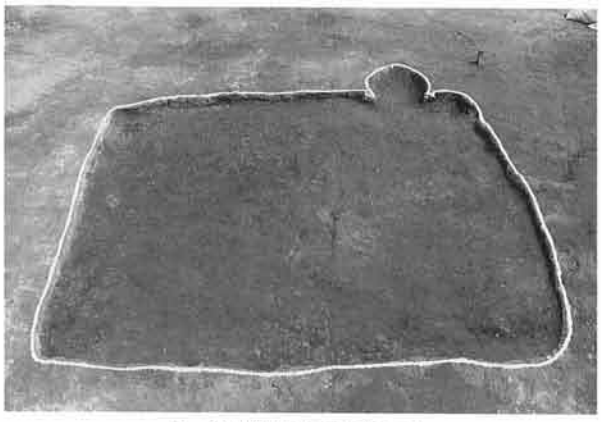
H－24号住居跡全景（西から）



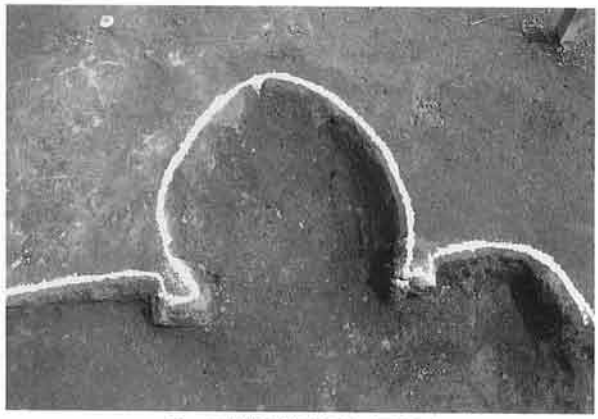
H－24号住居跡竈全景（西から）

H－25号住居跡全景（西から）

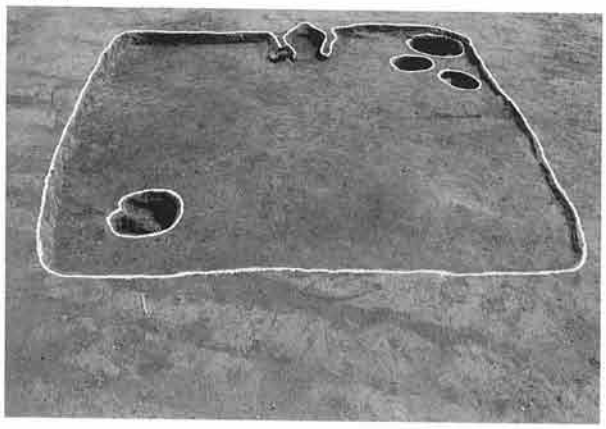
H－25号住居跡竈全景（西から）



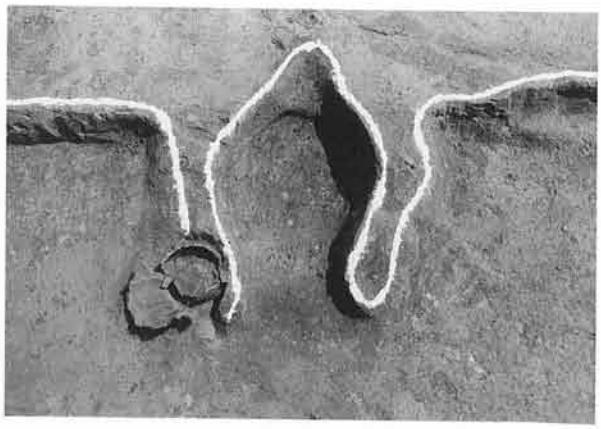
H－26号住居跡全景（西から）



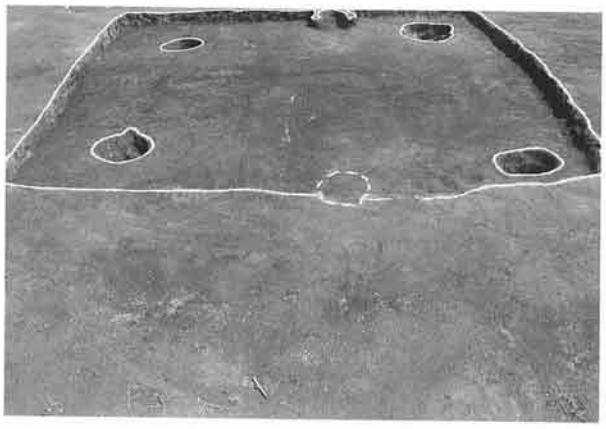
H－26号住居跡竈全景（西から）



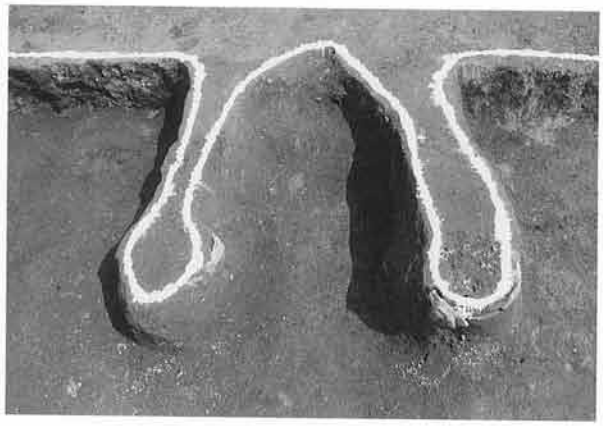
H－27号住居跡全景（西から）



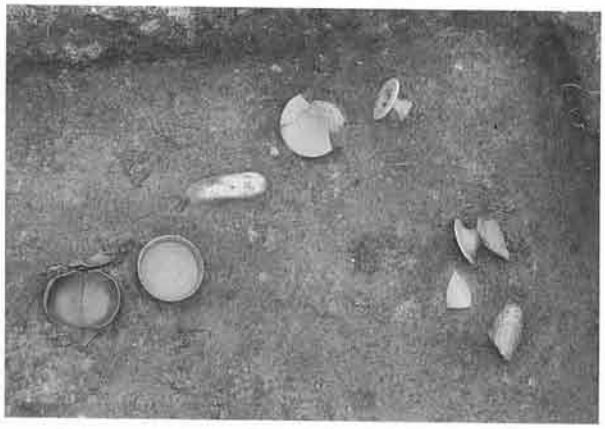
H－27号住居跡竈全景（西から）



H－28号住居跡全景（西から）



H－28号住居跡竈全景（西から）

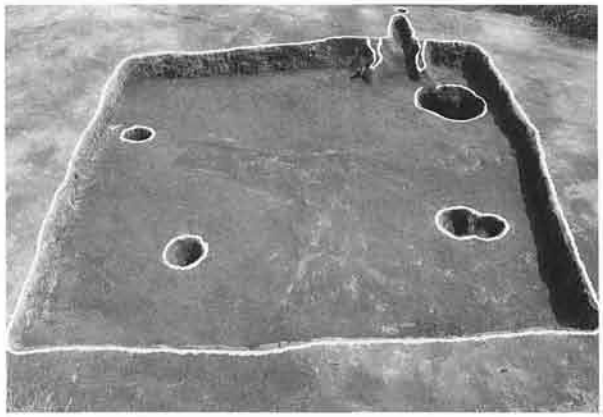


H－28号住居跡出土遺物①（西から）

H－28号住居跡出土遺物②（西から）

H－29・30号住居跡の重複全景（西から）

H－30号住居跡竈全景（西から）

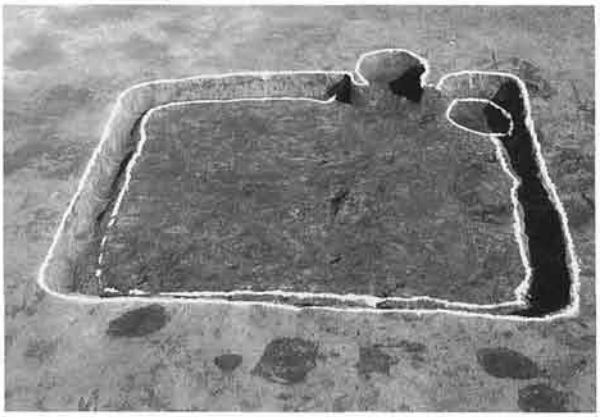


H－31号住居跡全景（西から）

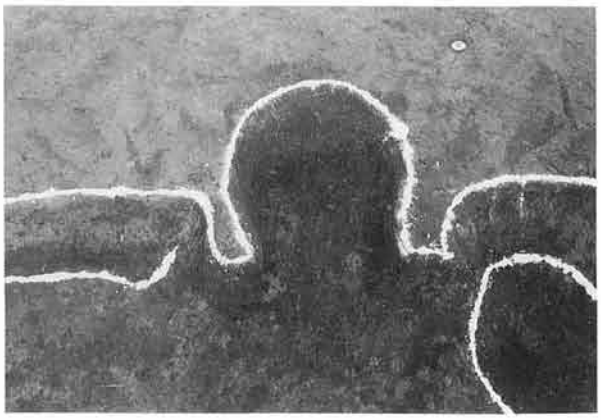
H－31号住居跡竈全景（西から）

H－32号住居跡全景（西から）

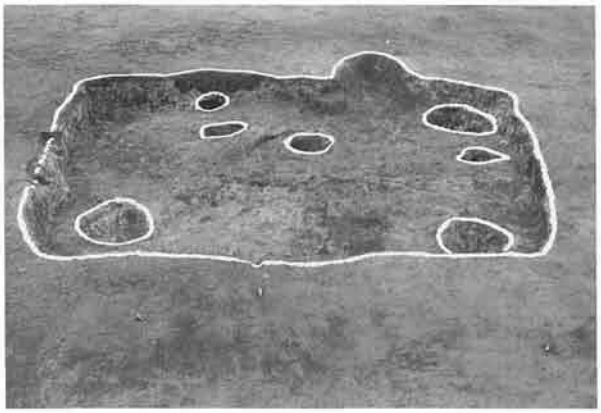
H－32号住居跡出土遺物（北から）



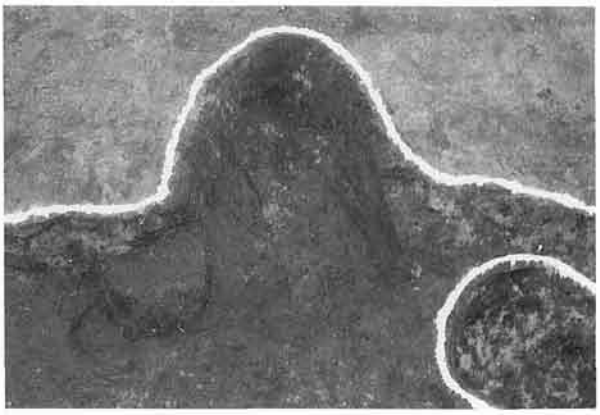
H－34号住居跡全景（西から）



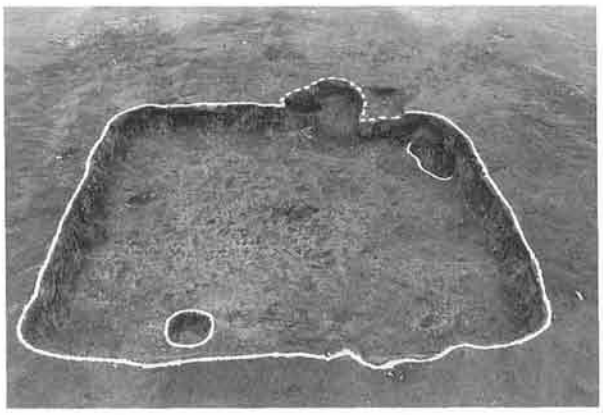
H－34号住居跡竈全景（西から）



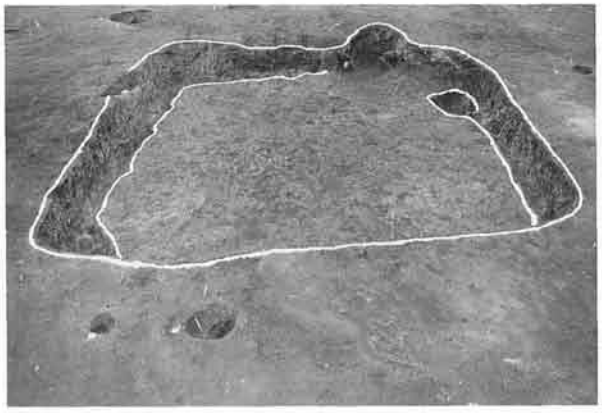
H－37号住居跡全景（西から）



H－37号住居跡竈全景（西から）



H－40号住居跡全景（西から）

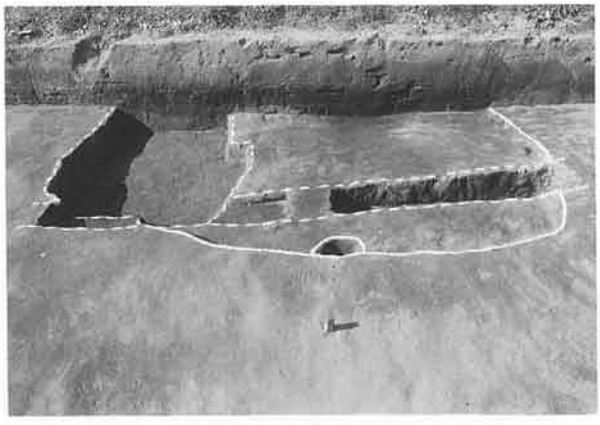


H－41号住居跡全景（西から）

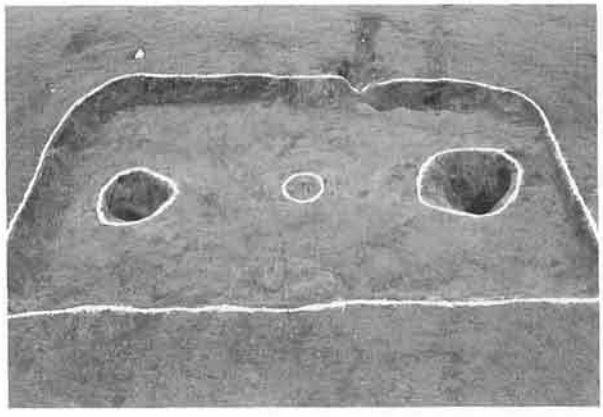
H－42号住居跡全景（西から）

H－42号住居跡竈全景①（西から）

H－42号住居跡竈全景②（西から）

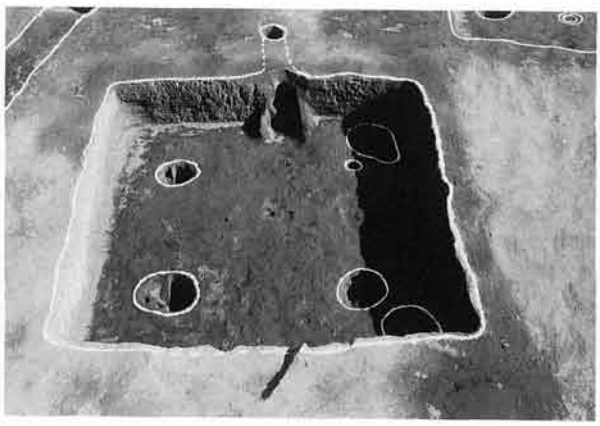


H－44号住居跡全景（東から）

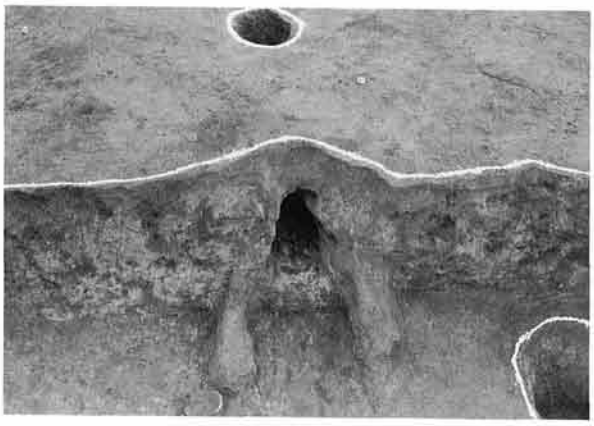


H－46号住居跡全景（西から）

H－47号住居跡全景（西から）

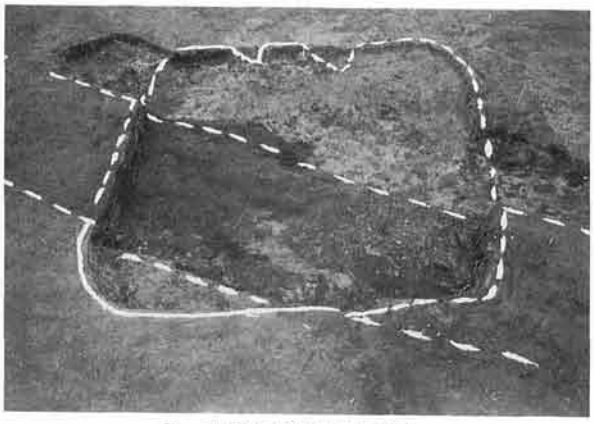


H－45号住居跡全景（西から）



H－45号住居跡竈全景（西から）

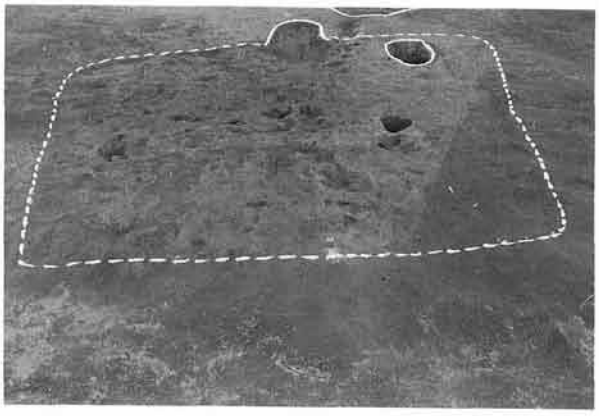
H－45号住居跡煙道（西から）



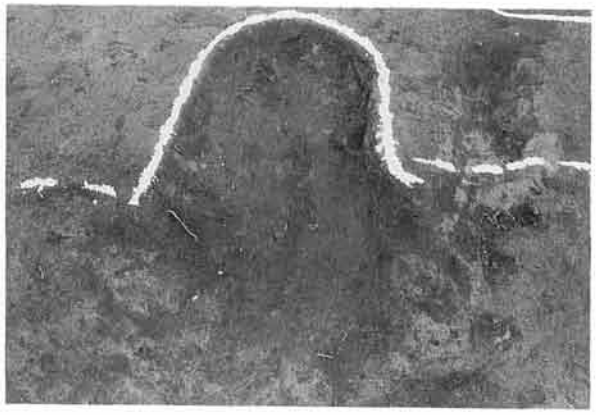
H－51号住居跡全景（北から）

H－48号住居跡全景（西から）

H－48号住居跡竈全景（西から）

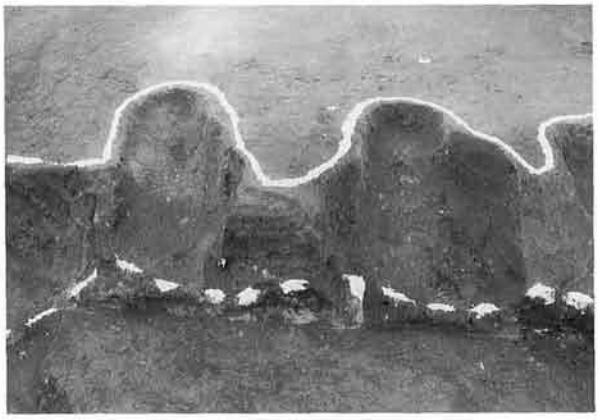


H－52号住居跡全景（西から）



H－52号住居跡竈全景（西から）

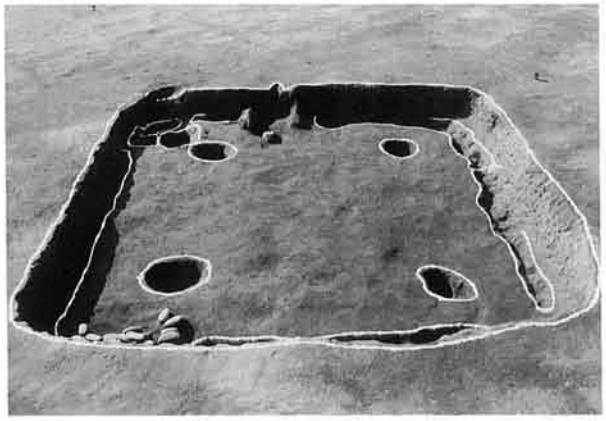
H－53号住居跡全景（西から）



H－53号住居跡竈全景（西から）

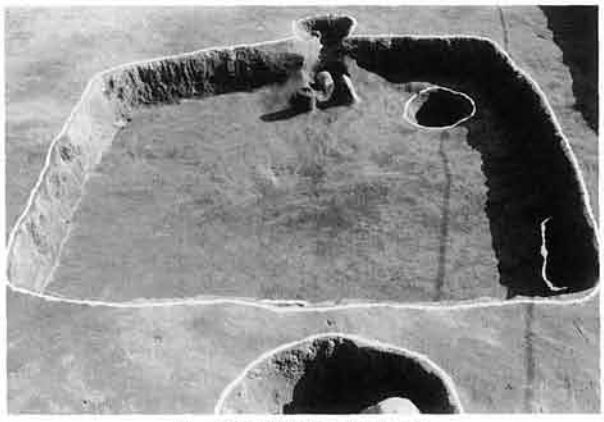
H－54号住居跡全景（西から）

調査区南半分（北から）



H－56号住居跡全景（東から）

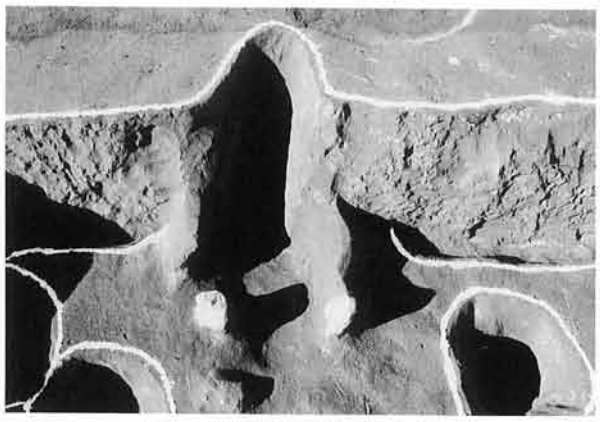
H－56号住居跡竈全景（東から）



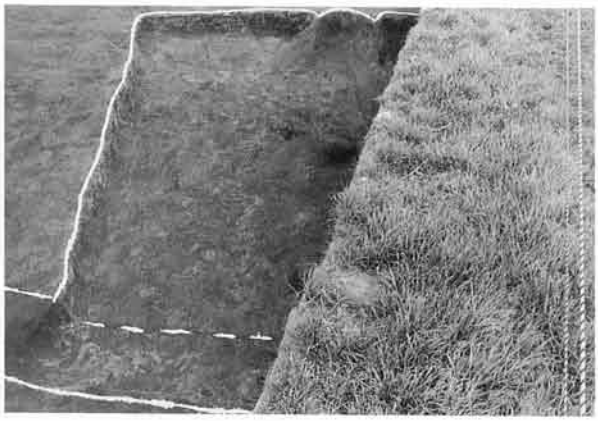
H－57号住居跡全景（西から）

H－57号住居跡竈全景（西から）

H－58号住居跡全景（東から）

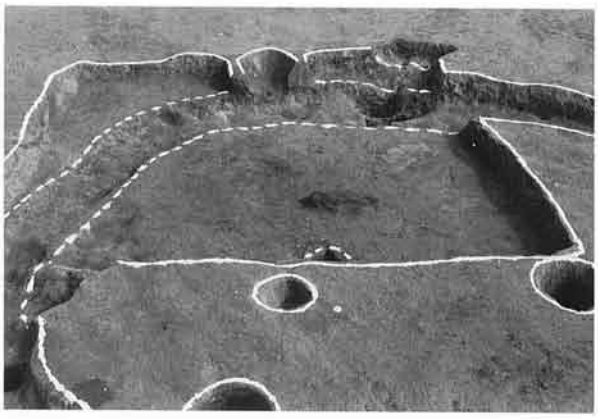


H－58号住居跡竈全景（東から）



H－59号住居跡全景（西から）

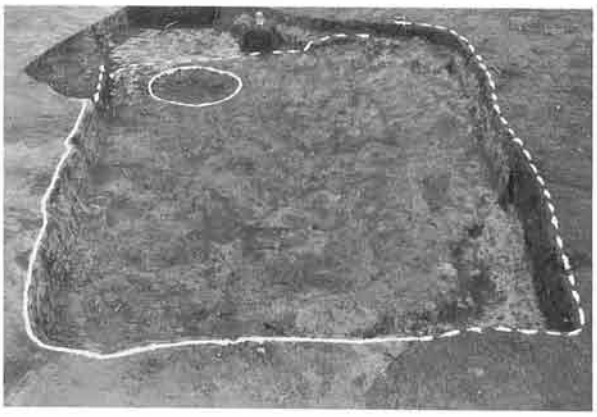
H－59号住居跡竈全景（西から）



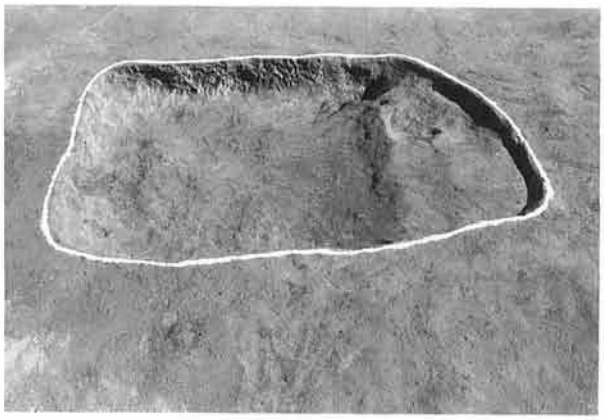
H－60号住居跡全景（西から）

H－60号住居跡竈全景（西から）

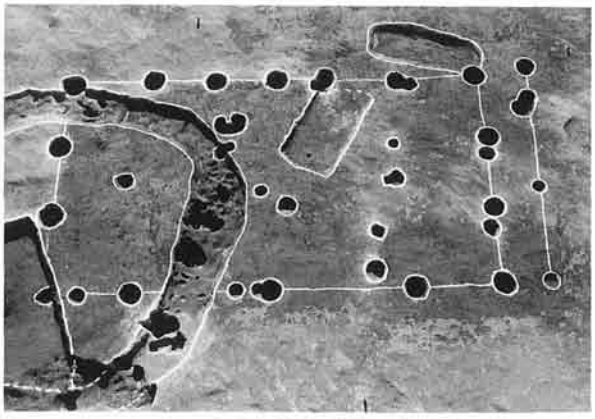
H－61号住居跡とD－13号土坑の重複全景（西から）



H－62号住居跡全景（西から）

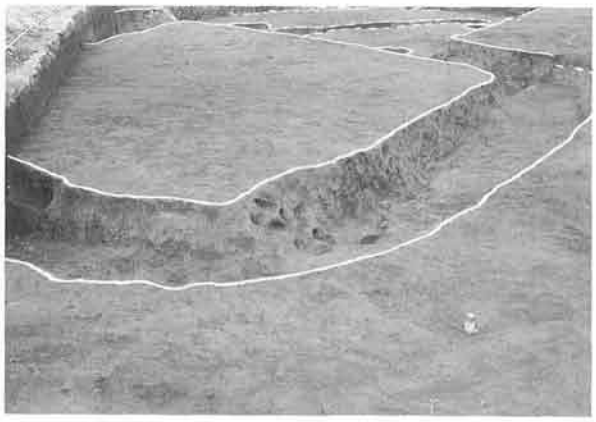


H－63号住居跡全景（西から）

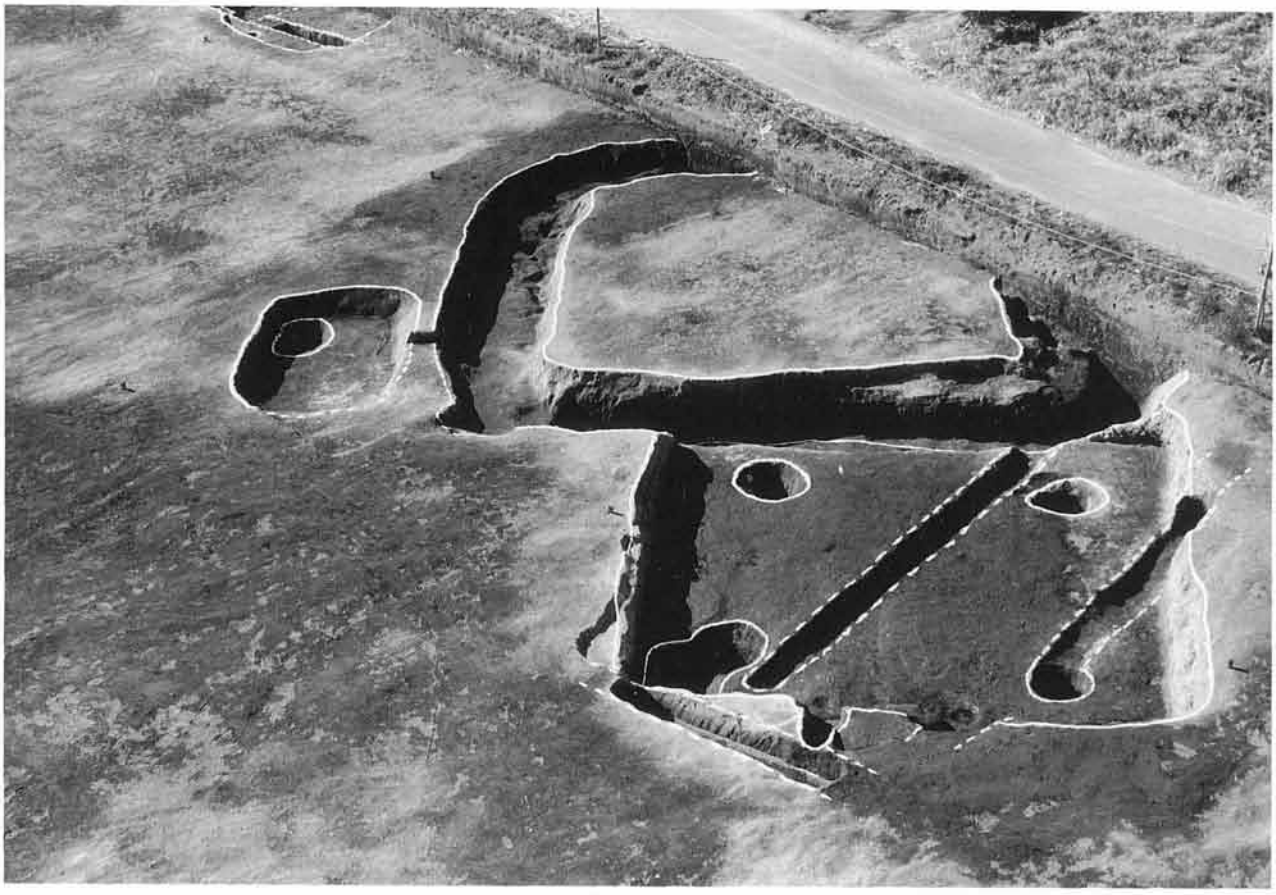


B－1号掘立柱建物跡全景（北から）

C－2号方形周溝墓全景（東から）



C－3号方形周溝墓全景（南から）



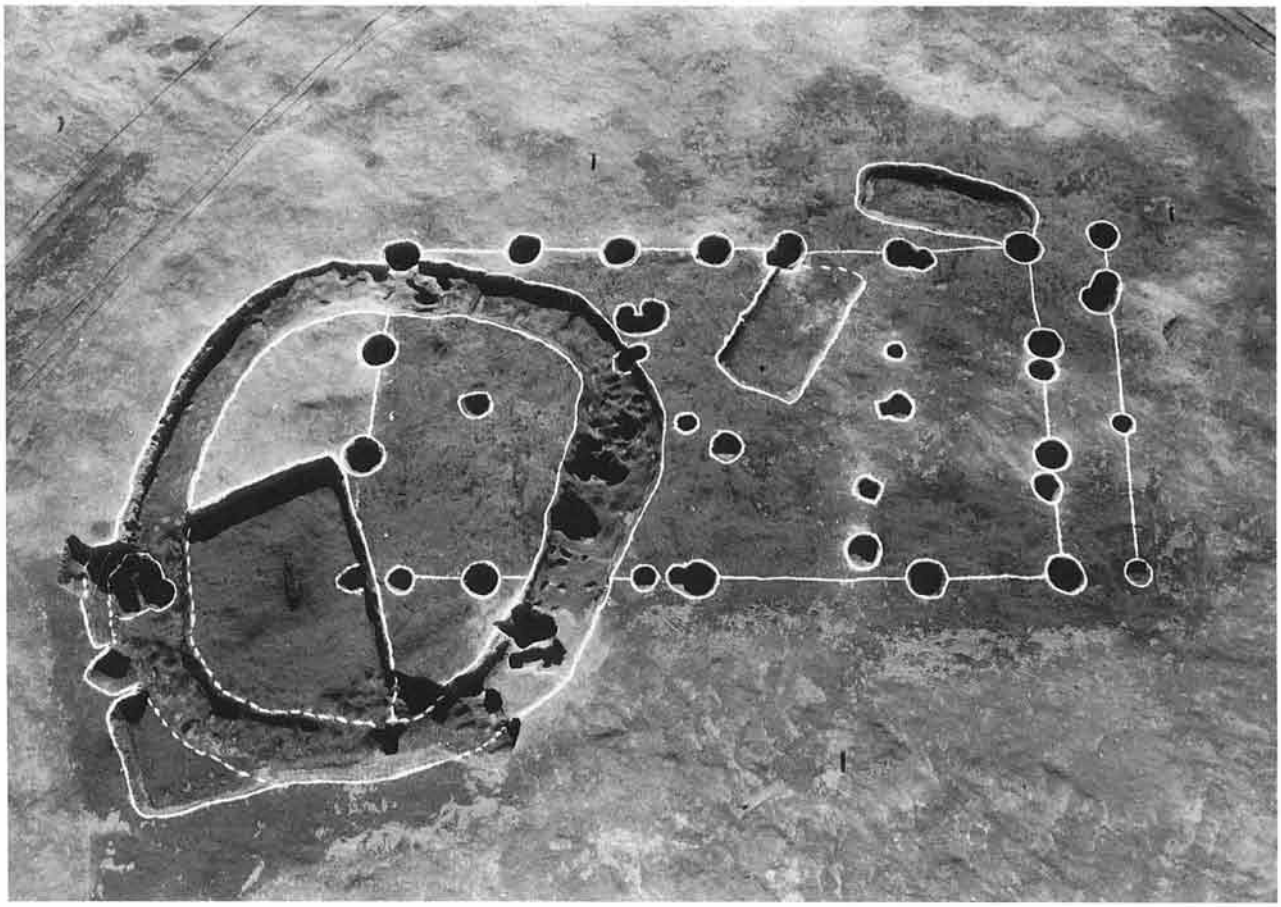
H－42号住居跡とC－2号方形周溝墓の重複、D－11号土坑全景（北東から）

D－1・2・3号土坑全景（北から）

D－4号土坑全景（西から）

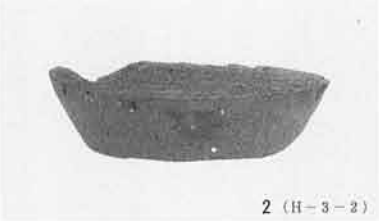
D－13号土坑全景（東から）

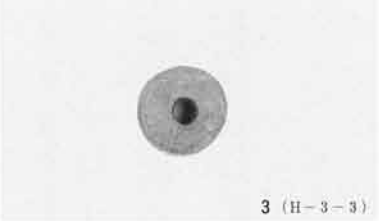
D－14号土坑全景（西から）



H－60号住居跡とX－1号周溝状遺跡とB－1号掘立柱建物跡の重複全景（北から）

1 (H－3－1)


2 (H－3－2)


3 (H－3－3)

7 (H－7－1)

8 (H－7－2)

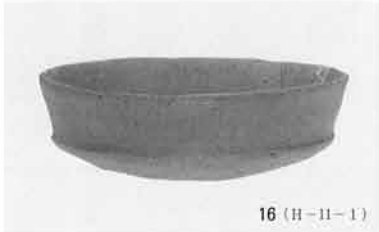
5 (H－6－1)

9 (H－7－3)

15 (H－9－2)

11 (H－8－2)

18 (H－12－1)


16 (H－11－1)

19 (H－13－1)

22 (H－13－4)

17 (H－11－2)

21 (H－13－3)

23 (H－13－5)

20 (H－13－2)

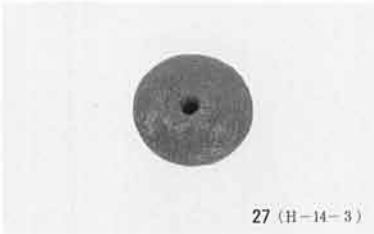
25 (H−14−1)

26 (H−14−2)

41 (H−25−1)

43 (H−27−1)

45 (H−27−3)

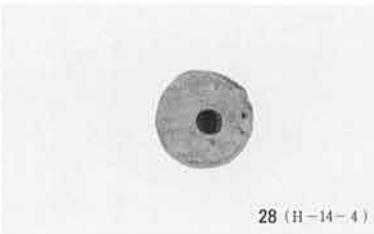

27 (H−14−3)

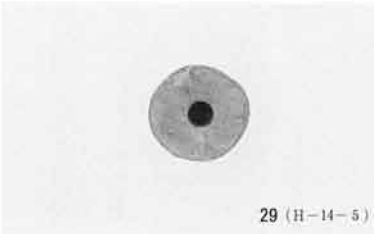
27 (H−14−3)

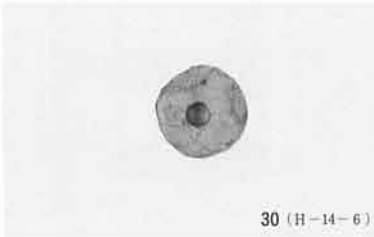
42 (H−25−2)

46 (H−28−1)

50 (H−28−5)


28 (H−14−4)


29 (H−14−5)


30 (H−14−6)

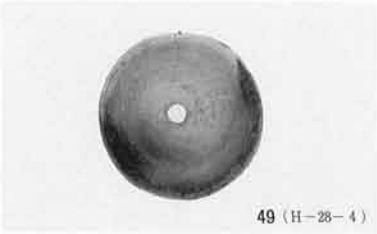
36 (H−19−1)

47 (H−28−2)

49 (H−28−4)

51 (H−28−6)

53 (H−28−8)

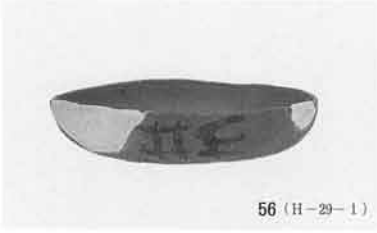

49 (H−28−4)

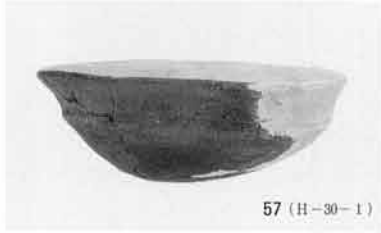
54 (H−28−9)

52 (H−28−7)

60 (H−31−1)

55 (H−28−10)


56 (H−29−1)


57 (H−30−1)

58 (H−30−2)

63 (H−32−1)

64 (H−32−2)

65 (H−32−3)

68 (H−32−6)

66 (H−32−4)

69 (H−32−7)

67 (H－32－5)

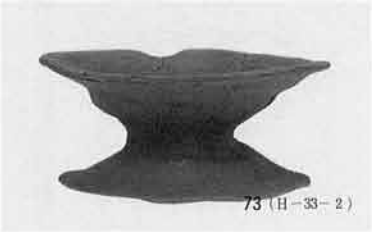
70 (H－32－8)

71 (H－32－9)

72 (H－33－1)

77 (H－35－2)

78 (H－35－3)


73 (H－33－2)

79 (H－35－4)

81 (H－41－2)

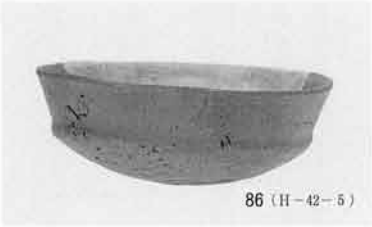
74 (H－33－3)

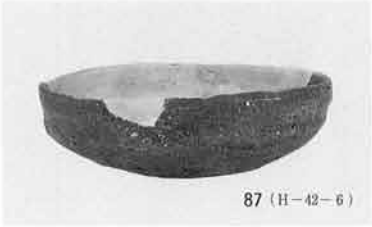
82 (H－42－1)

83 (H－42－2)

75 (H－33－4)

84 (H－42－3)


86 (H－42－5)


87 (H－42－6)

85 (H－42－4)

88 (H－45－1)

90 (H－45－3)

91 (H－45－4)

89 (H－45－2)

92 (H－45－5)

97 (H－48－1)

94 (H－47－2)

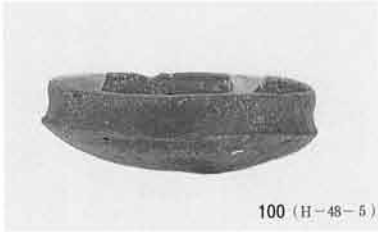
93 (H－47－1)

95 (H－47－3)

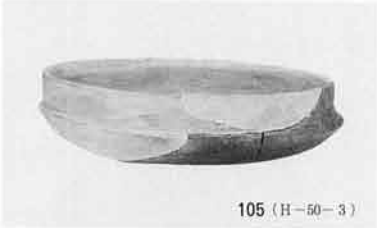
100 (H－48－4)

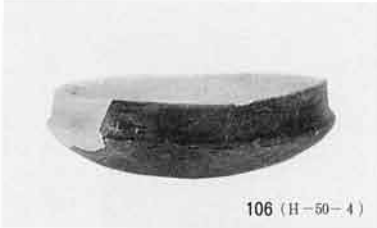
98 (H－48－2)

99 (H－48－3)

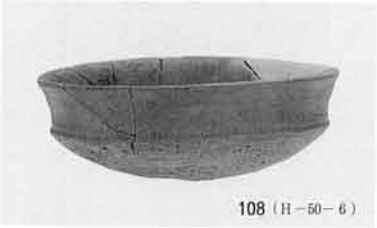

100 (H－48－5)

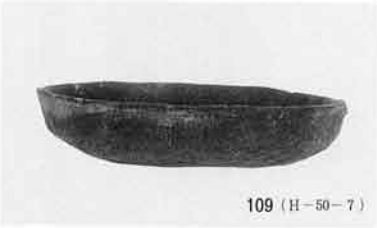
104 (H−50−2)


105 (H−50−3)


106 (H−50−4)

107 (H−50−5)


108 (H−50−6)


109 (H−50−7)

114 (H−56−1)

117 (H−56−4)

110 (H−50−8)

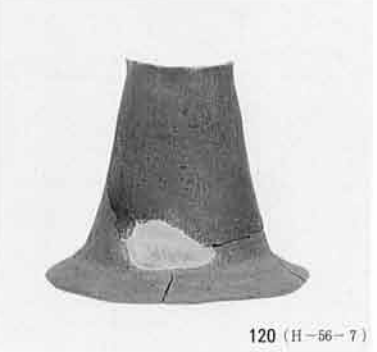
116 (H−56−3)

119 (H−56−6)

118 (H−56−5)

121 (H−56−8)

122 (H−56−9)


120 (H−56−7)

123 (H−56−10)

124 (H−56−11)

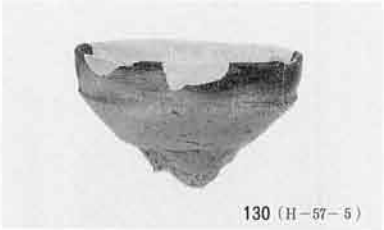
125 (H−56−12)

126 (H−57−1)

127 (H−57−2)

128 (H−57−3)

129 (H−57−4)

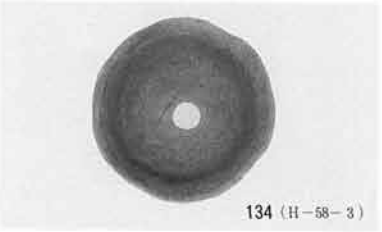

130 (H−57−5)

131 (H−57−6)

132 (H−58−1)

133 (H−58−2)

134 (H−58−3)

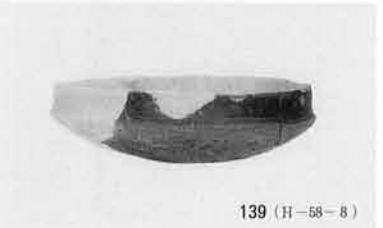

134 (H−58−3)

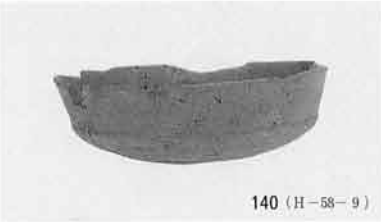
135 (H−58−4)

136 (H−58−5)

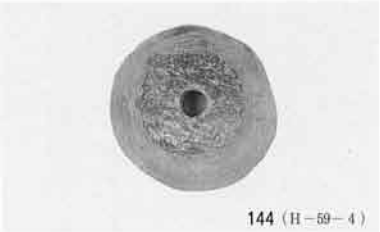
137 (H−58−6)

138 (H−58−7)


139 (H−58−8)


140 (H－58－9)

141 (H－59－1)


144 (H－59－4)

142 (H－59－2)

144 (H－59－4)

146 (H－60－2)

145 (H－60－1)

149 (H－60－5)

147 (H－60－3)

148 (H－60－4)

150 (H－60－6)

152 (H－61－2)

153 (H－61－3)

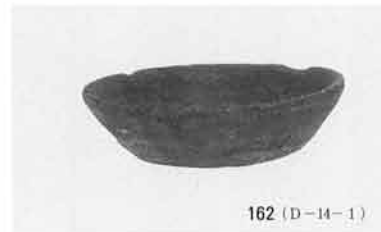
155 (H－63－1)

158 (C－2－1)

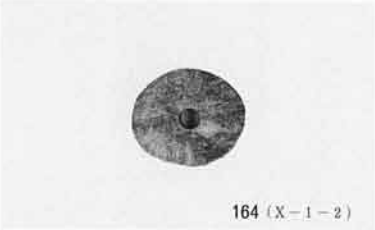
159 (C－2－2)

160 (C－3－1)

161 (D－7－1)

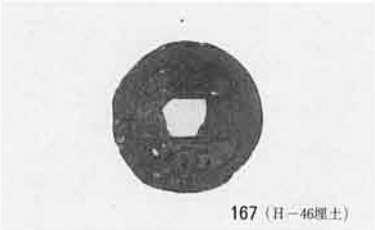

162 (D－14－1)

163 (X－1－1)


164（X－1－2）

166（H－61埋土）

165（X39Y249）


167（H－46埋土）

168（X41Y225）

169（X42Y239）

縄文1

縄文2

縄文3

縄文4

縄文5

縄文6

縄文7

縄文8

縄文9

抄　　録

フリガナ	ゴダイエドヤシキイセキ
書名	五代江戸屋敷遺跡
副書名	五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	齊木　一敏　・　須藤　友子
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371－0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10－2
発行年月日	西暦2001年3月23日

フリガナ 所収遺物名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ゴダイエドヤシキイセキ 五代江戸屋敷遺跡	マエバシシゴダイマチ 前橋市五代町	10201	12C21	36° 20′ 16″	139° 07′ 56″	20000710 20001215	12,627㎡	五代南部工業団地及び住宅団地造成事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
五代江戸屋敷遺跡	集落跡	古墳～中世	住宅跡、掘立柱建物、方形周溝墓他	土師器　須恵器　灰釉陶器他	なし

五代江戸屋敷遺跡

2001年3月15日　印　刷
2001年3月23日　発　行

編集発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10－2
TEL　027－231－9531
印刷所　松本印刷工業株式会社